

令和5年度 第1回介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会
・地域密着型サービス等運営委員会

令和5年 7月 25日(火)午後2時
岸和田市役所 新館4階 第2委員会室

次 第

1. 開 会

2. 委員委嘱

3. 案 件

(1) 第9期介護保険事業計画について

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告

報告書(冊子)

②在宅生活改善調査、居所変更実態調査報告

報告書

③在宅介護実態アンケート調査報告

資料1-1

④第9期計画の骨子(案)

資料1-2

(2) 地域包括支援センター事業評価

資料2

(3) 令和5年度地域包括支援センター実施計画について

資料3

(4) 地域密着型サービス事業所の指定・更新状況について

資料4

(5) その他

4. 閉 会

岸和田市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 結果報告書

令和5年3月

岸和田市

目次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
ご回答される方について.....	2
問1 あなたのご家族や生活状況について.....	5
問2 からだを動かすことについて.....	13
問3 食べることについて.....	17
問4 毎日の生活について.....	22
問5 地域での活動について.....	29
問6 たすけあいについて.....	37
問7 健康について.....	48
問8 認知症について.....	54
問9 在宅医療について.....	59
問10 高齢者福祉全般について.....	67
生活機能評価項目別のリスク判定.....	81
老研式活動能力指標による分析.....	112
III アンケート調査票.....	128

I アンケート調査の概要

I 調査の目的

岸和田市では、「岸和田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」（計画期間：令和6年度～令和8年度）の策定にあたり、皆様の生活状況について把握するため、岸和田市内にお住まいの高齢者3,300人（65歳以上の方で介護認定を受けておられない方と要支援1、2の方から無作為に抽出した方）に対してアンケート調査を実施しました。

2 調査概要

項目	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
調査対象者	岸和田市内在住の65歳以上の方 (要介護1～5の認定を受けている方を除く無作為抽出)
調査期間	令和5年1月11日(水)～1月31日(火)
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式
配布数	3,300件
有効回収数	2,547件
有効回収率	77.1%

3 報告書の見方

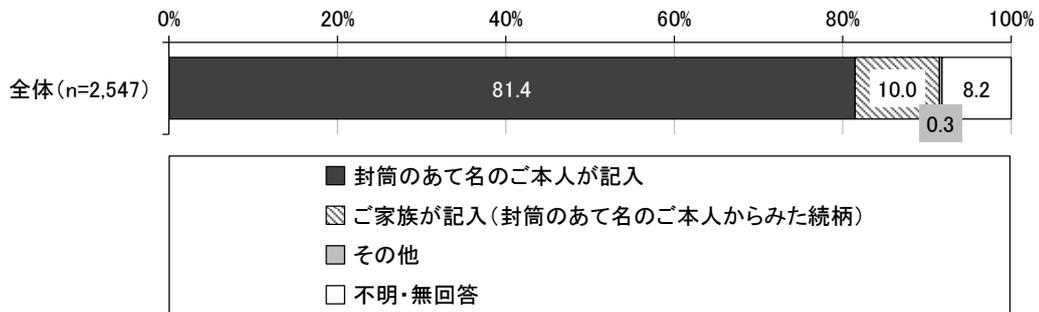
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの第1位に網掛けをしています。

Ⅱ アンケート調査結果

ご回答される方について

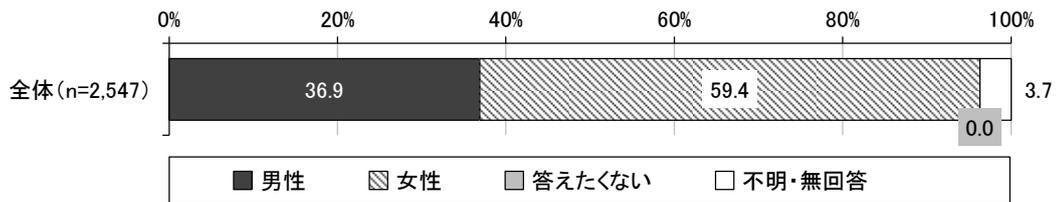
○ この調査票に記入された方は、どなたですか。（1つに○）

「封筒のあて名のご本人が記入」が81.4%と最も高く、次いで「ご家族が記入（封筒のあて名のご本人からみた続柄）」が10.0%、「その他」が0.3%となっています。



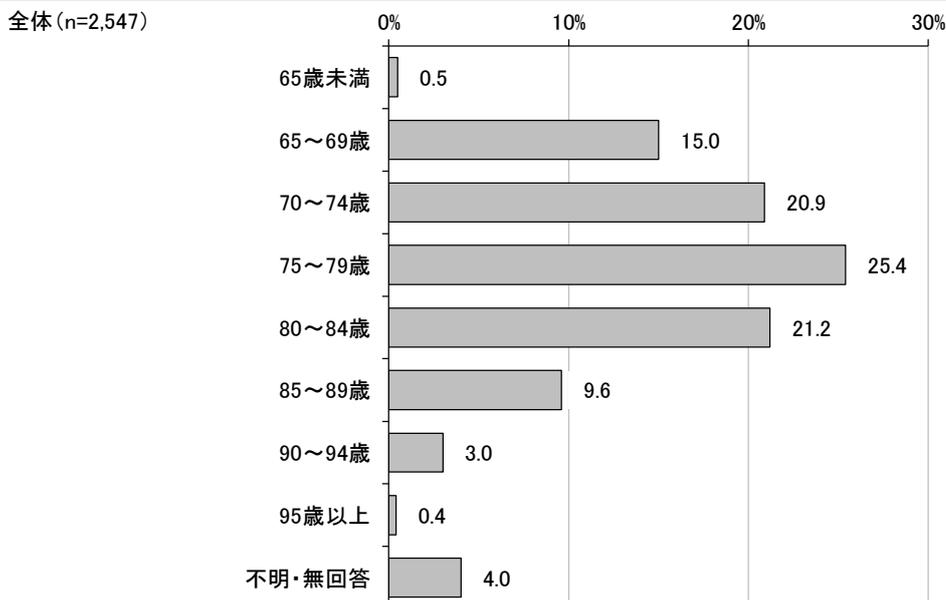
○ あなたの性別をお答えください。（1つに○）

「女性」が59.4%、「男性」が36.9%となっています。



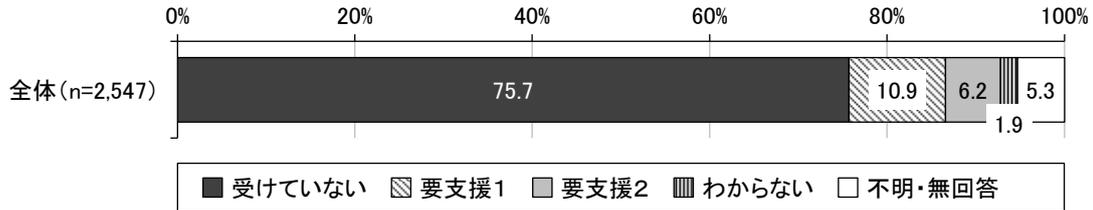
○ あなたの年齢をお答えください。

「75～79歳」が25.4%と最も高く、次いで「80～84歳」が21.2%、「70～74歳」が20.9%となっています。



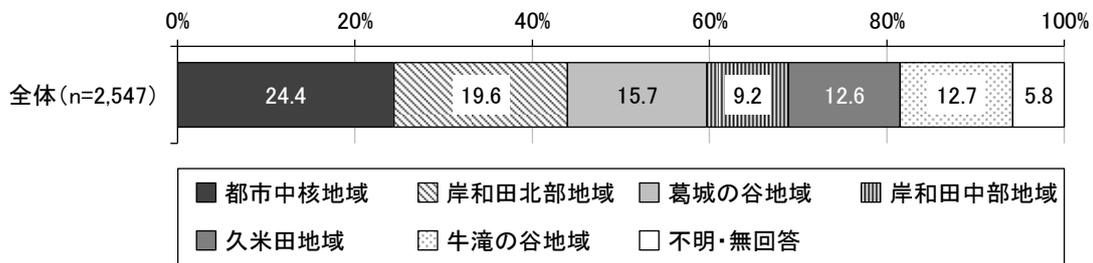
○ あなたの現在の認定状況を教えてください。(1つに○)

「受けていない」が75.7%と最も高く、次いで「要支援1」が10.9%、「要支援2」が6.2%となっています。



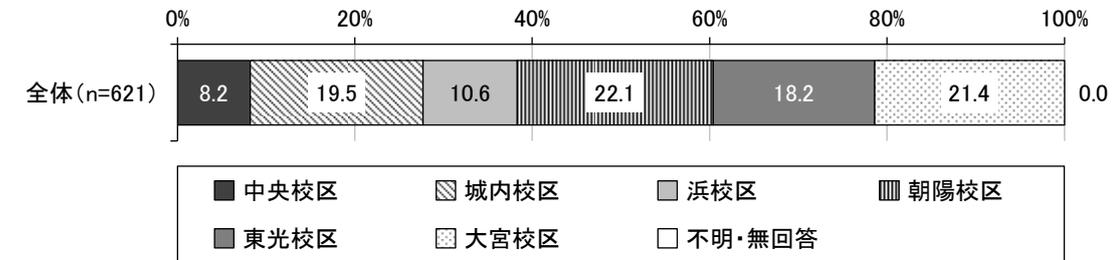
○【地域】 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

「都市中核地域」が24.4%と最も高く、次いで「岸和田北部地域」が19.6%、「葛城の谷地域」が15.7%となっています。



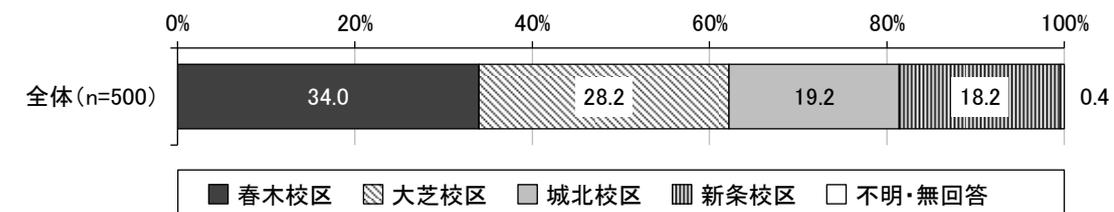
○【都市中核地域】 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

都市中核地域についてみると、「朝陽校区」が22.1%と最も高く、次いで「大宮校区」が21.4%、「城内校区」が19.5%となっています。



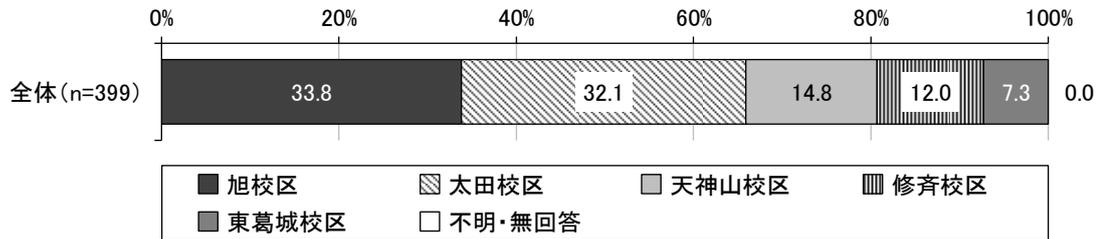
○【岸和田北部地域】 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

岸和田北部地域についてみると、「春木校区」が34.0%と最も高く、次いで「大芝校区」が28.2%、「城北校区」が19.2%となっています。



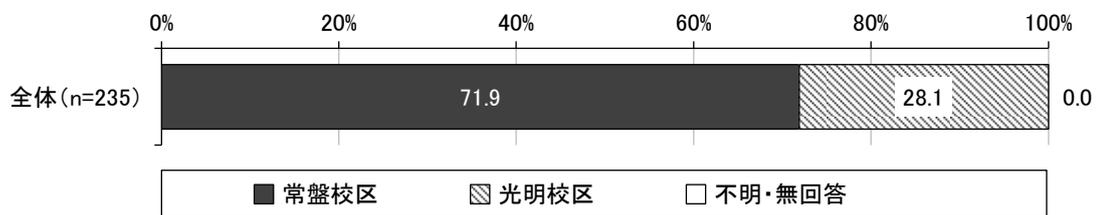
○【葛城の谷地域】 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

葛城の谷地域についてみると、「旭校区」が33.8%と最も高く、次いで「太田校区」が32.1%、「天神山校区」が14.8%となっています。



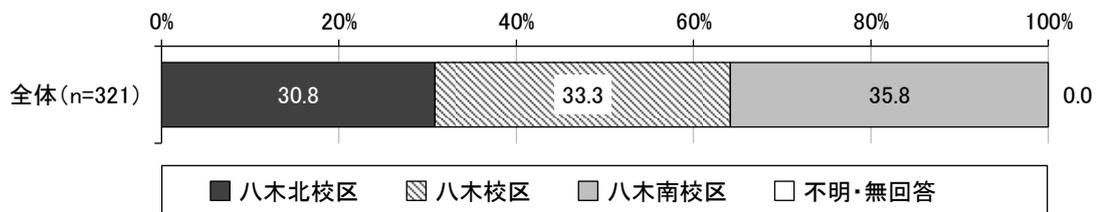
○【岸和田中部地域】 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

岸和田中部地域についてみると、「常盤校区」が71.9%と、「光明校区」の28.1%を上回っています。



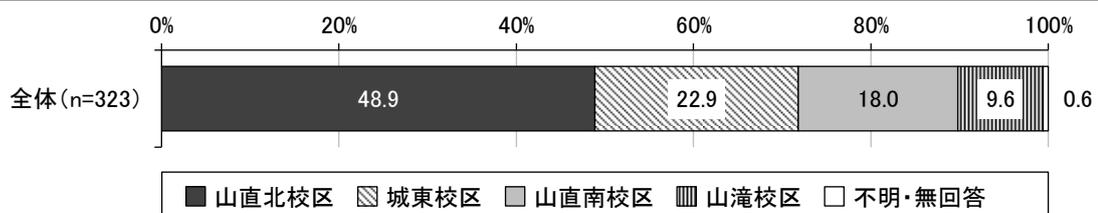
○【久米田地域】 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

久米田地域についてみると、「八木南校区」が35.8%と最も高く、次いで「八木校区」が33.3%、「八木北校区」が30.8%となっています。



○【牛滝の谷地域】 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

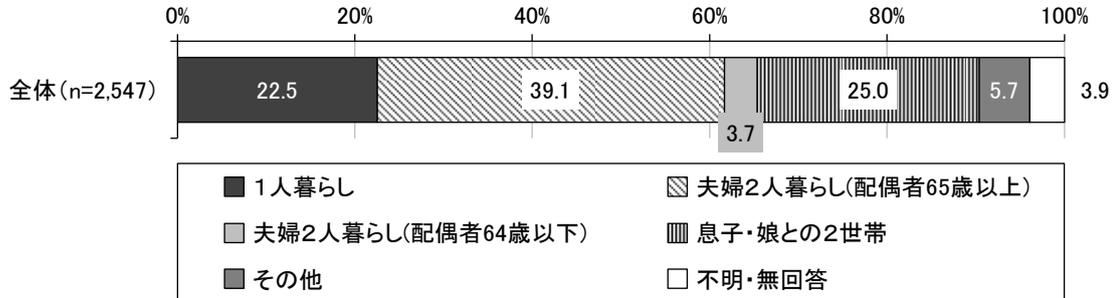
牛滝の谷地域についてみると、「山直北校区」が48.9%と最も高く、次いで「城東校区」が22.9%、「山直南校区」が18.0%となっています。



問1 あなたの家族や生活状況について

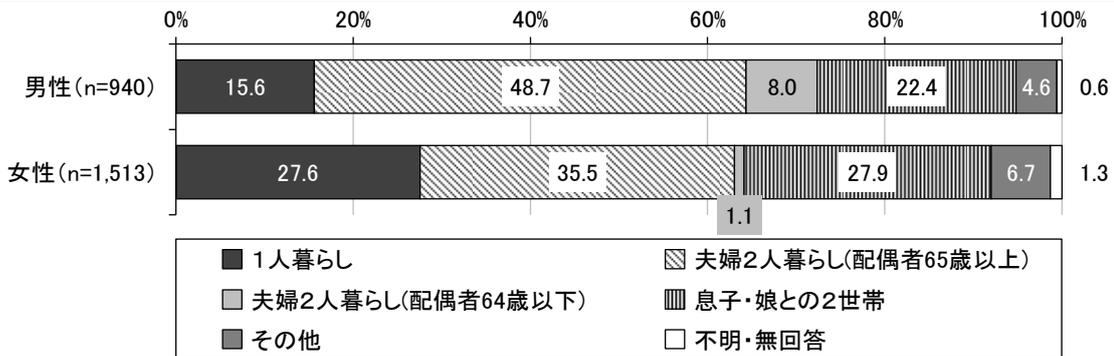
(1) 家族構成をお教えてください。(1つに〇)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が25.0%、「1人暮らし」が22.5%となっています。



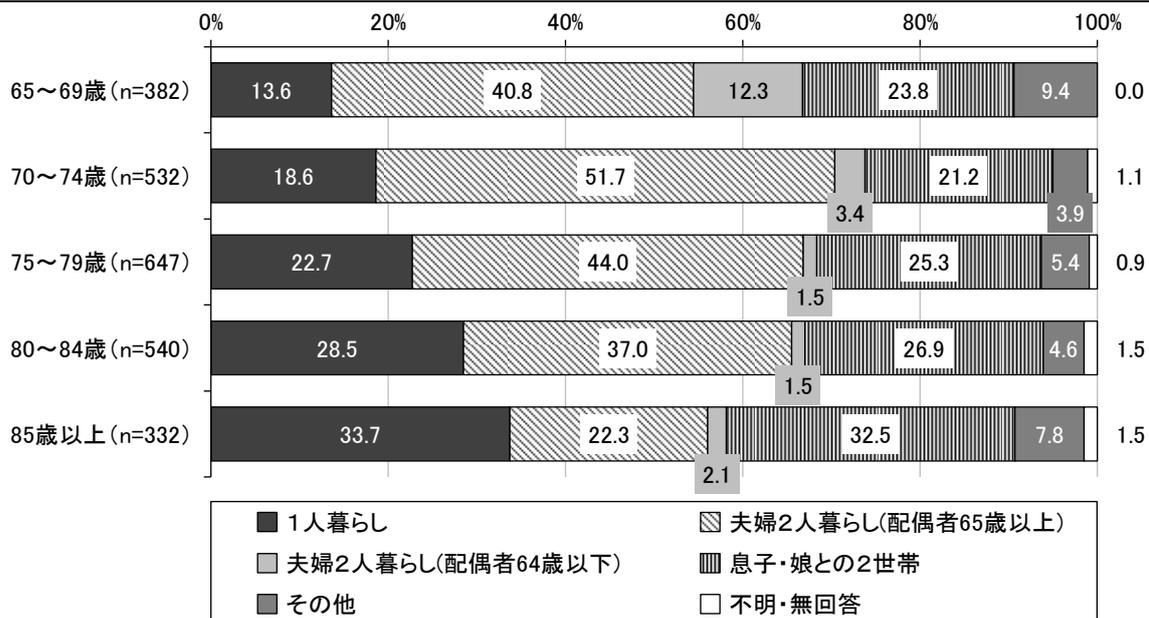
【性別】〔問1(1) 家族構成をお教えてください。〕

性別にみると、男女ともに「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も高くなっていますが、男性が48.7%と女性を13.2ポイント上回っています。



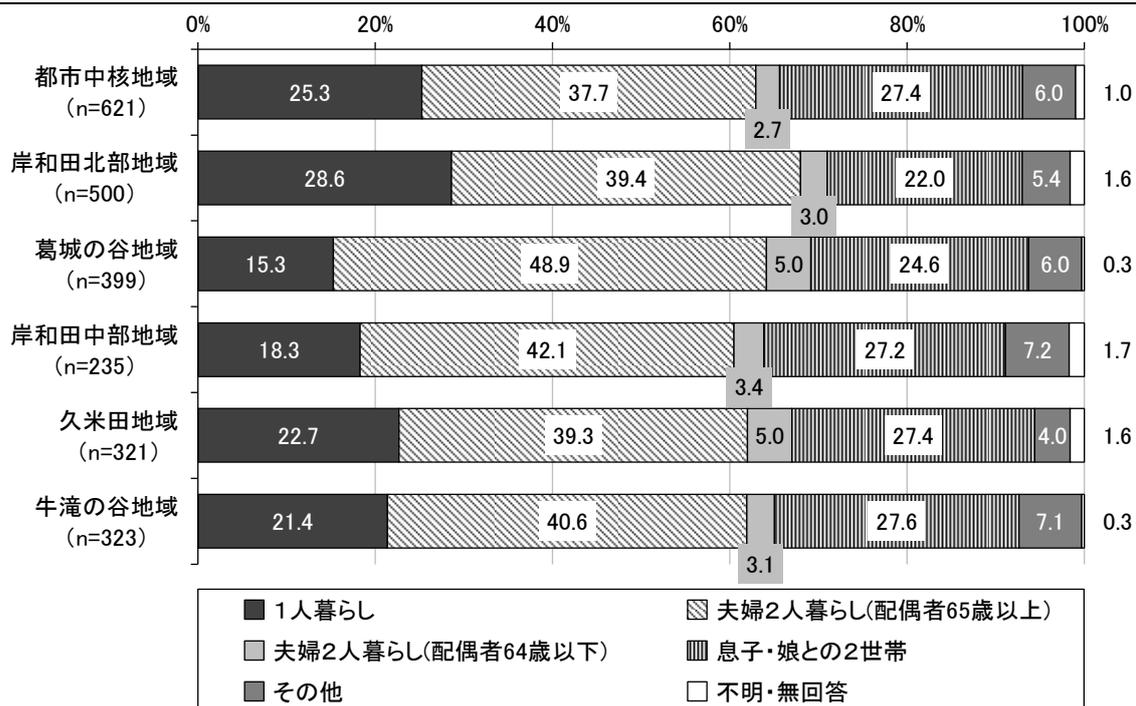
【年齢別】〔問1(1) 家族構成をお教えてください。〕

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」が高くなっています。



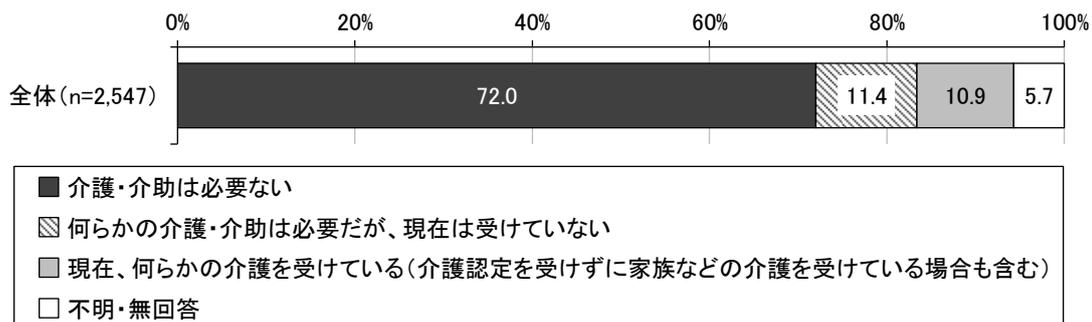
【地域別】〔問1 (1) 家族構成をお教えてください。〕

地域別にみると、すべての地区で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も高くなっています。



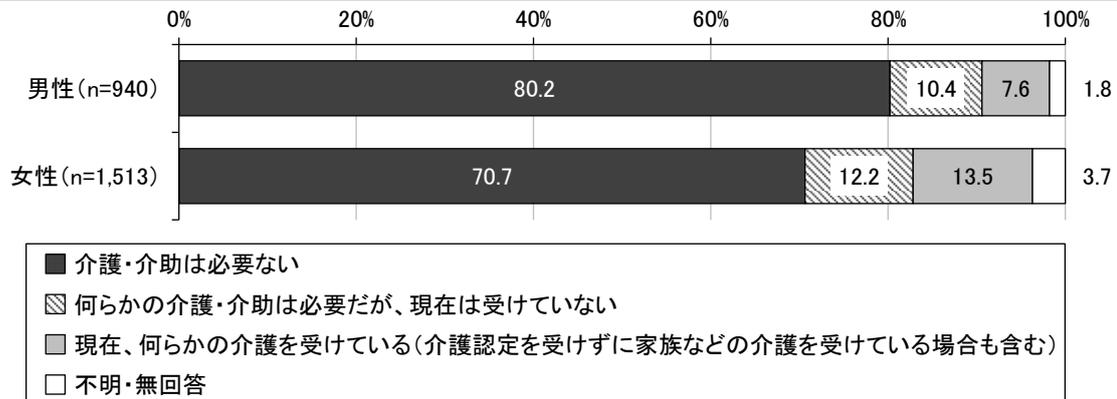
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

「介護・介助は必要ない」が72.0%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.4%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が10.9%となっています。



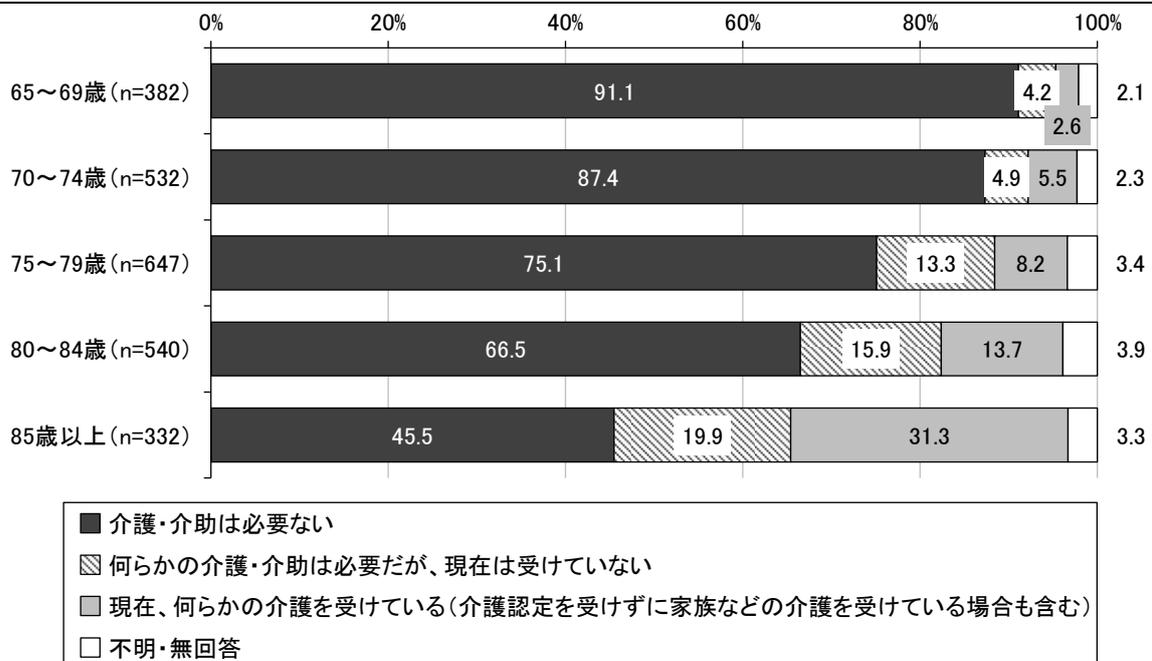
【性別】〔問 1（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。〕

性別にみると、男女ともに「介護・介助は必要ない」が最も高くなっていますが、男性が80.2%と女性を9.5ポイント上回っています。



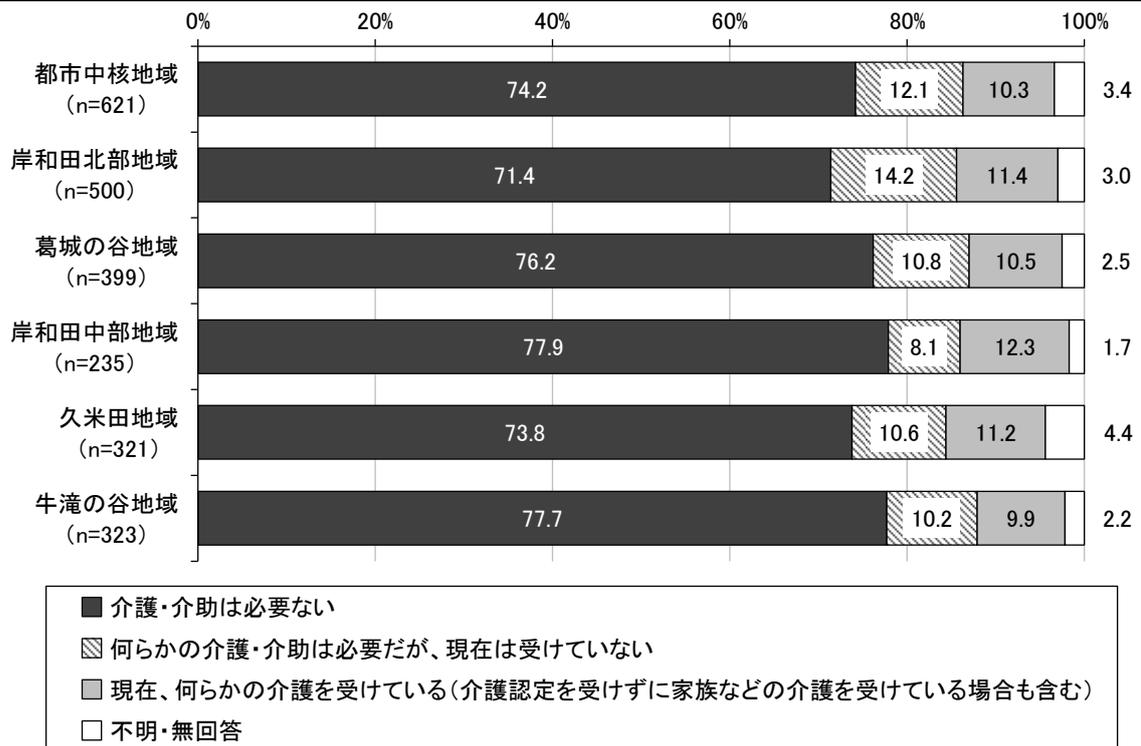
【年齢別】〔問 1（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。〕

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「介護・介助は必要ない」が低くなっています。



【地域別】〔問1（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。〕

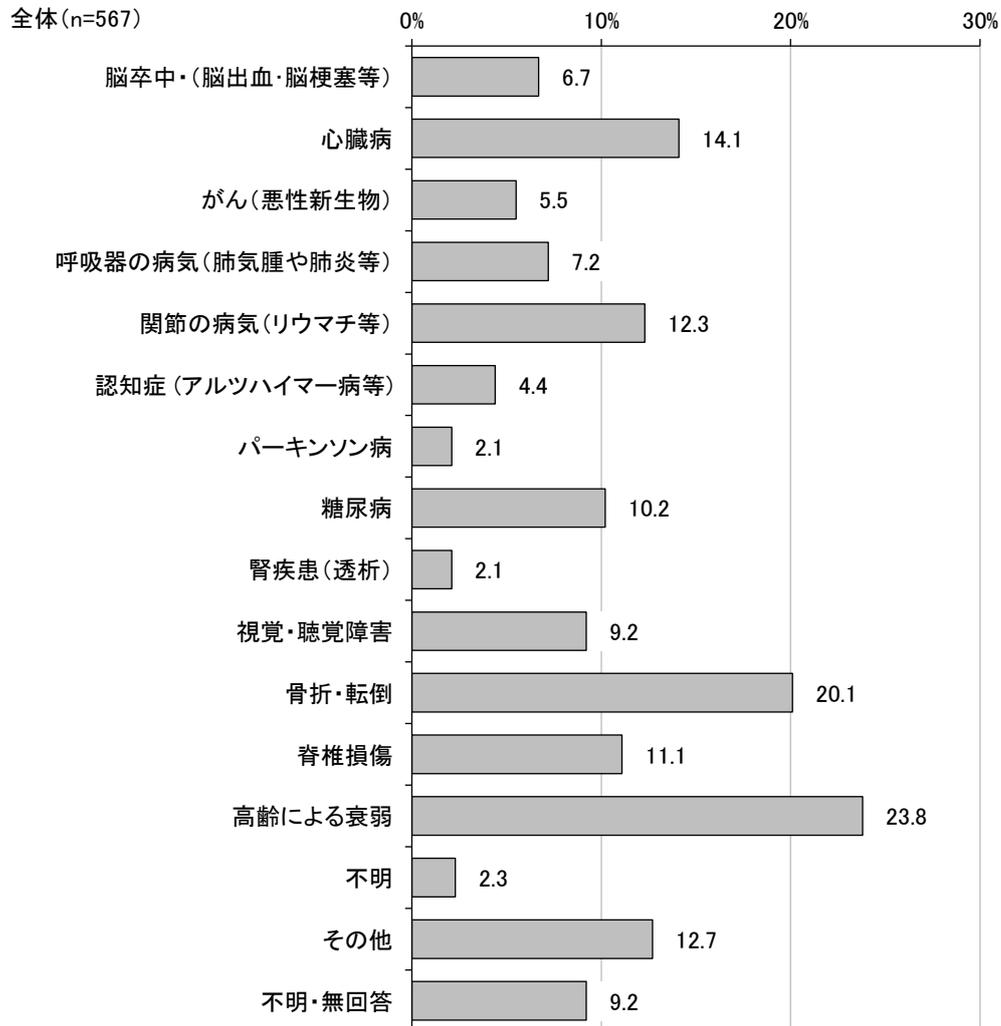
地域別にみると、すべての地区で「介護・介助は必要ない」が最も高くなっています。



(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を回答した方

(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

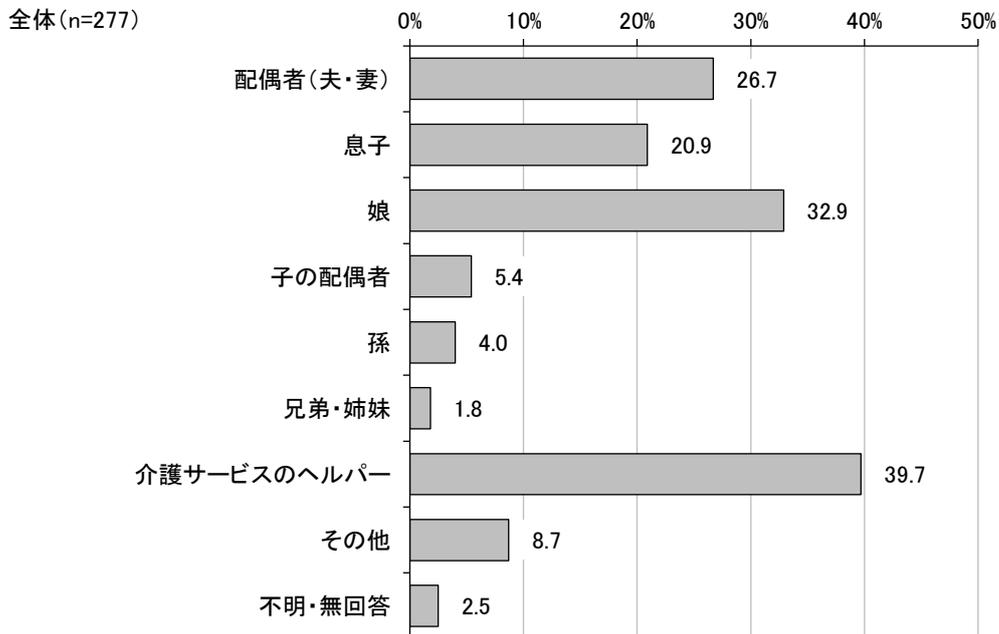
「高齢による衰弱」が23.8%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が20.1%、「心臓病」が14.1%となっています。



(2) で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方

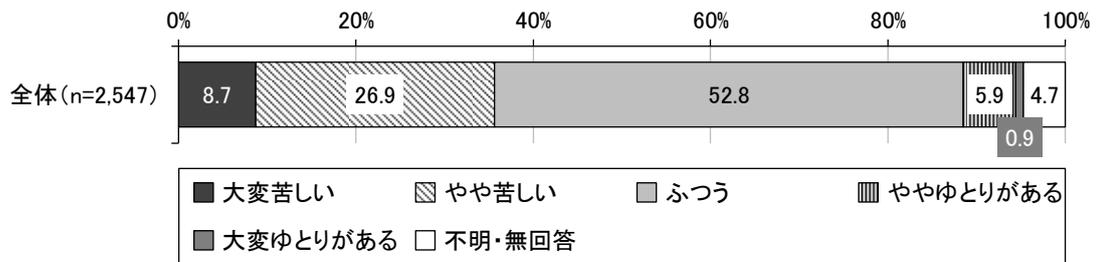
(2) -2 主にどなたからの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護サービスのヘルパー」が 39.7%と最も高く、次いで「娘」が 32.9%、「配偶者(夫・妻)」が 26.7%となっています。



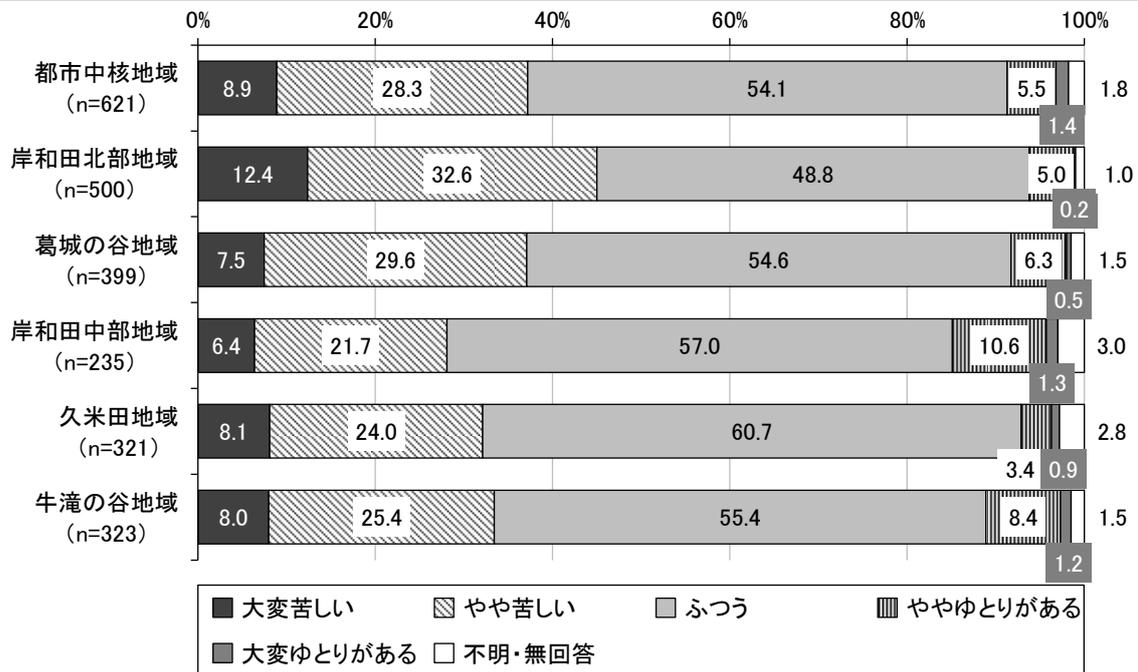
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

「ふつう」が 52.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 26.9%、「大変苦しい」が 8.7%となっています。



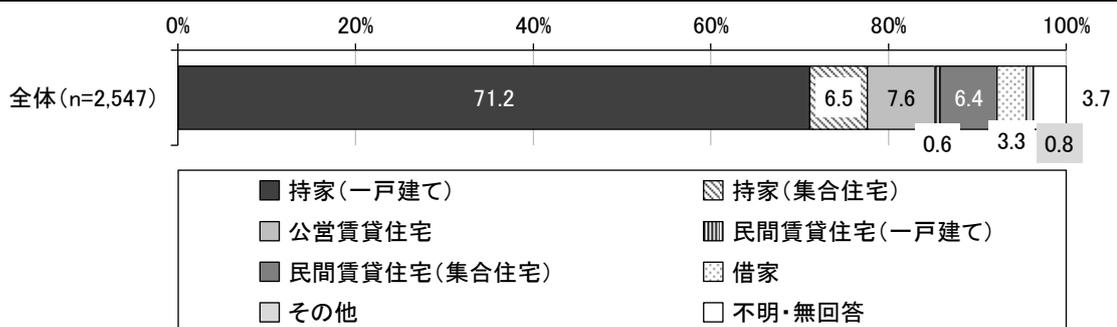
【地域別】〔問1（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「ふつう」が最も高くなっていますが、岸和田北部地域ではやや低くなっています。



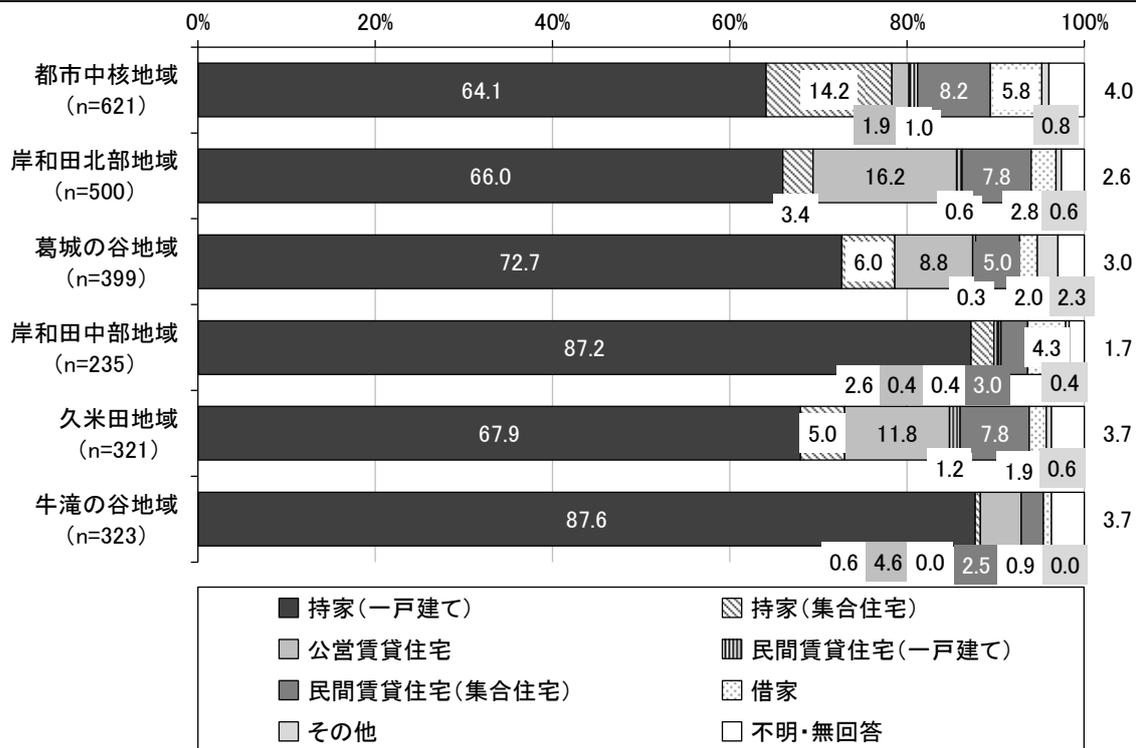
(4) お住いは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

「持家（一戸建て）」が71.2%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が7.6%、「持家（集合住宅）」が6.5%となっています。



【地域別】〔問1（4）お住いは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。〕

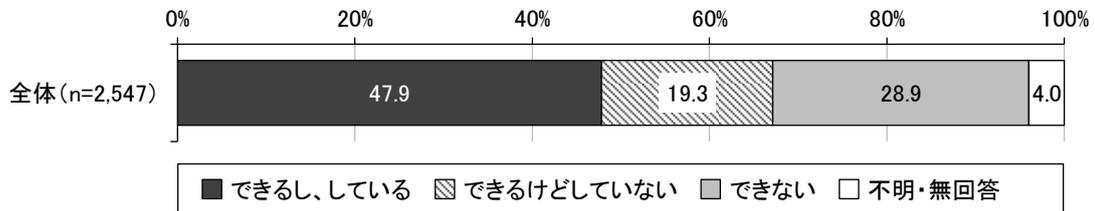
地域別にみると、すべての地区で「持家（一戸建て）」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域と牛滝の谷地域ではやや高くなっています。



問2 からだを動かすことについて

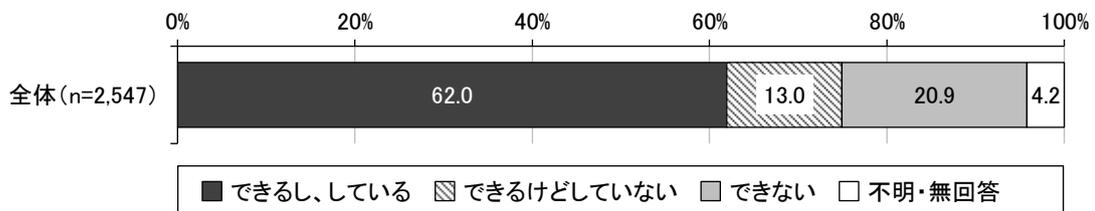
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

「できるし、している」が47.9%と最も高く、次いで「できない」が28.9%、「できるけどしていない」が19.3%となっています。



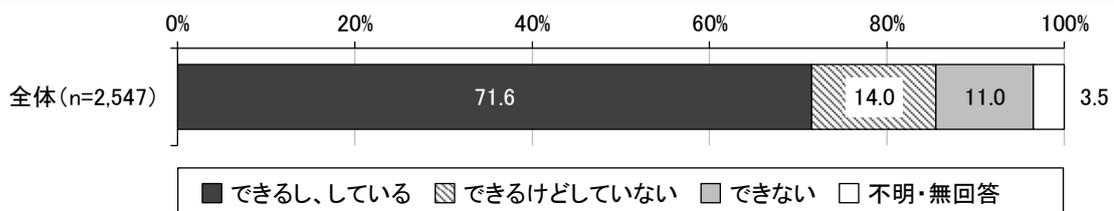
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

「できるし、している」が62.0%と最も高く、次いで「できない」が20.9%、「できるけどしていない」が13.0%となっています。



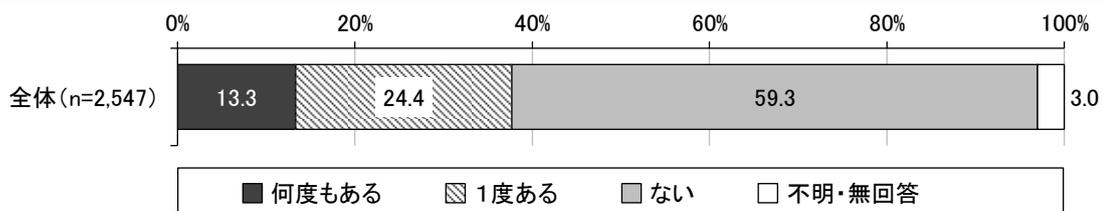
(3) 15分位続けて歩いていますか。(杖や歩行器を使用している場合も含みます)(1つに○)

「できるし、している」が71.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が11.0%となっています。



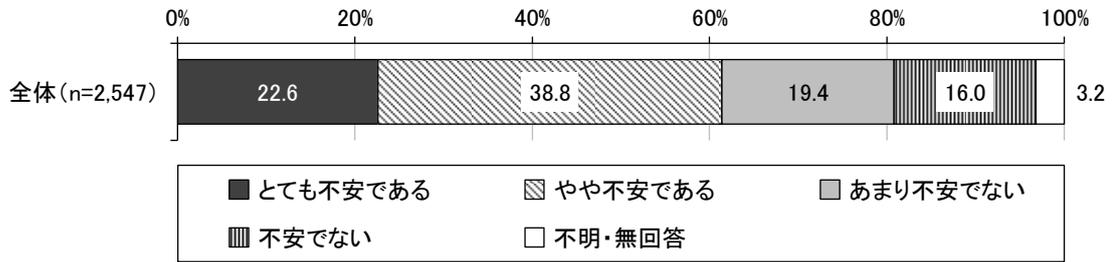
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

「ない」が59.3%と最も高く、次いで「1度ある」が24.4%、「何度もある」が13.3%となっています。



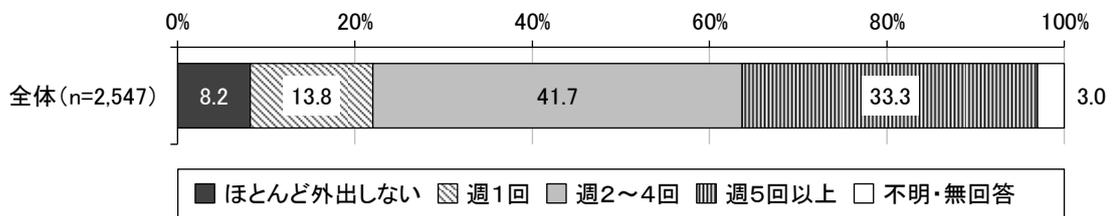
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

「やや不安である」が38.8%と最も高く、次いで「とても不安である」が22.6%、「あまり不安でない」が19.4%となっています。



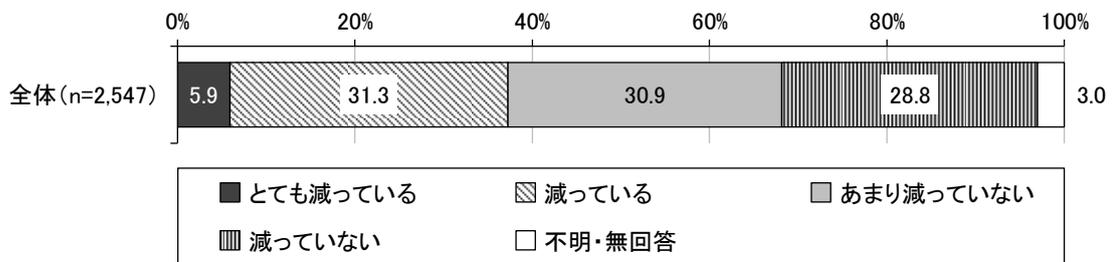
(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

「週2～4回」が41.7%と最も高く、次いで「週5回以上」が33.3%、「週1回」が13.8%となっています。



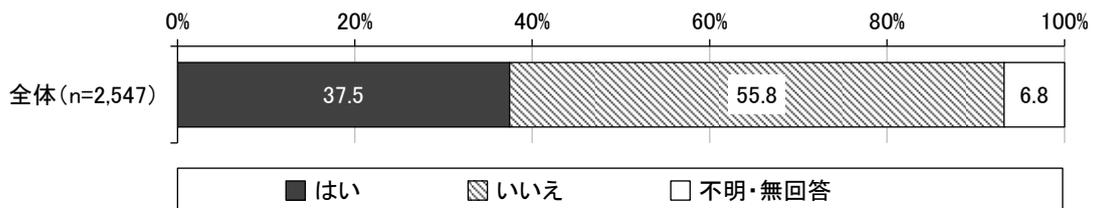
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

「減っている」が31.3%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が30.9%、「減っていない」が28.8%となっています。



(8) 外出を控えていますか。(1つに○)

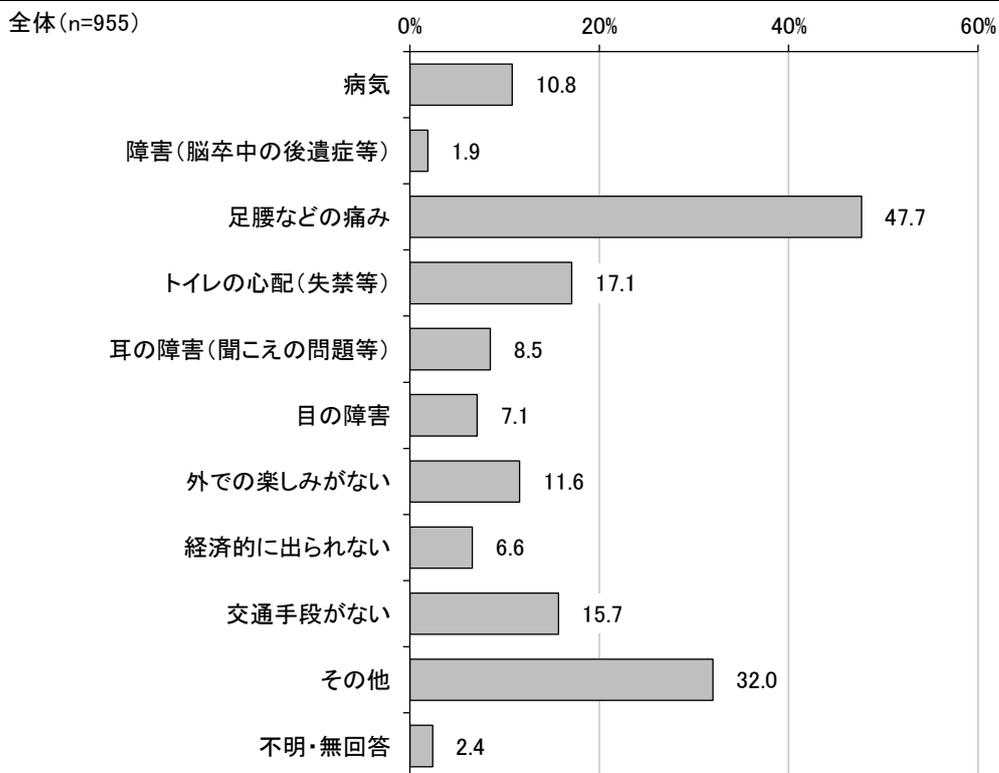
「いいえ」が55.8%と、「はい」の37.5%を上回っています。



(8)で「はい」(外出を控えている)と回答した方

(8)-1 外出を控えている理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「足腰などの痛み」が47.7%と最も高く、次いで「その他」が32.0%、「トイレの心配(失禁等)」が17.1%となっています。



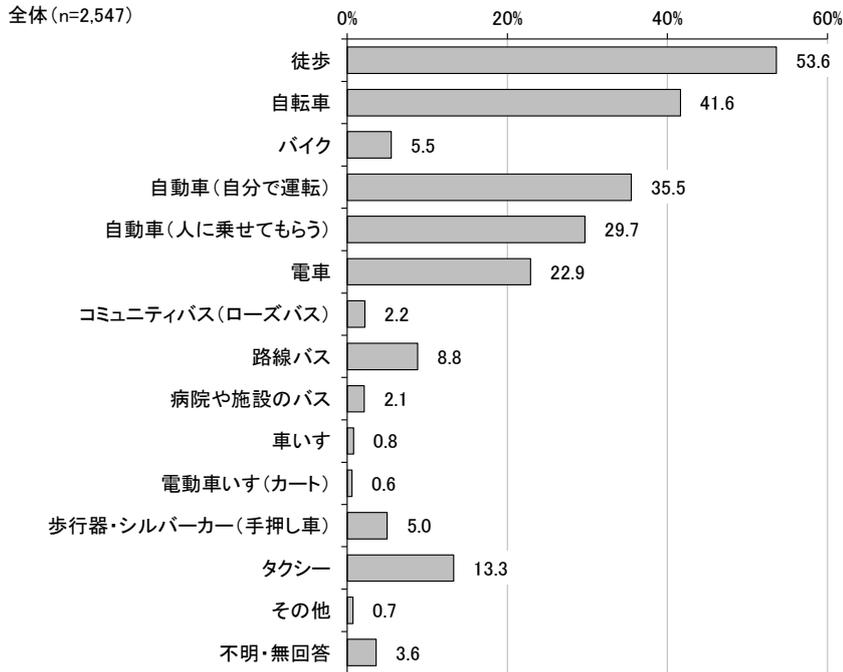
【年齢別】〔問2(8)-1 外出を控えている理由は、次のうちどれですか。〕

年齢別にみると、65~74歳では「その他」、その他の年齢では「足腰などの痛み」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		病気	障害(脳卒中の後遺症等)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁等)	耳の障害(聞こえの問題等)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	不明・無回答
全体(n=955)		10.8	1.9	47.7	17.1	8.5	7.1	11.6	6.6	15.7	32.0	2.4
年齢別	65~69歳(n=81)	13.6	3.7	28.4	7.4	2.5	0.0	8.6	4.9	6.2	54.3	1.2
	70~74歳(n=141)	9.2	2.1	38.3	7.8	2.8	5.0	12.1	11.3	9.9	47.5	2.8
	75~79歳(n=254)	14.6	1.2	48.4	14.2	5.5	8.7	9.4	8.7	15.7	31.5	2.4
	80~84歳(n=236)	7.6	2.5	51.7	20.8	10.2	8.1	11.4	5.9	17.4	26.3	3.4
	85歳以上(n=201)	9.0	1.5	60.2	24.9	16.9	8.0	13.4	3.0	21.9	19.4	1.0

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「徒歩」が53.6%と最も高く、次いで「自転車」が41.6%、「自動車(自分で運転)」が35.5%となっています。



【地域別】〔問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか。〕

地域別にみると、「徒歩」、「コミュニティバス(ローズバス)」は都市中核地域、「自転車」、「車いす」、「歩行器・シルバーカー(手押し車)」は岸和田北部地域、「路線バス」、「病院や施設のバス」は葛城の谷地域、「電車」、「電動車いす(カート)」、「タクシー」は岸和田中部地域、「その他」は久米田地域、「バイク」、「自動車(自分で運転)」、「自動車(人にのせてもらう)」は牛滝の谷地域で高くなっています。

単位: %		徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	コミュニティバス(ローズバス)	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー(手押し車)	タクシー	その他	不明・無回答
全体(n=2,547)		53.6	41.6	5.5	35.5	29.7	22.9	2.2	8.8	2.1	0.8	0.6	5.0	13.3	0.7	3.6
地域別	都市中核地域(n=621)	61.7	51.4	2.6	31.6	25.8	26.7	3.4	5.3	1.9	0.6	0.6	5.5	14.2	0.8	4.3
	岸和田北部地域(n=500)	53.6	54.2	2.4	31.4	28.0	24.0	1.6	3.2	3.2	1.4	0.6	5.8	12.6	0.4	2.4
	葛城の谷地域(n=399)	50.9	31.1	7.8	37.8	32.1	23.6	0.8	17.3	3.5	0.3	0.8	4.0	13.3	0.5	3.3
	岸和田中部地域(n=235)	48.1	37.0	7.7	41.7	34.0	26.8	6.0	8.1	0.4	0.4	0.9	3.4	16.6	0.4	1.7
	久米田地域(n=321)	58.3	40.8	6.9	35.5	32.1	22.1	2.2	8.1	1.2	0.6	0.3	4.0	12.8	1.6	3.1
	牛滝の谷地域(n=323)	45.8	22.9	11.1	45.2	35.3	13.6	0.0	14.6	1.9	1.2	0.3	4.6	11.8	0.3	3.1

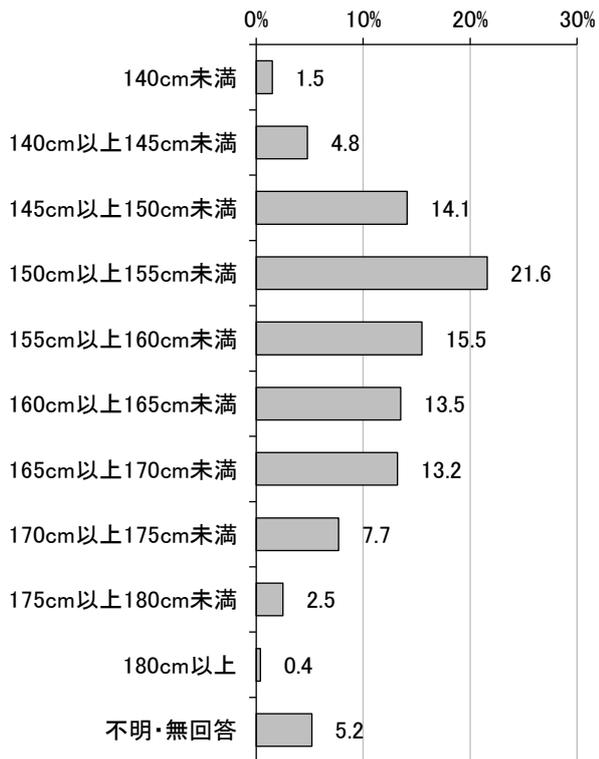
問3 食べることについて

(1) 身長・体重をそれぞれご記入ください。(数字を右詰めで記入)

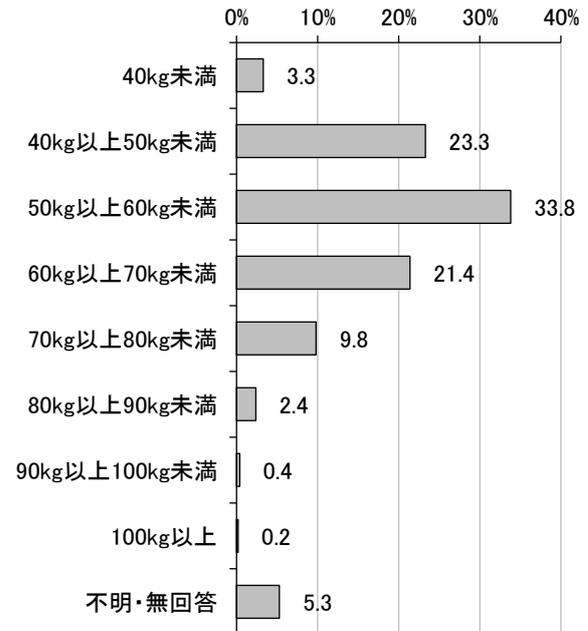
身長については、「150cm以上155cm未満」が21.6%と最も高く、次いで「155cm以上160cm未満」が15.5%、「145cm以上150cm未満」が14.1%となっています。

体重については、「50kg以上60kg未満」が33.8%と最も高く、次いで「40kg以上50kg未満」が23.3%、「60kg以上70kg未満」が21.4%となっています。

全体(n=2,547)

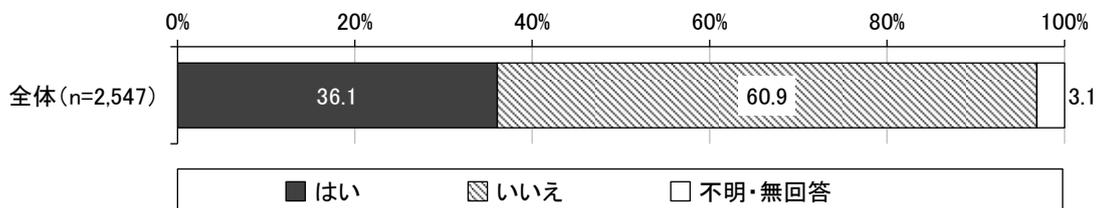


全体(n=2,547)



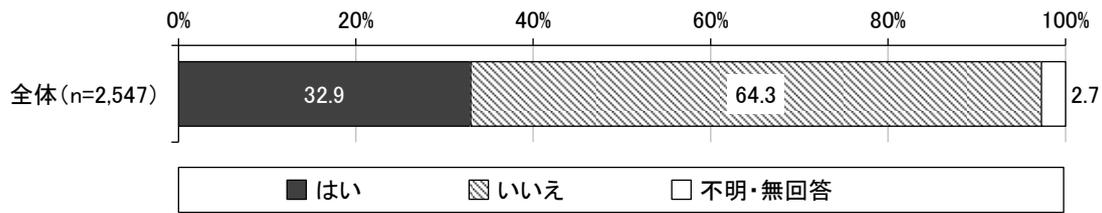
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

「いいえ」が60.9%と、「はい」の36.1%を上回っています。



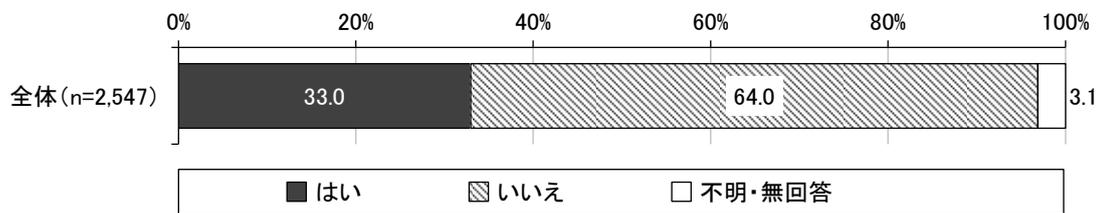
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

「いいえ」が64.3%と、「はい」の32.9%を上回っています。



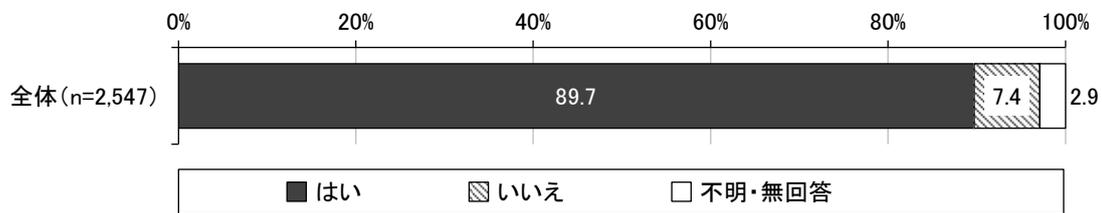
(4) 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

「いいえ」が64.0%と、「はい」の33.0%を上回っています。



(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○)

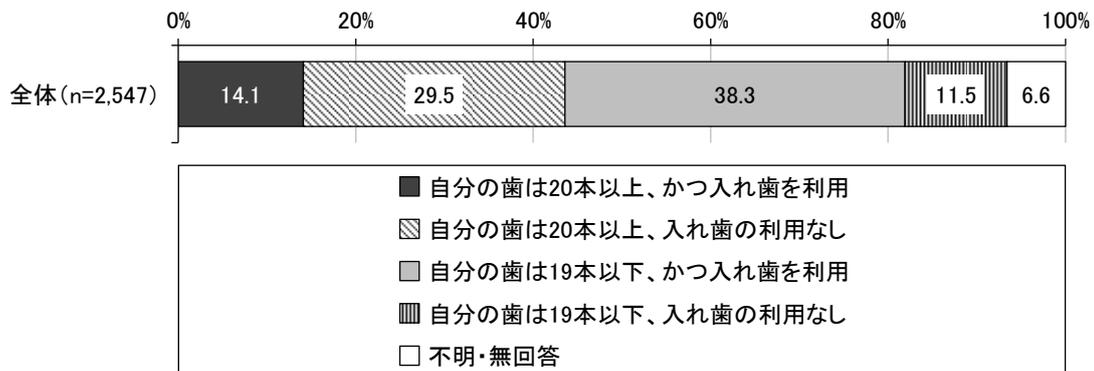
「はい」が89.7%と、「いいえ」の7.4%を上回っています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

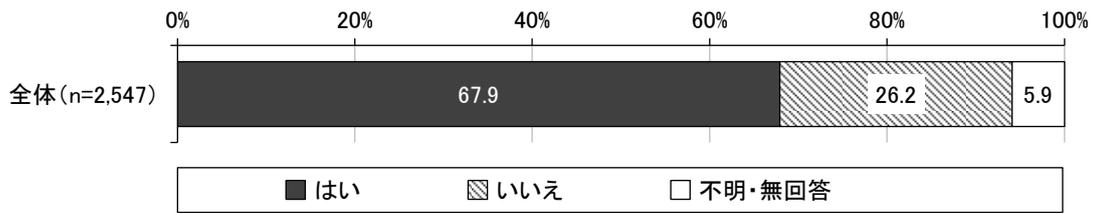
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.3%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.1%となっています。



(6) - 1 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

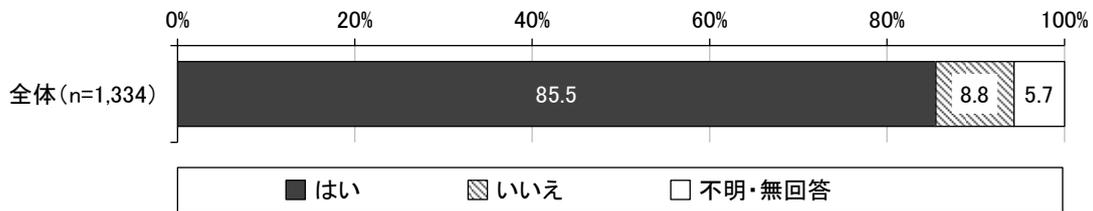
「はい」が67.9%と、「いいえ」の26.2%を上回っています。



(6) で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(入れ歯を利用している)と回答した方

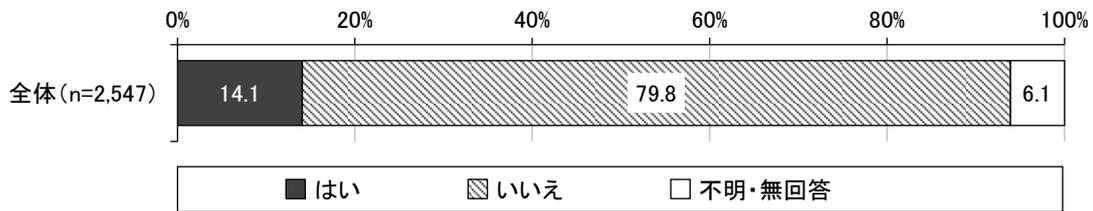
(6) - 2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

「はい」が85.5%と、「いいえ」の8.8%を上回っています。



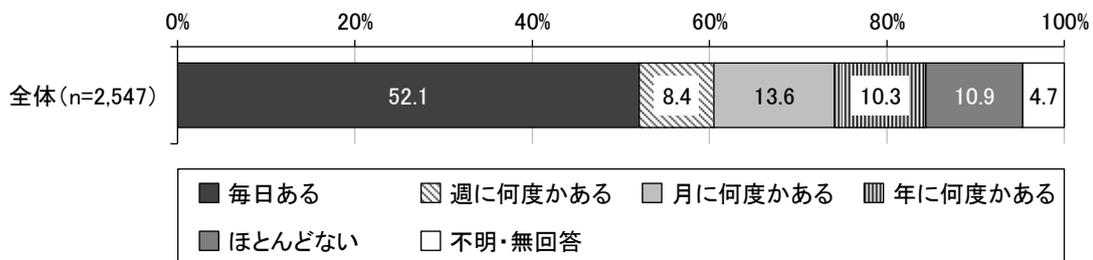
(7) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

「いいえ」が79.8%と、「はい」の14.1%を上回っています。



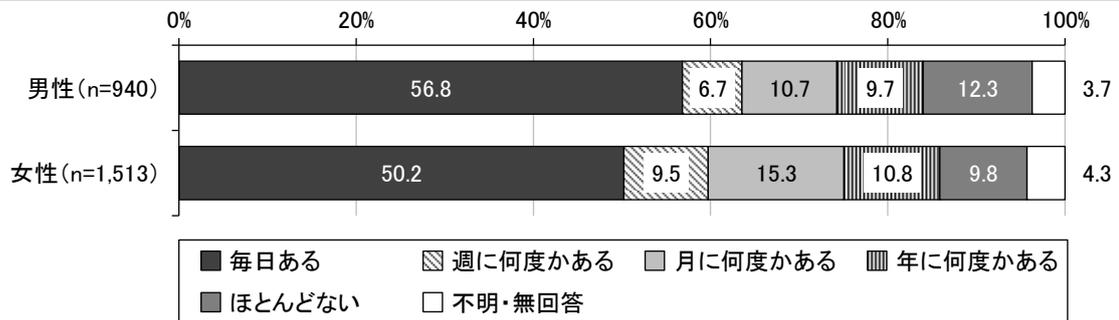
(8) どなたかと食事をともしる機会がありますか。(1つに○)

「毎日ある」が52.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」が13.6%、「ほとんどない」が10.9%となっています。



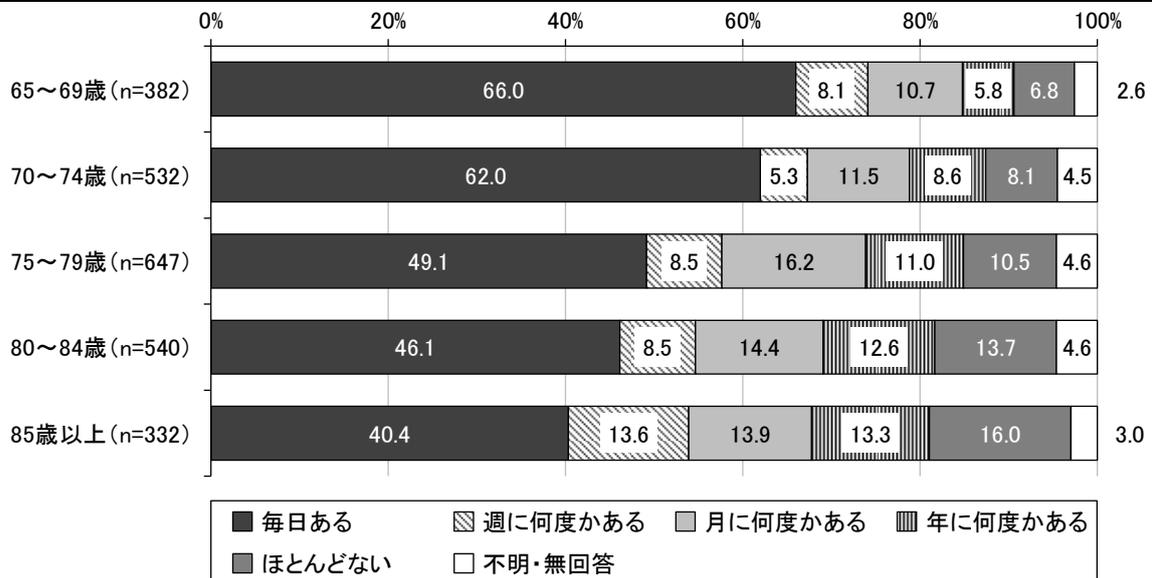
【性別】〔問3（8） どなたかと食事をとる機会がありますか。〕

性別にみると、男女ともに「毎日ある」が最も高くなっていますが、男性が56.8%と女性を6.6ポイント上回っています。



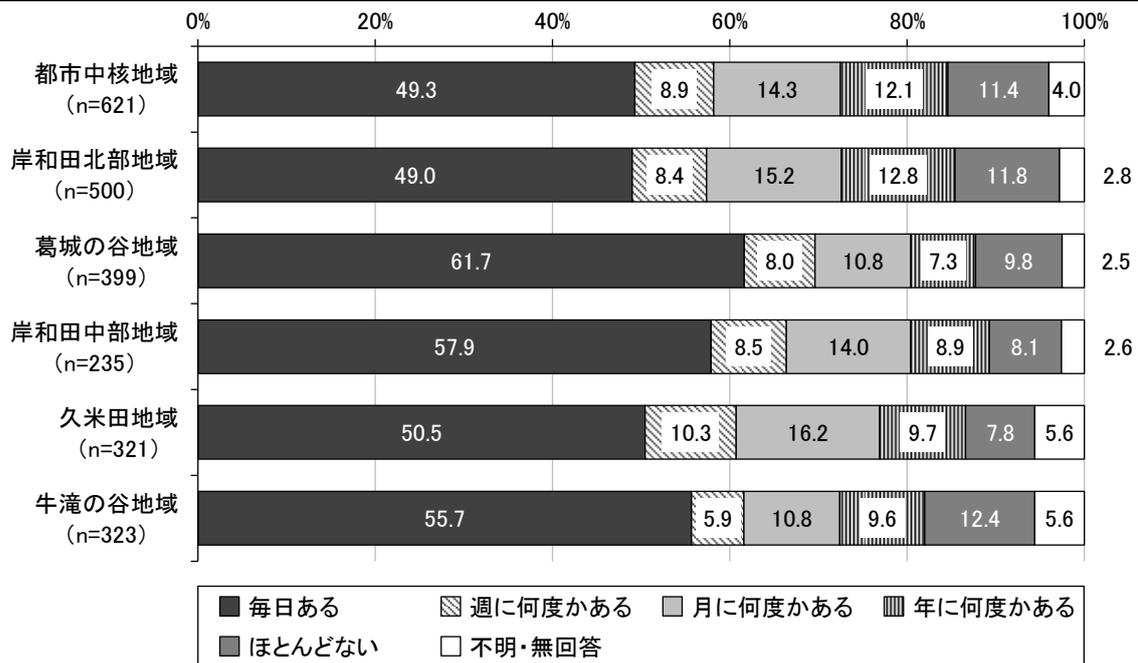
【年齢別】〔問3（8） どなたかと食事をとる機会がありますか。〕

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「毎日ある」が低くなっています。



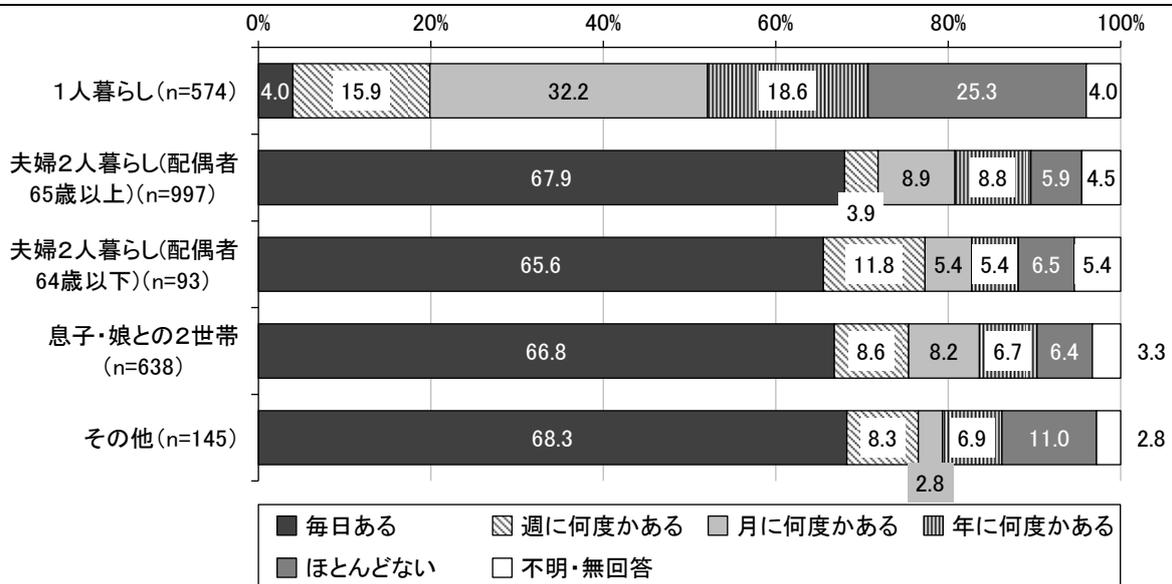
【地域別】〔問3（8） どなたかと食事をとる機会がありますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「毎日ある」が最も高くなっています。



【家族構成別】〔問3（8） どなたかと食事をとる機会がありますか。〕

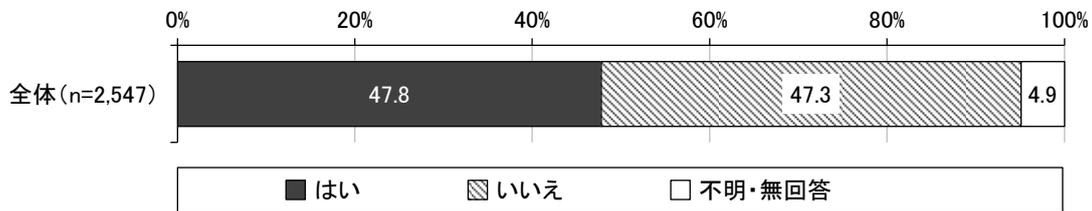
家族構成別にみると、1人暮らしでは「月に何度かある」、その他の家族構成では「毎日ある」がそれぞれ最も高くなっています。



問4 毎日の生活について

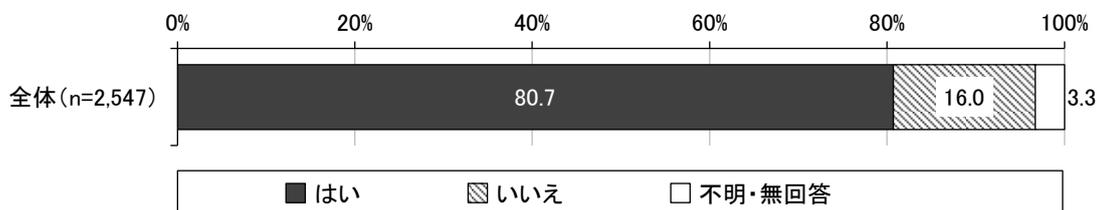
(1) 物忘れが多いと感じますか (1つに○)

「はい」が47.8%と、「いいえ」の47.3%を上回っています。



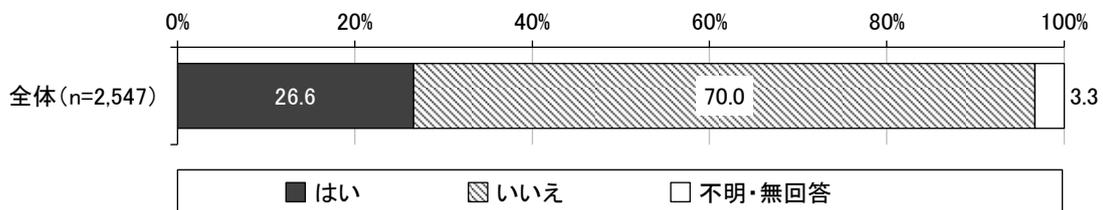
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つに○)

「はい」が80.7%と、「いいえ」の16.0%を上回っています。



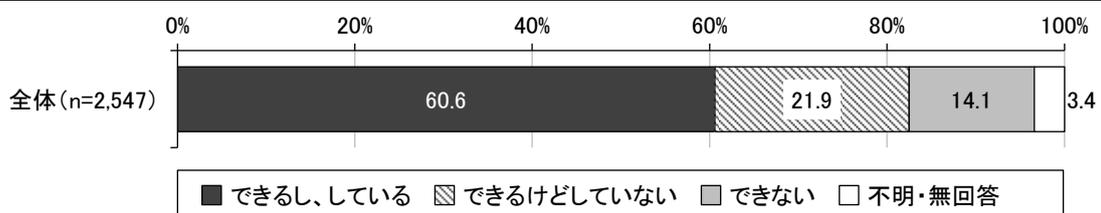
(3) 今日が何月何日かわからないときがありますか (1つに○)

「いいえ」が70.0%と、「はい」の26.6%を上回っています。



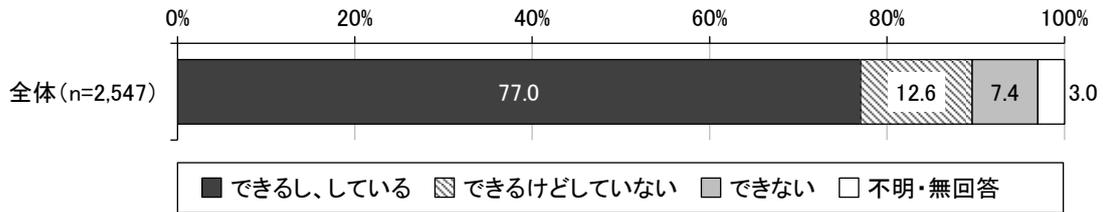
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つに○)

「できるし、している」が60.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.9%、「できない」が14.1%となっています。



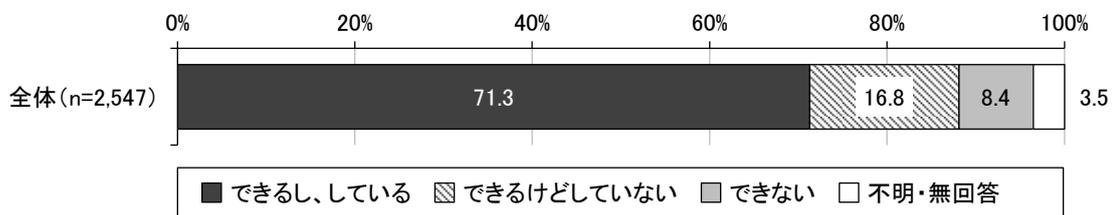
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)

「できるし、している」が77.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.6%、「できない」が7.4%となっています。



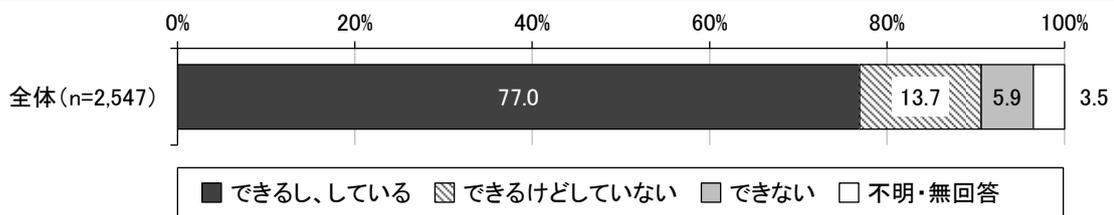
(6) 自分で食事の用意をしていますか (1つに○)

「できるし、している」が71.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.8%、「できない」が8.4%となっています。



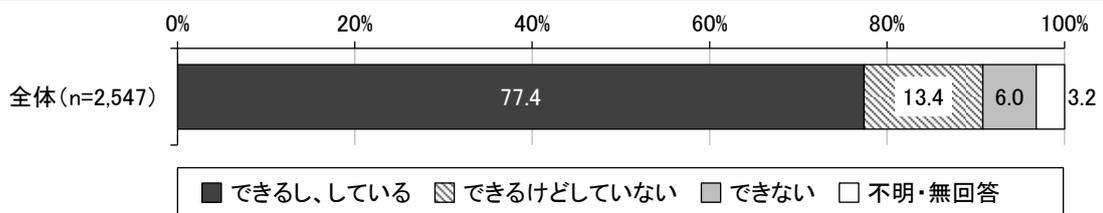
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)

「できるし、している」が77.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が5.9%となっています。



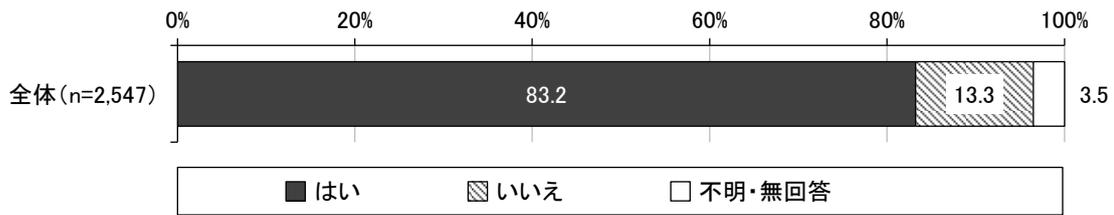
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)

「できるし、している」が77.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が6.0%となっています。



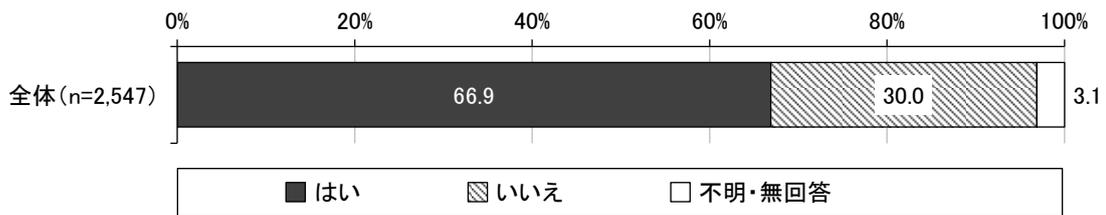
(9) 年金などの書類（役場や病院に出す書類）が書けますか（1つに○）

「はい」が83.2%と、「いいえ」の13.3%を上回っています。



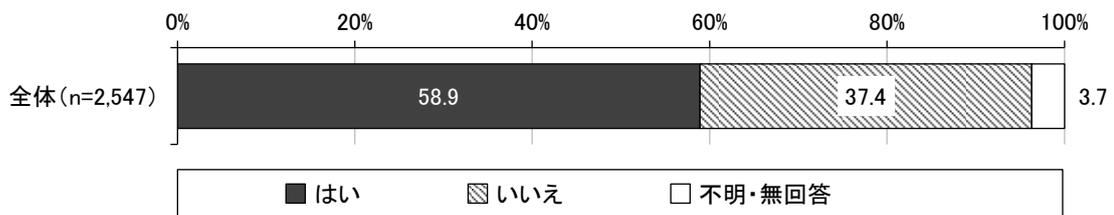
(10) 新聞を読んでいますか（1つに○）

「はい」が66.9%と、「いいえ」の30.0%を上回っています。



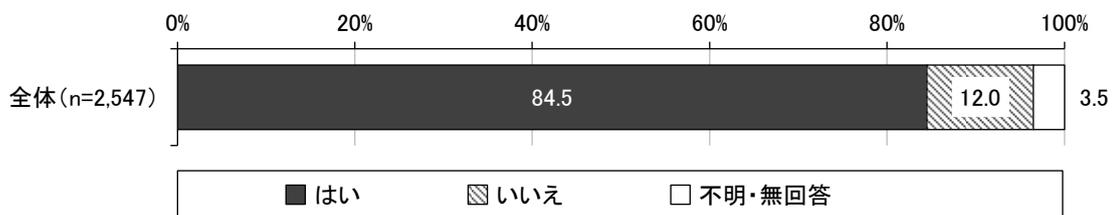
(11) 本や雑誌を読んでいますか（1つに○）

「はい」が58.9%と、「いいえ」の37.4%を上回っています。



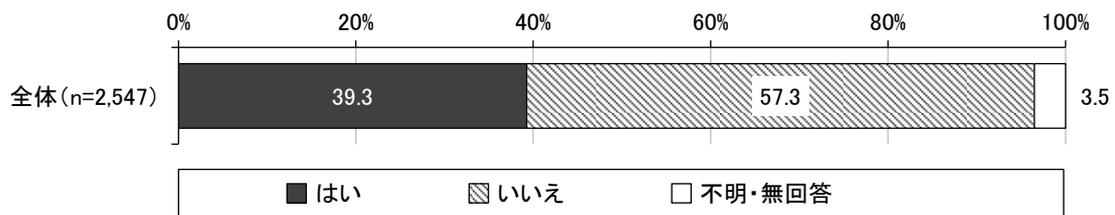
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つに○）

「はい」が84.5%と、「いいえ」の12.0%を上回っています。



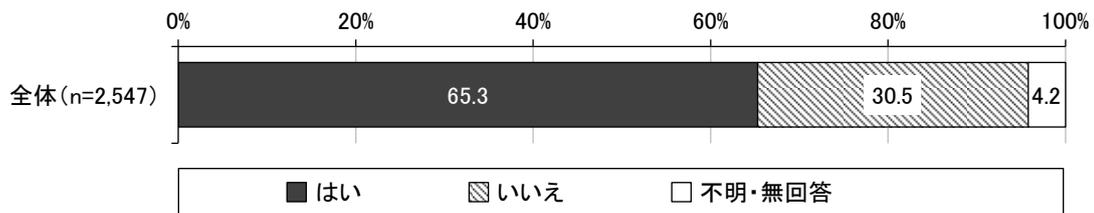
(13) 友人の家を訪ねていますか (1つに○)

「いいえ」が57.3%と、「はい」の39.3%を上回っています。



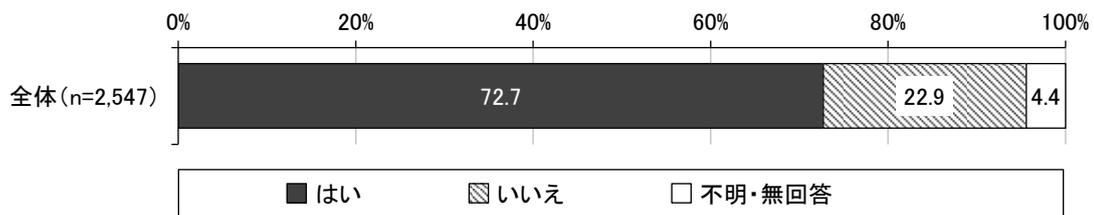
(14) 家族や友人の相談にのっていますか (1つに○)

「はい」が65.3%と、「いいえ」の30.5%を上回っています。



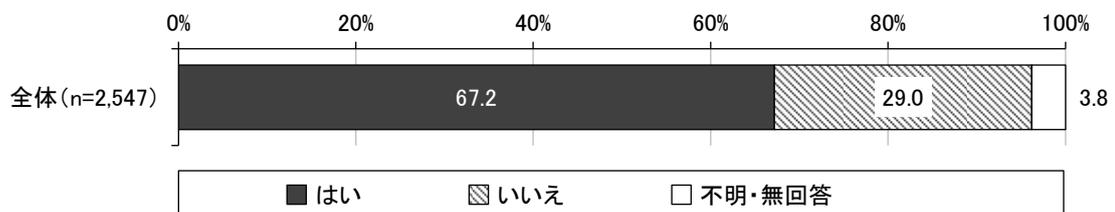
(15) 病人を見舞うことができますか (1つに○)

「はい」が72.7%と、「いいえ」の22.9%を上回っています。



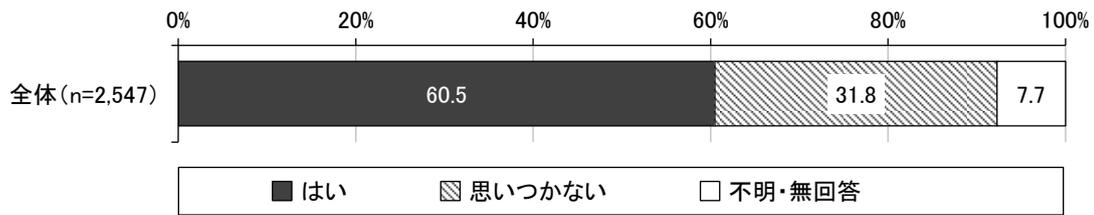
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (1つに○)

「はい」が67.2%と、「いいえ」の29.0%を上回っています。



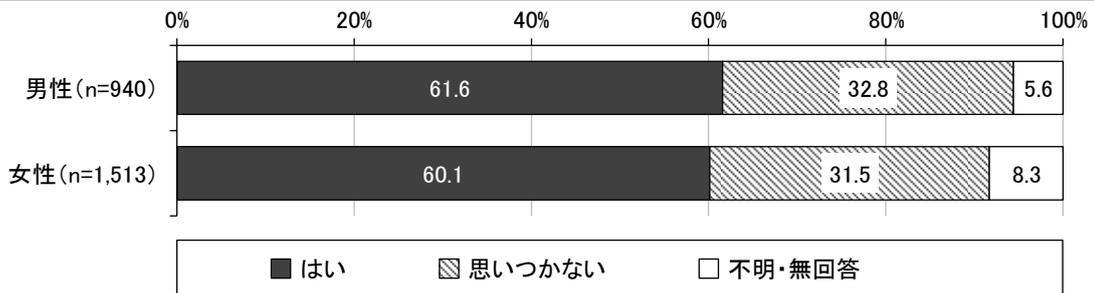
(17) 趣味はありますか（1つに○）

「はい」が60.5%と、「思いつかない」の31.8%を上回っています。



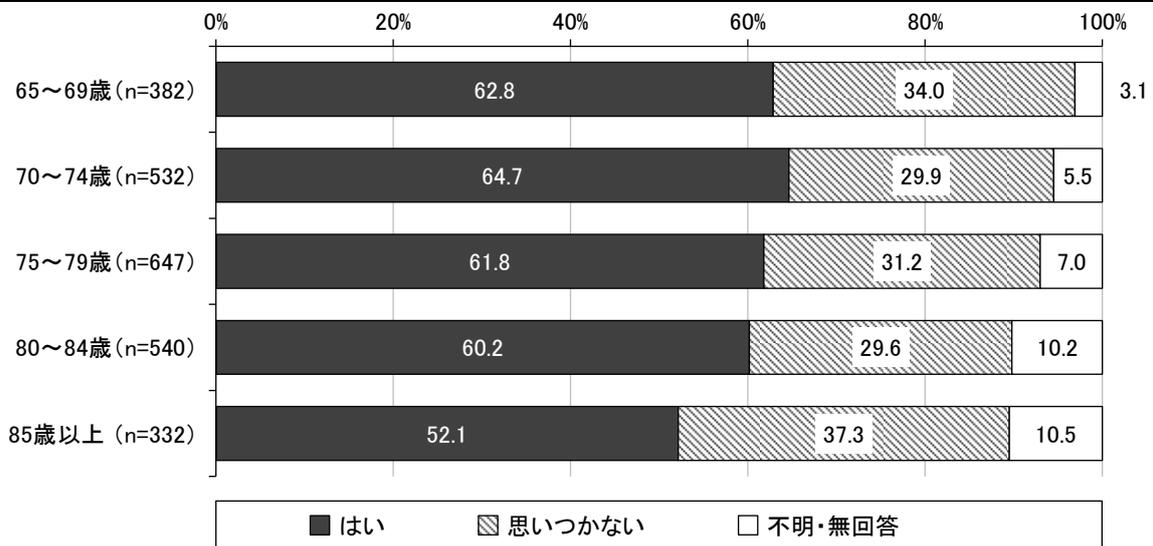
【性別】〔問4 (17) 趣味はありますか〕

性別にみると、男女ともに「はい」が最も高くなっています。



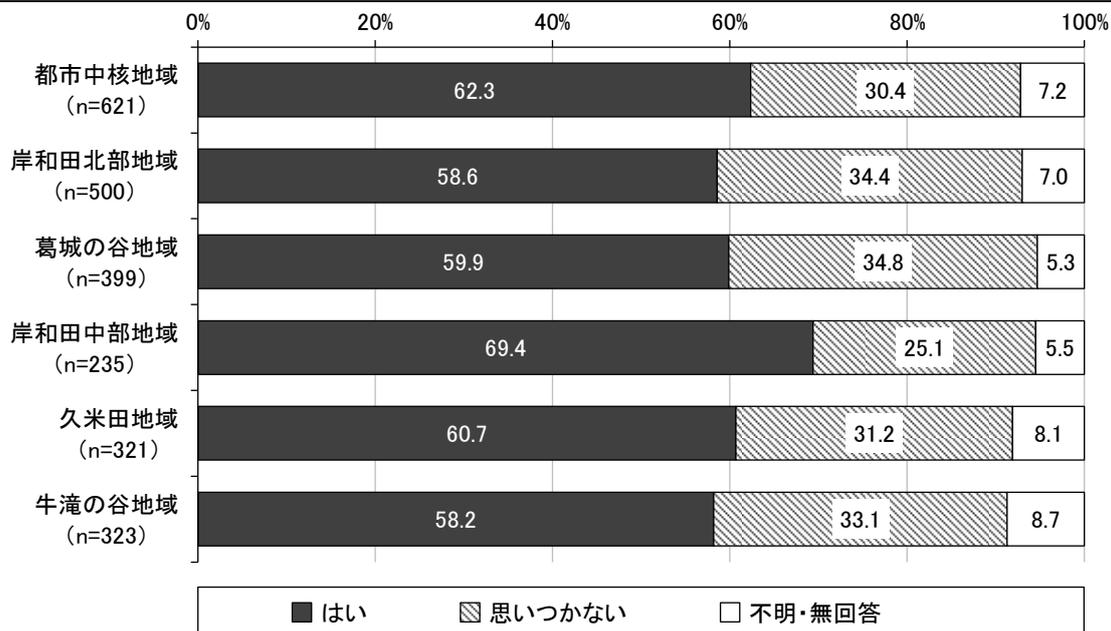
【年齢別】〔問4 (17) 趣味はありますか〕

年齢別にみると、いずれの年齢も「はい」が最も高くなっていますが、85歳以上ではやや低くなっています。



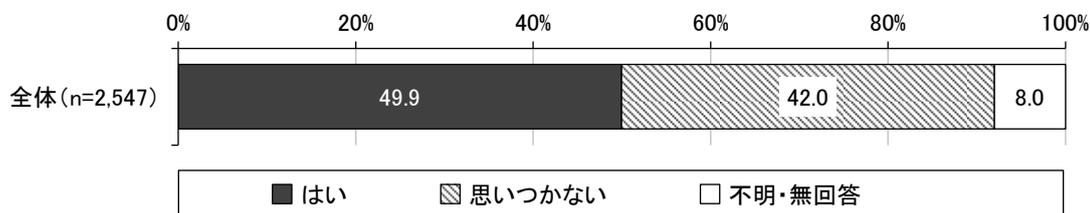
【地域別】〔問4（17） 趣味はありますか〕

地域別にみると、すべての地区で「はい」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域ではやや高くなっています。



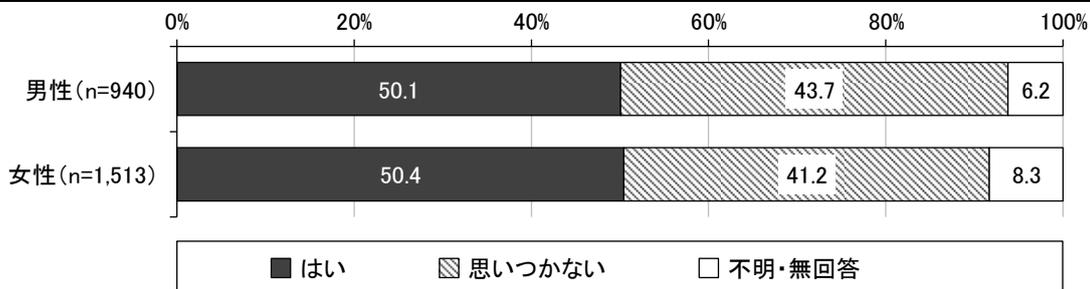
(18) 生きがいがありますか（1つに○）

「はい」が49.9%と、「思いつかない」の42.0%を上回っています。



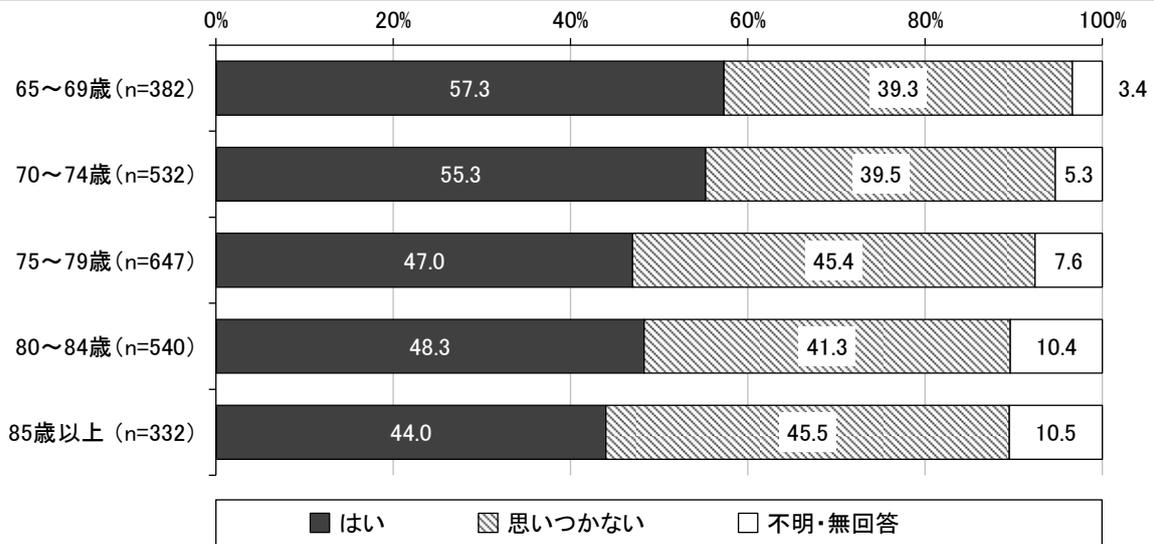
【性別】〔問4（18） 生きがいがありますか〕

性別にみると、男女ともに「はい」が最も高くなっています。



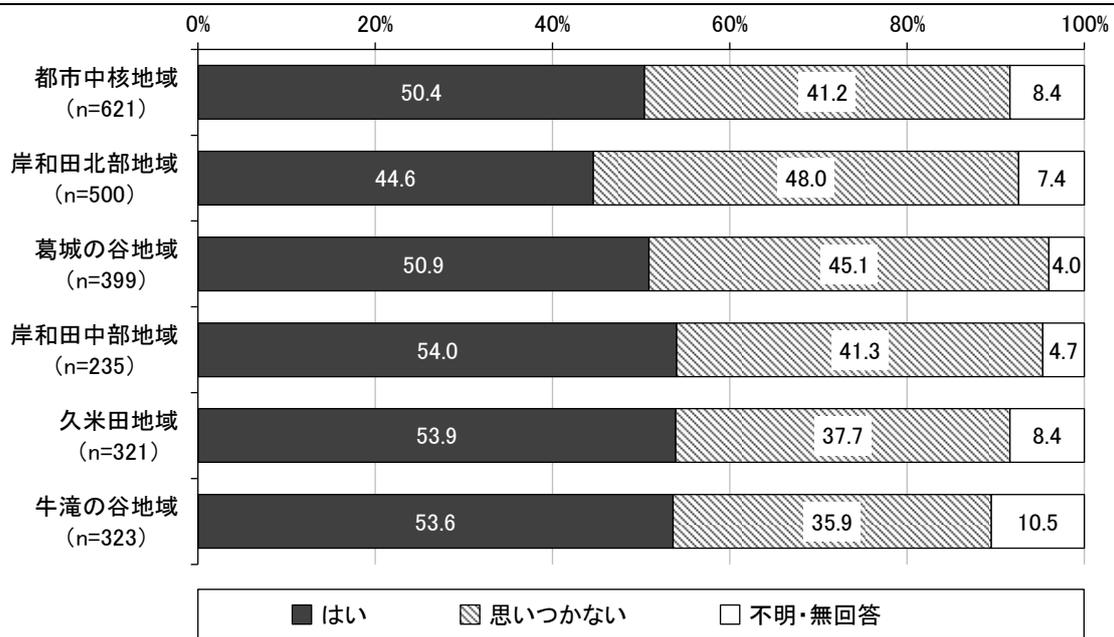
【年齢別】〔問4（18） 生きがいがありますか〕

年齢別にみると、85歳以上では「思いつかない」、その他の年齢では「はい」がそれぞれ最も高くなっています。



【地域別】〔問4（18） 生きがいがありますか〕

地域別にみると、岸和田北部地域では「思いつかない」、その他の地域では「はい」がそれぞれ最も高くなっています。

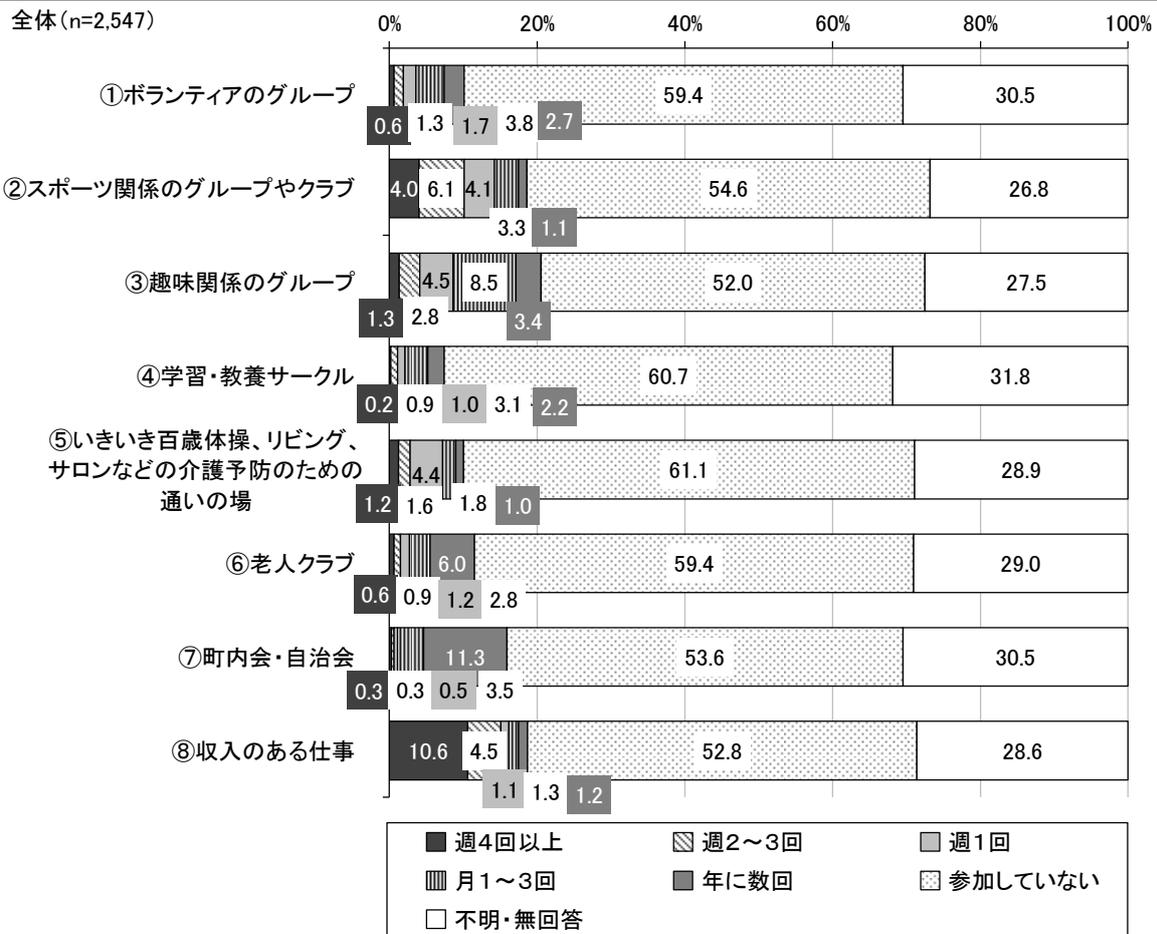


問5 地域での活動について

(1) 以下のようなサークル・グループ活動等にどのくらいの頻度で参加していますか。

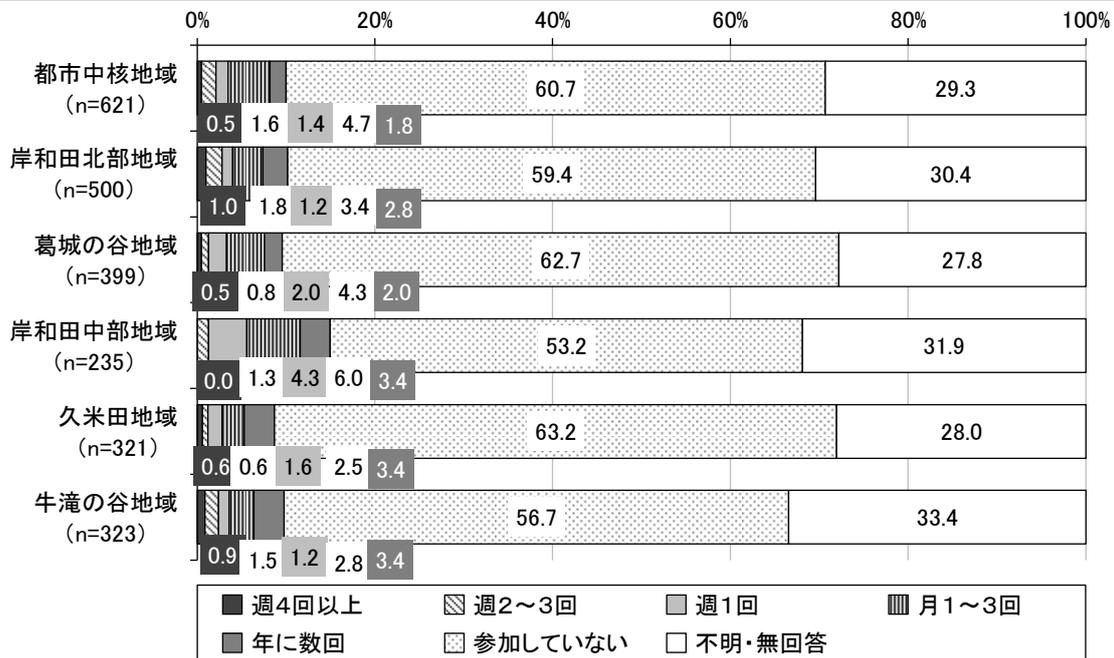
(①～⑧それぞれ1つに○)

すべての種別についてみると、「参加していない」が最も高く、次いで“ボランティアのグループ”“趣味関係のグループ”“学習・教養サークル”では「月1～3回」、「スポーツ関係のグループやクラブ」では「週2～3回」、「いきいき百歳体操、リビング、サロンなどの介護予防のための通いの場」では「週1回」、「老人クラブ」“町内会・自治会”では「年に数回」、「収入のある仕事」では「週4回以上」が高くなっています。



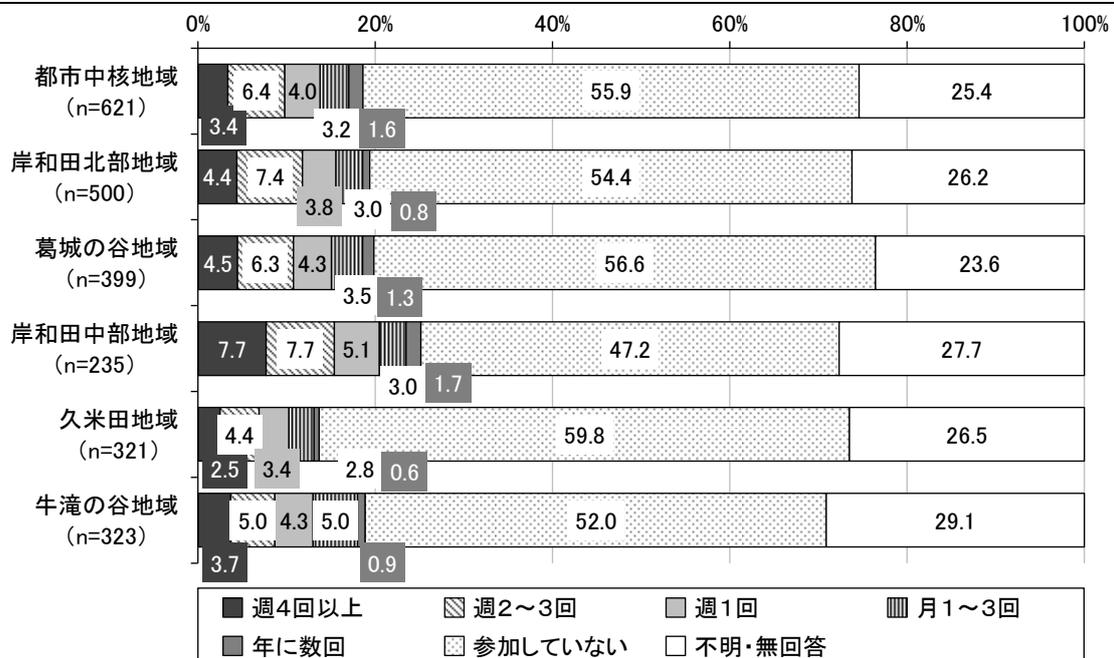
【地域別 ①ボランティアのグループ】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域ではやや低くなっています。



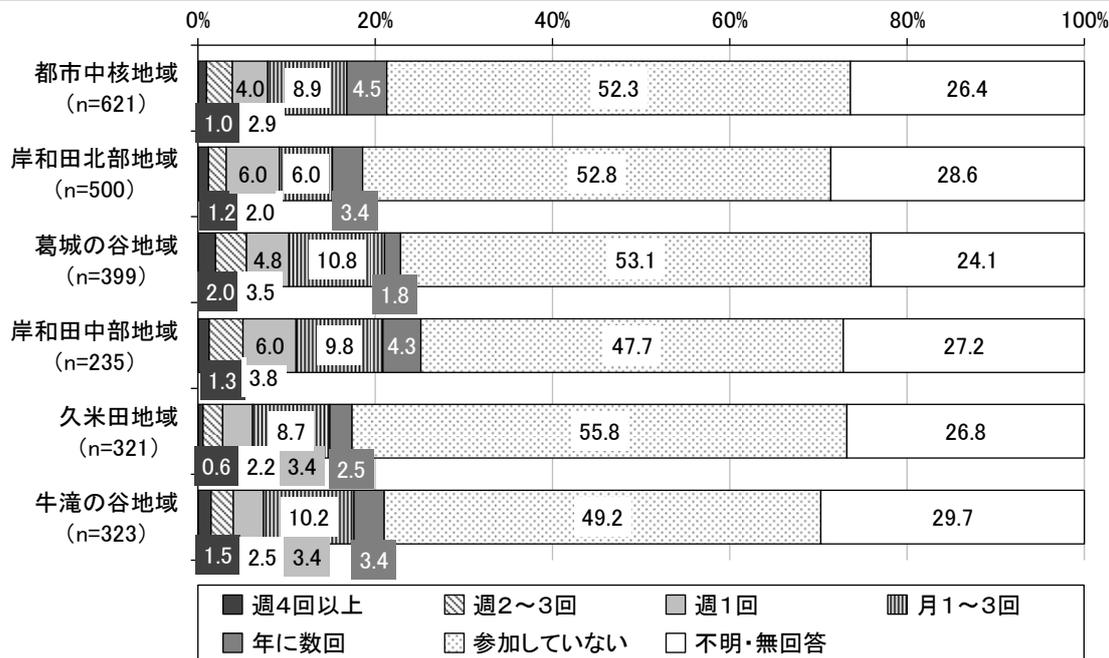
【地域別 ②スポーツ関係のグループやクラブ】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域ではやや低くなっています。



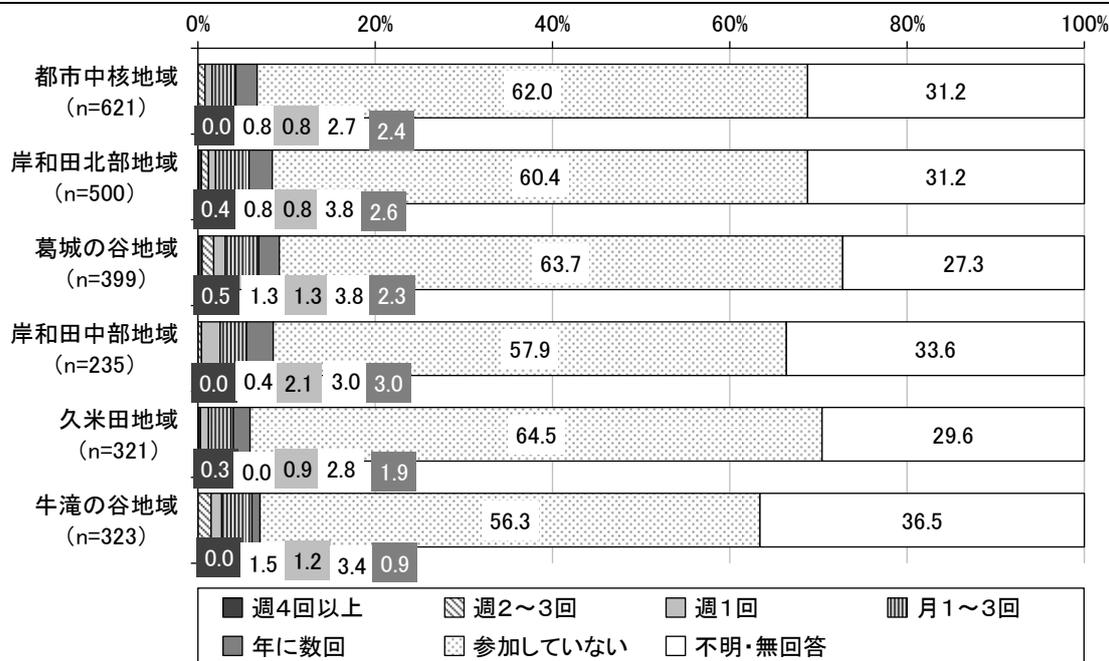
【地域別 ③趣味関係のグループ】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域と牛滝の谷地域ではやや低くなっています。



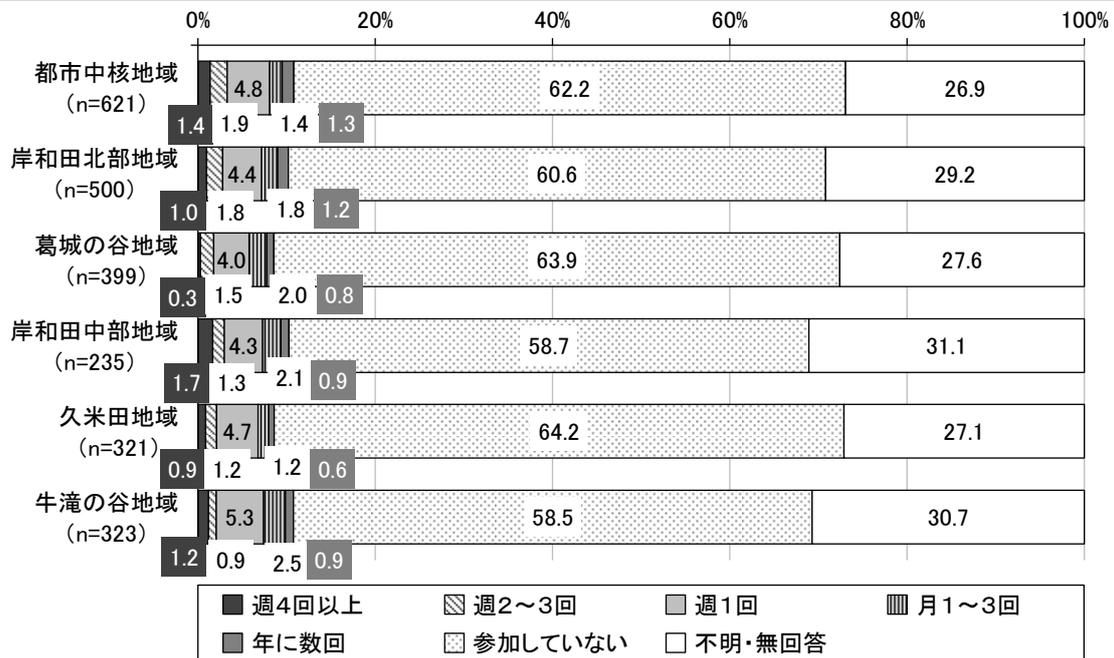
【地域別 ④学習・教養サークル】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域と牛滝の谷地域ではやや低くなっています。



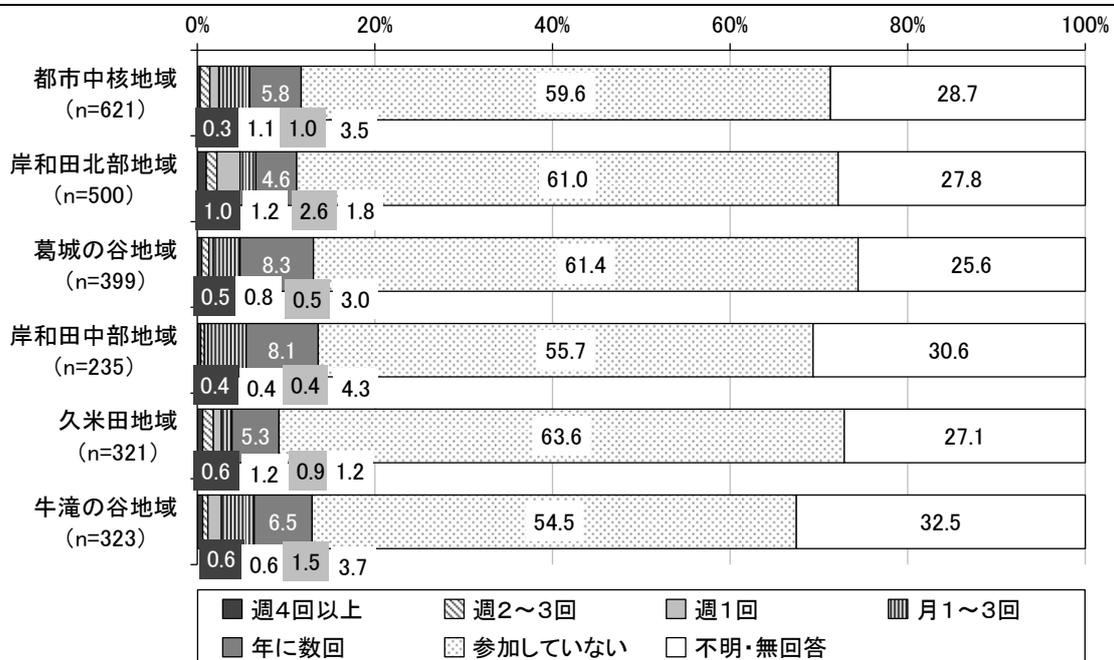
【地域別 ⑤いきいき百歳体操、リビング、サロンなどの介護予防のための通いの場】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域と牛滝の谷地域ではやや低くなっています。



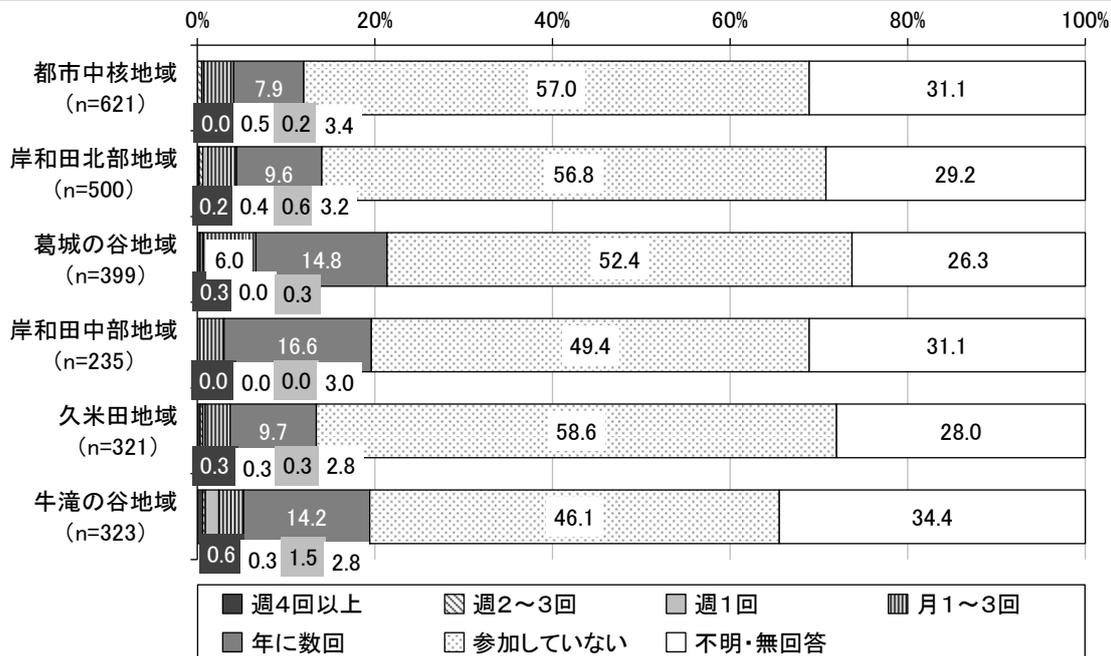
【地域別 ⑥老人クラブ】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域と牛滝の谷地域ではやや低くなっています。



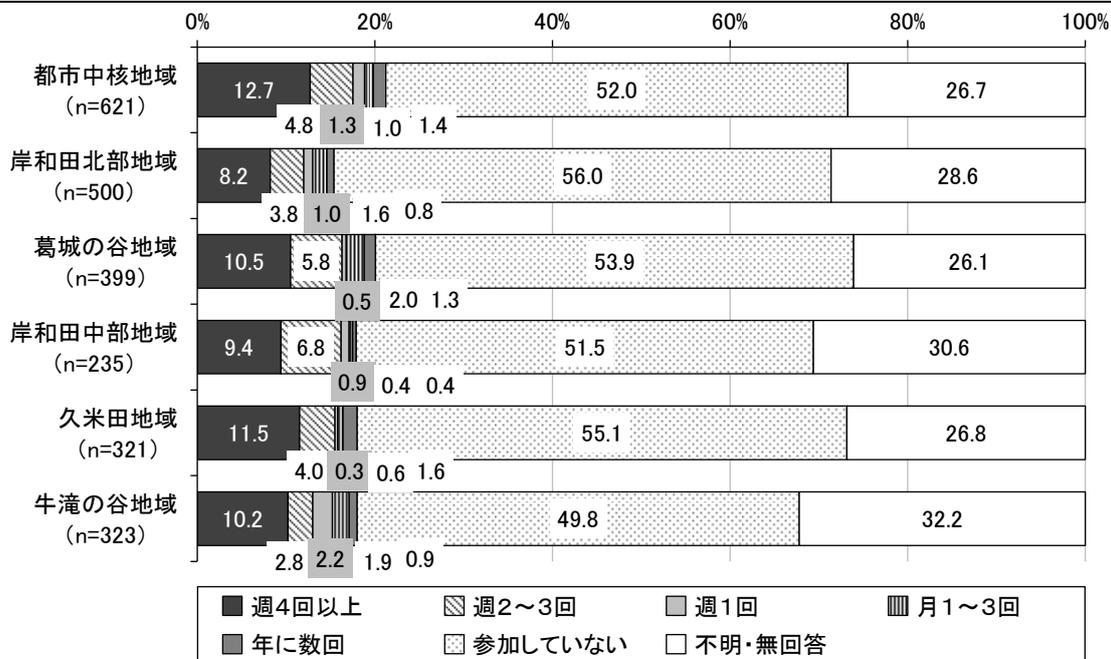
【地域別 ⑦町内会・自治会】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域と牛滝の谷地域ではやや低くなっています。



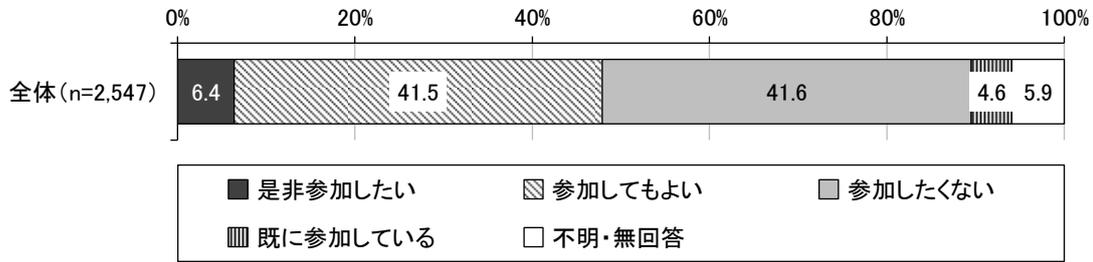
【地域別 ⑧収入のある仕事】

地域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっていますが、牛滝の谷地域ではやや低くなっています。



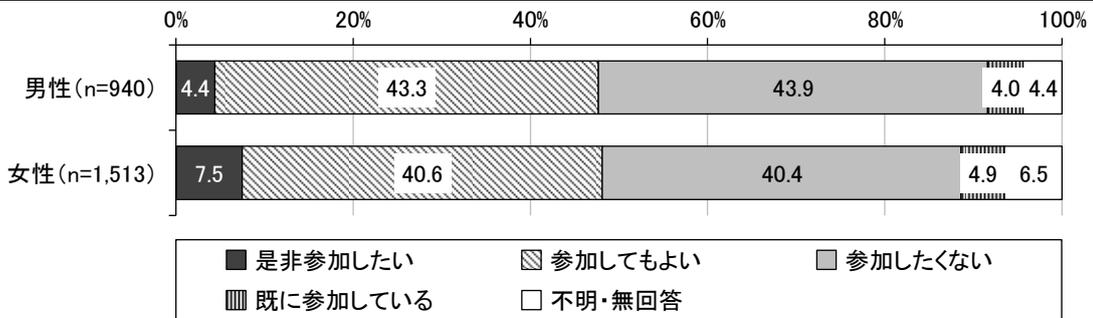
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

「参加したくない」が41.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」が41.5%、「是非参加したい」が6.4%となっています。



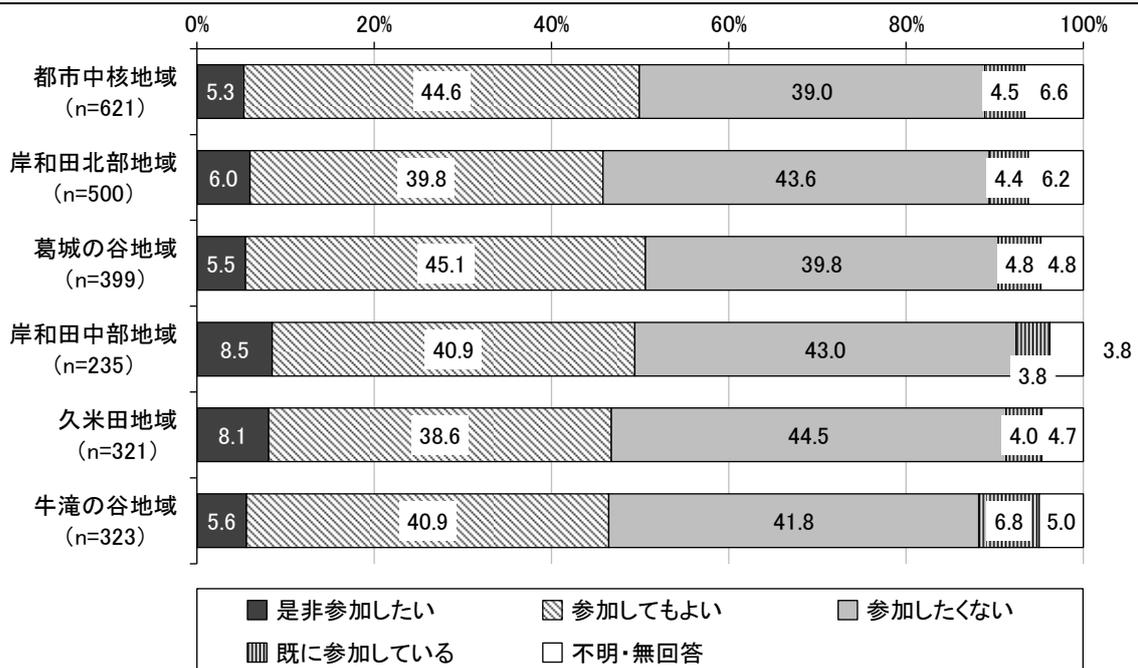
【性別】〔問5(2) 活動に参加者として参加してみたいと思いますか。〕

性別にみると、男性では「参加したくない」、女性では「参加してもよい」が最も高くなっています。



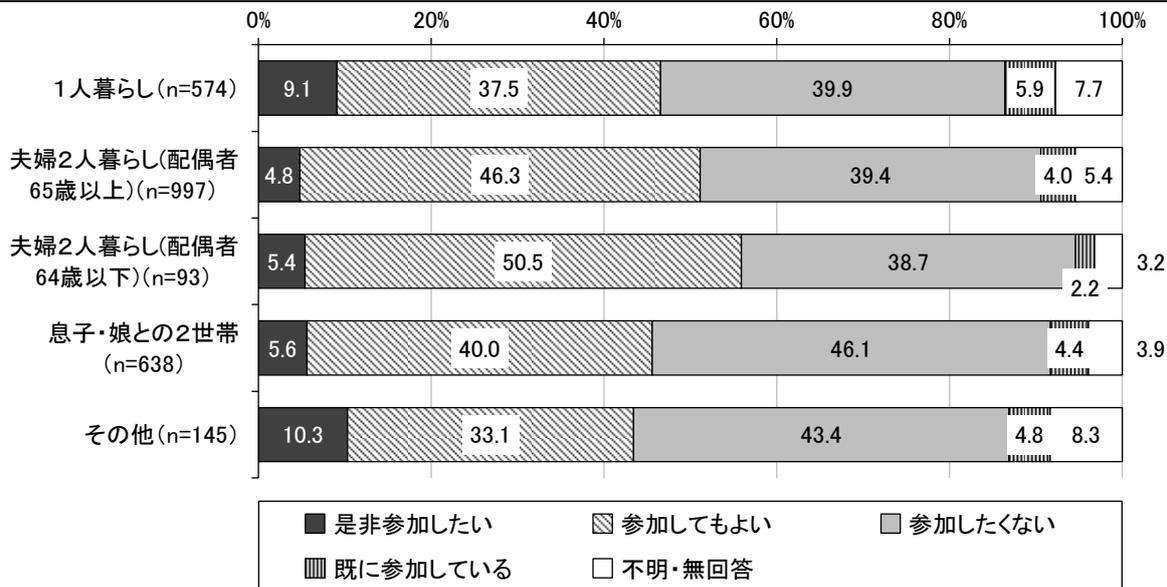
【地域別】〔問5(2) 活動に参加者として参加してみたいと思いますか。〕

地域別にみると、都市中核地域と葛城の谷地域では「参加してもよい」、その他の地域では「参加したくない」がそれぞれ最も高くなっています。



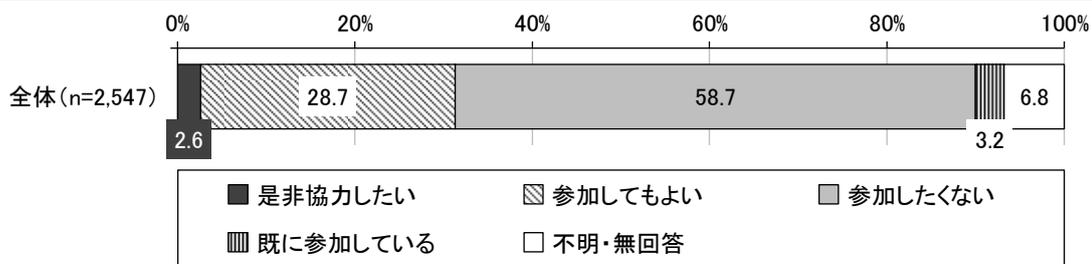
【家族構成別】〔問5（2） 活動に参加者として参加してみたいと思いますか。〕

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)と夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)では「参加してもよい」、その他の家族構成では「参加したくない」がそれぞれ最も高くなっています。



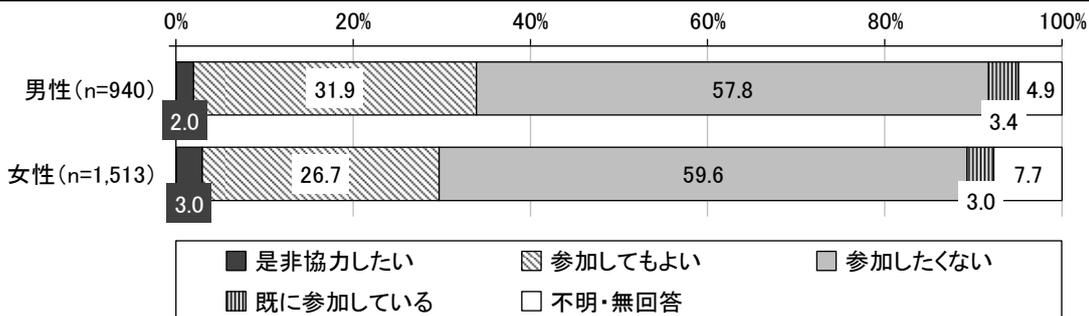
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

「参加したくない」が58.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」が28.7%、「既に参加している」が3.2%となっています。



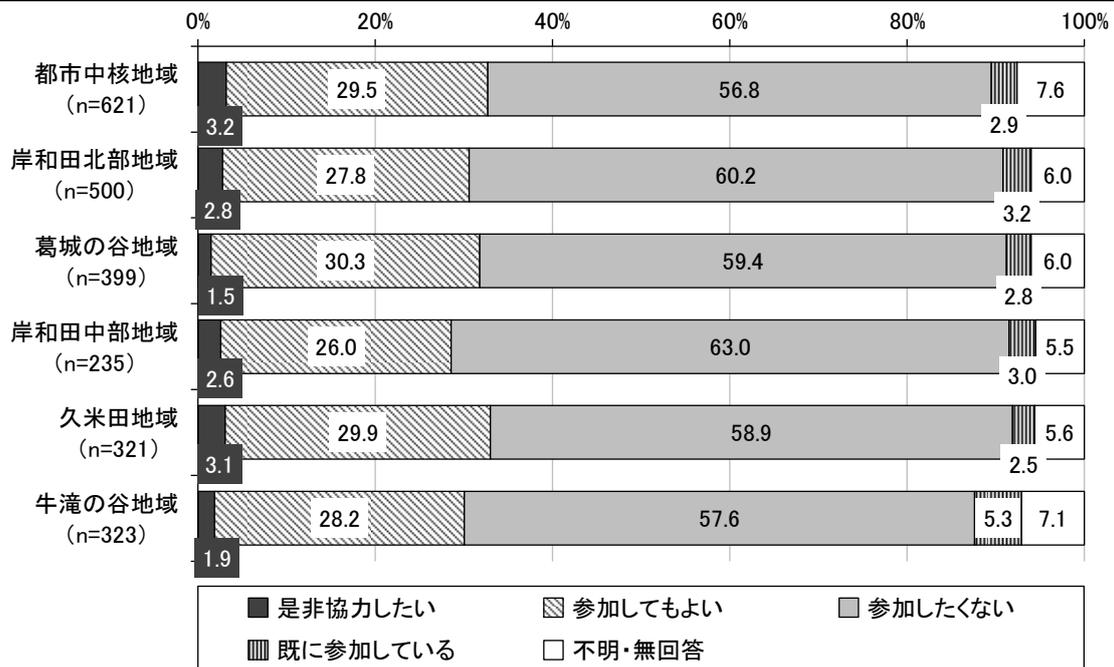
【性別】〔問5（2） 活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。〕

性別にみると、男女ともに「参加したくない」が最も高くなっています。



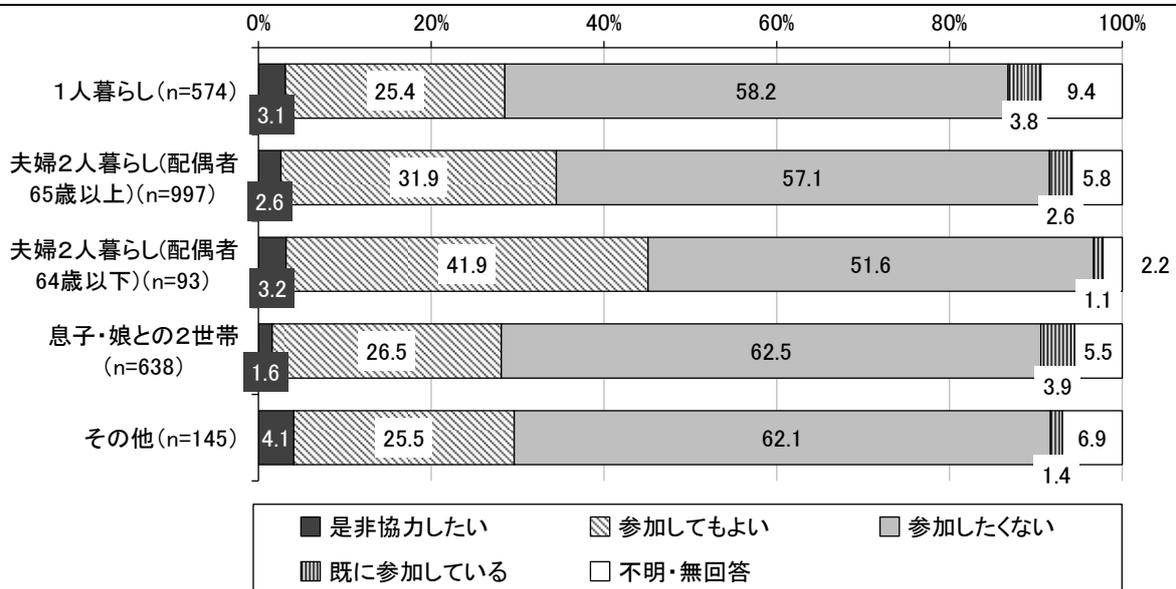
【地域別】〔問5（2） 活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「参加したくない」が最も高くなっています。



【家族構成別】〔問5（2） 活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。〕

家族構成別にみると、すべての地区で「参加したくない」が最も高くなっていますが、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）ではやや低くなっています。

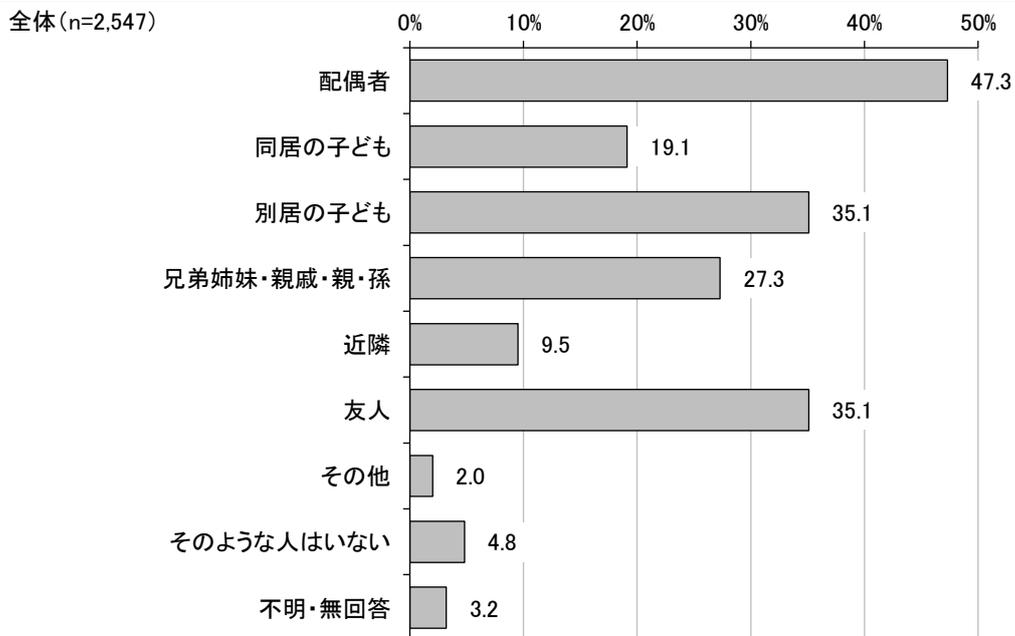


問6 たすけあいについて

次の(1)～(8)について、あてはまるものをすべて選んでください。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

「配偶者」が47.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」「友人」が35.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.3%となっています。



【性別】〔問6(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人〕

性別にみると、男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も高くなっています。

単位: %		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		47.3	19.1	35.1	27.3	9.5	35.1	2.0	4.8	3.2
性別	男性(n=940)	66.1	13.1	25.7	17.4	3.4	23.0	2.0	8.1	2.8
	女性(n=1,513)	36.3	23.0	41.3	33.6	13.5	43.0	1.9	2.4	3.3

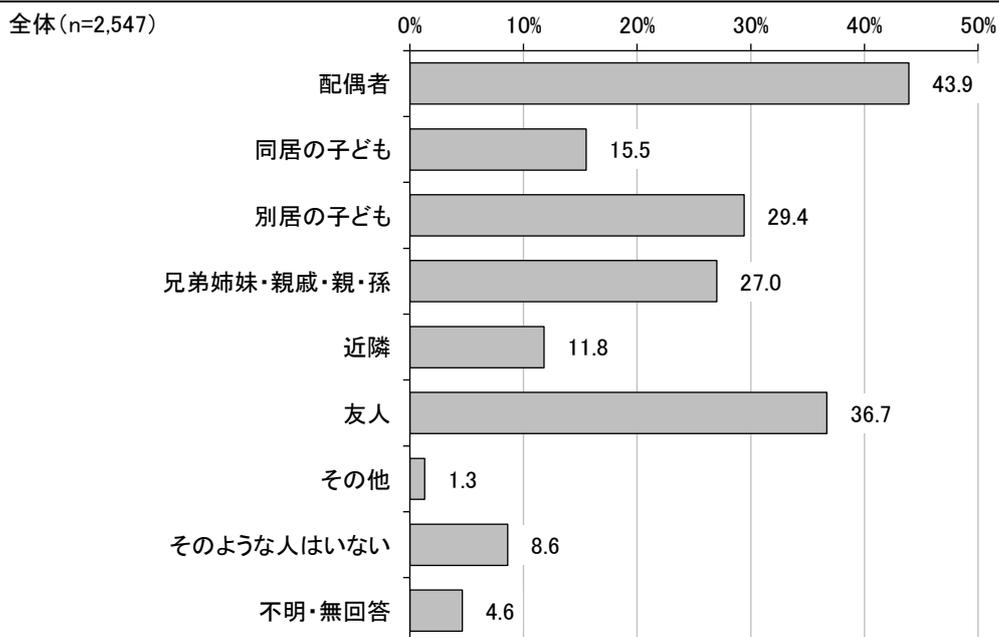
【家族構成別】〔問6（1） あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人〕

家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」、その他では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、その他の家族構成では「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		47.3	19.1	35.1	27.3	9.5	35.1	2.0	4.8	3.2
家族構成別	1人暮らし(n=574)	1.6	1.2	42.2	34.0	14.3	40.4	3.3	9.2	5.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(n=997)	77.2	1.9	41.5	24.4	8.8	33.7	0.9	2.8	2.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(n=93)	80.6	10.8	20.4	18.3	3.2	24.7	1.1	5.4	4.3
	息子・娘との2世帯(n=638)	42.0	59.7	24.1	24.1	8.6	35.0	2.4	2.8	2.2
	その他(n=145)	31.7	31.7	26.9	44.1	6.2	37.2	2.1	6.2	0.7

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

「配偶者」が43.9%と最も高く、次いで「友人」が36.7%、「別居の子ども」が29.4%となっています。



【性別】〔問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人〕

性別にみると、男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も高くなっています。

単位:%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		43.9	15.5	29.4	27.0	11.8	36.7	1.3	8.6	4.6
性別	男性(n=940)	64.3	12.9	24.4	19.5	5.4	25.3	1.6	10.7	3.4
	女性(n=1,513)	32.1	17.1	32.5	31.5	16.0	44.0	1.1	7.1	5.1

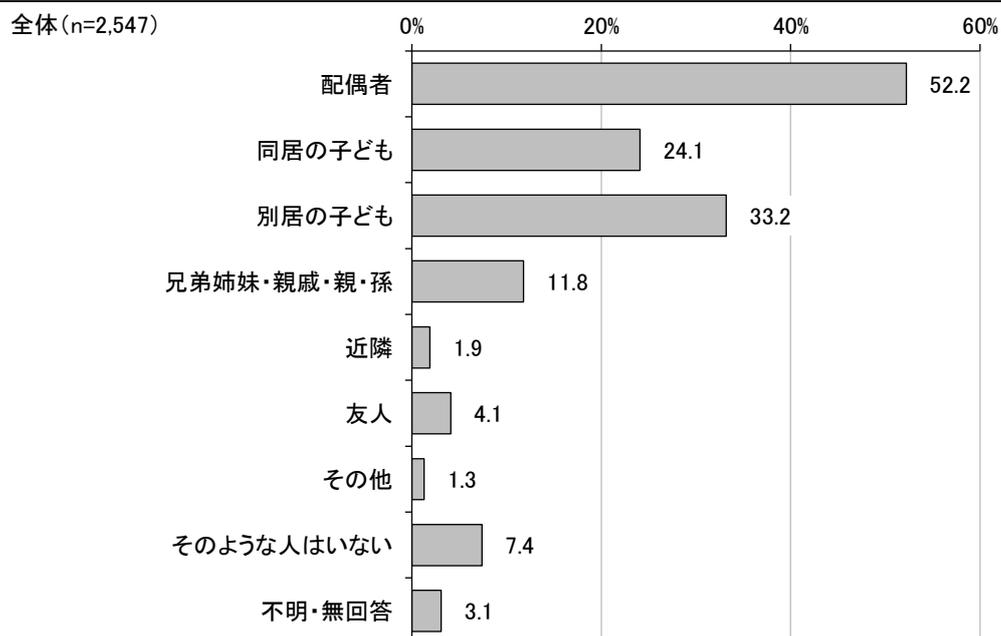
【家族構成別】〔問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人〕

家族構成別にみると、1人暮らしでは「友人」、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」、その他では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、その他の家族構成では「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		43.9	15.5	29.4	27.0	11.8	36.7	1.3	8.6	4.6
家族構成別	1人暮らし(n=574)	1.2	0.9	29.6	27.7	16.7	44.6	1.6	16.4	6.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(n=997)	71.2	2.2	35.9	26.4	10.6	35.3	0.5	5.2	3.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(n=93)	78.5	8.6	21.5	29.0	4.3	25.8	4.3	1.1	5.4
	息子・娘との2世帯(n=638)	39.0	47.0	21.9	23.2	11.1	35.1	1.6	7.1	4.9
	その他(n=145)	33.1	27.6	20.0	42.8	11.0	34.5	2.8	10.3	1.4

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

「配偶者」が52.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が33.2%、「同居の子ども」が24.1%となっています。



【性別】〔問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人〕

性別にみると、男女ともに「配偶者」が最も高くなっていますが、男性が71.0%と女性を29.7ポイント上回っています。

単位:%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		52.2	24.1	33.2	11.8	1.9	4.1	1.3	7.4	3.1
性別	男性(n=940)	71.0	18.4	23.6	9.1	1.0	1.9	1.1	8.1	2.7
	女性(n=1,513)	41.3	28.0	39.3	13.2	2.4	5.6	1.3	6.9	3.2

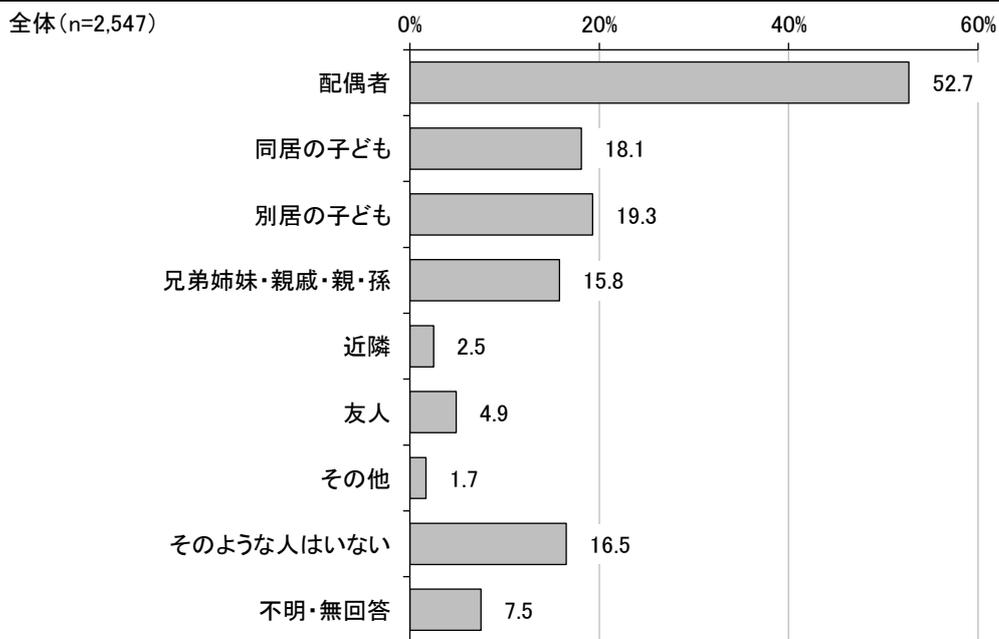
【家族構成別】〔問6（3） あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人〕

家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」、息子・娘との2世帯とその他では「同居の子ども」、その他の家族構成では「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		52.2	24.1	33.2	11.8	1.9	4.1	1.3	7.4	3.1
家族構成別	1人暮らし(n=574)	1.4	1.2	48.4	18.8	4.9	9.9	1.9	22.3	5.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(n=997)	85.9	2.5	36.5	7.9	1.1	2.7	0.5	2.6	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(n=93)	91.4	14.0	22.6	5.4	0.0	2.2	3.2	1.1	4.3
	息子・娘との2世帯(n=638)	45.3	73.5	18.7	8.8	0.8	2.5	1.3	2.4	1.4
	その他(n=145)	35.9	49.0	24.1	26.9	1.4	1.4	2.8	6.9	1.4

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人

「配偶者」が52.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」が19.3%、「同居の子ども」が18.1%となっています。



【性別】〔問6（4） 反対に、看病や世話をしあける人〕

性別にみると、男女ともに「配偶者」が最も高くなっていますが、男性が67.6%と女性を23.3ポイント上回っています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		52.7	18.1	19.3	15.8	2.5	4.9	1.7	16.5	7.5
性別	男性(n=940)	67.6	13.6	14.4	12.2	0.7	2.0	1.5	15.7	5.2
	女性(n=1,513)	44.3	21.1	22.4	17.9	3.6	6.9	1.7	16.8	8.5

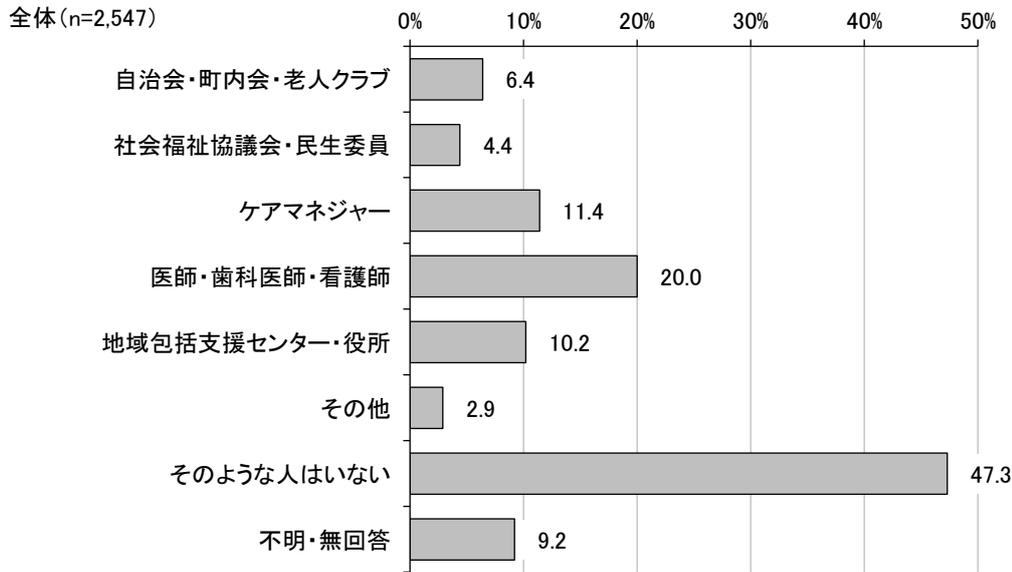
【家族構成別】〔問6（4） 反対に、看病や世話をしあける人〕

家族構成別にみると、1人暮らしでは「そのような人はいない」、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」、その他の家族構成では「配偶者」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		52.7	18.1	19.3	15.8	2.5	4.9	1.7	16.5	7.5
家族構成別	1人暮らし(n=574)	3.0	0.7	20.9	18.5	5.6	11.5	3.1	39.0	13.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(n=997)	86.1	2.1	22.6	13.6	1.7	3.2	0.6	5.7	4.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(n=93)	87.1	11.8	19.4	16.1	0.0	2.2	2.2	2.2	6.5
	息子・娘との2世帯(n=638)	46.7	55.2	13.2	12.9	1.4	3.1	1.1	15.0	6.0
	その他(n=145)	34.5	33.8	16.6	33.1	2.1	2.8	4.1	17.2	6.2

(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を教えてください

「そのような人はいない」が47.3%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が20.0%、「ケアマネジャー」が11.4%となっています。



【性別】〔問6(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を教えてください〕

性別にみると、男女ともに「そのような人はいない」が最も高くなっていますが、男性が51.4%と女性を6.3ポイント上回っています。

単位: %		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		6.4	4.4	11.4	20.0	10.2	2.9	47.3	9.2
性別	男性(n=940)	7.9	5.0	6.3	21.5	7.8	2.8	51.4	8.0
	女性(n=1,513)	5.4	4.3	14.5	19.5	11.8	3.0	45.1	9.6

【地域別】〔問6（5） 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を教えてください〕

地域別にみると、「医師・歯科医師・看護師」、「地域包括支援センター・役所」は岸和田北部地域、「ケアマネジャー」は葛城の谷地域と岸和田中部地域、「その他」は久米田地域、「自治会・町内会・老人クラブ」「社会福祉協議会・民生委員」、「そのような人はいない」は牛滝の谷地域で高くなっています。

単位：%		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		6.4	4.4	11.4	20.0	10.2	2.9	47.3	9.2
地域別	都市中核地域(n=621)	5.0	5.0	10.8	20.1	11.4	2.3	48.6	8.1
	岸和田北部地域(n=500)	7.0	5.2	10.8	22.8	13.2	2.8	43.0	10.0
	葛城の谷地域(n=399)	6.0	4.3	11.5	21.6	10.5	2.5	50.4	7.8
	岸和田中部地域(n=235)	6.4	2.6	11.5	20.4	11.5	3.4	48.9	6.8
	久米田地域(n=321)	6.9	3.7	12.1	19.6	8.4	4.0	45.2	9.3
	牛滝の谷地域(n=323)	8.4	5.9	9.9	16.7	5.6	3.4	50.8	11.8

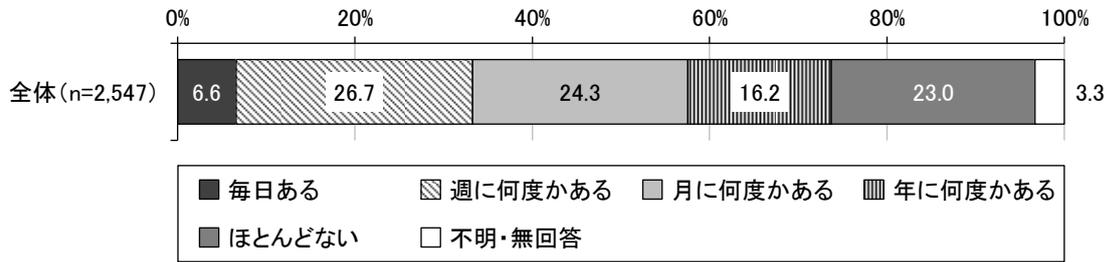
【家族構成別】〔問6（5） 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を教えてください〕

家族構成別にみると、すべての家族構成で「そのような人はいない」が最も高くなっています。

単位：%		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		6.4	4.4	11.4	20.0	10.2	2.9	47.3	9.2
家族構成別	1人暮らし(n=574)	6.4	7.5	17.8	16.6	14.3	3.5	41.6	9.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(n=997)	6.5	3.4	10.1	21.3	10.7	1.6	48.3	9.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(n=93)	5.4	3.2	4.3	21.5	4.3	3.2	50.5	12.9
	息子・娘との2世帯(n=638)	5.5	3.6	8.5	22.1	7.8	3.3	51.4	8.6
	その他(n=145)	6.9	6.9	12.4	20.0	5.5	8.3	44.1	9.0

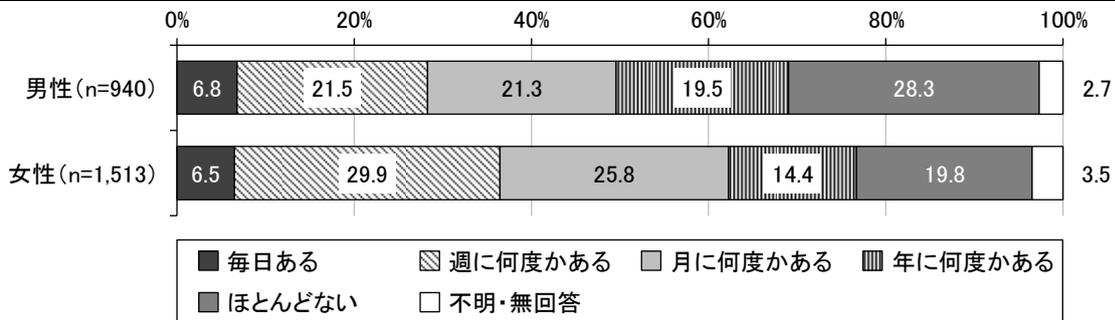
（６） 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（１つに○）

「週に何度かある」が26.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」が24.3%、「ほとんどない」が23.0%となっています。



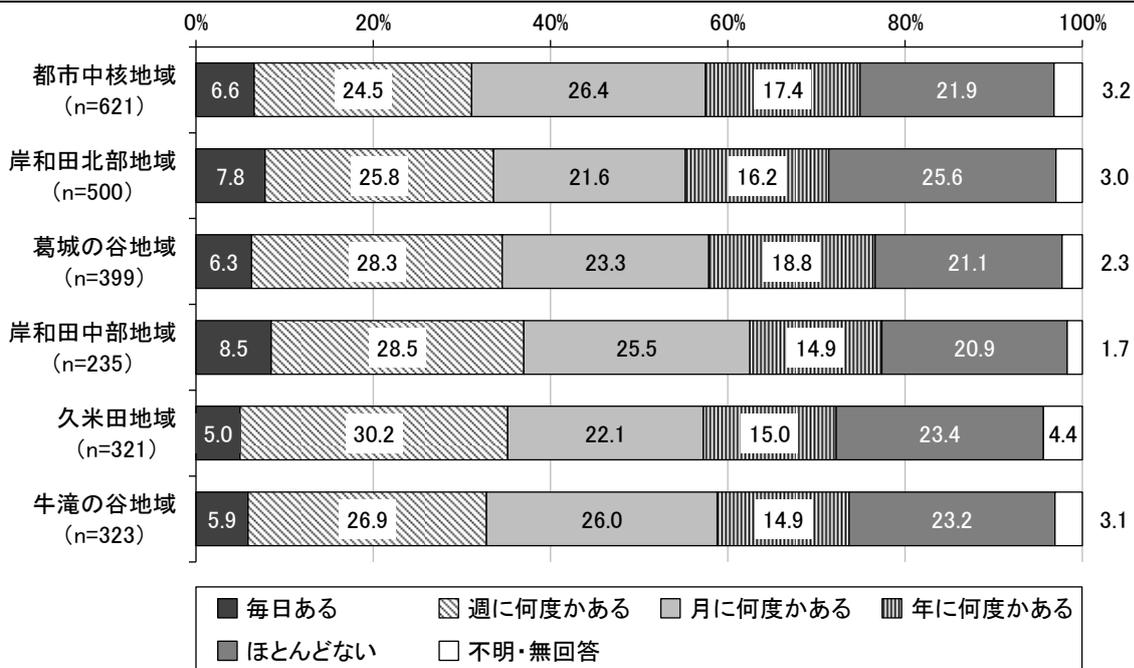
【性別】〔問６（６） 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか〕

性別にみると、男性では「ほとんどない」、女性では「週に何度かある」が最も高くなっています。



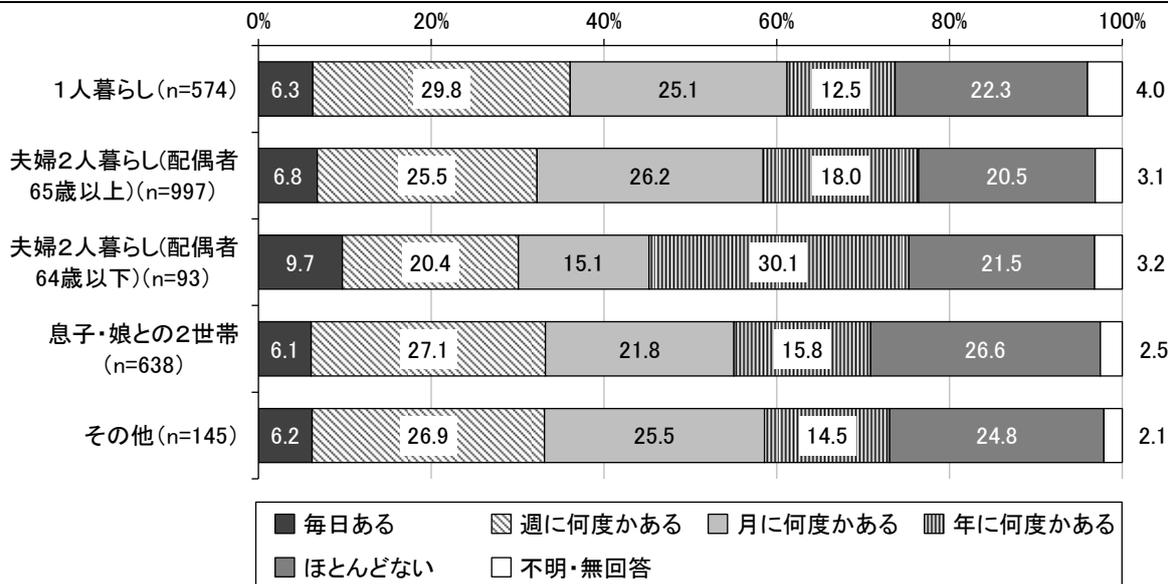
【地域別】〔問６（６） 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか〕

地域別にみると、都市中核地域では「月に何度かある」、その他の地域では「週に何度かある」がそれぞれ最も高くなっています。



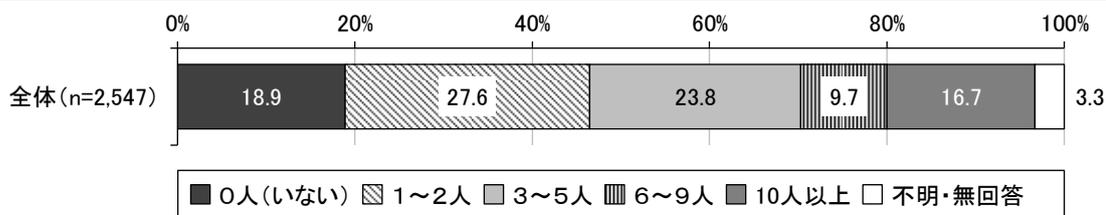
【家族構成別】〔問6（6） 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか〕

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「月に何度かある」、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では「年に何度かある」、その他の家族構成では「週に何度かある」がそれぞれ最も高くなっています。



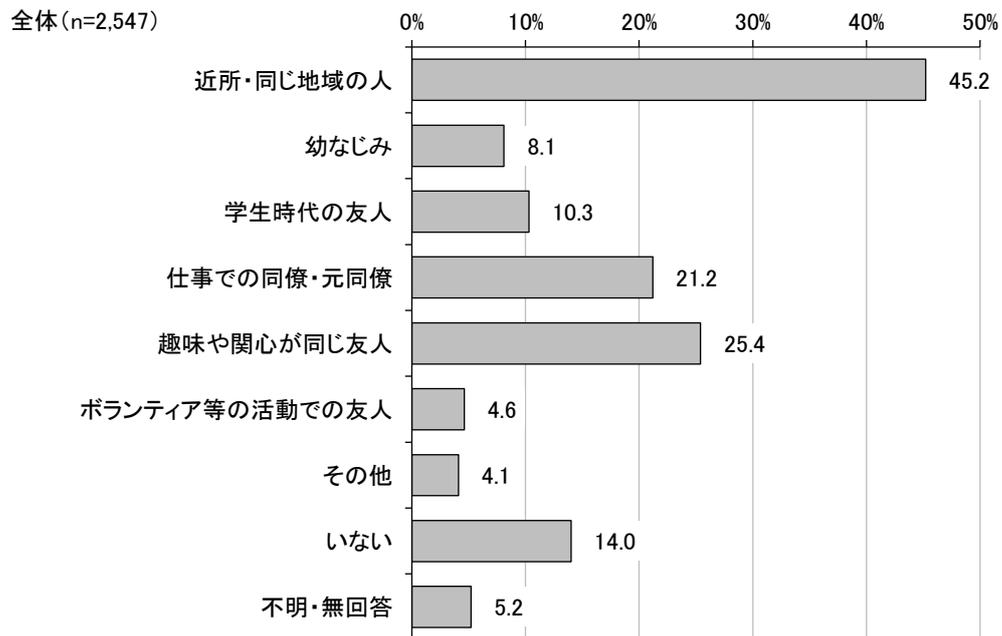
(7) この1カ月間、何人の友人・知人と会いましたか(1つに○)(同じ人には何度会っても1人としてください)

「1～2人」が27.6%と最も高く、次いで「3～5人」が23.8%、「0人(いない)」が18.9%となっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

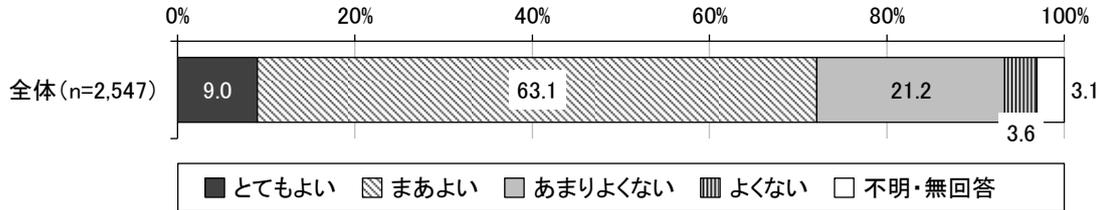
「近所・同じ地域の人」が45.2%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が25.4%、「仕事での同僚・元同僚」が21.2%となっています。



問7 健康について

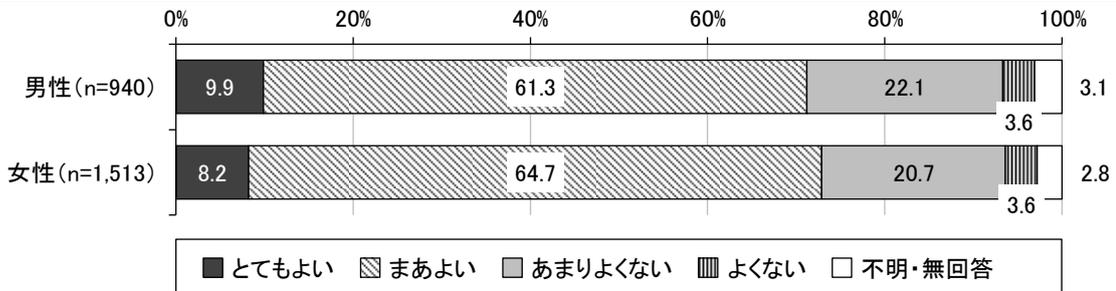
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

「まあよい」が63.1%と最も高く、次いで「あまりよくない」が21.2%、「とてもよい」が9.0%となっています。



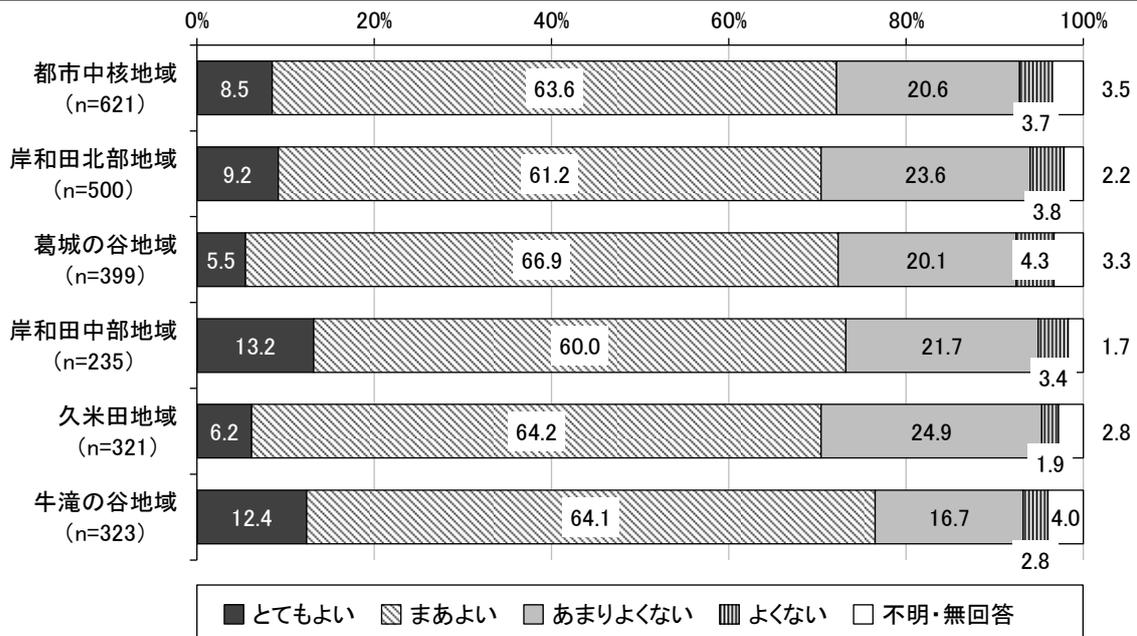
【性別】〔問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。〕

性別にみると、男女ともに「まあよい」が最も高くなっています。



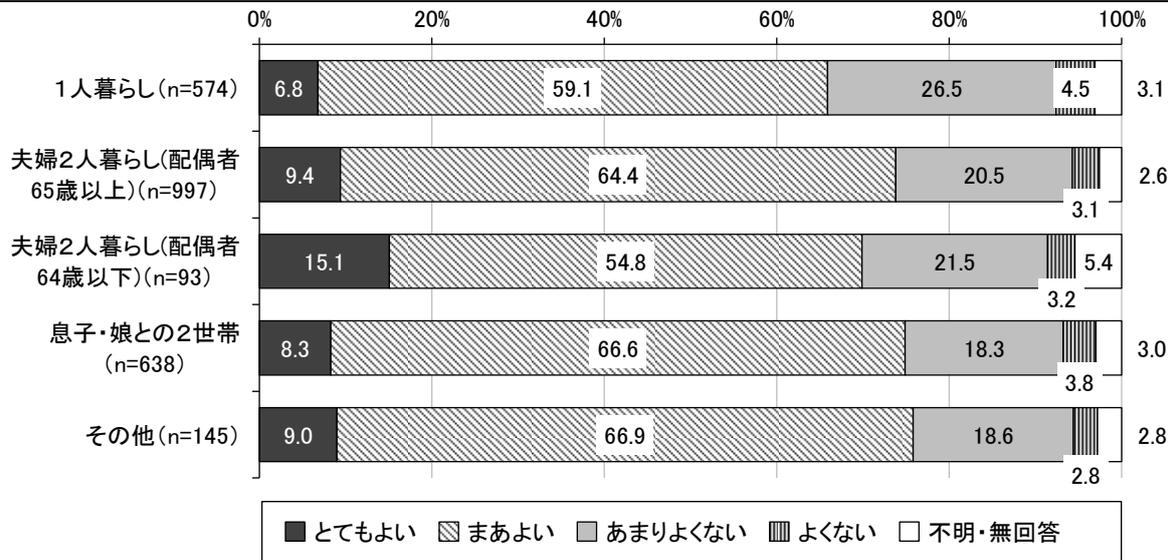
【地域別】〔問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。〕

地域別にみると、すべての地区で「まあよい」が最も高くなっています。



【家族構成別】〔問7（1） 現在のあなたの健康状態はいかがですか。〕

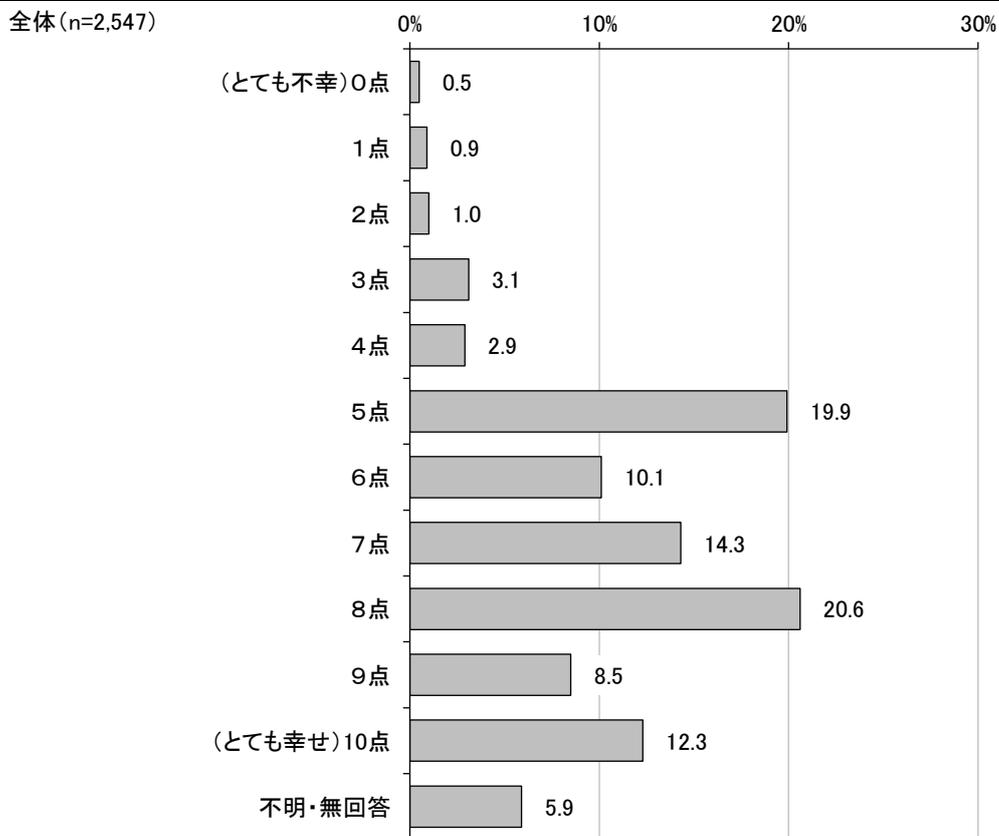
家族構成別にみると、すべての家族構成で「まあよい」が最も高くなっていますが、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）ではやや低くなっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

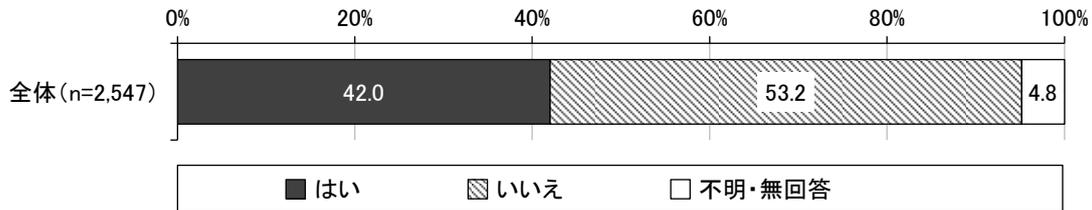
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○で囲んでください）

「8点」が20.6%と最も高く、次いで「5点」が19.9%、「7点」が14.3%となっています。



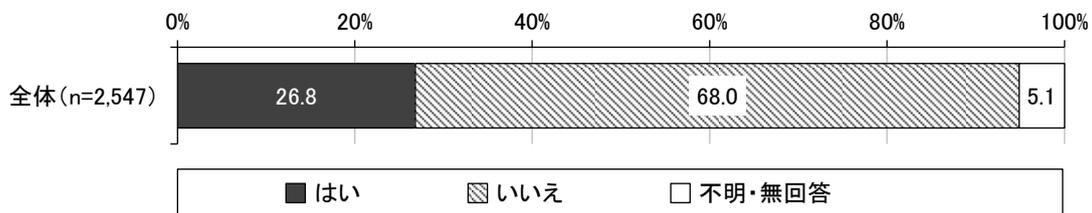
(3) この1カ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つに○)

「いいえ」が53.2%と、「はい」の42.0%を上回っています。



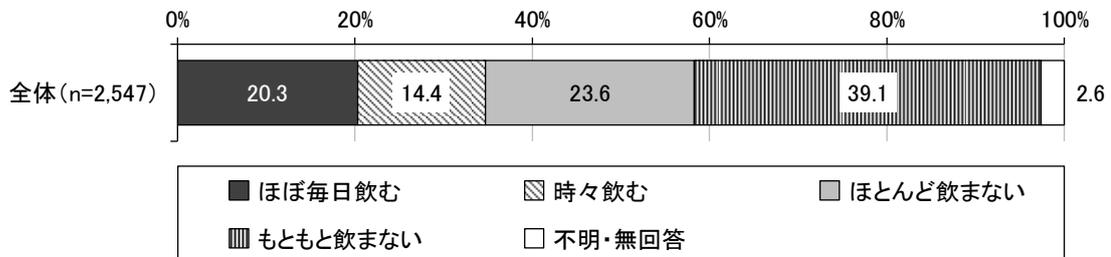
(4) この1カ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

「いいえ」が68.0%と、「はい」の26.8%を上回っています。



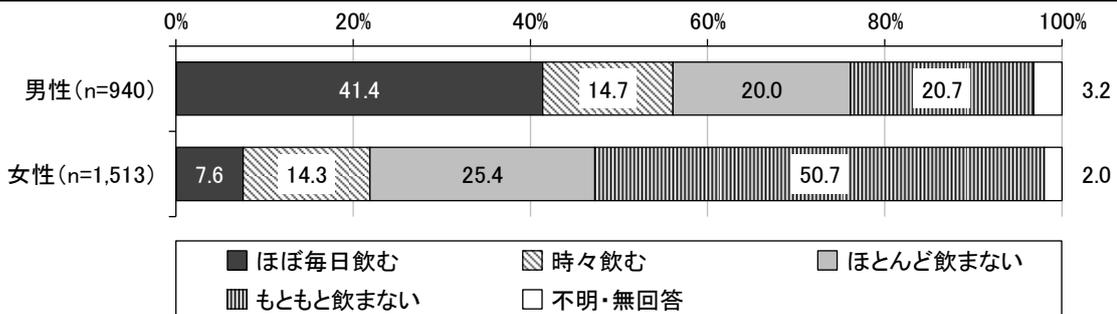
(5) お酒は飲みますか。(1つに○)

「もともと飲まない」が39.1%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が23.6%、「ほぼ毎日飲む」が20.3%となっています。



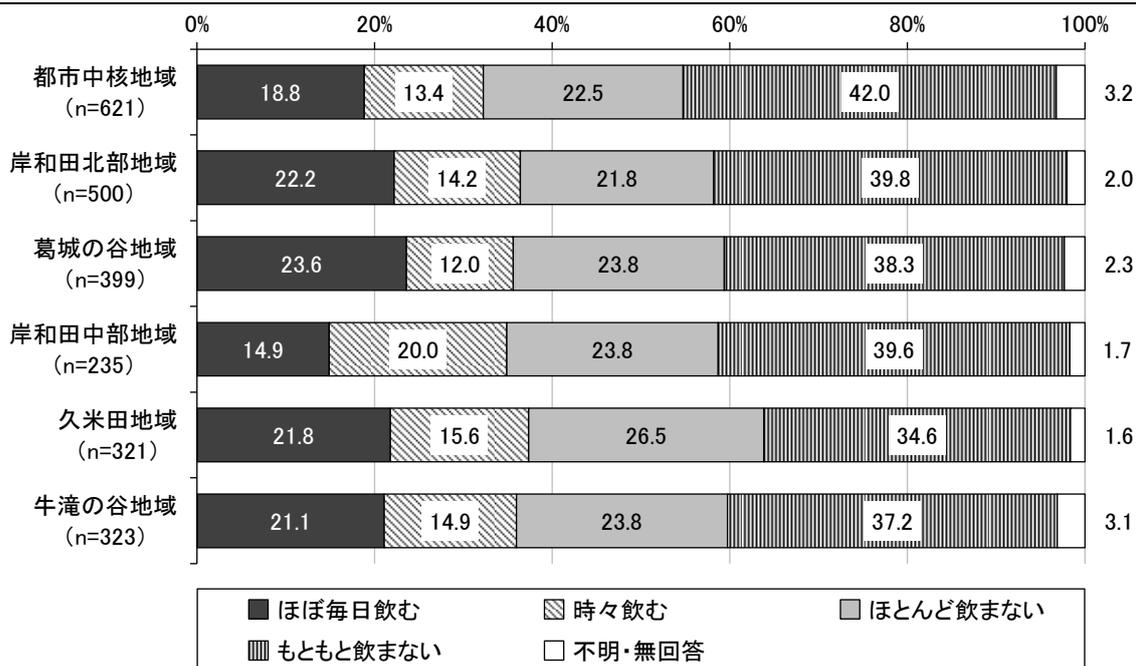
【性別】〔問7(5) お酒は飲みますか。〕

性別にみると、男性では「ほぼ毎日飲む」、女性では「もともと飲まない」が最も高くなっています。



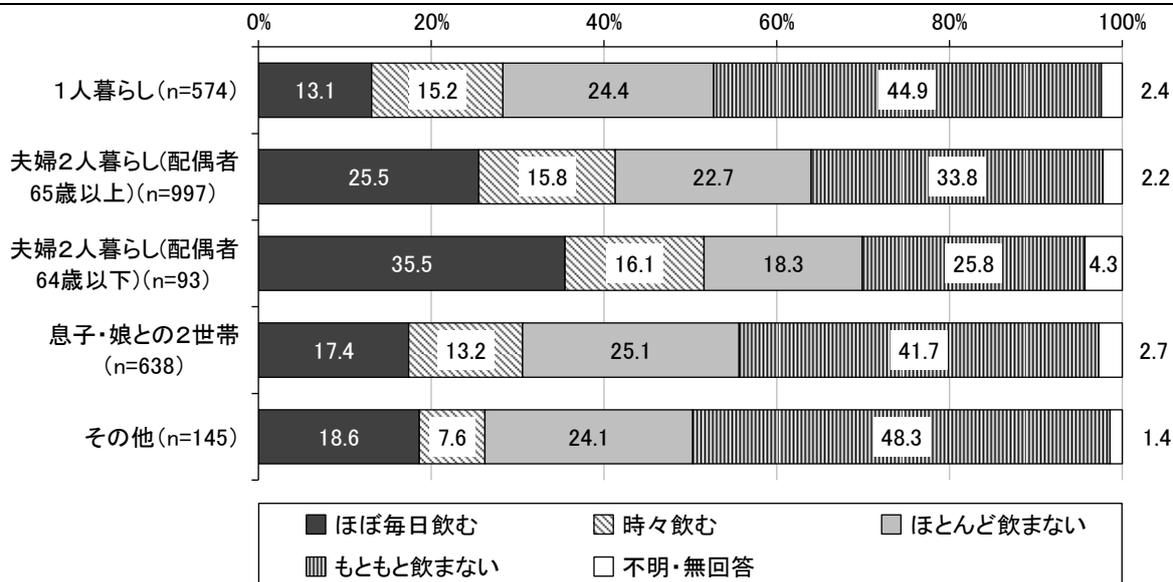
【地域別】〔問7（5） お酒は飲みますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「もともと飲まない」が最も高くなっています。



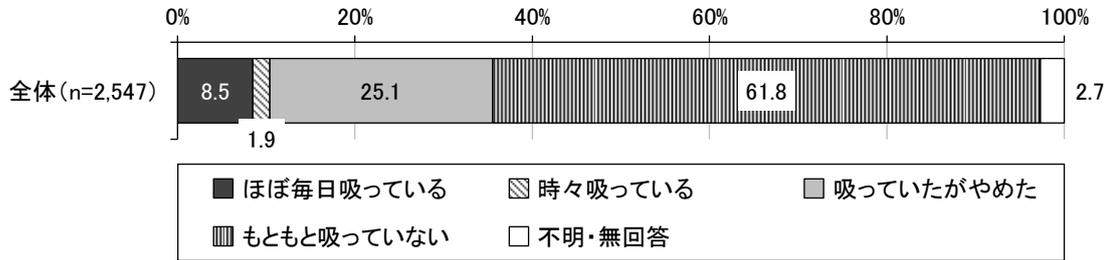
【家族構成別】〔問7（5） お酒は飲みますか。〕

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では「ほぼ毎日飲む」、その他の地域では「もともと飲まない」がそれぞれ最も高くなっています。



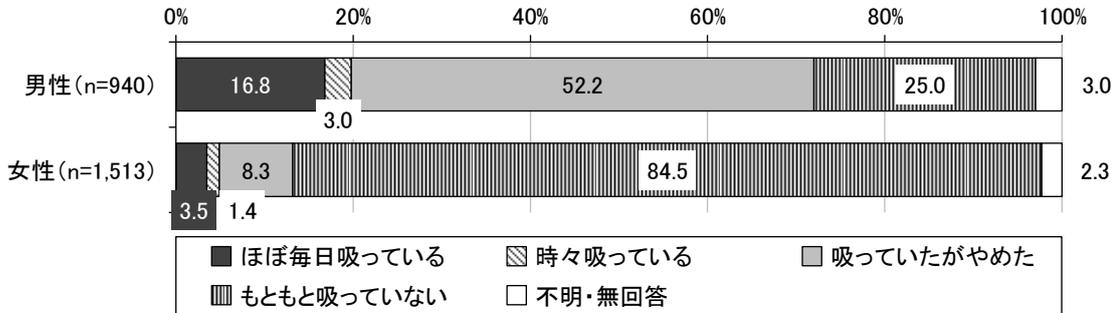
(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)

「もともと吸っていない」が61.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が25.1%、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%となっています。



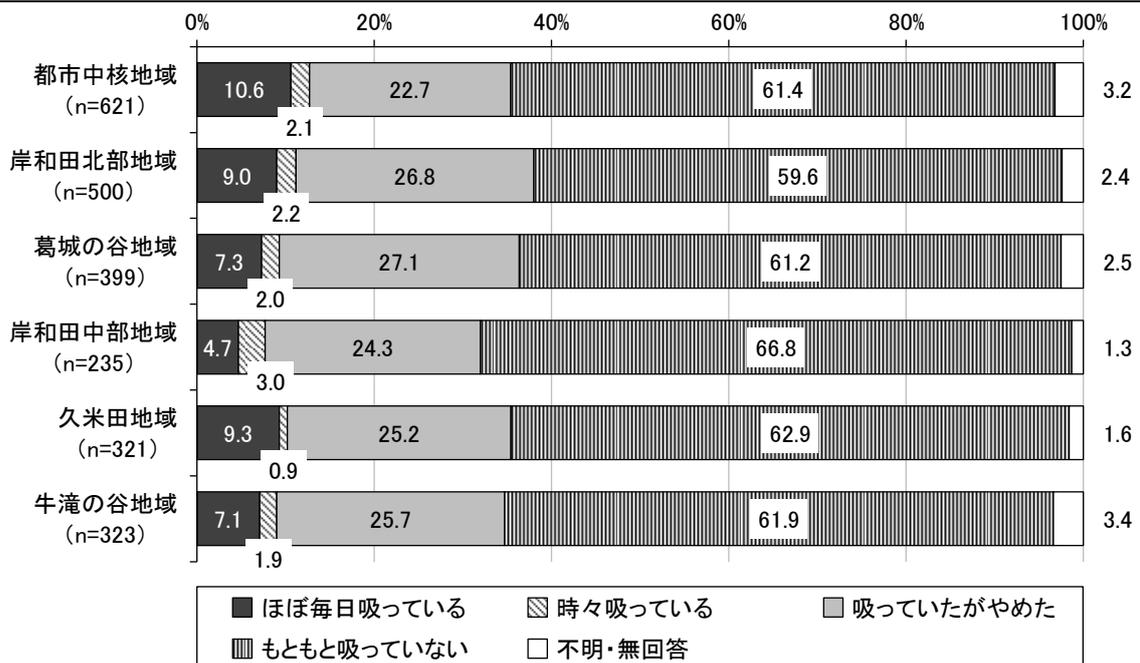
【性別】〔問7(6) タバコは吸っていますか。〕

性別にみると、男性では「吸っていたがやめた」、女性では「もともと吸っていない」が最も高くなっています。



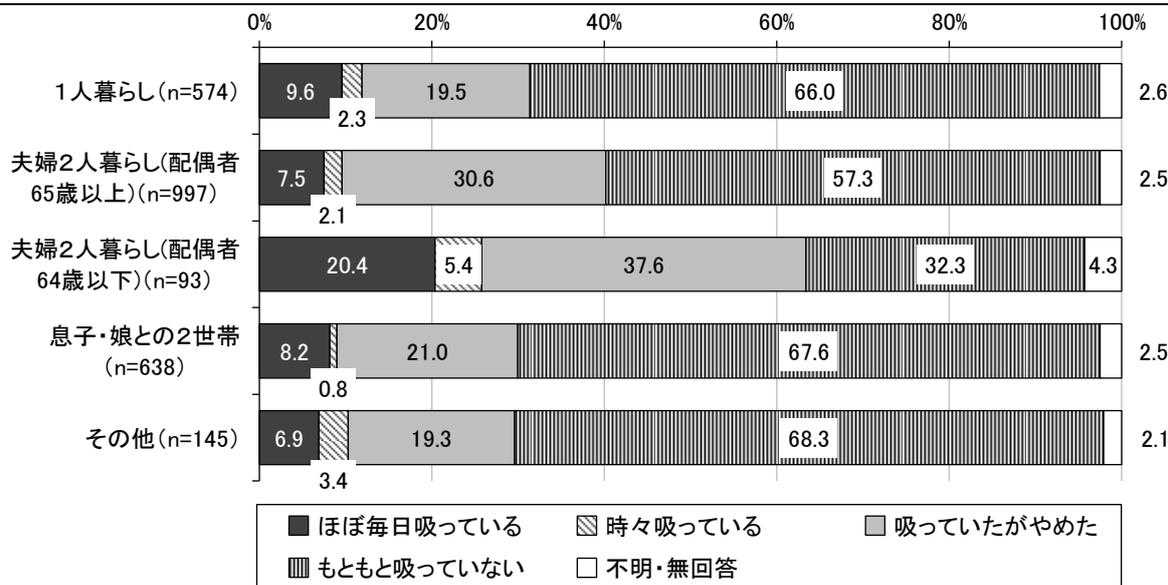
【地域別】〔問7(6) タバコは吸っていますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「もともと吸っていない」が最も高くなっていますが、岸和田中部地域ではやや高くなっています。



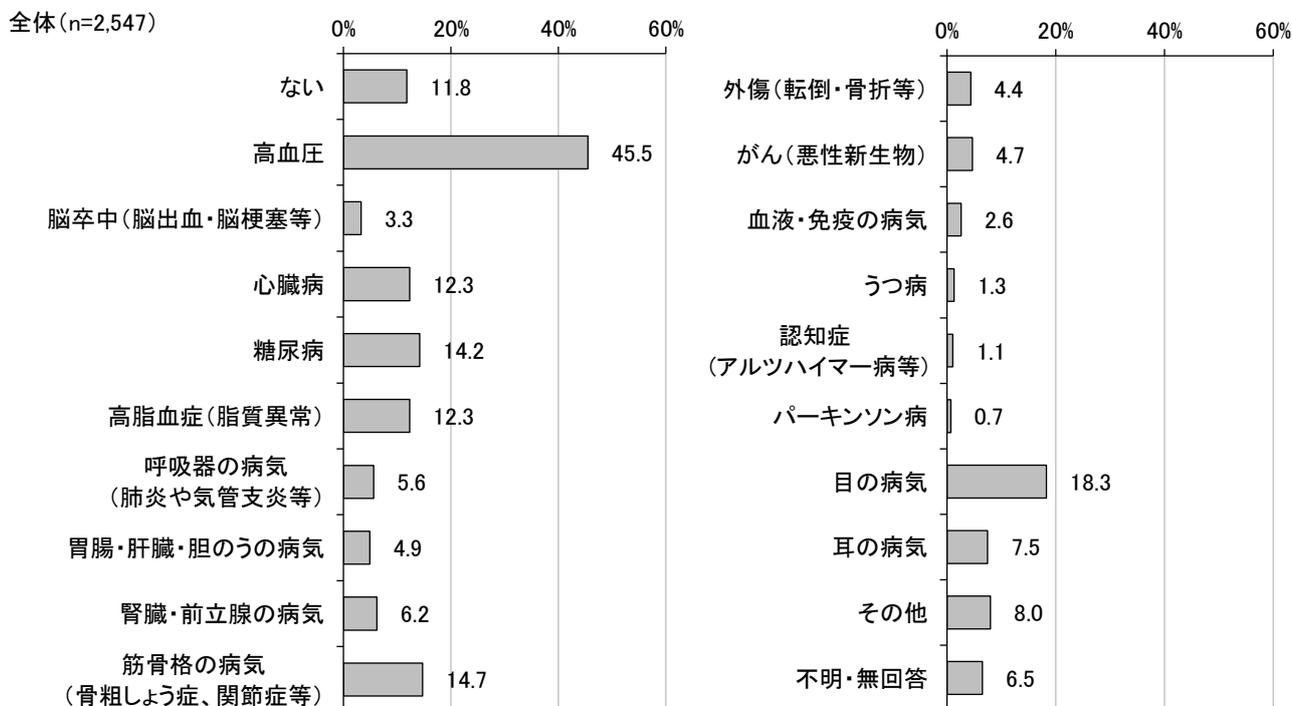
【家族構成別】〔問7(6) タバコは吸っていますか。〕

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では「吸っていたがやめた」、その他の地域では「もともと吸っていない」がそれぞれ最も高くなっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

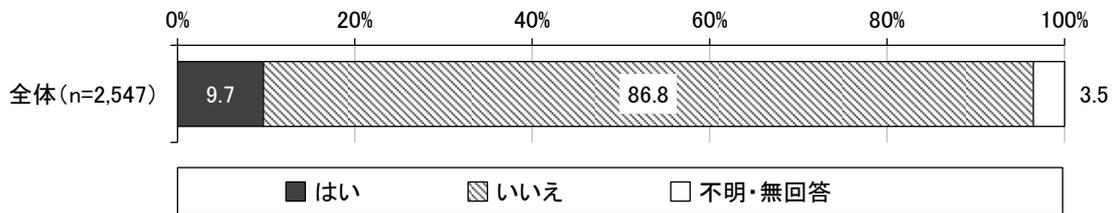
「高血圧」が45.5%と最も高く、次いで「目の病気」が18.3%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が14.7%となっています。



問8 認知症について

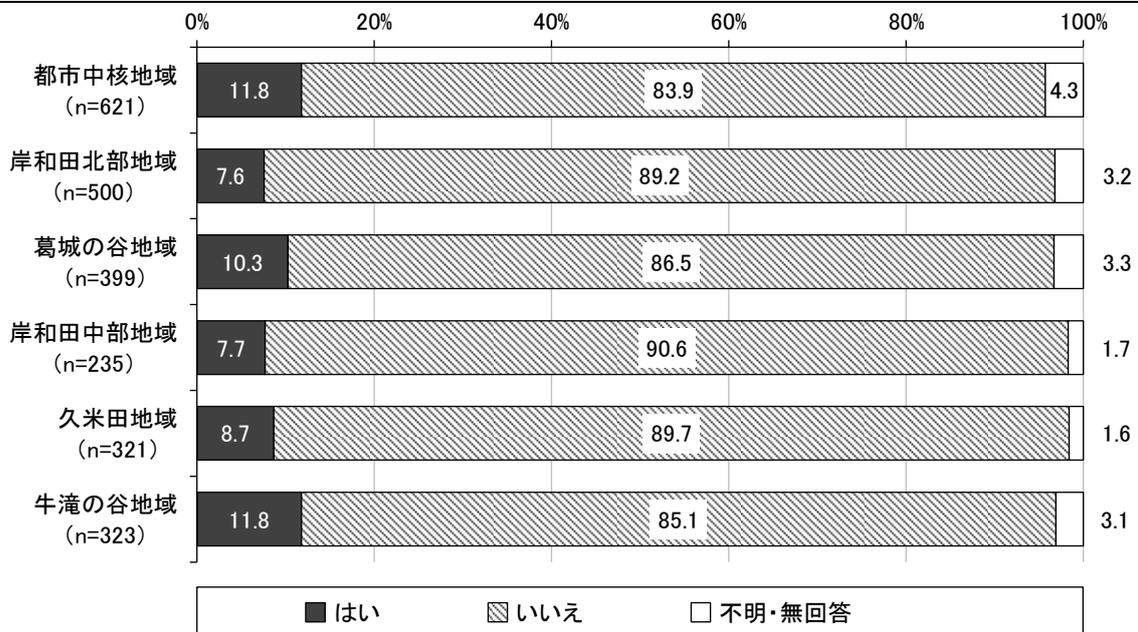
(1) あなた自身または家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

「いいえ」が86.8%と、「はい」の9.7%を上回っています。



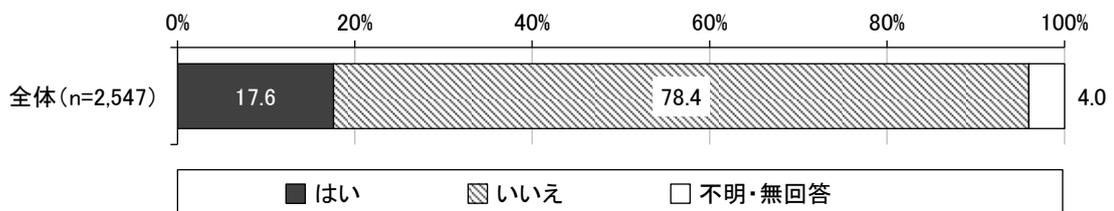
【地域別】〔問8(1) あなた自身または家族に認知症の症状がある人がいますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「いいえ」が最も高くなっています。



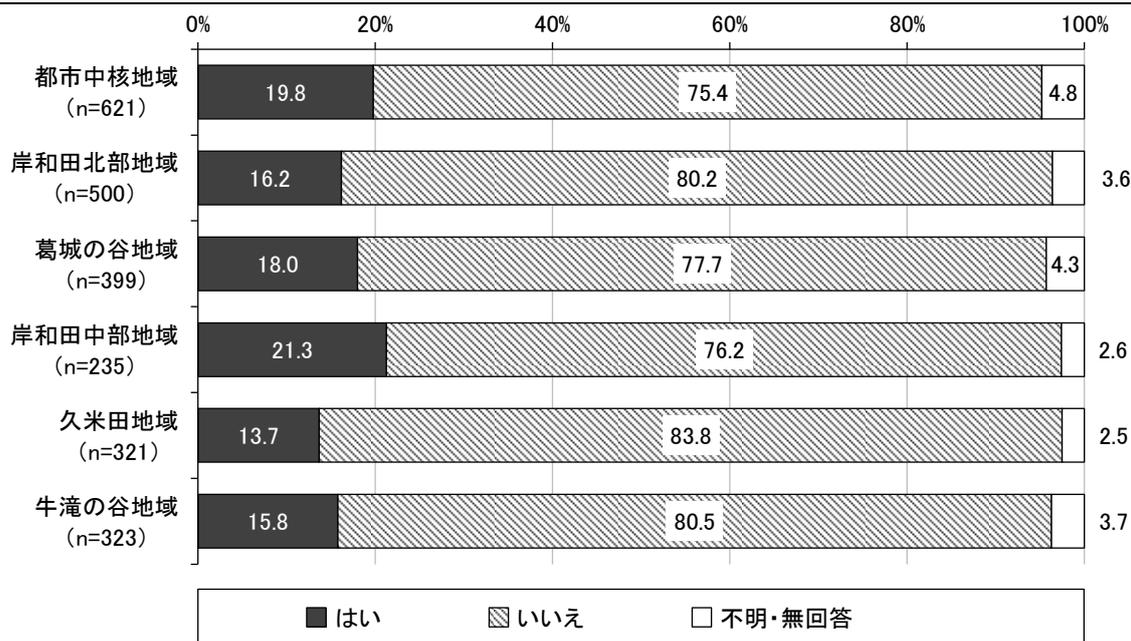
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

「いいえ」が78.4%と、「はい」の17.6%を上回っています。



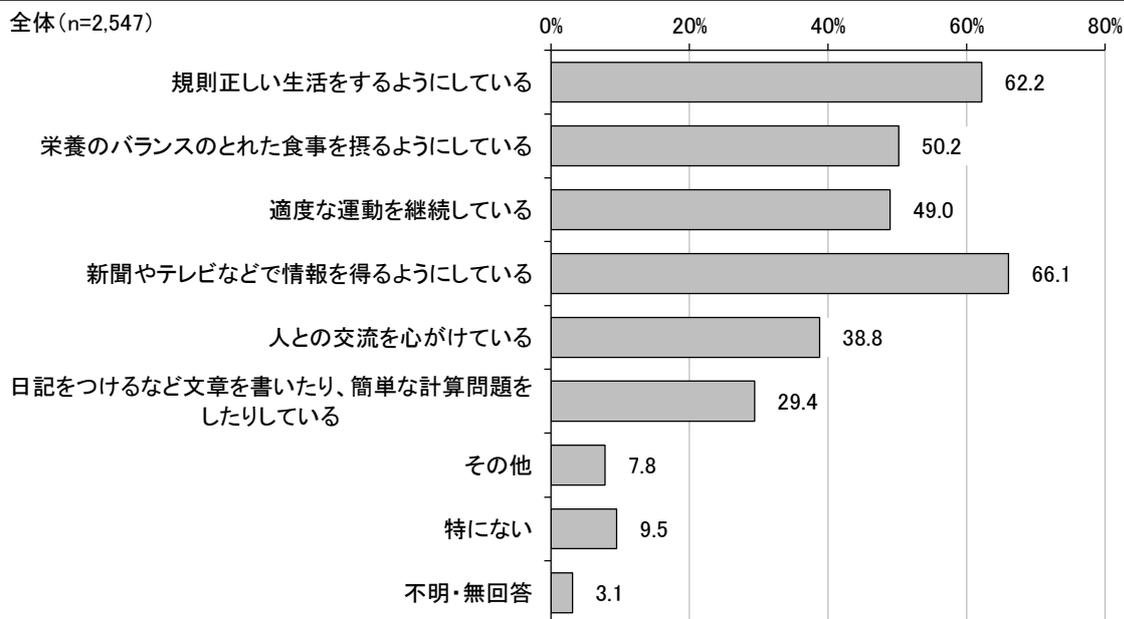
【地域別】〔問8（2） 認知症に関する相談窓口を知っていますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「いいえ」が最も高くなっています。



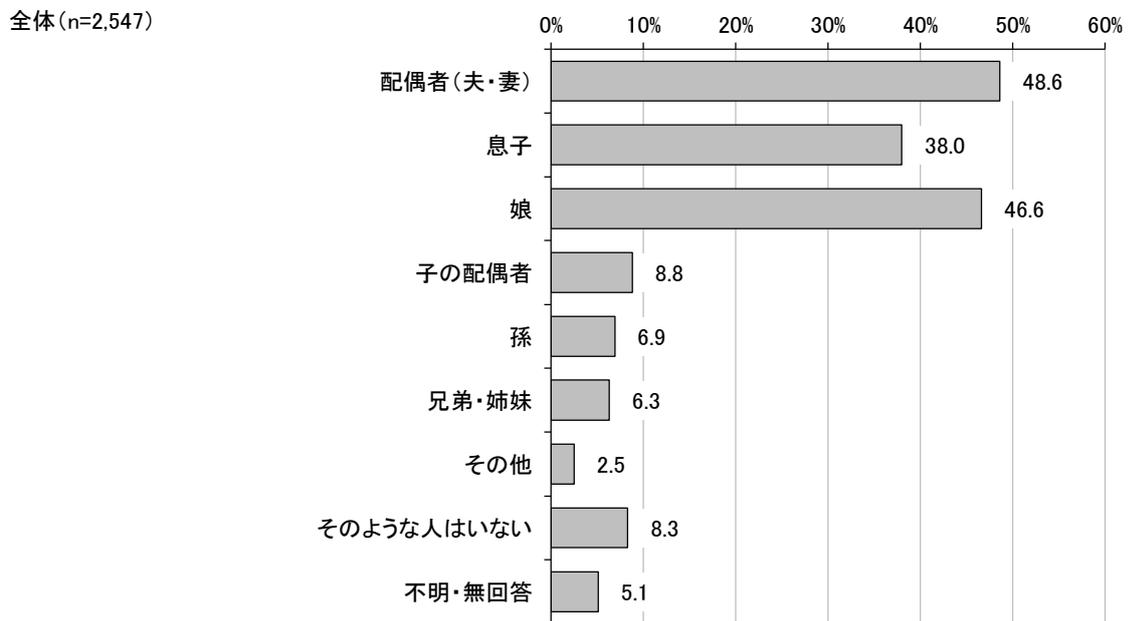
(3) あなたが認知症予防のために日頃から心がけていることはどんなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

「新聞やテレビなどで情報を得るようにしている」が66.1%と最も高く、次いで「規則正しい生活をするようにしている」が62.2%、「栄養のバランスのとれた食事を摂るようにしている」が50.2%となっています。



(4) 将来、認知症等により判断能力が不十分になった場合、支援してくれる人はどなたですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「配偶者(夫・妻)」が48.6%と最も高く、次いで「娘」が46.6%、「息子」が38.0%となっています。



【性別】〔問8(4) 将来、認知症等により判断能力が不十分になった場合、支援してくれる人はどなたですか。〕

性別にみると、男性では「配偶者(夫・妻)」、女性では「娘」が最も高くなっています。

単位: %		配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(n=2,547)		48.6	38.0	46.6	8.8	6.9	6.3	2.5	8.3	5.1
性別	男性(n=940)	67.2	38.4	39.6	8.7	6.0	4.4	2.0	9.1	3.4
	女性(n=1,513)	38.0	38.3	51.3	9.1	7.5	7.4	2.8	7.8	5.6

【年齢別】〔問 8（4） 将来、認知症等により判断能力が不十分になった場合、支援してくれる人はどなたですか。〕

年齢別にみると、80歳以上では「娘」、その他の年齢では「配偶者（夫・妻）」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		配偶者 （夫・妻）	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	その ような 人は ない	不明・ 無回答
全体(n=2,547)		48.6	38.0	46.6	8.8	6.9	6.3	2.5	8.3	5.1
年齢別	65～69歳(n=382)	66.2	34.0	46.9	6.8	4.5	10.2	1.8	8.1	3.7
	70～74歳(n=532)	65.0	35.9	43.2	6.6	6.2	7.0	2.6	6.4	4.9
	75～79歳(n=647)	49.1	38.5	44.8	8.7	5.1	5.4	2.0	10.2	4.8
	80～84歳(n=540)	39.1	40.2	46.7	10.2	7.8	5.0	3.9	8.7	4.8
	85歳以上(n=332)	21.1	43.1	55.4	13.9	13.3	4.2	2.1	7.5	5.4

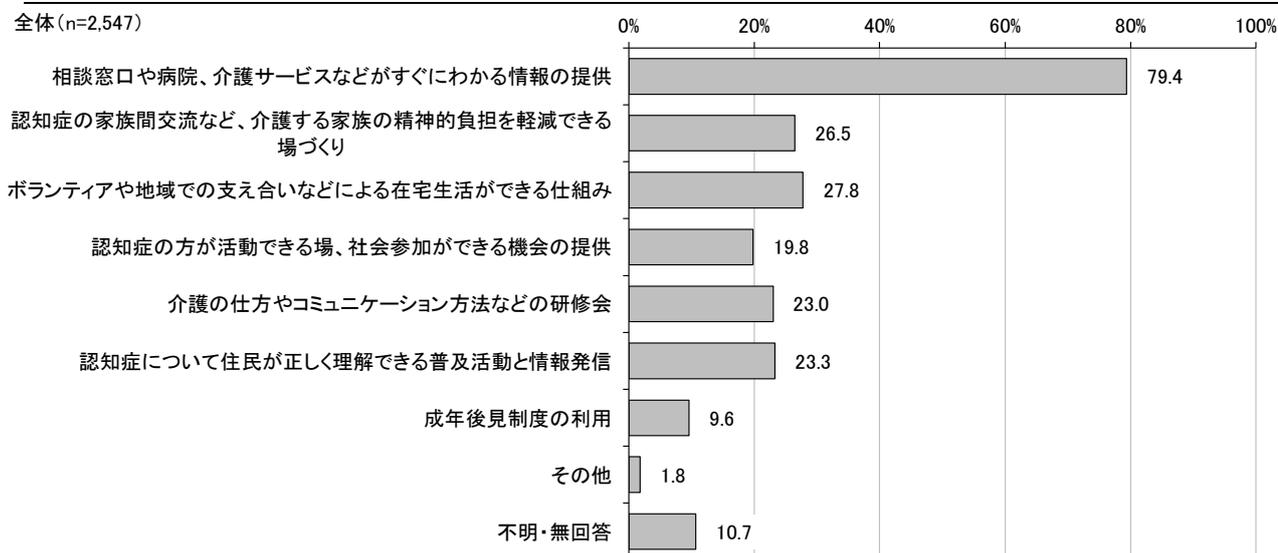
【家族構成別】〔問 8（4） 将来、認知症等により判断能力が不十分になった場合、支援してくれる人はどなたですか。〕

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)と夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)では「配偶者（夫・妻）」、その他の家族構成では「娘」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		配偶者 （夫・妻）	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	その ような 人は ない	不明・ 無回答
全体(n=2,547)		48.6	38.0	46.6	8.8	6.9	6.3	2.5	8.3	5.1
家族 構成 別	1人暮らし(n=574)	0.9	31.5	39.9	8.0	5.6	11.1	5.9	24.6	5.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(n=997)	79.5	34.7	44.0	8.8	6.6	4.0	1.5	3.5	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(n=93)	77.4	29.0	39.8	2.2	2.2	5.4	3.2	0.0	7.5
	息子・娘との2世帯(n=638)	44.8	51.4	58.6	11.0	8.0	3.3	1.3	1.9	3.6
	その他(n=145)	32.4	37.9	42.1	9.0	13.1	15.9	1.4	11.0	2.8

(5) 自分自身や家族が認知症になってしまったとき、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

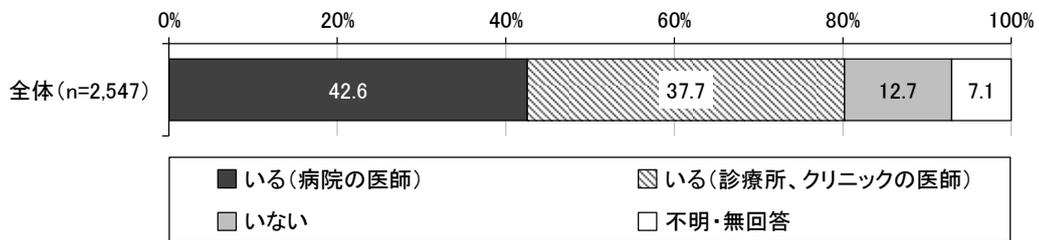
「相談窓口や病院、介護サービスなどがすぐにわかる情報の提供」が79.4%と最も高く、次いで「ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み」が27.8%、「認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり」が26.5%となっています。



問9 在宅医療について

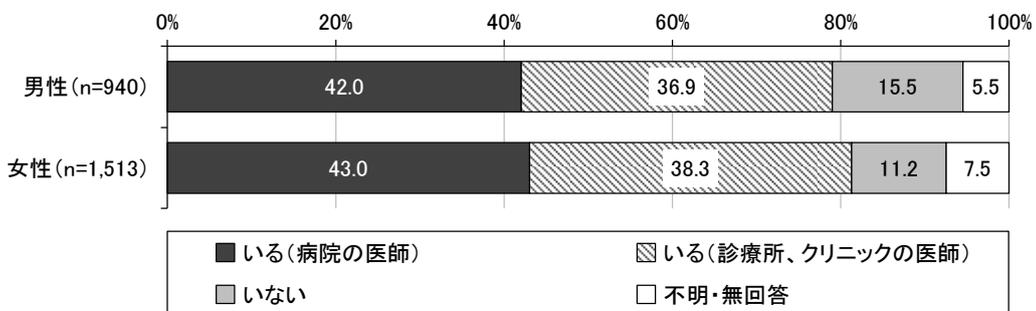
(1) かかりつけ医はいますか。(1つに〇)

「いる(病院の医師)」が42.6%と最も高く、次いで「いる(診療所、クリニックの医師)」が37.7%、「いない」が12.7%となっています。



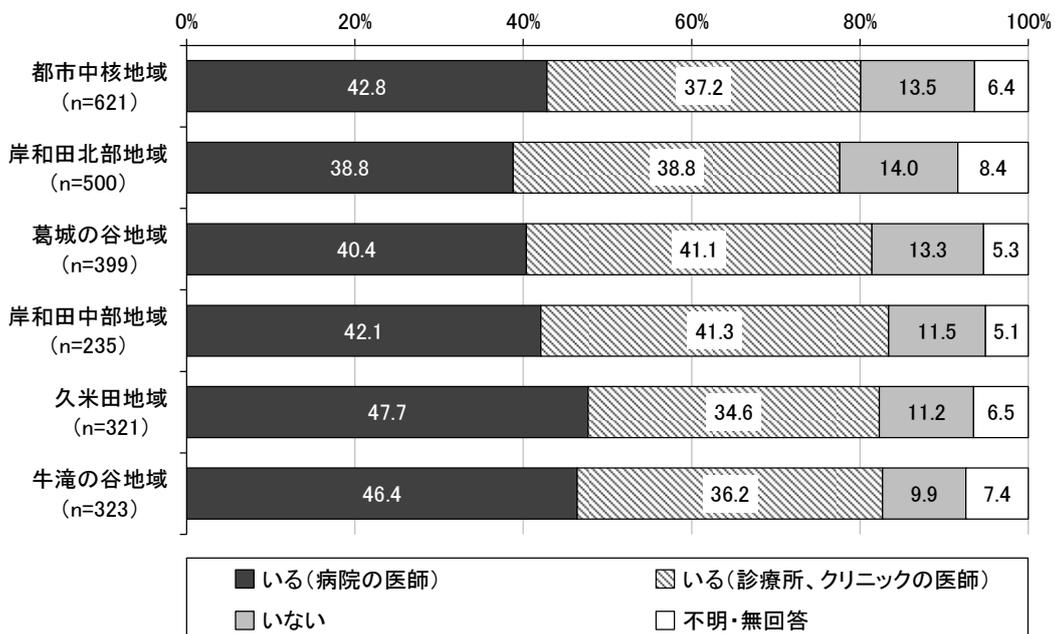
【性別】〔問9(1) かかりつけ医はいますか。〕

性別にみると、男女ともに「いる(病院の医師)」が最も高くなっています。



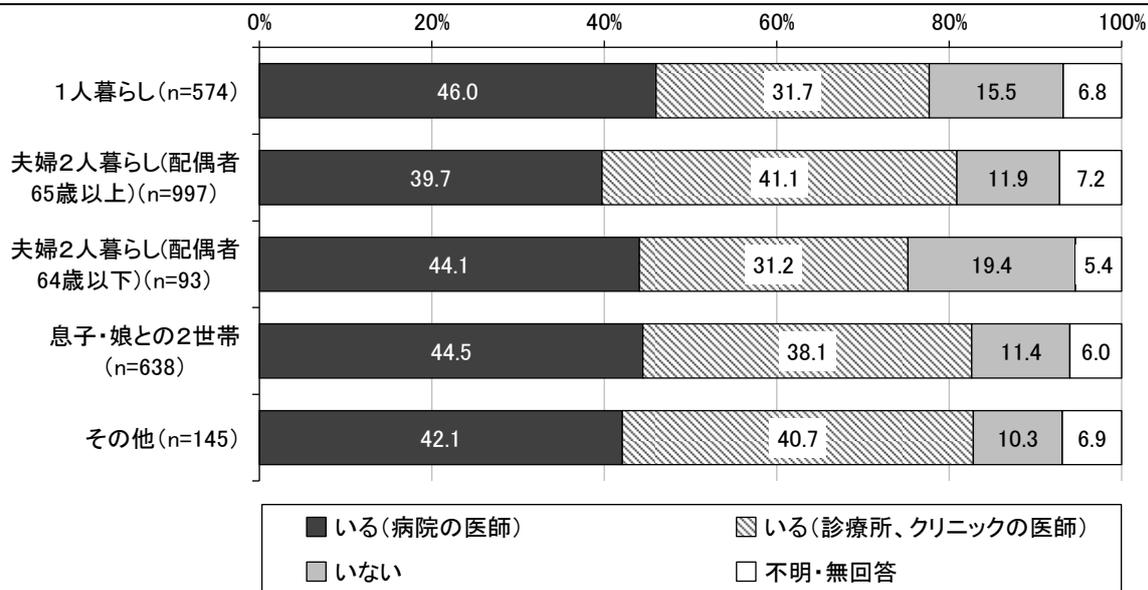
【地域別】〔問9(1) かかりつけ医はいますか。〕

地域別にみると、岸和田北部地域では「いる(病院の医師)」「いる(診療所、クリニックの医師)」、葛城の谷地域では「いる(診療所、クリニックの医師)」、その他の地域では「いる(病院の医師)」がそれぞれ最も高くなっています。



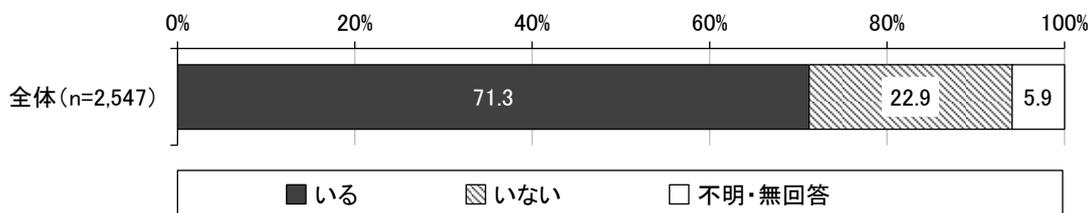
【家族構成別】〔問9（1） かかりつけ医はいますか。〕

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「いる(診療所、クリニックの医師)」、その他の家族構成では「いる(病院の医師)」がそれぞれ最も高くなっています。



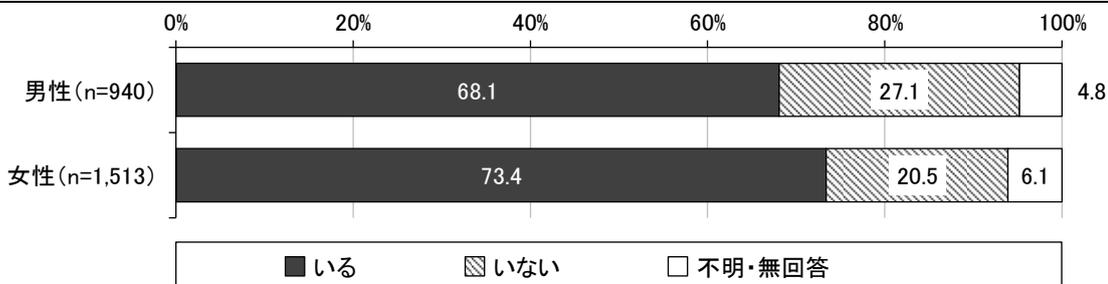
(2) かかりつけ歯科医はいますか。(1つに〇)

「いる」が71.3%と、「いない」の22.9%を上回っています。



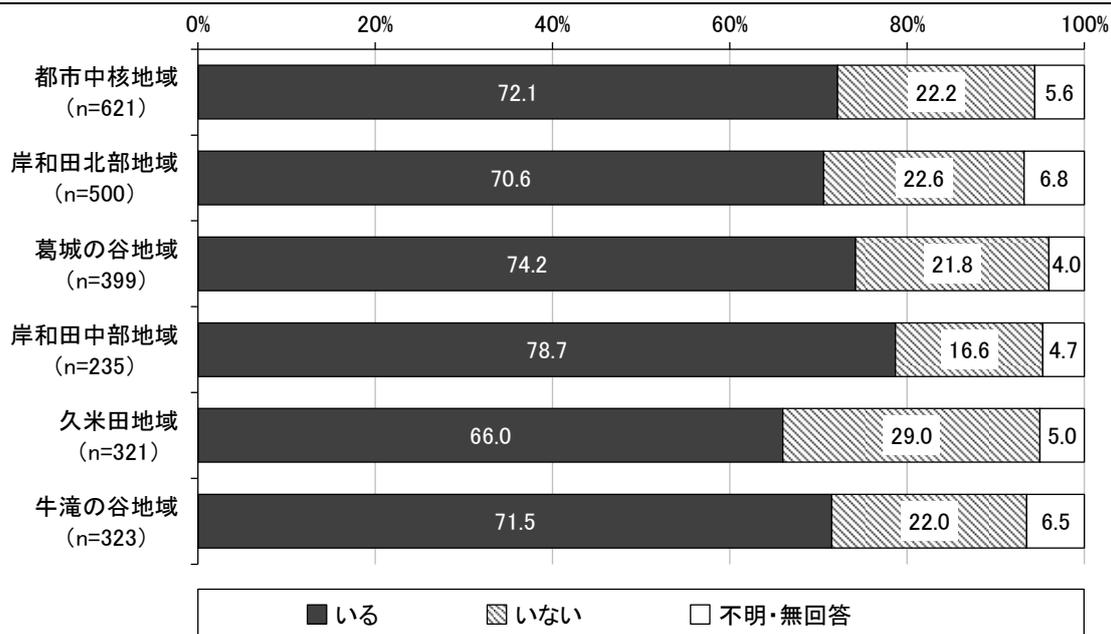
【性別】〔問9（2） かかりつけ歯科医はいますか。〕

性別にみると、男女ともに「いる」が最も高くなっていますが、女性が73.4%と男性を5.3ポイント上回っています。



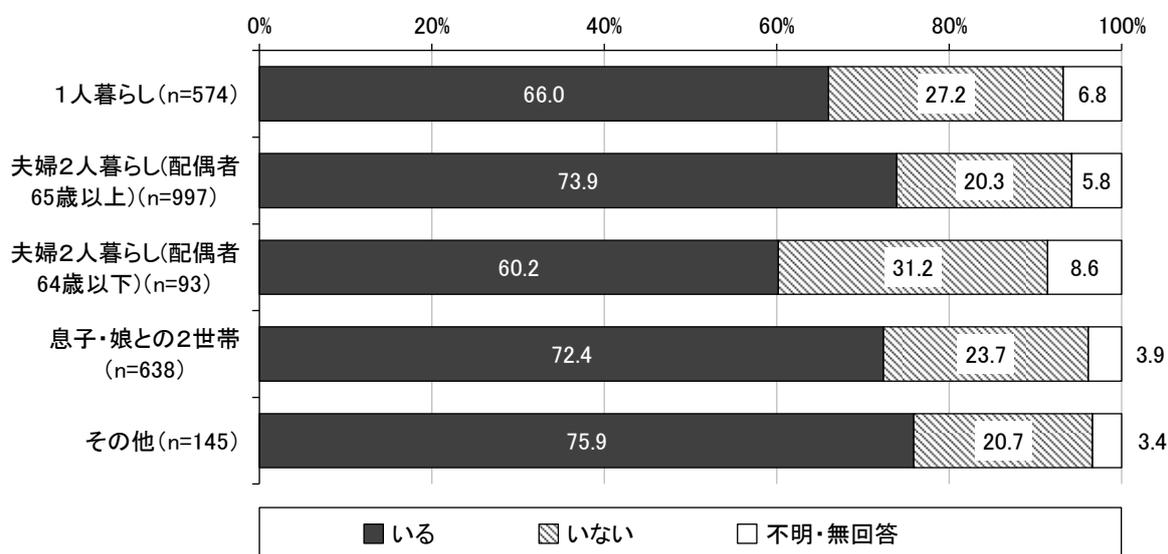
【地域別】〔問9（2） かかりつけ歯科医はいますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「いる」が最も高くなっています。



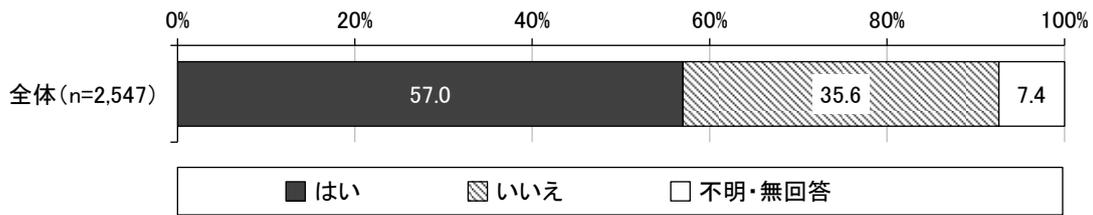
【家族構成別】〔問9（2） かかりつけ歯科医はいますか。〕

家族構成別にみると、すべての家族構成で「いる」が最も高くなっていますが、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)ではやや低くなっています。



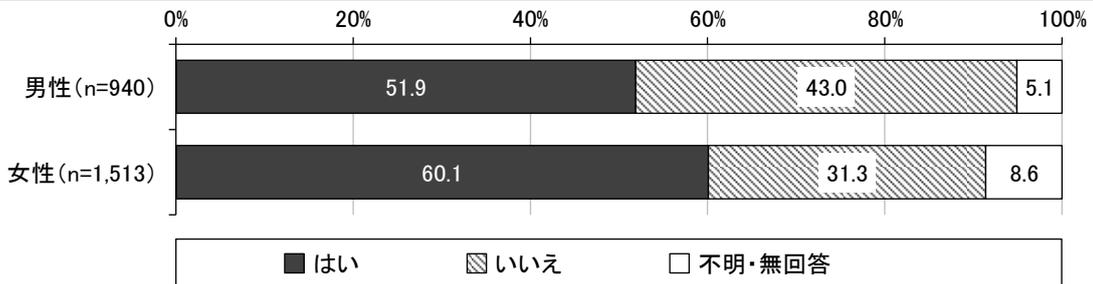
(3) かかりつけの薬局はありますか。(1つに○)

「はい」が57.0%と、「いいえ」の35.6%を上回っています。



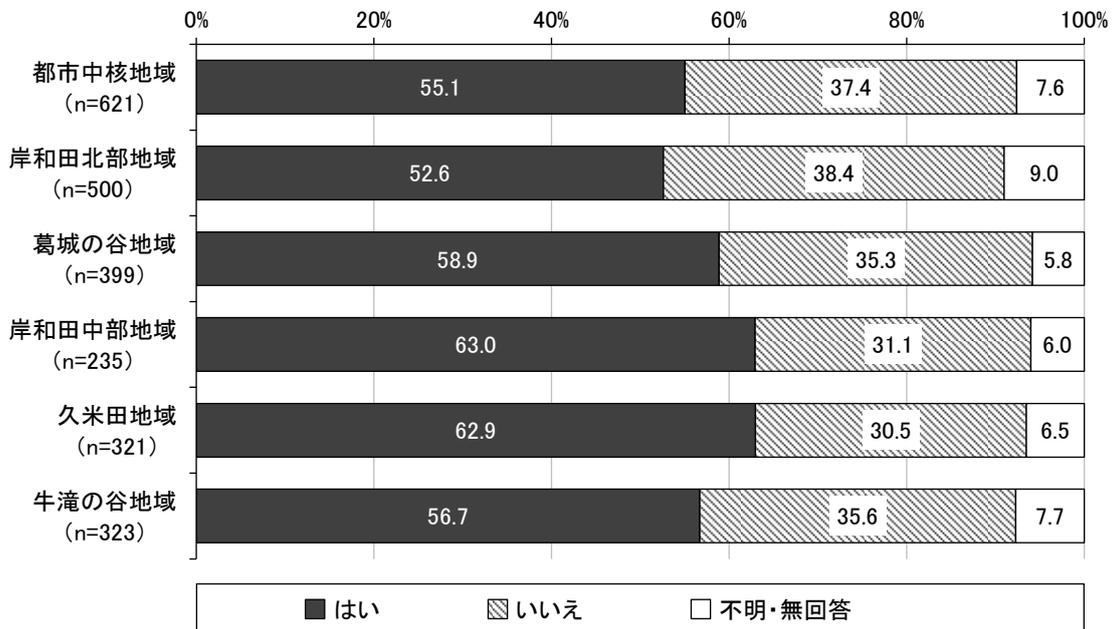
【性別】〔問9(3) かかりつけの薬局はありますか。〕

性別にみると、男女ともに「はい」が最も高くなっていますが、女性が60.1%と男性を8.2ポイント上回っています。



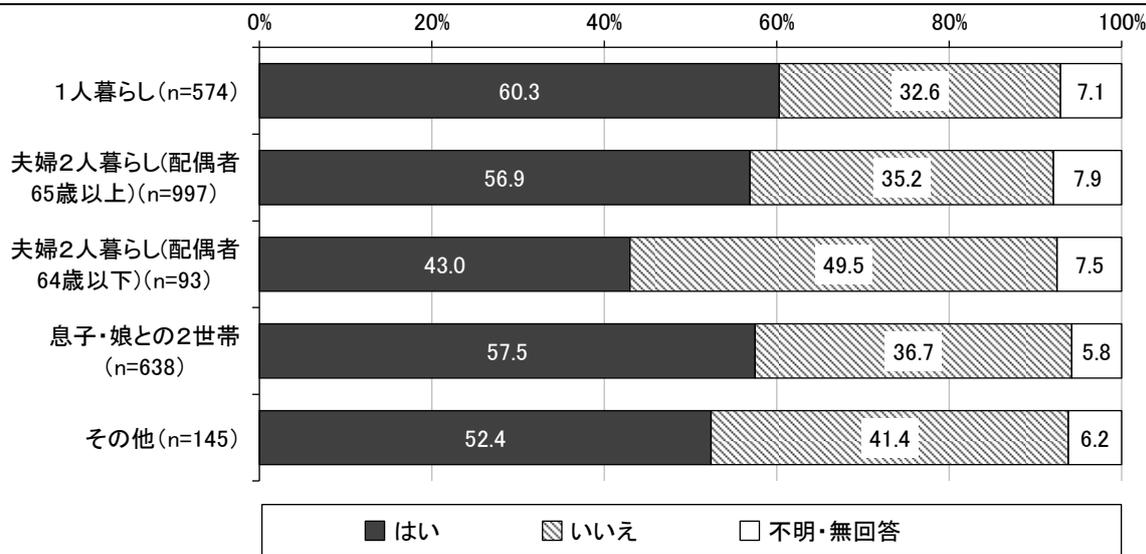
【地域別】〔問9(3) かかりつけの薬局はありますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「はい」が最も高くなっています。



【家族構成別】〔問9（3） かかりつけの薬局はありますか。〕

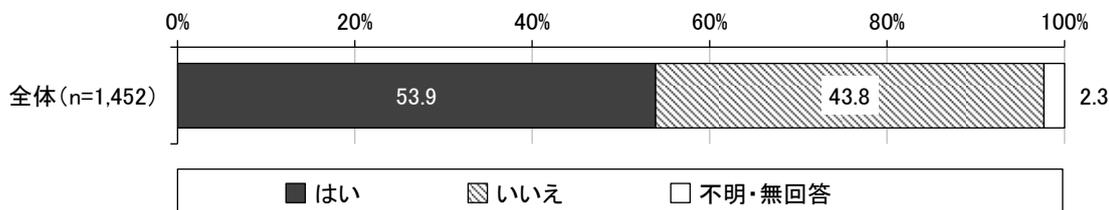
家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では「いいえ」、その他の家族構成では「はい」がそれぞれ最も高くなっています。



(3) で「はい」(かかりつけ薬局がある)と回答した方

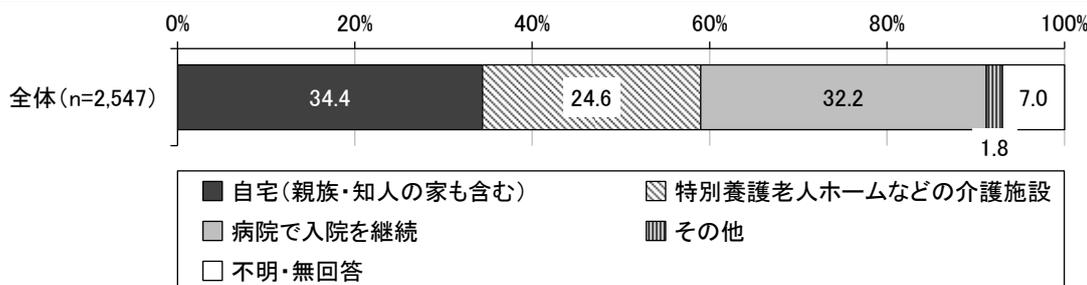
(3) - 1 かかりつけの薬剤師はいますか。(1つに○)

「はい」が53.9%と、「いいえ」の43.8%を上回っています。



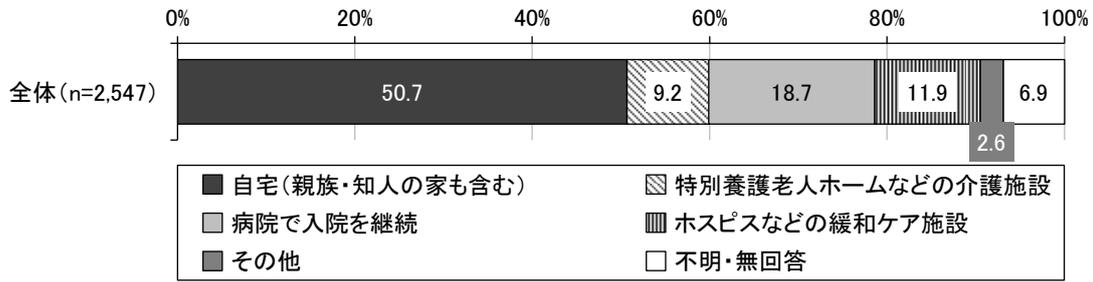
(4) あなたが脳卒中の後遺症などで症状の改善がすぐに見込めない状態で医療や介護が必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか。(1つに○)

「自宅(親族・知人の家も含む)」が34.4%と最も高く、次いで「病院で入院を継続」が32.2%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が24.6%となっています。



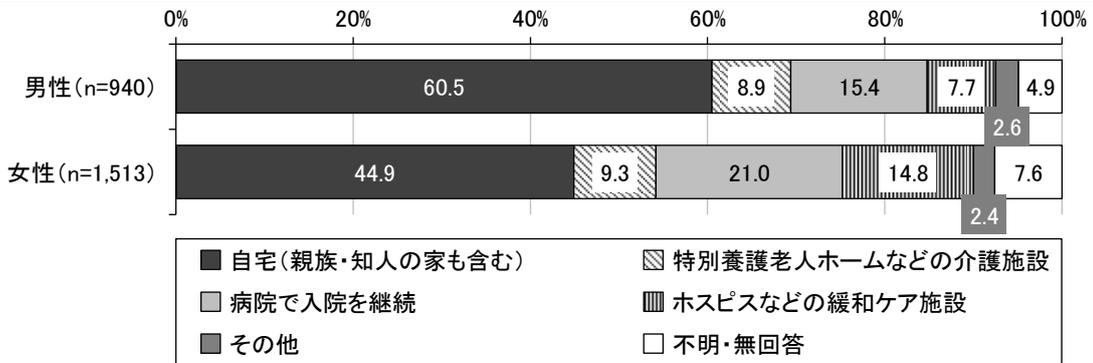
(5) あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。(1つに○)

「自宅（親族・知人の家も含む）」が50.7%と最も高く、次いで「病院で入院を継続」が18.7%、「ホスピスなどの緩和ケア施設」が11.9%となっています。



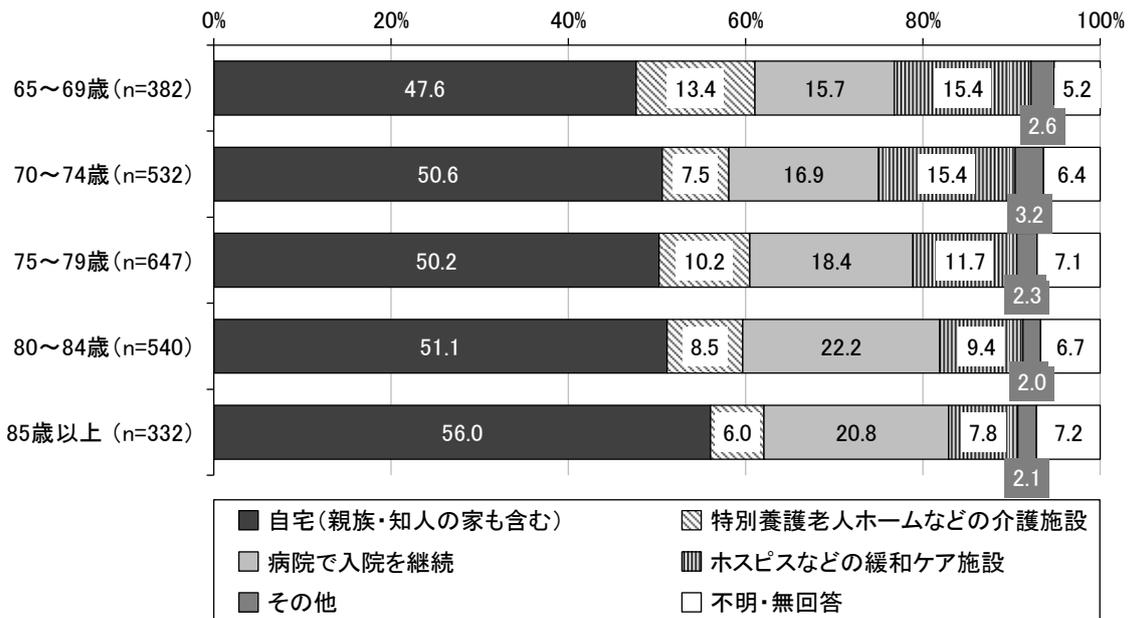
【性別】〔問9(5) あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。〕

性別にみると、男女ともに「自宅（親族・知人の家も含む）」が最も高くなっていますが、男性が60.5%と女性を15.6ポイント上回っています。



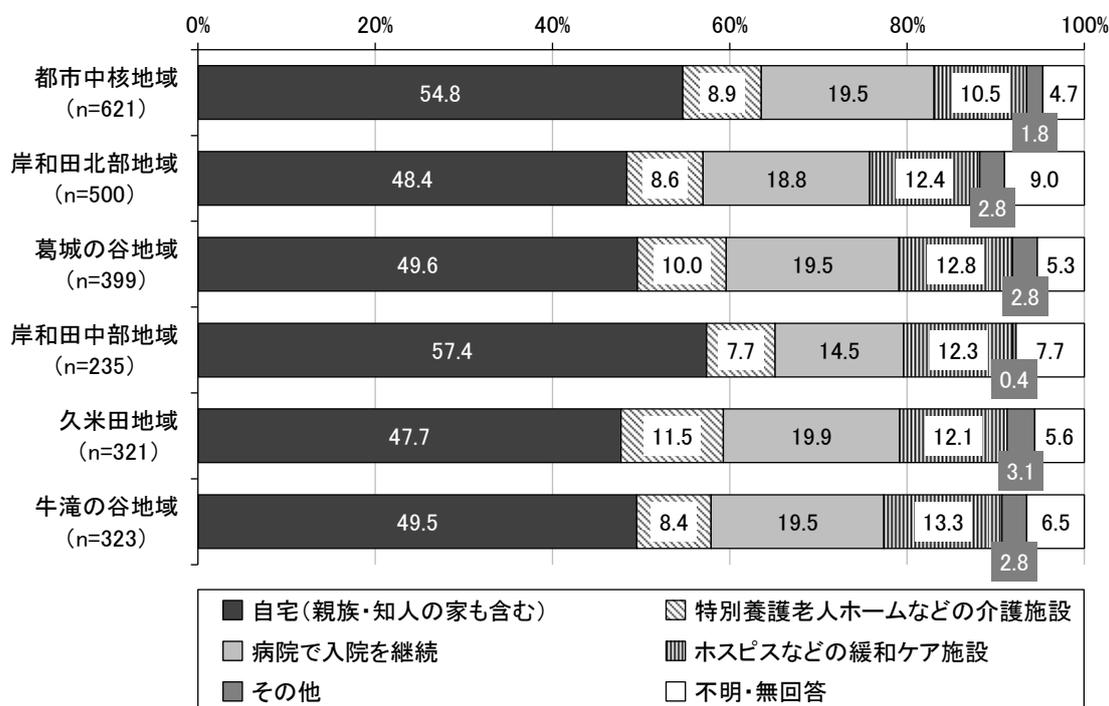
【年齢別】〔問9(5) あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。〕

年齢別にみると、85歳以上では「自宅（親族・知人の家も含む）」が56.0%と他の年齢と比べてやや高くなっています。



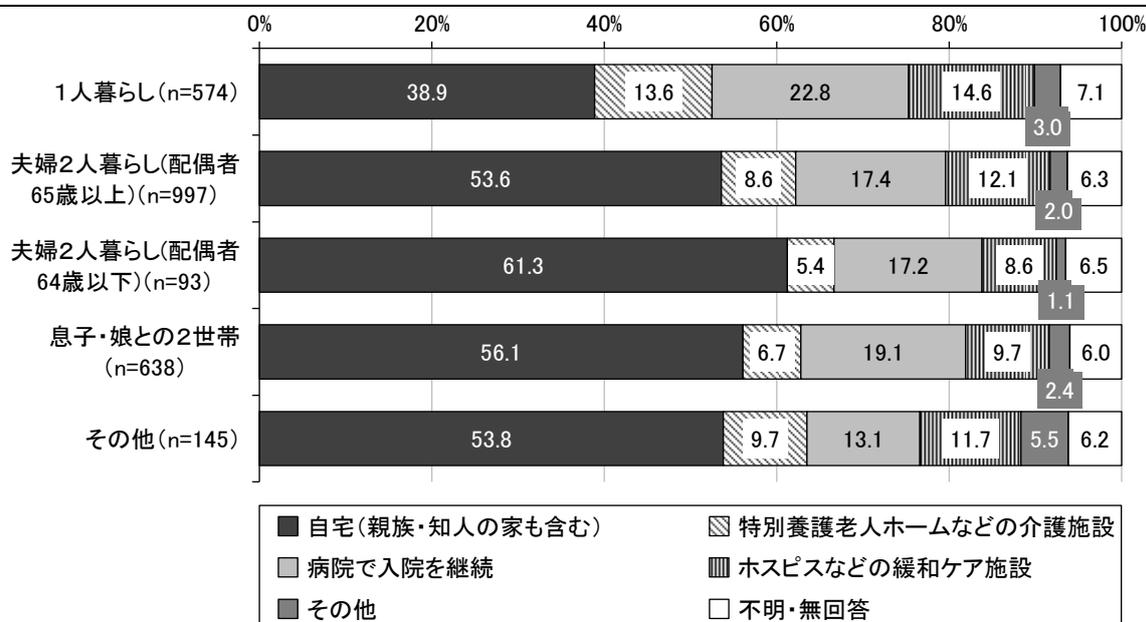
【地域別】〔問9（5） あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。〕

地域別にみると、すべての地区で「自宅（親族・知人の家も含む）」が最も高くなっていますが、都市中核地域と岸和田中部地域ではやや高くなっています。



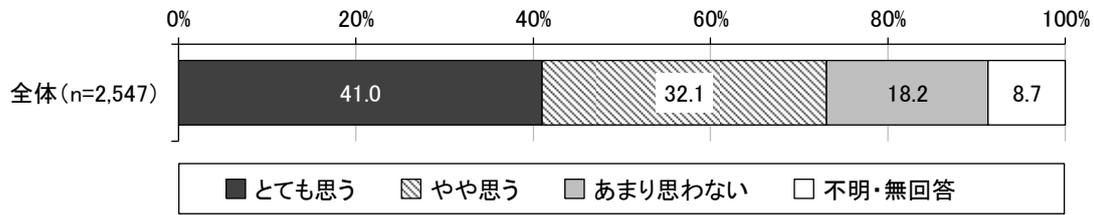
【家族構成別】〔問9（5） あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。〕

家族構成別にみると、すべての家族構成で「自宅（親族・知人の家も含む）」が最も高くなっていますが、1人暮らしではやや低くなっています。



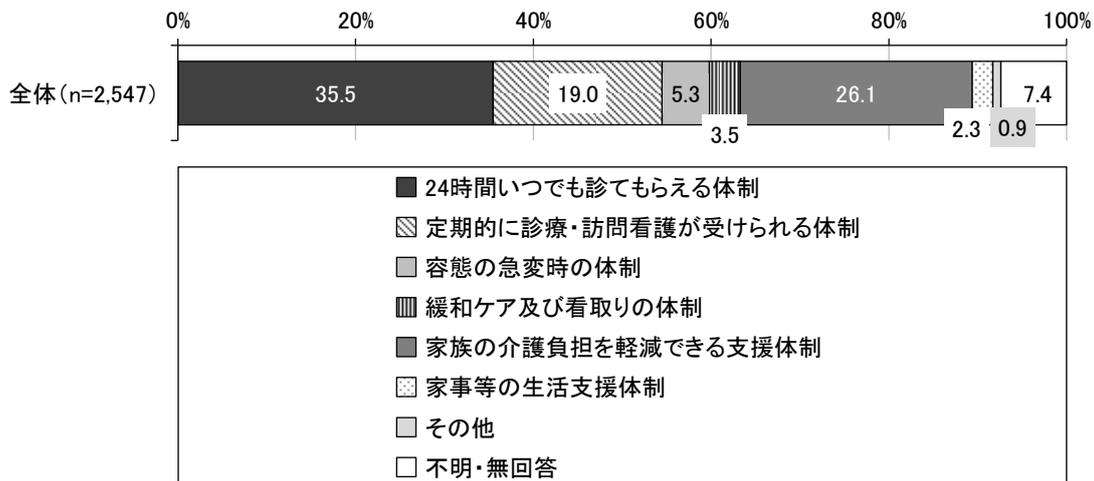
(6) 老衰や後遺症などで通院が困難になった場合も病院に入院せず、自宅療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思いますか。(1つに○)

「とても思う」が41.0%と最も高く、次いで「やや思う」が32.1%、「あまり思わない」が18.2%となっています。



(7) 在宅医療・介護を充実するにあたり、どのような在宅医療・介護体制の整備が最も重要だと思いますか。(1つに○)

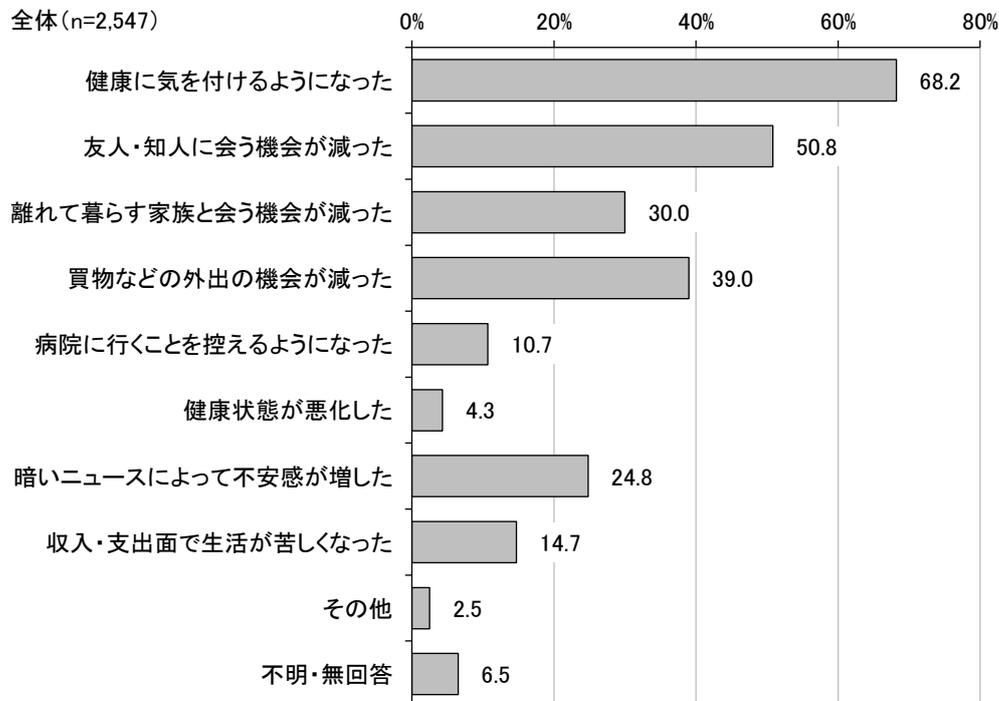
「24時間いつでも診てもらえる体制」が35.5%と最も高く、次いで「家族の介護負担を軽減できる支援体制」が26.1%、「定期的に診療・訪問看護が受けられる体制」が19.0%となっています。



問 10 高齢者福祉全般について

(1) 新型コロナウイルスの感染が拡大して以降、あなたの生活や心身の状態はどのように変わりましたか。(あてはまるものすべてに○)

「健康に気を付けるようになった」が 68.2%と最も高く、次いで「友人・知人に会う機会が減った」が 50.8%、「買物などの外出の機会が減った」が 39.0%となっています。



【性別】〔問 10 (1) 新型コロナウイルスの感染が拡大して以降、あなたの生活や心身の状態はどのように変わりましたか。〕

性別にみると、男女ともに「健康に気を付けるようになった」が最も高くなっています。

単位: %		健康に気を付けるようになった	友人・知人に会う機会が減った	離れて暮らす家族と会う機会が減った	買物などの外出の機会が減った	病院に行くことを控えた	健康状態が悪化した	暗いニュースによって不安感が増した	収入・支出面で生活が苦しくなった	その他	不明・無回答
全体 (n=2,547)		68.2	50.8	30.0	39.0	10.7	4.3	24.8	14.7	2.5	6.5
性別	男性 (n=940)	70.3	43.9	27.2	29.0	9.4	3.0	20.1	16.6	2.9	6.8
	女性 (n=1,513)	67.3	55.3	32.1	45.8	11.7	5.1	28.1	13.4	2.4	5.6

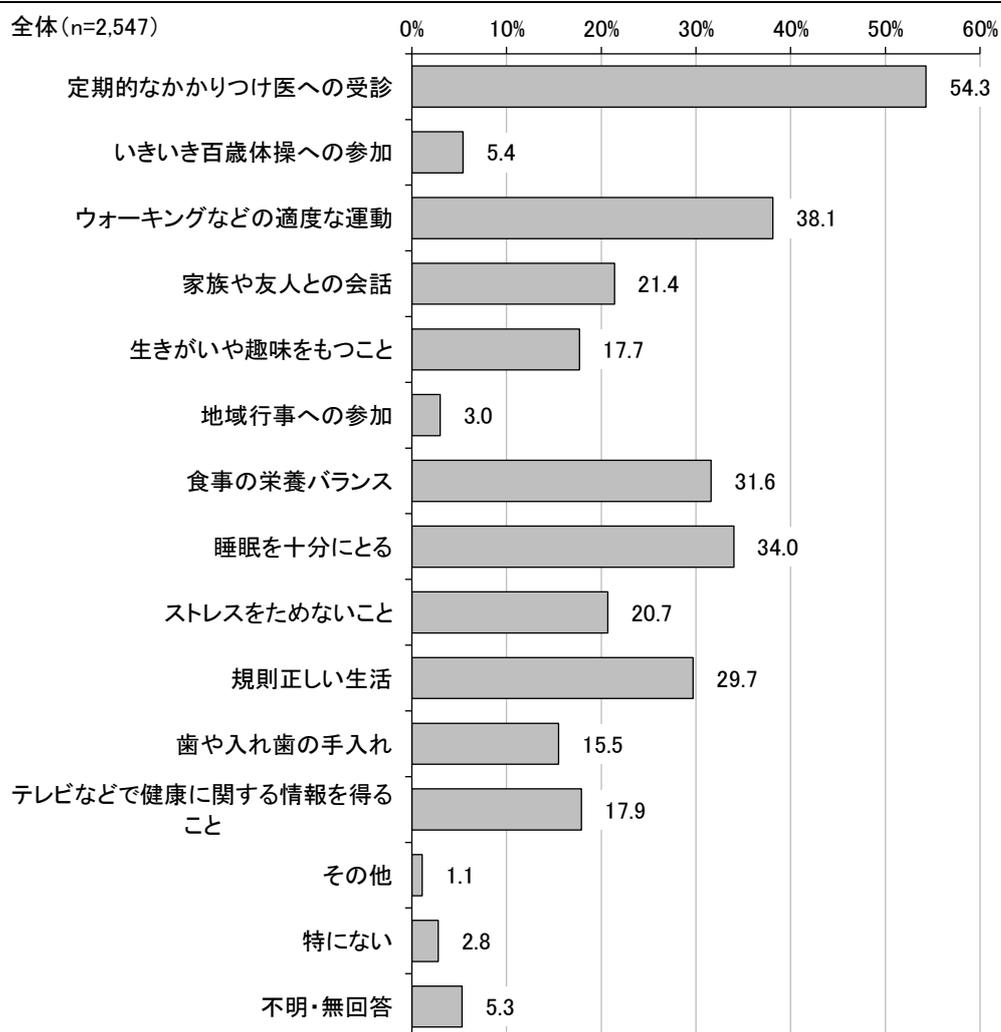
【地域別】〔問 10（1） 新型コロナウイルスの感染が拡大して以降、あなたの生活や心身の状態はどのように変わりましたか。〕

地域別にみると、「健康に気を付けるようになった」は都市中核地域、「収入・支出面で生活が苦しくなった」は岸和田北部と葛城の谷地域、「友人・知人に会う機会が減った」、「買物などの外出の機会が減った」、「健康状態が悪化した」葛城の谷地域、「その他」は岸和田中部地域、「離れて暮らす家族と会う機会が減った」、「暗いニュースによって不安感が増した」は久米田地域、「病院に行くことを控えるようになった」は牛滝の谷地域で高くなっています。

単位：%		健康に気を付けるようになった	友人・知人に会う機会が減った	離れて暮らす家族と会う機会が減った	買物などの外出の機会が減った	病院に行くことを控えた	健康状態が悪化した	暗いニュースによって不安感が増した	収入・支出面で生活が苦しくなった	その他	不明・無回答
全体 (n=2,547)		68.2	50.8	30.0	39.0	10.7	4.3	24.8	14.7	2.5	6.5
地域別	都市中核地域 (n=621)	70.2	51.2	28.7	39.5	8.1	4.7	25.1	13.7	3.1	6.3
	岸和田北部地域 (n=500)	68.0	48.2	30.6	39.8	12.4	4.8	23.8	16.0	2.2	5.0
	葛城の谷地域 (n=399)	67.9	55.6	31.3	42.4	9.8	5.0	26.6	16.0	2.8	6.0
	岸和田中部地域 (n=235)	68.1	51.5	31.9	40.0	11.5	4.3	23.0	11.5	3.4	6.0
	久米田地域 (n=321)	69.5	52.3	32.4	39.3	12.5	3.4	29.3	15.0	1.6	4.0
	牛滝の谷地域 (n=323)	66.9	49.8	29.1	36.2	12.7	2.5	22.3	13.9	2.2	9.3

(2) あなたは、健康を維持するためにしていることや、心がけていることがありますか。
(3つまで○)

「定期的なかかりつけ医への受診」が 54.3%と最も高く、次いで「ウォーキングなどの適度な運動」が 38.1%、「睡眠を十分にとる」が 34.0%となっています。



【年齢別】〔問 10（2） あなたは、健康を維持するためにしていることや、心がけていることがありますか。〕

年齢別にみると、すべての年齢で「定期的なかかりつけ医への受診」が最も高くなっていますが、65～74歳ではやや低くなっています。

単位：%		定期的な かかりつけ 医への受診	いきいき 百歳体操 への参加	ウォー キング などの適 度な運動	家族や友人 との会話	生きがい や趣味を もつこと	地域行事 への参加	食事の 栄養バ ランス	睡眠を 十分に とる	スト レスを ためな いこ と	規則 正しい 生活	歯や 入れ歯 の手入 れ	テレ ビなど で健康 に関 する情 報を得 ること	その他	特 に な い	不 明・ 無 回 答
全体(n=2,547)		54.3	5.4	38.1	21.4	17.7	3.0	31.6	34.0	20.7	29.7	15.5	17.9	1.1	2.8	5.3
年齢別	65～69歳(n=382)	45.8	0.5	38.2	25.1	25.1	2.9	31.4	34.6	29.6	32.5	13.6	11.8	1.3	3.1	2.6
	70～74歳(n=532)	50.4	1.5	47.7	20.5	19.5	2.8	33.6	33.6	21.6	34.0	13.0	13.7	0.6	2.3	4.5
	75～79歳(n=647)	56.1	5.3	41.4	21.3	17.5	1.9	30.6	34.5	23.0	29.7	15.1	20.6	1.4	2.9	4.2
	80～84歳(n=540)	60.7	10.6	33.7	22.2	14.6	3.9	31.7	32.2	15.2	23.7	17.6	21.1	1.1	1.7	6.5
	85歳以上(n=332)	57.2	9.0	26.2	18.1	12.0	2.7	31.0	35.2	16.0	29.2	17.8	22.3	1.8	3.9	6.9

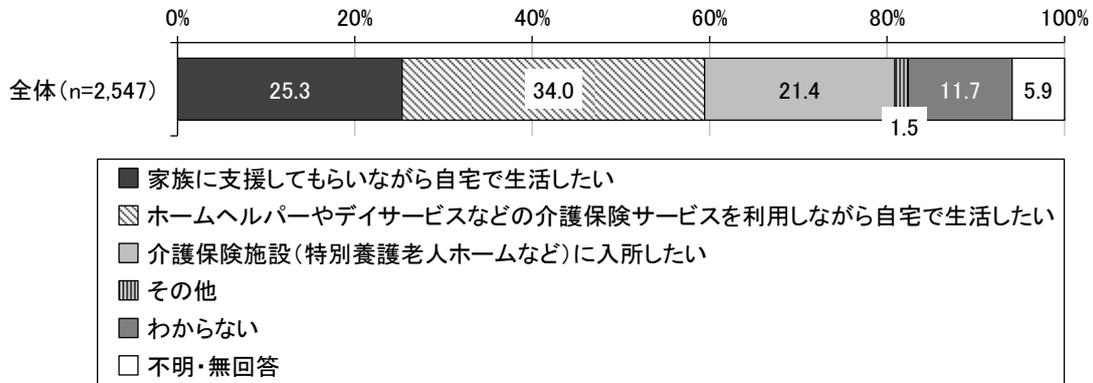
【地域別】〔問 10（2） あなたは、健康を維持するためにしていることや、心がけていることがありますか。〕

地域別にみると、「いきいき百歳体操への参加」、「歯や入れ歯の手入れ」は都市中核地域、「定期的なかかりつけ医への受診」は岸和田北部地域、「地域行事への参加」は岸和田北部地域と岸和田中部地域、「特にない」は葛城の谷地域、「ウォーキングなどの適度な運動」、「家族や友人との会話」、「生きがいや趣味をもつこと」、「食事の栄養バランス」、「その他」は岸和田中部地域、「ストレスをためないこと」、「規則正しい生活」、「テレビなどで健康に関する情報を得ること」は久米田地域、「睡眠を十分に取る」は牛滝の谷地域で高くなっています。

単位：%		定期的な かかりつけ 医への受診	いきいき 百歳体操 への参加	ウォー キング などの適 度な運動	家族や友人 との会話	生きがい や趣味を もつこと	地域行事 への参加	食事の 栄養バ ランス	睡眠を 十分に とる	スト レスを ためな いこ と	規則 正しい 生活	歯や 入れ歯 の手入 れ	テレ ビなど で健康 に関 する情 報を得 ること	その他	特 に な い	不 明・ 無 回 答
全体(n=2,547)		54.3	5.4	38.1	21.4	17.7	3.0	31.6	34.0	20.7	29.7	15.5	17.9	1.1	2.8	5.3
地域別	都市中核地域(n=621)	54.3	7.2	37.2	22.4	15.8	3.4	30.4	33.5	20.3	30.1	17.4	15.8	1.0	2.6	4.3
	岸和田北部地域(n=500)	57.2	5.0	38.4	23.2	18.6	3.8	28.4	32.0	22.6	29.2	16.2	20.2	0.8	3.0	4.2
	葛城の谷地域(n=399)	53.6	4.5	42.6	18.3	18.0	1.3	32.8	34.1	18.0	28.3	15.5	16.5	1.5	4.0	4.5
	岸和田中部地域(n=235)	51.1	5.1	43.0	23.4	20.4	3.8	40.0	34.9	20.9	27.7	11.9	16.2	2.1	2.1	4.7
	久米田地域(n=321)	53.9	3.7	36.4	22.1	18.7	1.6	27.4	34.9	23.4	37.1	13.4	22.4	1.6	2.5	4.4
	牛滝の谷地域(n=323)	56.3	5.6	35.3	19.2	17.6	3.4	34.7	35.3	21.1	27.9	13.6	17.3	0.9	1.2	7.7

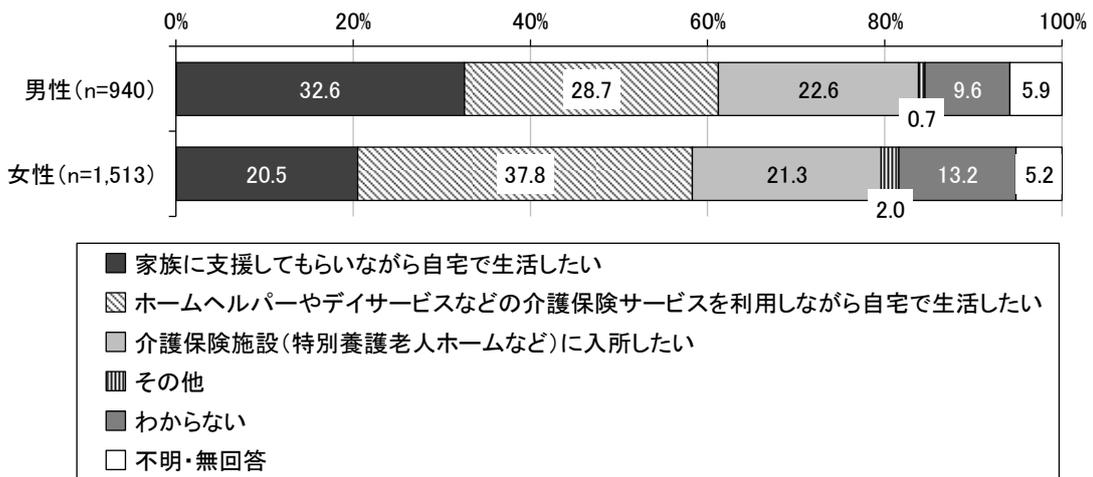
(3) あなたに介護が必要になった場合、どこで暮らしたいですか。(1つに○)

「ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい」が34.0%と最も高く、次いで「家族に支援してもらいながら自宅で生活したい」が25.3%、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」が21.4%となっています。



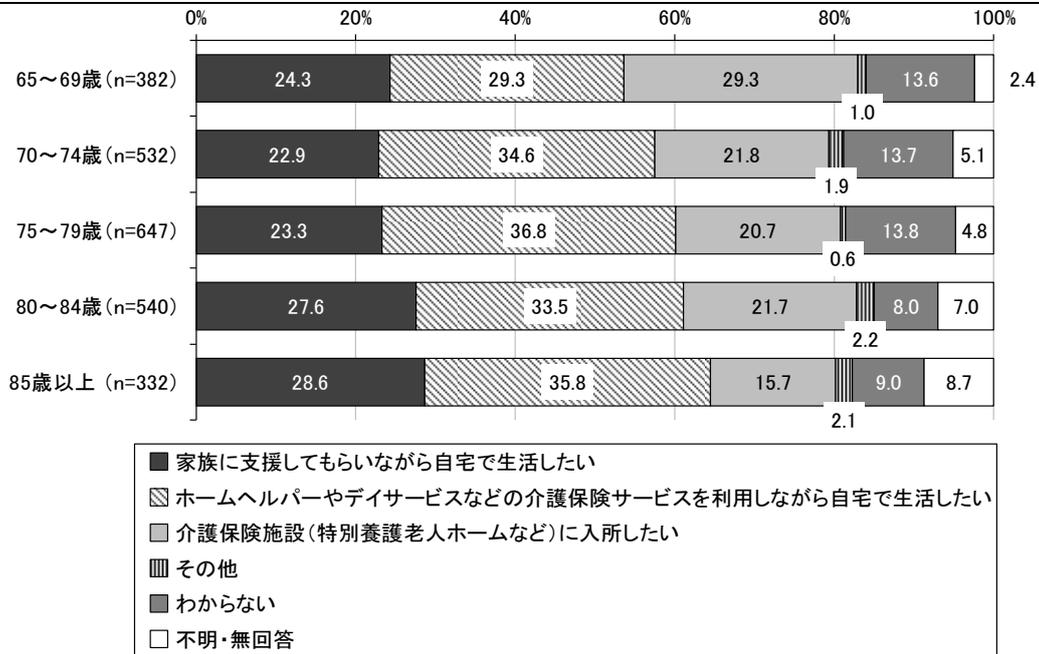
【性別】〔問10(3) あなたに介護が必要になった場合、どこで暮らしたいですか。〕

性別にみると、男性では「家族に支援してもらいながら自宅で生活したい」、女性では「ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい」が最も高くなっています。



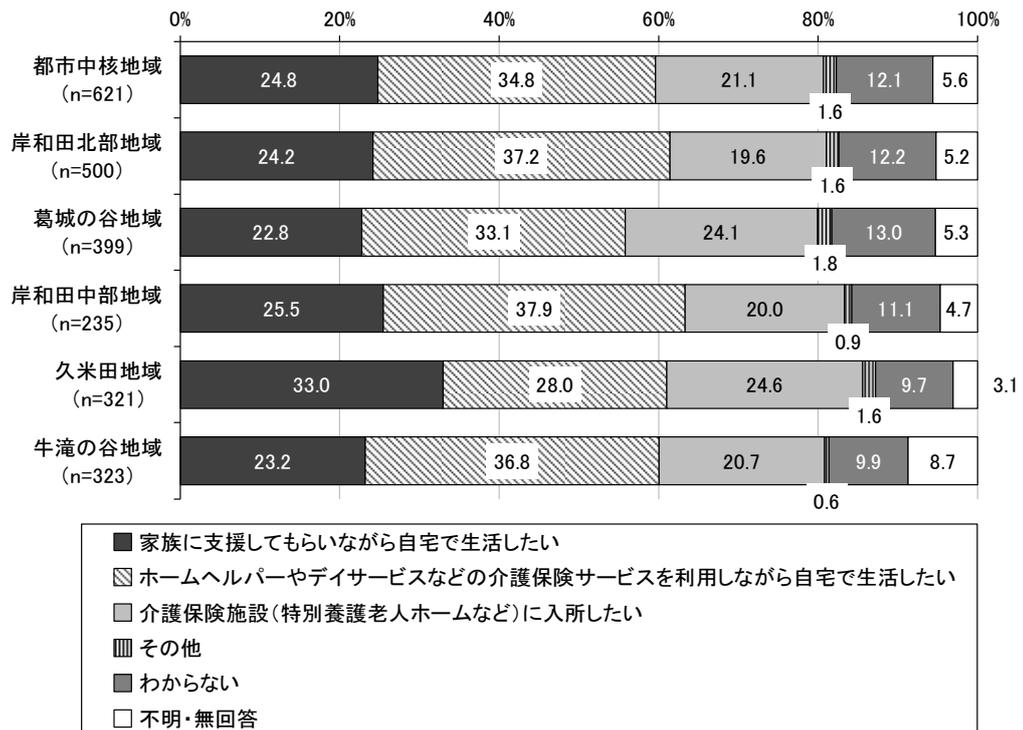
【年齢別】〔問 10（3） あなたに介護が必要になった場合、どこで暮らしたいですか。〕

年齢別にみると、65～69歳では「ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい」「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」、その他の年齢では「ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい」がそれぞれ最も高くなっています。



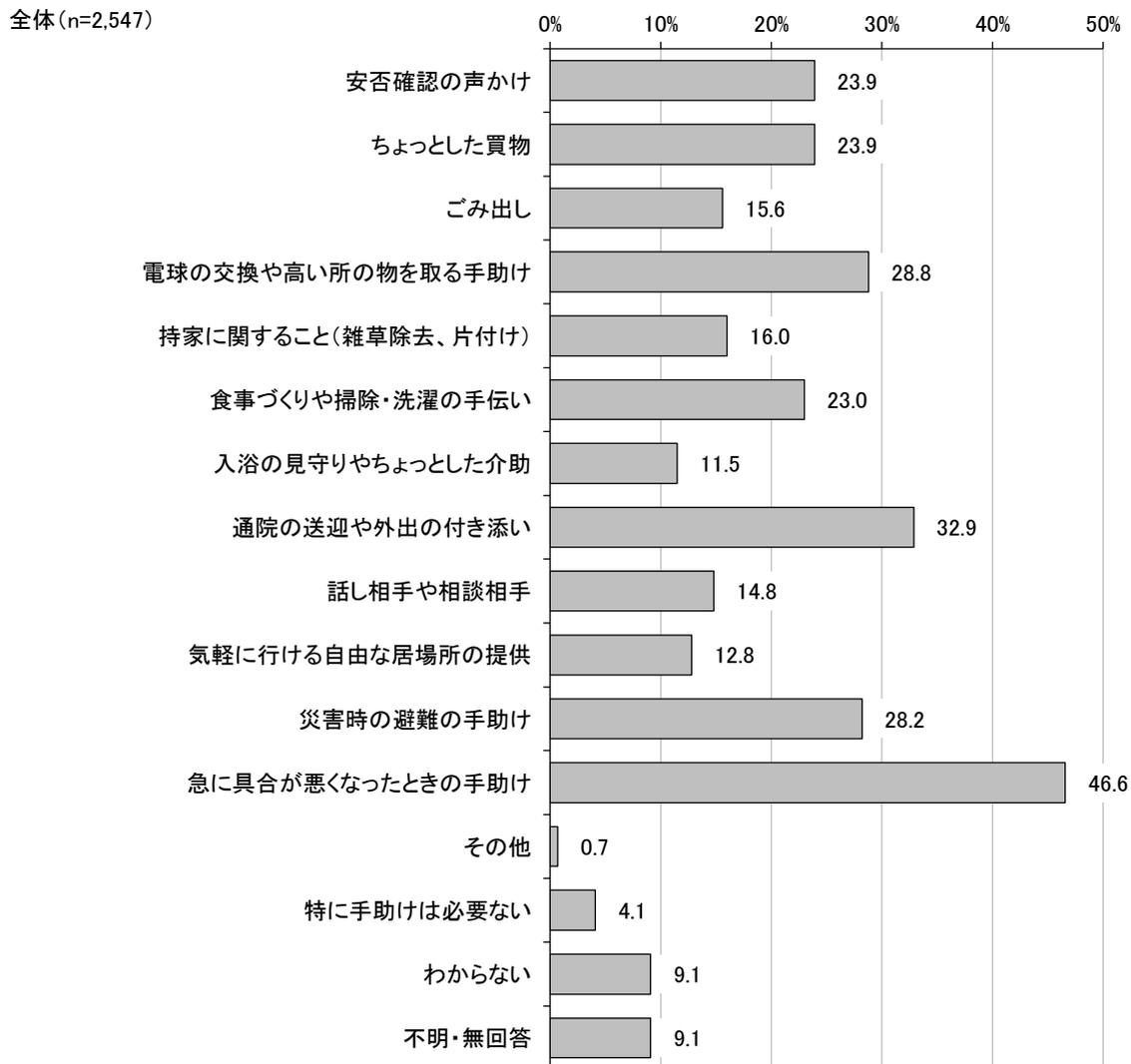
【地域別】〔問 10（3） あなたに介護が必要になった場合、どこで暮らしたいですか。〕

地域別にみると、久米田地域では「家族に支援してもらいながら自宅で生活したい」、その他の地域では「ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい」がそれぞれ最も高くなっています。



(4) 将来的にあなたが、「ちょっとした困りごと」で手助けしてほしいと思われるものはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「急に具合が悪くなったときの手助け」が46.6%と最も高く、次いで「通院の送迎や外出の付き添い」が32.9%、「電球の交換や高い所の物を取る手助け」が28.8%となっています。



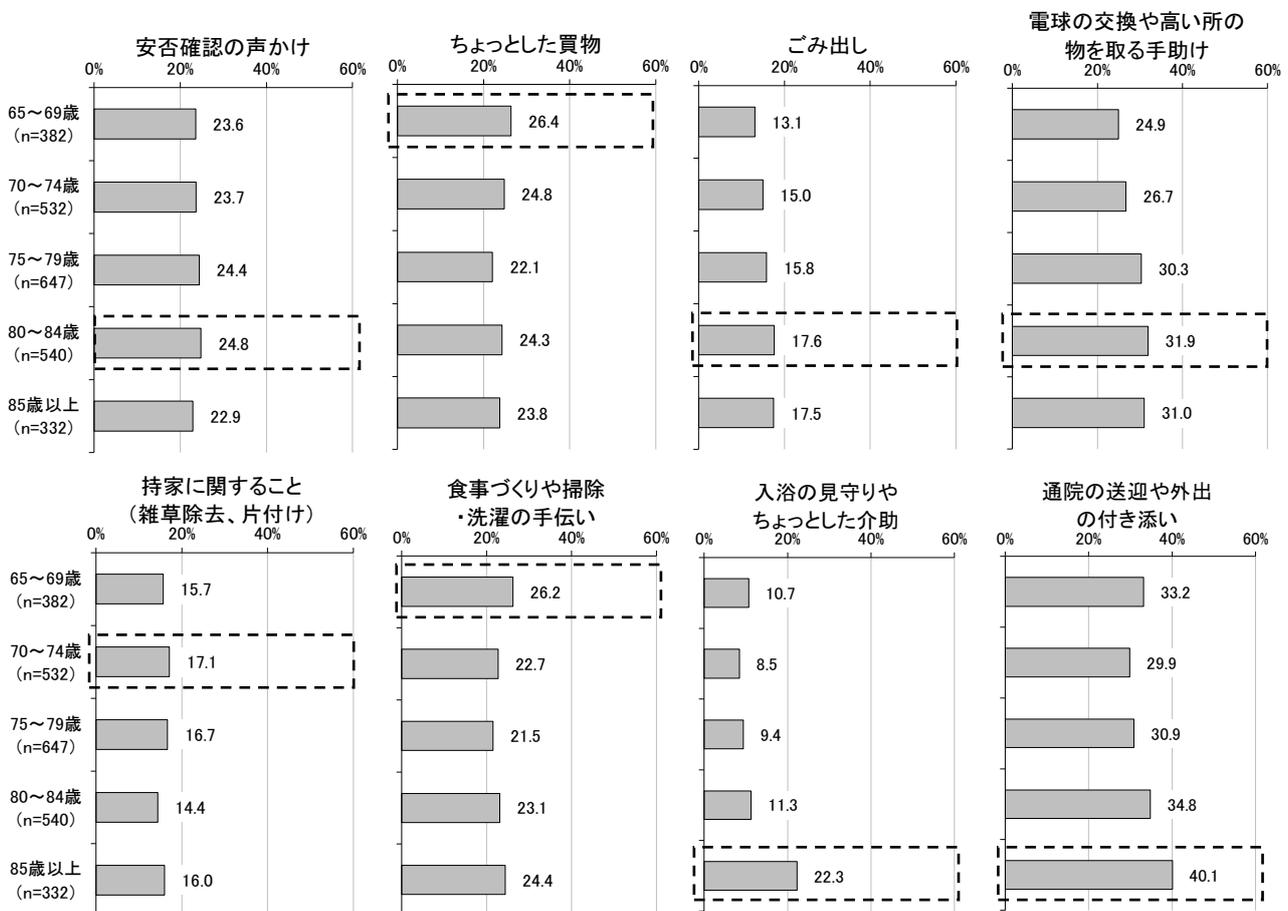
【性別】〔問10(4) 将来的に「ちょっとした困りごと」で手助けしてほしいと思われるもの〕

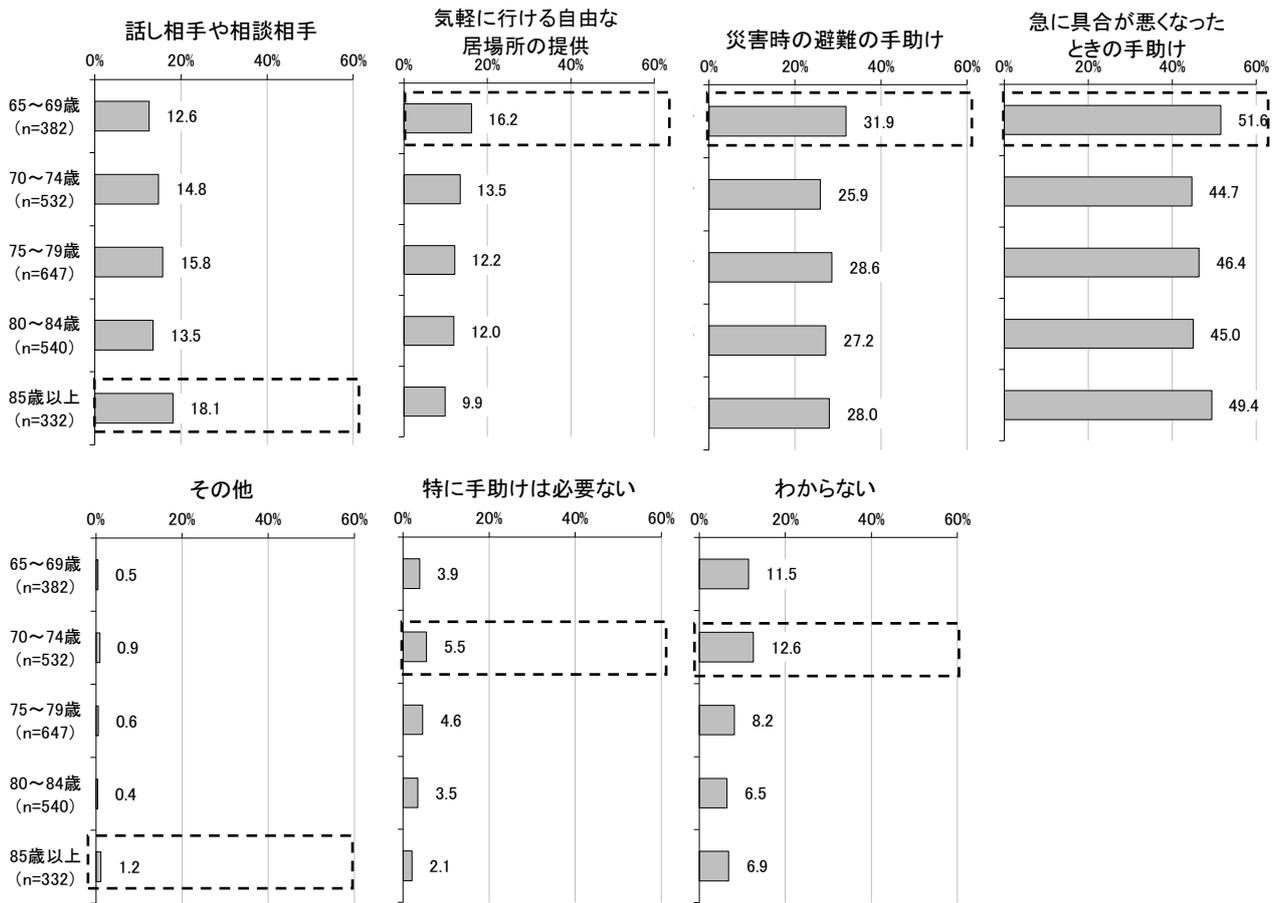
性別にみると、男女ともに「急に具合が悪くなった時の手助け」が最も高くなっています。

単位：%		安否確認の声かけ	ちょっとした買物	ごみ出し	電球の交換や高い所の物を取る手助け	持家に関すること（雑草除去、片付け）	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	入浴の見守りやちょっとした介助	き添い	通院の送迎や外出の付き添い	話し相手や相談相手	気軽に行ける自由な居場所の提供	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他	特に手助けは必要ない	わからない	不明・無回答
全体 (n=2,547)		23.9	23.9	15.6	28.8	16.0	23.0	11.5	32.9	14.8	12.8	28.2	46.6	0.7	4.1	9.1	9.1	
性別	男性 (n=940)	25.4	21.6	13.8	19.9	15.3	25.9	10.3	27.6	13.2	14.3	24.8	44.0	0.9	6.1	10.5	8.4	
	女性 (n=1,513)	23.1	25.8	17.2	35.0	16.7	21.7	12.4	36.7	15.9	11.9	30.5	48.6	0.6	3.0	8.1	8.7	

【年齢別】〔問10(4) 将来的に「ちょっとした困りごと」で手助けしてほしいと思われるもの〕

年齢別にみると、「ちょっとした買物」、「食事づくりや掃除・洗濯の手伝い」、「気軽に行ける自由な居場所の提供」、「災害時の避難の手助け」、「急に具合が悪くなった時の手助け」は65～69歳、「持家に関すること（雑草除去、片付け）」、「特に手助けは必要ない」、「わからない」は70～74歳、「安否確認の声かけ」、「ごみ出し」、「電球の交換や高い所の物を取る手助け」は80～84歳、「入浴の見守りやちょっとした介助」、「通院の送迎や外出の付き添い」、「話し相手や相談相手」、「その他」は85歳以上で高くなっています。

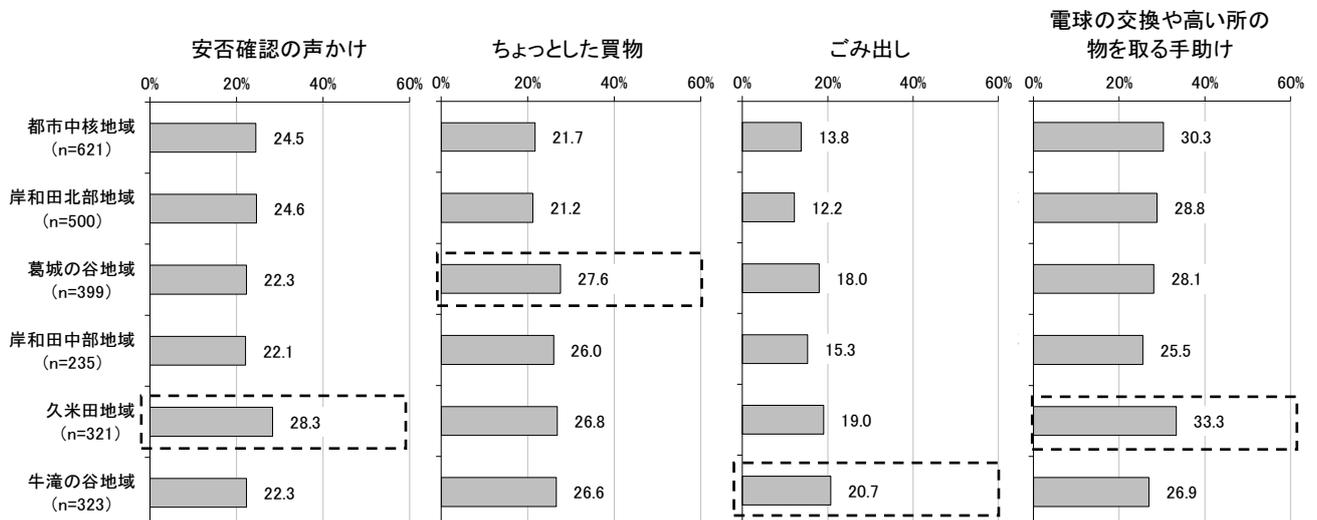


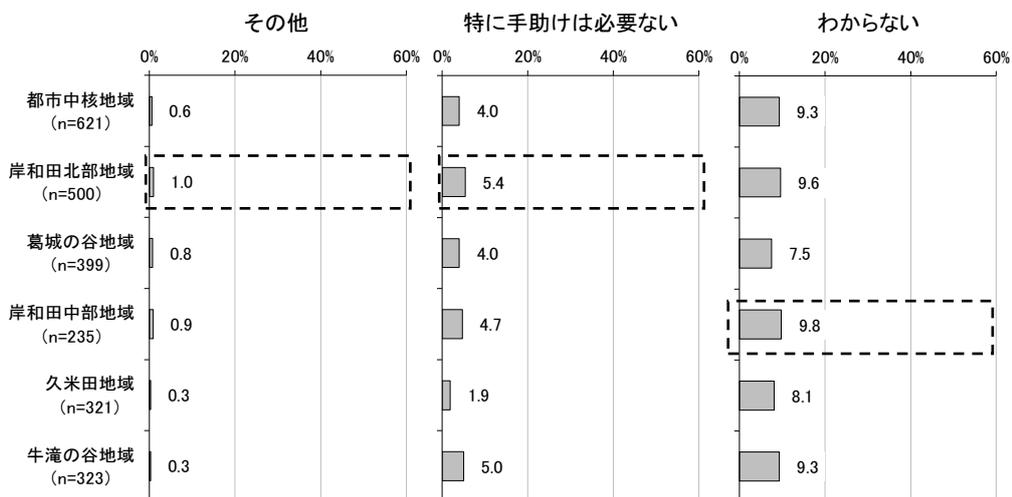
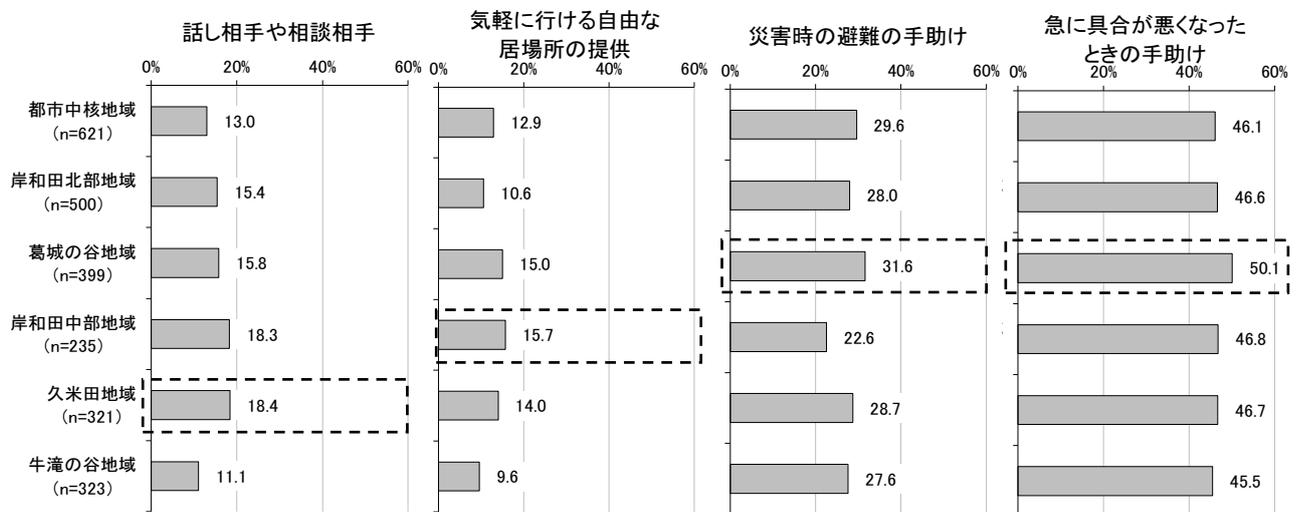
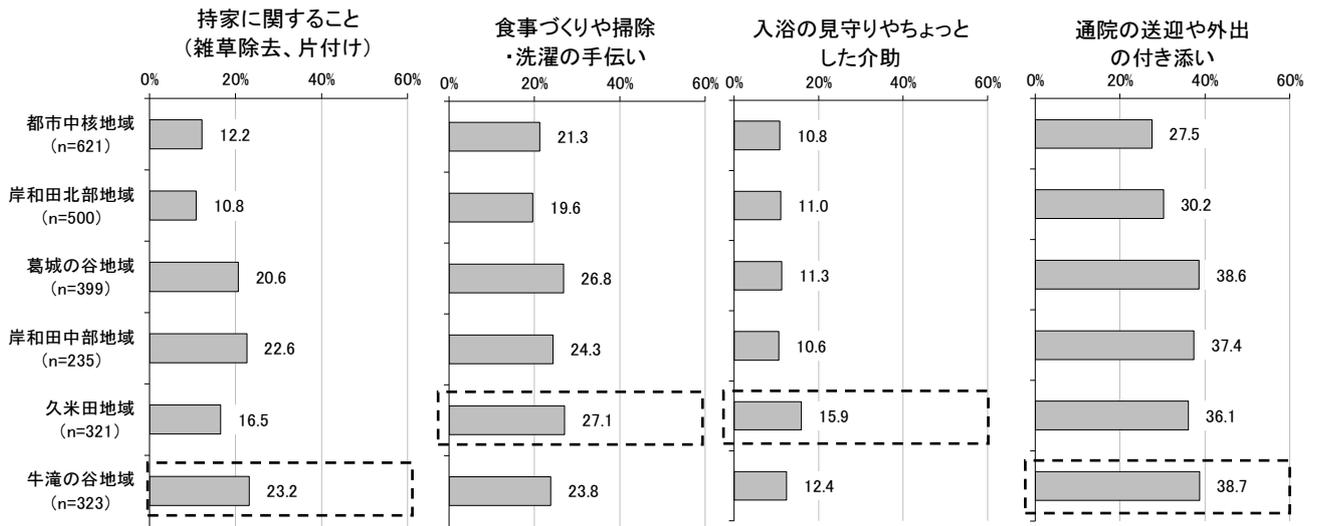


【地域別】〔問 10（4） 将来的に「ちょっとした困りごと」で手助けしてほしいと思われるもの〕

地域別にみると、「その他」、「特に手助けは必要ない」は岸和田北部地域、「ちょっとした買物」、「災害時の避難の手助け」、「急に具合が悪くなったときの手助け」は葛城の谷地域、「気軽に行ける自由な居場所の提供」は岸和田中部地域、「安否確認の声かけ」、「電球の交換や高い所の物を取る手助け」、「食事づくりや掃除・洗濯の手伝い」、「入浴の見守りやちょっとした介助」、「話し相手や相談相手」は久米田地域、「ごみ出し」、「持家に関すること（雑草除去、片付け）」、「通院の送迎や外出の付き添い」は牛滝の谷地域で高くなっています。

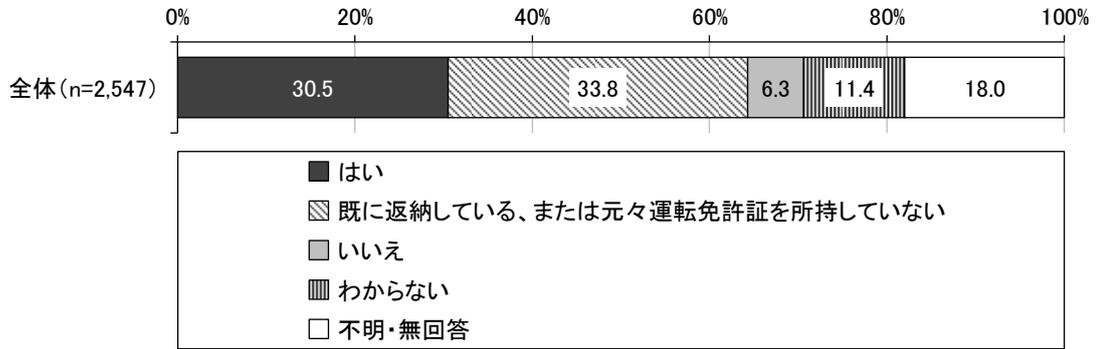
すべての地域で「急に具合が悪くなったときの手助け」を必要としている一方で、地域の状況によって、手助けしてほしい内容に変化があることがわかります。





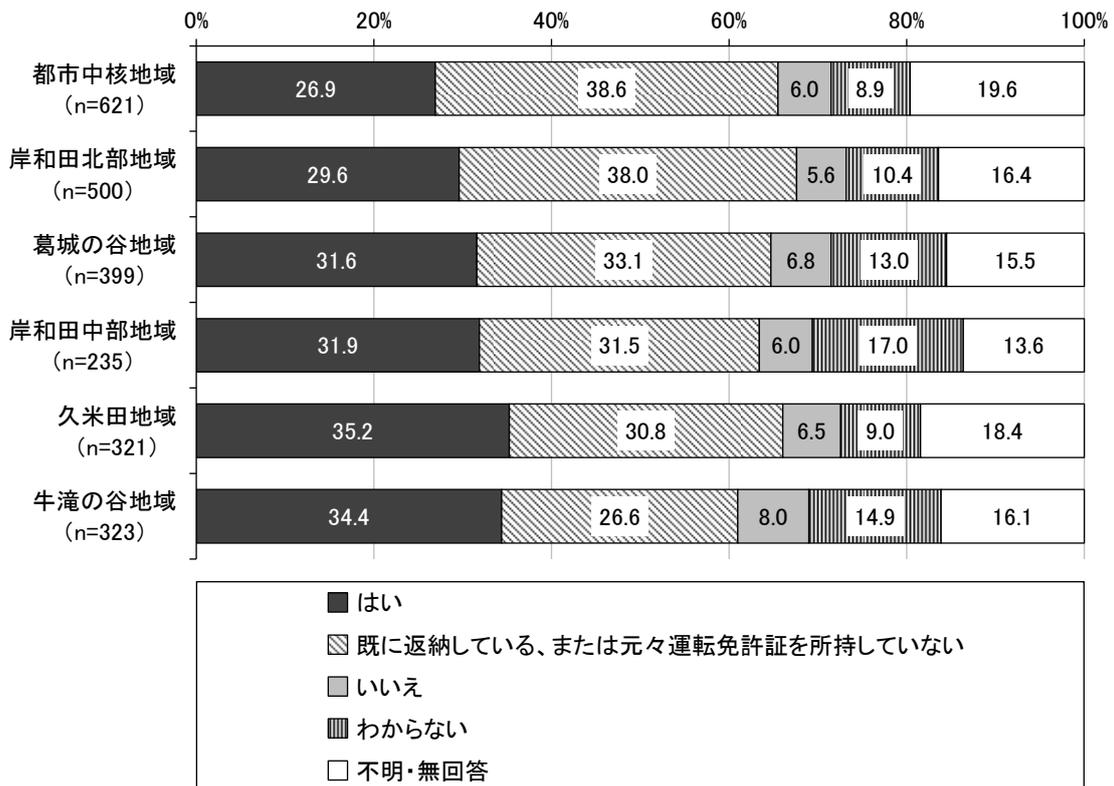
(5) 将来的に運転免許証を自主返納したいと思いますか。(1つに○)

「既に返納している、または元々運転免許証を所持していない」が33.8%と最も高く、次いで「はい」が30.5%、「わからない」が11.4%となっています。



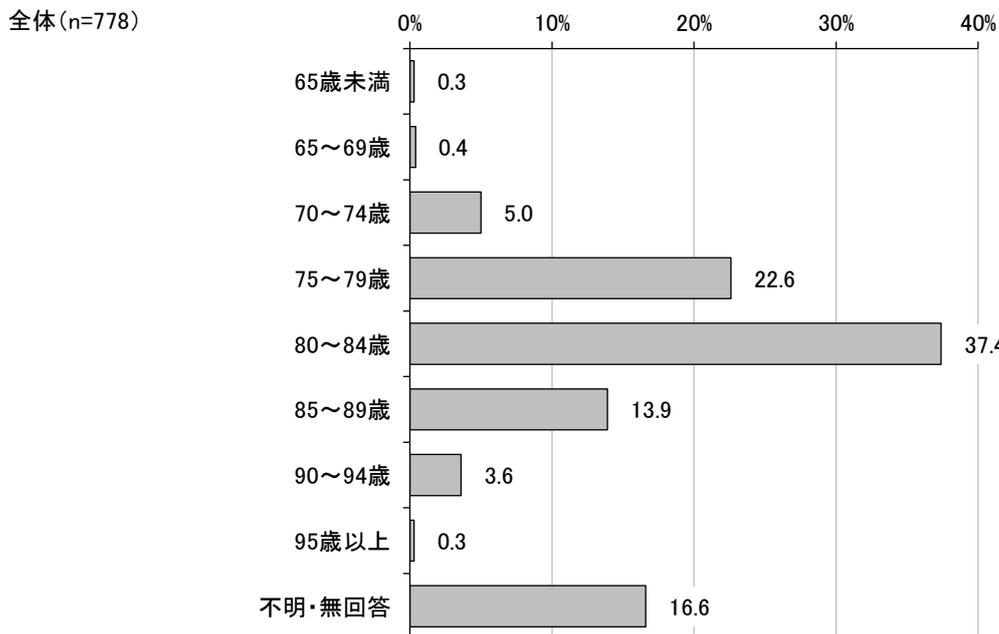
【地域別】〔問 10 (5) 将来的に運転免許証を自主返納したいと思いますか。〕

地域別にみると、都市中核地域と岸和田北部地域と葛城の谷地域では「既に返納している、または元々運転免許証を所持していない」、その他の地域では「はい」がそれぞれ最も高くなっています。



* 何歳になったら返納しようと思うか

「80～84歳」が37.4%と最も高く、次いで「75～79歳」が22.6%、「85～89歳」が13.9%となっています。



【地域別】〔問10(5) 何歳になったら返納しようと思うか。〕

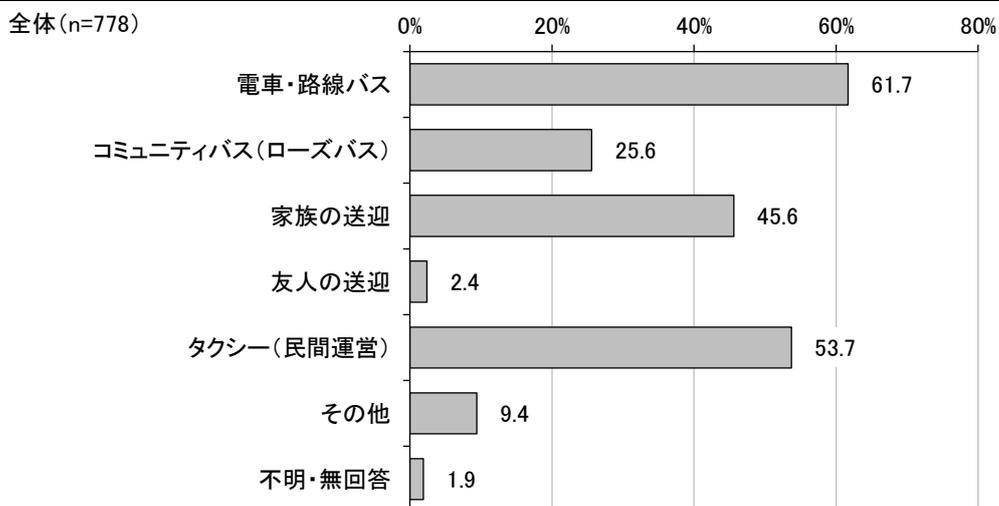
地域別にみると、すべての地区で「80～84歳」が最も高くなっています。

単位: %		65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	不明・無回答
全体(n=778)		0.3	0.4	5.0	22.6	37.4	13.9	3.6	0.3	16.6
地域別	都市中核地域(n=167)	0.6	1.2	8.4	23.4	40.1	7.2	5.4	0.0	13.8
	岸和田北部地域(n=148)	0.0	0.7	5.4	29.7	36.5	12.2	1.4	0.0	14.2
	葛城の谷地域(n=126)	0.8	0.0	4.0	27.0	34.1	17.5	1.6	0.0	15.1
	岸和田中部地域(n=75)	0.0	0.0	4.0	16.0	40.0	13.3	6.7	0.0	20.0
	久米田地域(n=113)	0.0	0.0	3.5	18.6	35.4	17.7	0.9	0.0	23.9
	牛滝の谷地域(n=111)	0.0	0.0	2.7	14.4	42.3	19.8	6.3	0.0	14.4

(5)で「はい」と回答した方

(5) - 1 運転免許証を返納した場合の交通手段について教えてください。(3つまで○)

「電車・路線バス」が61.7%と最も高く、次いで「タクシー(民間運営)」が53.7%、「家族の送迎」が45.6%となっています。



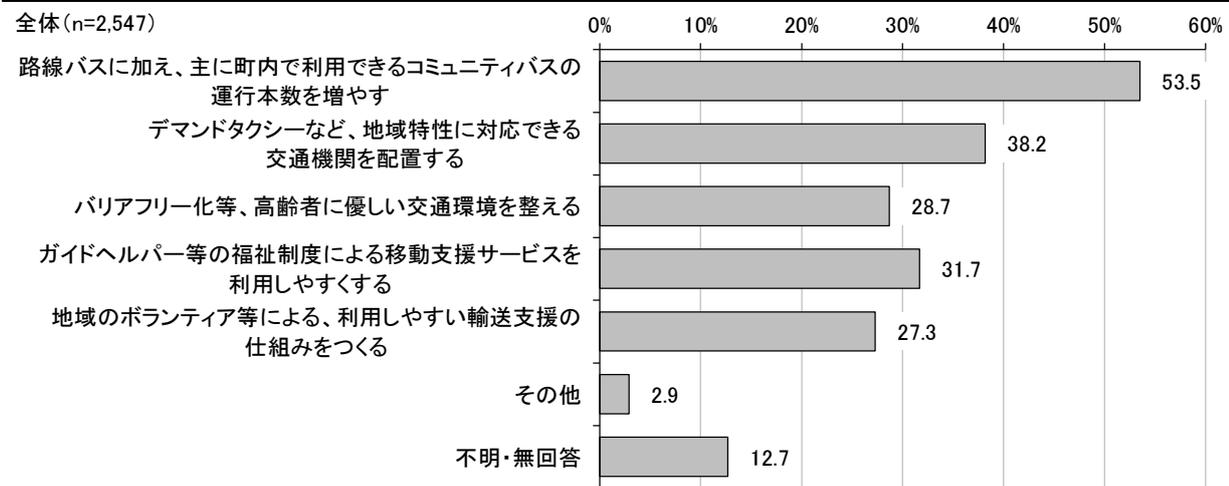
【地域別】〔問 10 (5) - 1 運転免許証を返納した場合の交通手段について教えてください。〕

地域別にみると、「友人の送迎」、「その他」は岸和田北部地域、「電車・路線バス」、「タクシー(民間運営)」は葛城の谷地域、「コミュニティバス(ローズバス)」は久米田地域、「家族の送迎」は牛滝の谷地域が高くなっています。

単位: %		電車・路線バス	(コミュニティバス)	家族の送迎	友人の送迎	タクシー(民間運営)	その他	不明・無回答
全体(n=778)		61.7	25.6	45.6	2.4	53.7	9.4	1.9
地域別	都市中核地域(n=167)	64.7	34.1	41.9	3.0	60.5	5.4	2.4
	岸和田北部地域(n=148)	57.4	20.3	45.9	3.4	48.6	12.2	2.7
	葛城の谷地域(n=126)	72.2	15.9	43.7	0.8	62.7	7.1	0.8
	岸和田中部地域(n=75)	56.0	32.0	50.7	2.7	57.3	9.3	1.3
	久米田地域(n=113)	64.6	36.3	39.8	2.7	51.3	11.5	1.8
	牛滝の谷地域(n=111)	55.9	18.9	55.9	2.7	42.3	7.2	0.9

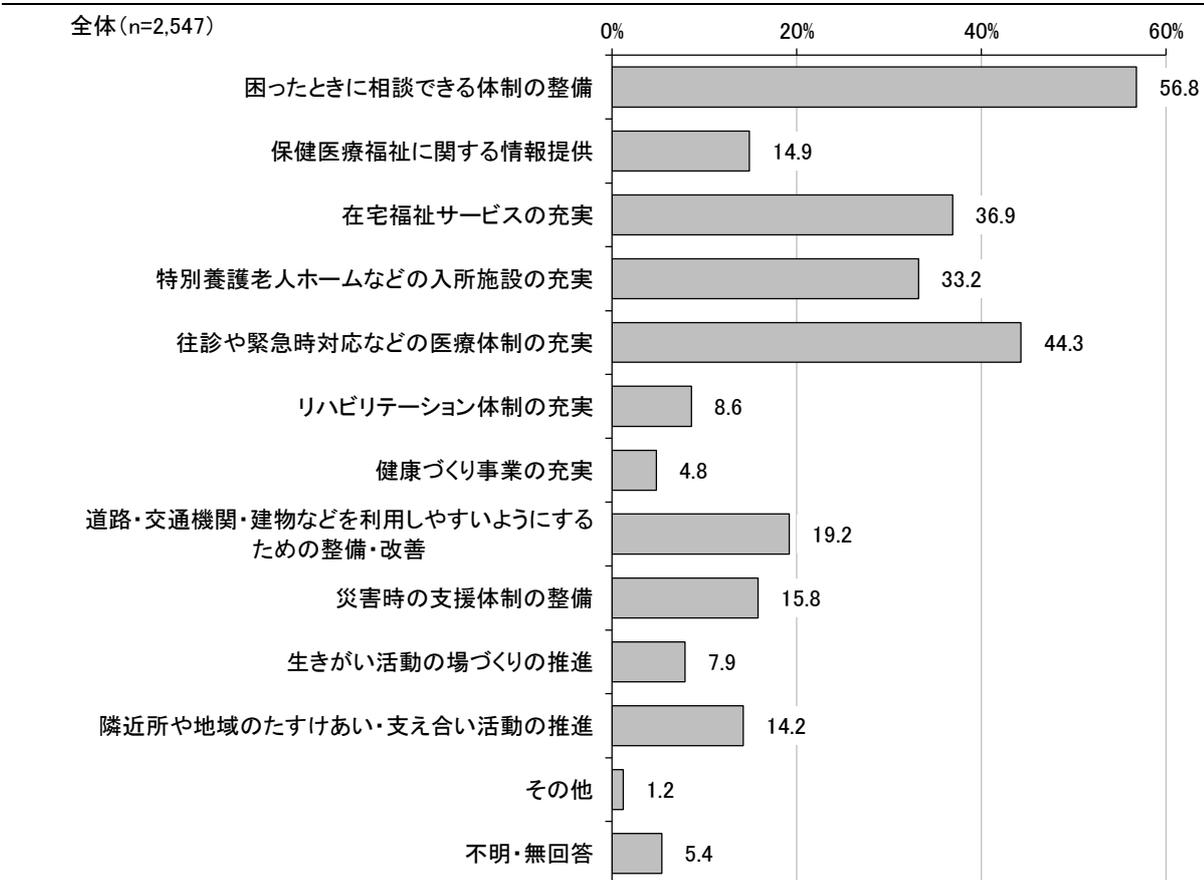
(6) 高齢になっても、不便なく交通機関などを利用して移動するために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで○)

「路線バスに加え、主に町内で利用できるコミュニティバスの運行本数を増やす」が53.5%と最も高く、次いで「デマンドタクシーなど、地域特性に対応できる交通機関を配置する」が38.2%、「ガイドヘルパー等の福祉制度による移動支援サービスを利用しやすくする」が31.7%となっています。



(7) 高齢者にとって住みよいまちをつくるために、どんなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

「困ったときに相談できる体制の整備」が56.8%と最も高く、次いで「往診や緊急時対応などの医療体制の充実」が44.3%、「在宅福祉サービスの充実」が36.9%となっています。



生活機能評価項目別のリスク判定

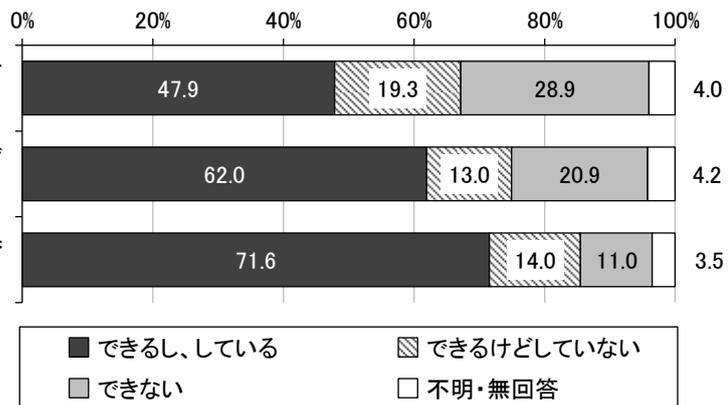
(1) 運動器機能の低下

高齢者の運動器機能に関するリスク判定は、以下の設問5問中3問以上に該当した場合に、運動器機能の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわず昇れるか	「できない」
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか	「できない」
問2 (3)	15分位続けて歩けるか	「できない」
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験があるか	「何度もある」「1度ある」
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいのか	「とても不安である」「やや不安である」

全体 (n=2,547)

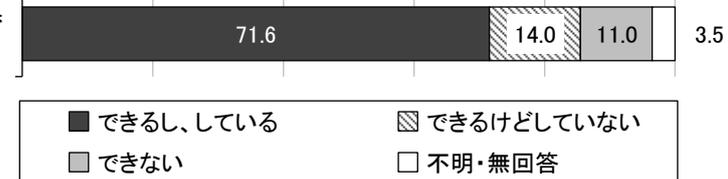
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。



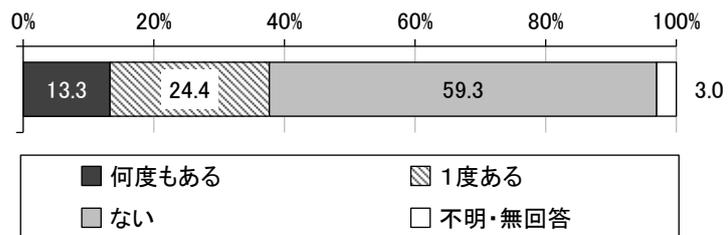
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



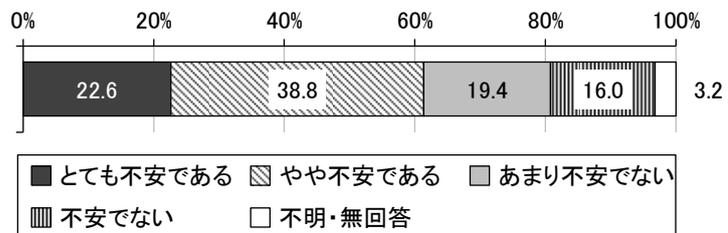
(3) 15分位続けて歩いていますか。(杖や歩行器を使用している場合も含みます)



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

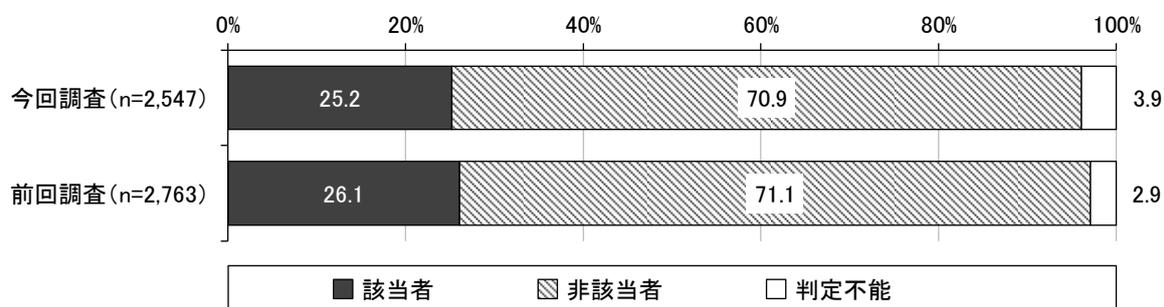


(5) 転倒に対する不安は大きいですか。



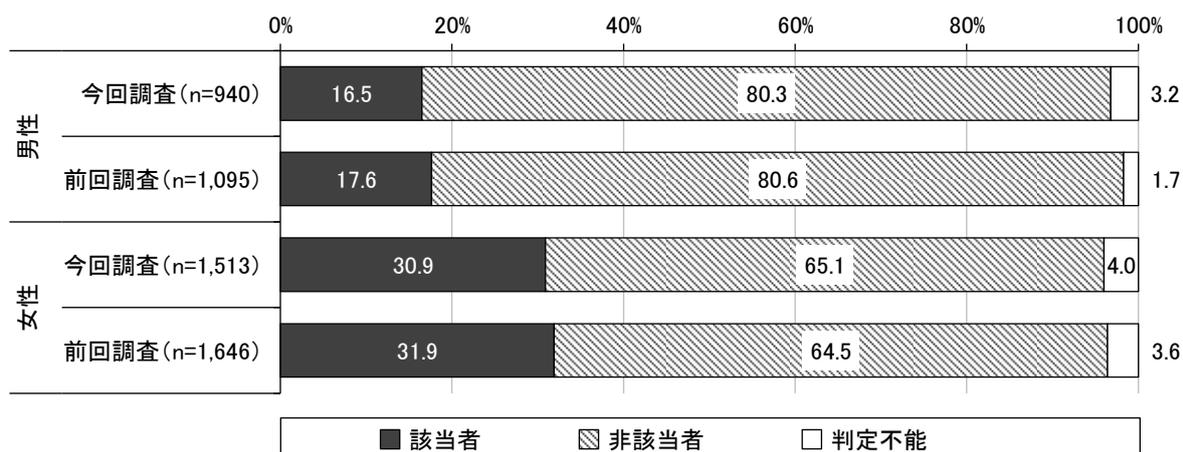
【前回比較】〔(1) 運動器機能の低下〕

今回調査では、「該当者」が25.2%、「非該当者」が70.9%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(1) 運動器機能の低下〕

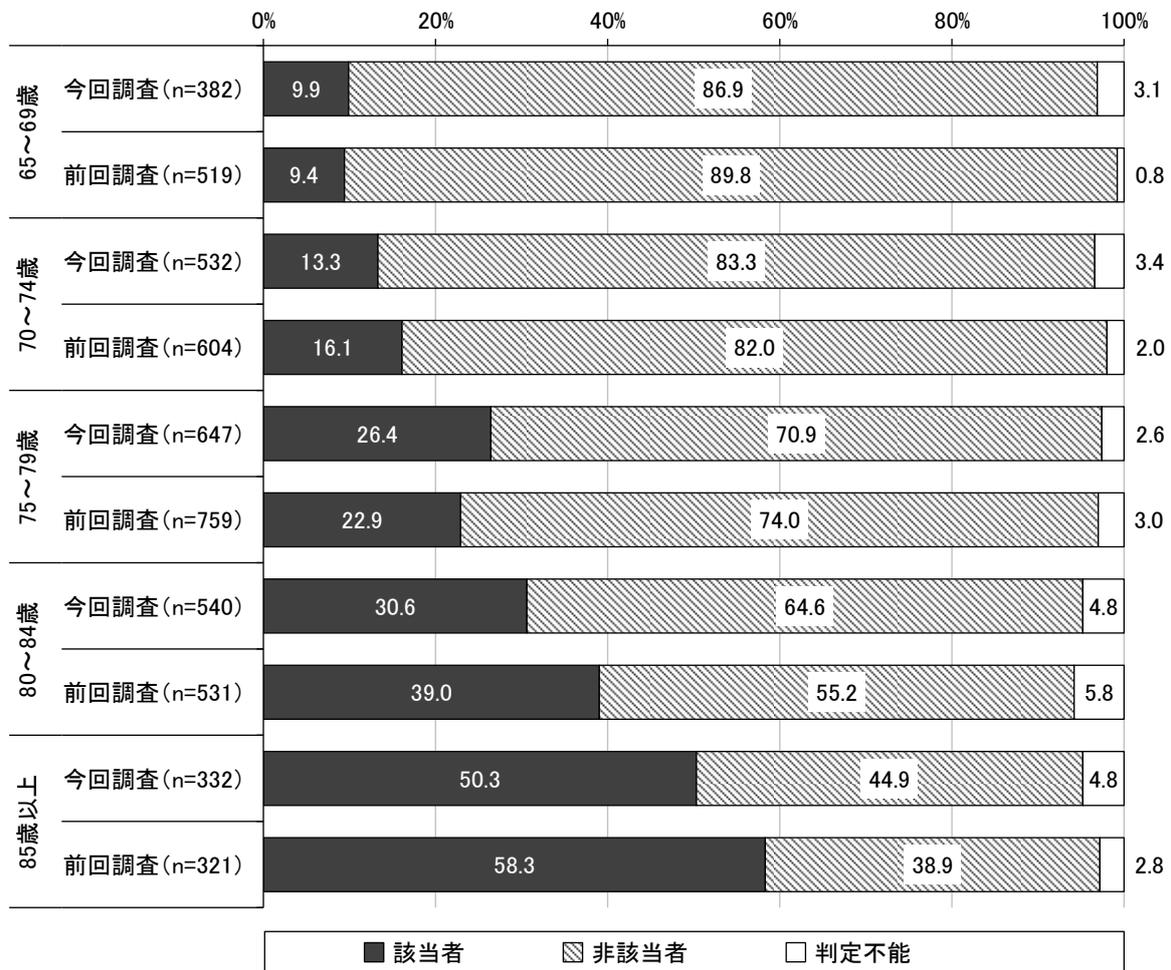
性別にみると、女性は「該当者」が30.9%と男性を14.4ポイント上回っています。
 性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔(1) 運動器機能の低下〕

年齢別にみると、高齢になるほど「該当者」の割合が高くなっており、85歳以上では50.3%となっています。

年齢別に前回調査と比較すると、「該当者」の割合は80～84歳で8.4ポイント、85歳以上で8.0ポイントそれぞれ減少しています。

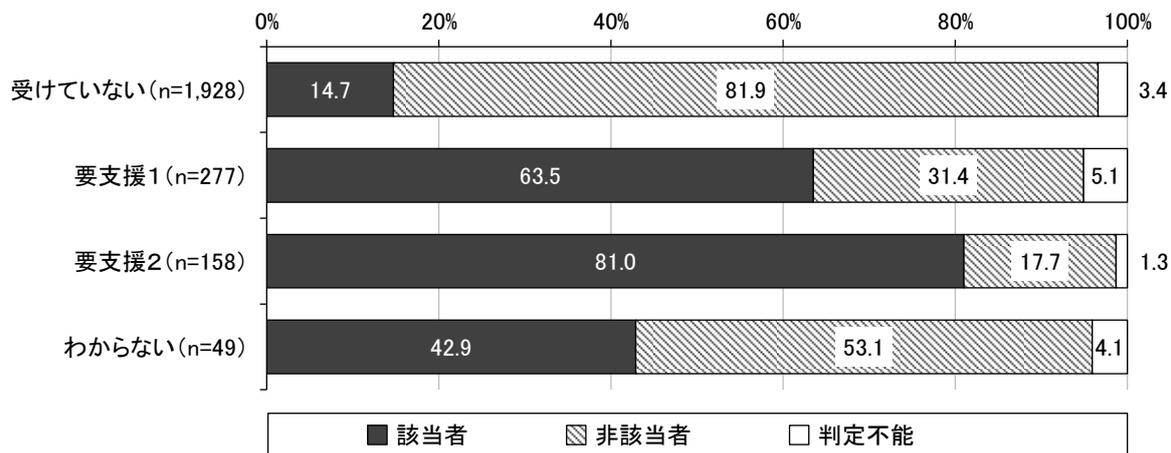


【要支援認定別】〔(1) 運動器機能の低下〕

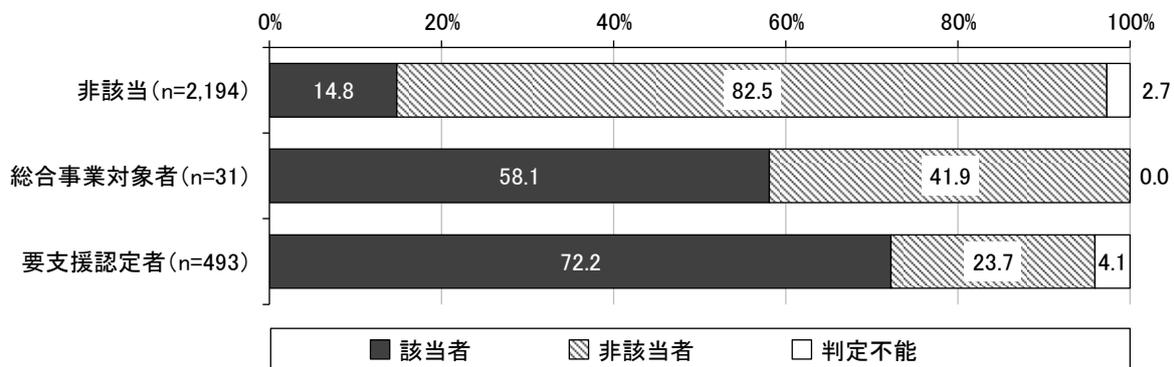
要支援認定別にみると、「該当者」の割合は、要支援1では63.5%、要支援2では81.0%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、「該当者」の割合は、総合事業対象者が58.1%、要支援認定者が72.2%となっています。

・今回調査



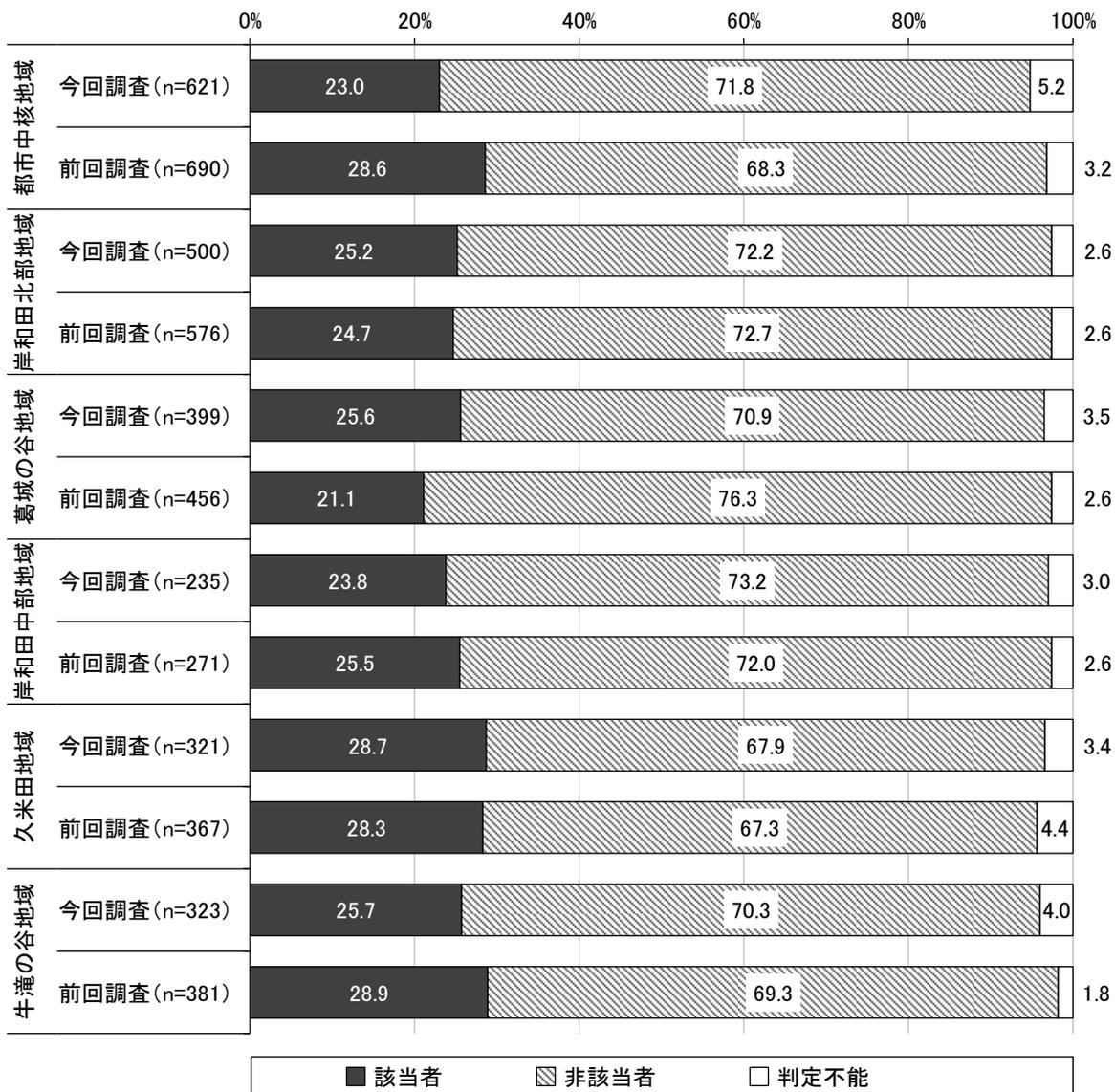
・前回調査



【地域別】〔(1) 運動器機能の低下〕

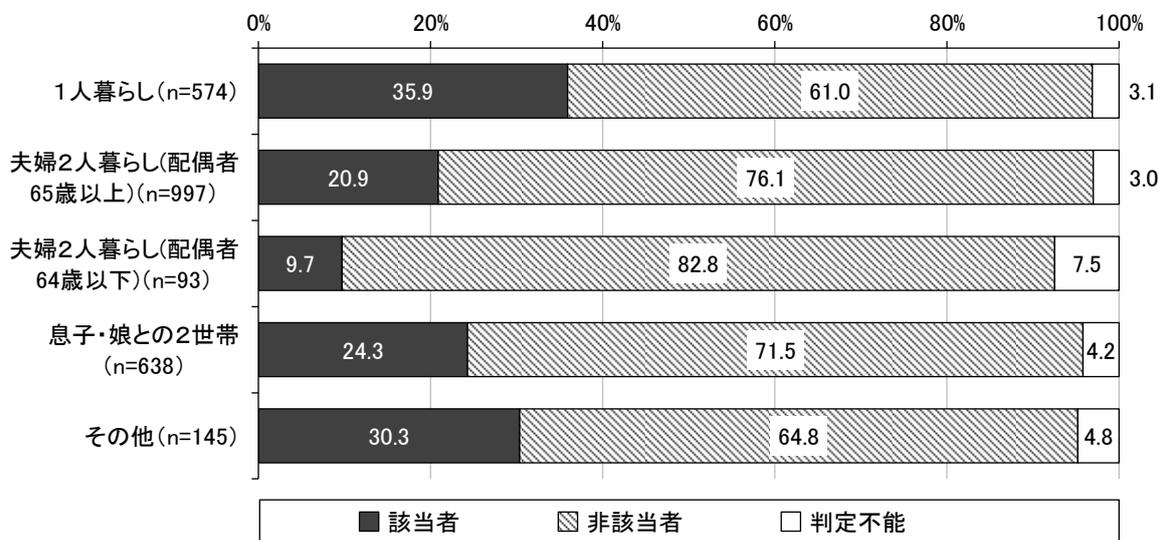
地域別にみると、「該当者」の割合は、久米田地域で28.7%と最も高く、次いで牛滝の谷地域で25.7%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、「該当者」の割合は、都市中核地域で5.6ポイント減少しています。



【家族構成別】〔(1) 運動器機能の低下〕

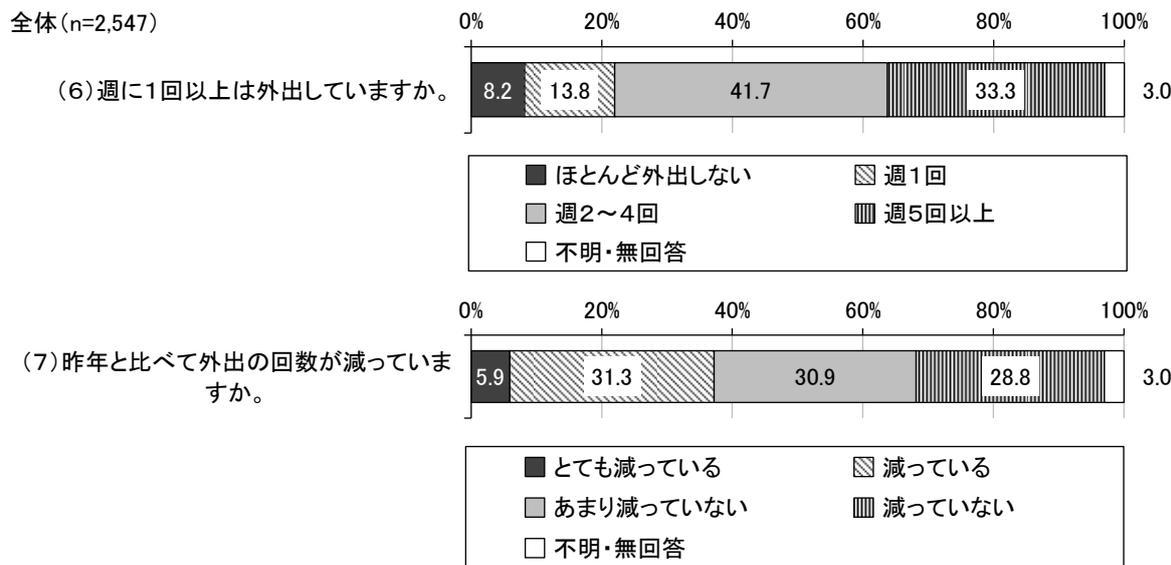
家族構成別にみると、「該当者」の割合は、[1人暮らし]で35.9%と最も高く、次いで[その他]で30.3%となっています。



(2) 閉じこもり傾向

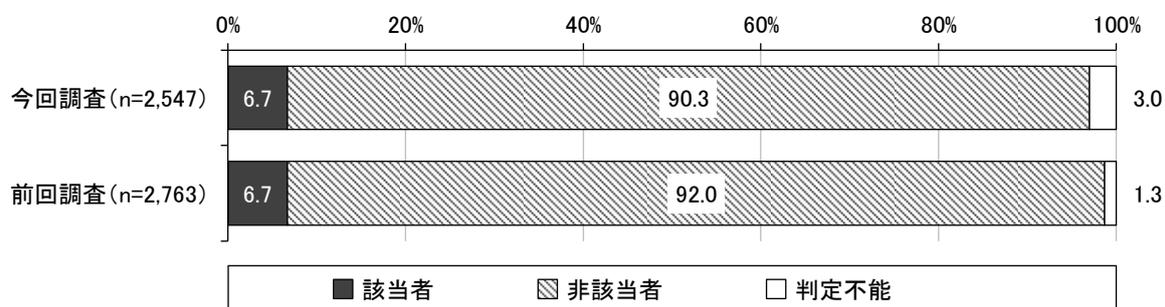
高齢者の閉じこもりに関するリスク判定は、以下の設問2問中2問とも該当した場合に、閉じこもり傾向のリスクありと判定される。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出しているか	「ほとんど外出しない」
問2 (7)	昨年と比べて外出の回数が減っているか	「とても減っている」 「減っている」



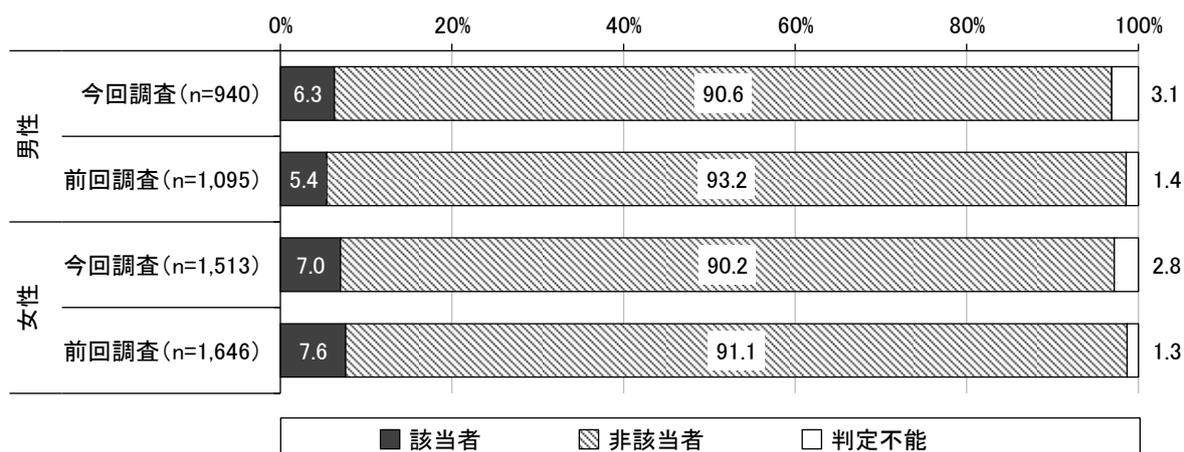
【前回比較】〔(2) 閉じこもり傾向〕

今回調査では、「該当者」が6.7%、「非該当者」が90.3%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(2) 閉じこもり傾向〕

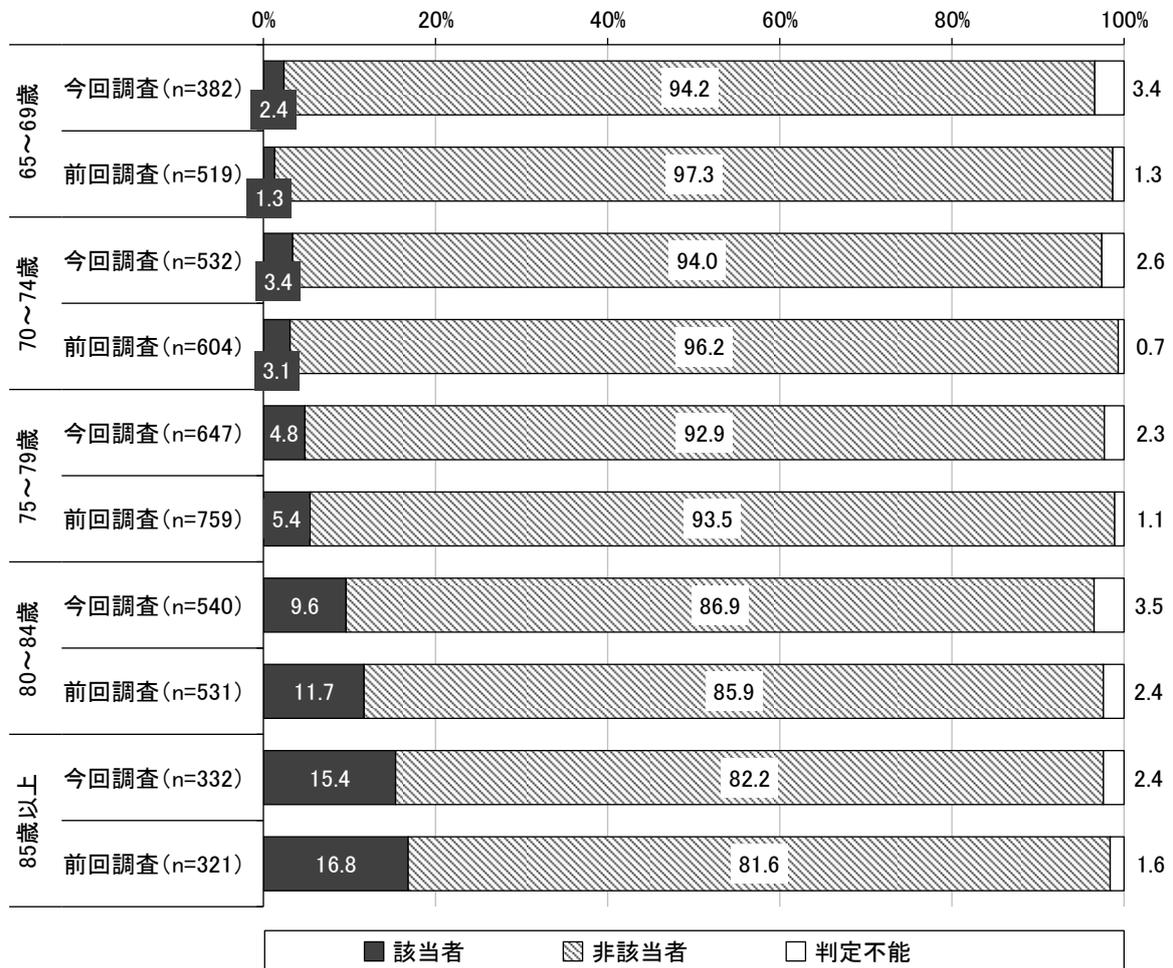
性別にみると、大きな違いはみられません。
 性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔2〕閉じこもり傾向

年齢別にみると、高齢になるほど「該当者」の割合が高くなっており、85歳以上では15.4%となっています。

年齢別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。

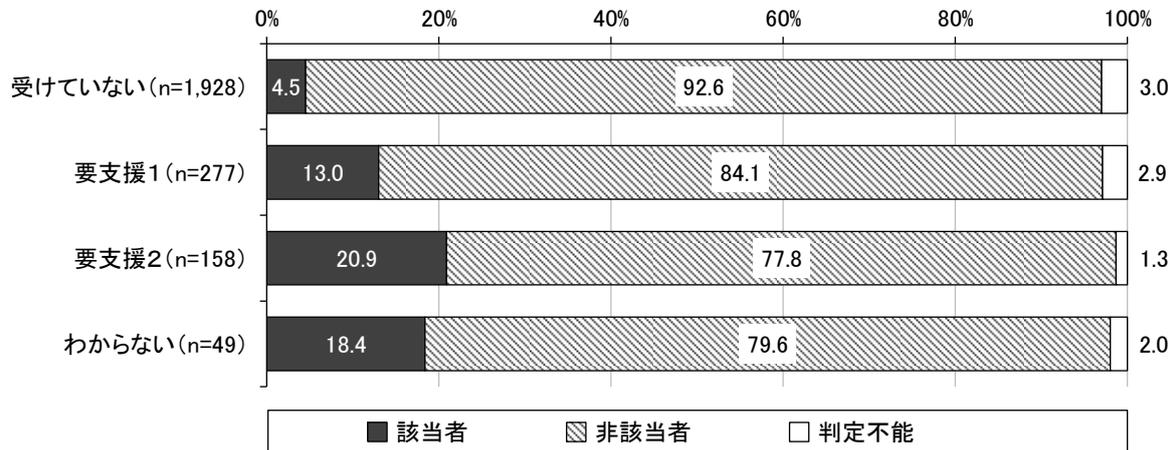


【要支援認定別】〔(2) 閉じこもり傾向〕

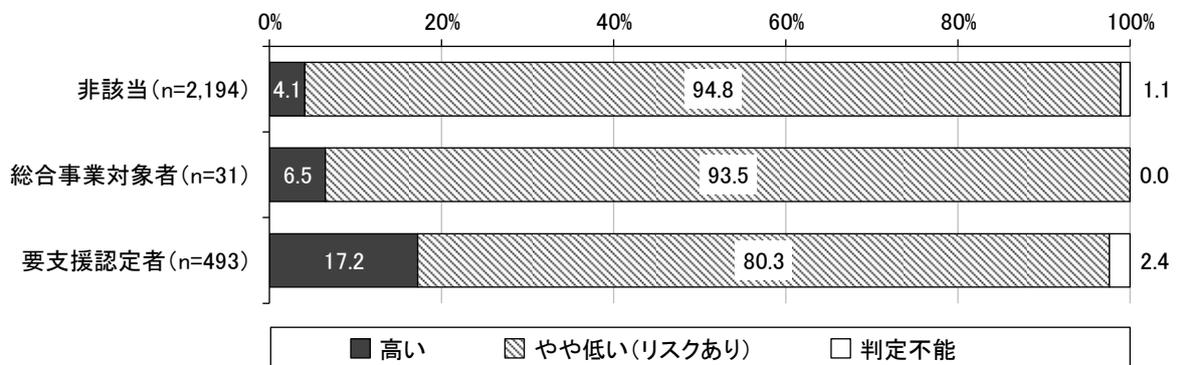
要支援認定別にみると、「該当者」の割合は「受けていない」では4.5%、要支援1では13.0%、要支援2では20.9%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、「該当者」の割合は、総合事業対象者が6.5%、要支援認定者が17.2%となっています。

・今回調査



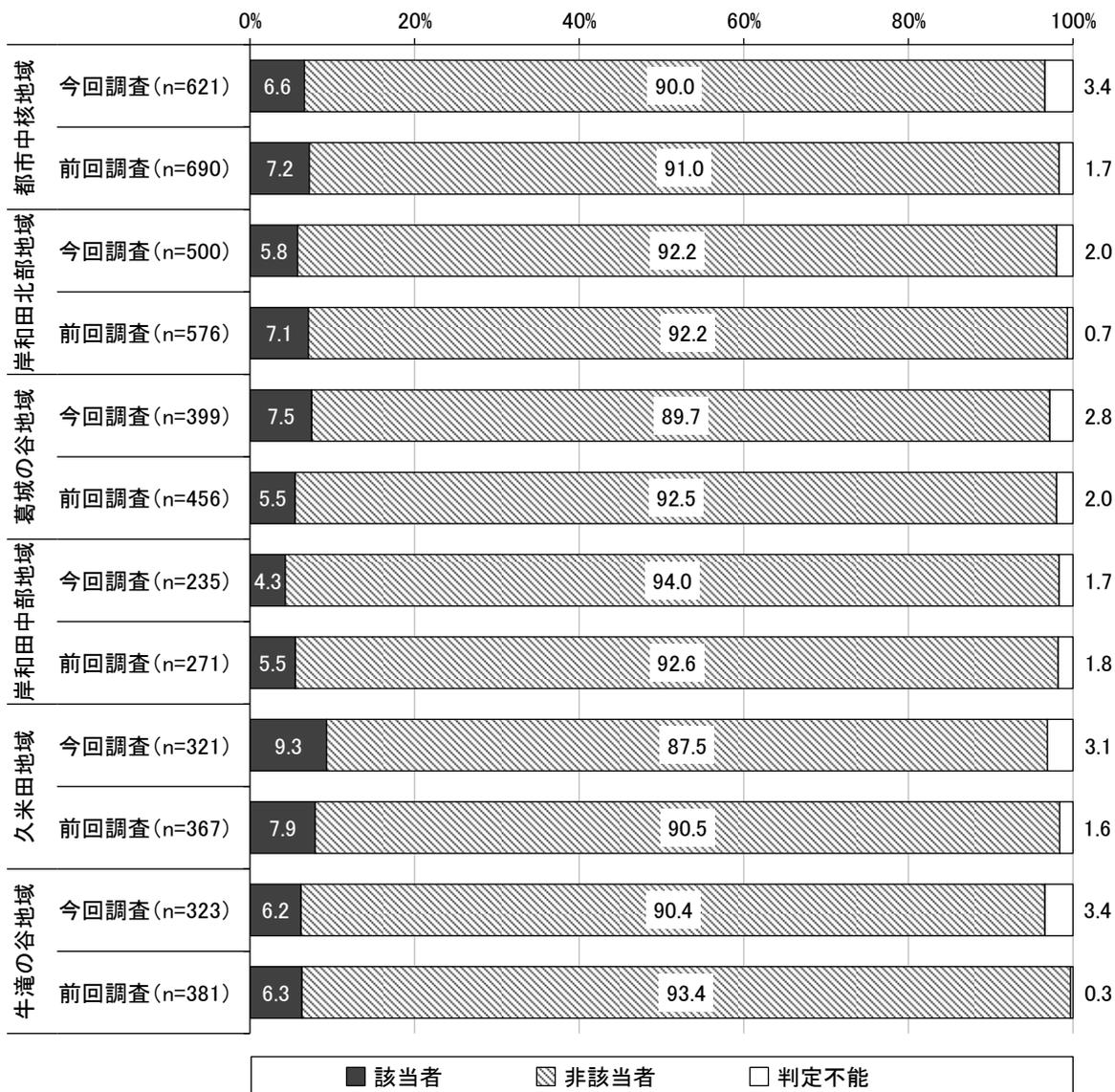
・前回調査



【地域別】〔2〕閉じこもり傾向

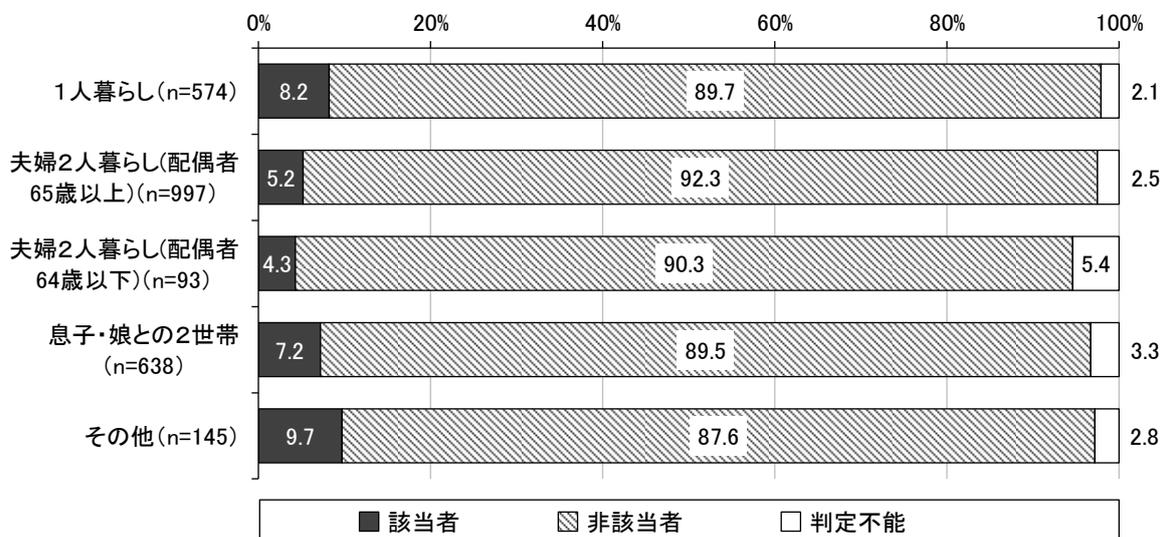
地域別にみると、「該当者」の割合は、久米田地域で9.3%と最も高く、次いで葛城の谷地域で7.5%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【家族構成別】〔(2) 閉じこもり傾向〕

家族構成別にみると、「該当者」の割合は、「その他」で9.7%と最も高く、次いで「1人暮らし」で8.2%となっています。

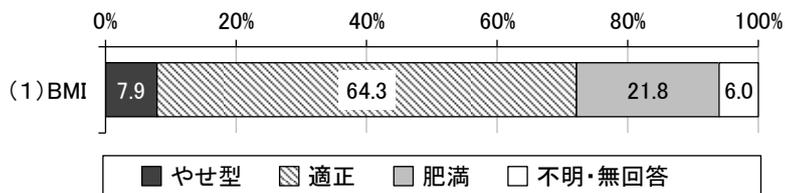


(3) 低栄養状態

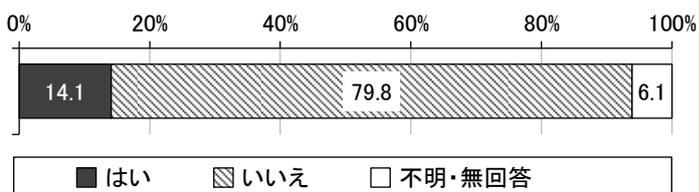
高齢者の栄養状態に関するリスク判定は、以下の設問2問中2問とも該当した場合に、低栄養のリスクありと判定される。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問3 (1)	身長(cm)、体重(kg)により算出 ※計算方法：BMI値＝体重(kg)÷(身長(m)) ²	BMI値<18.5 … 「やせ」
問3 (7)	6か月で2～3kg以上の体重減少があるか	「はい」

全体(n=2,547)



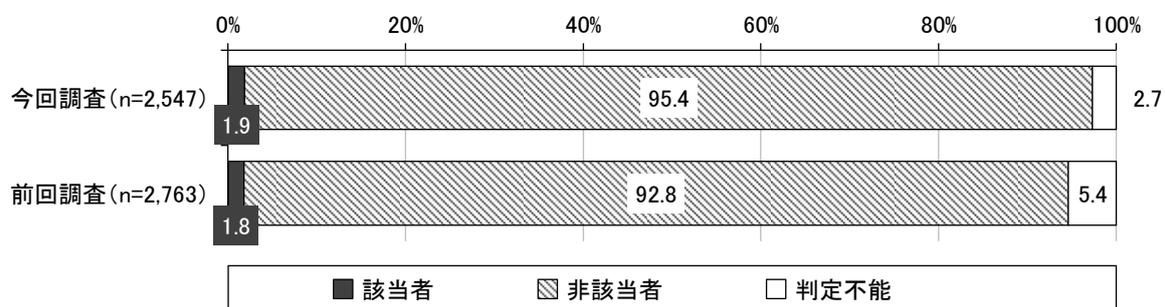
(7)6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。



【前回比較】〔(3) 低栄養状態〕

今回調査では、「該当者」が1.9%、「非該当者」が95.4%となっています。

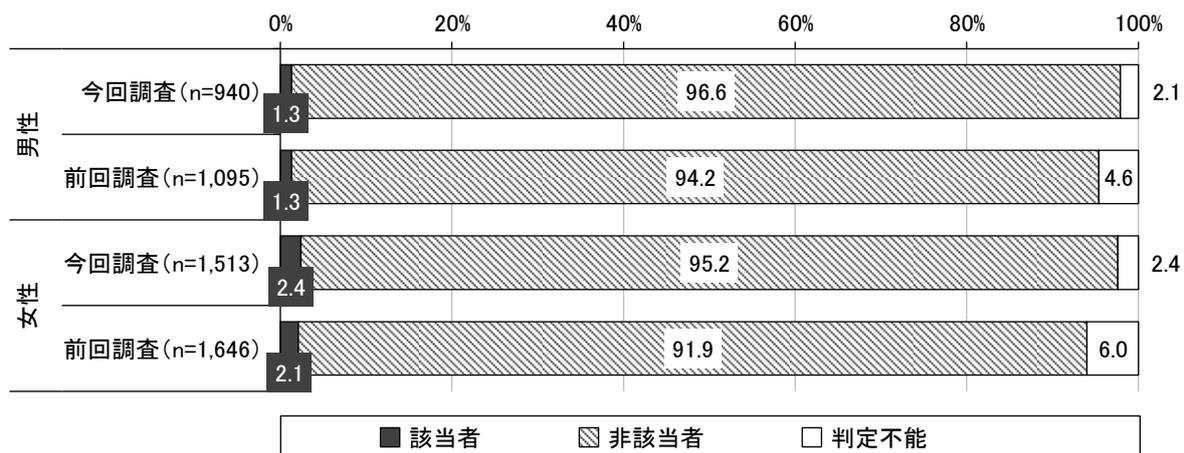
前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(3) 低栄養状態〕

性別にみると、大きな違いはみられません。

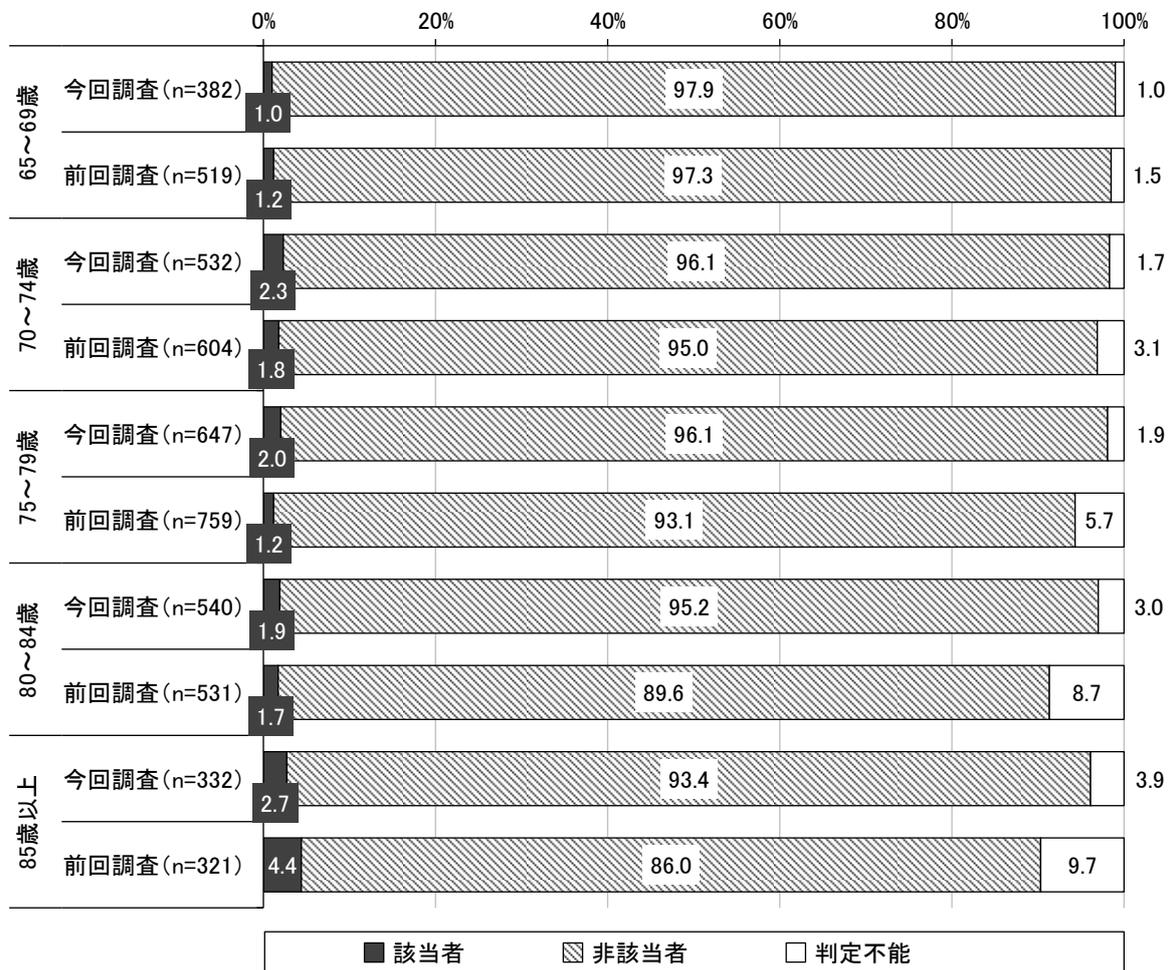
性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔3〕低栄養状態

年齢別にみると、大きな違いはみられません。

年齢別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。

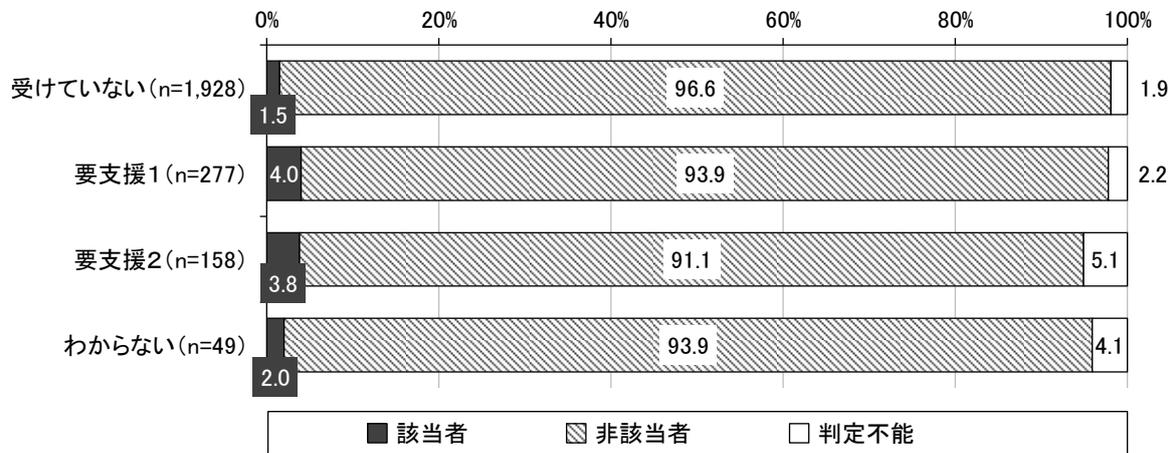


【要支援認定別】〔(3) 低栄養状態〕

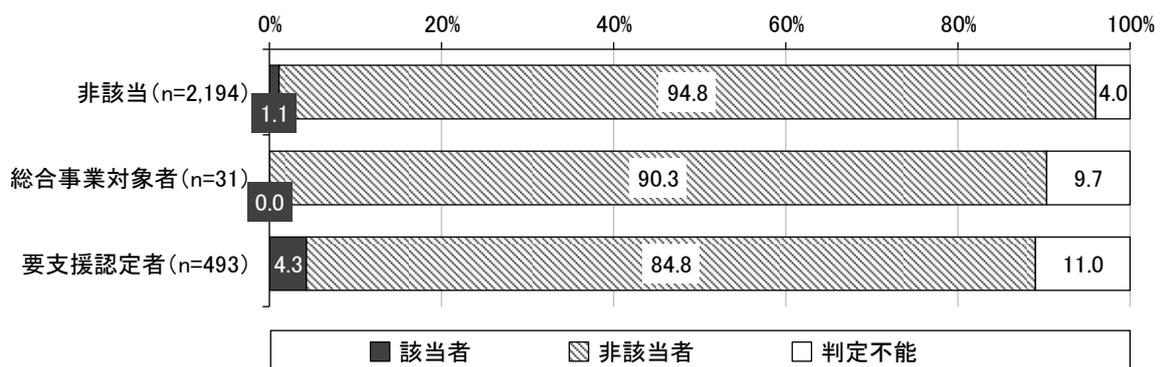
要支援認定別にみると、大きな違いはみられません。

要支援認定別に前回調査をみると、大きな違いはみられません。

・今回調査



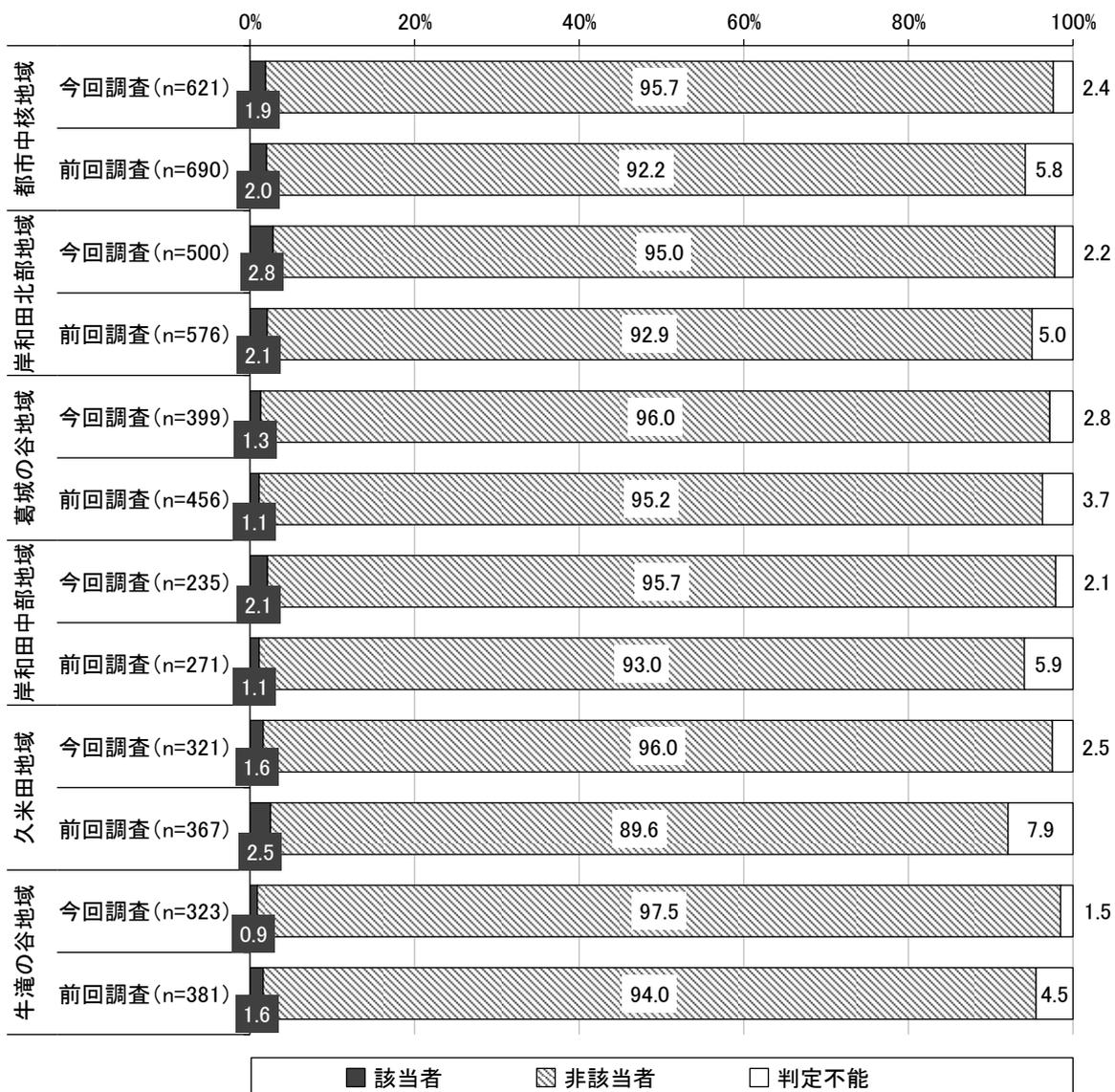
・前回調査



【地域別】〔(3) 低栄養状態〕

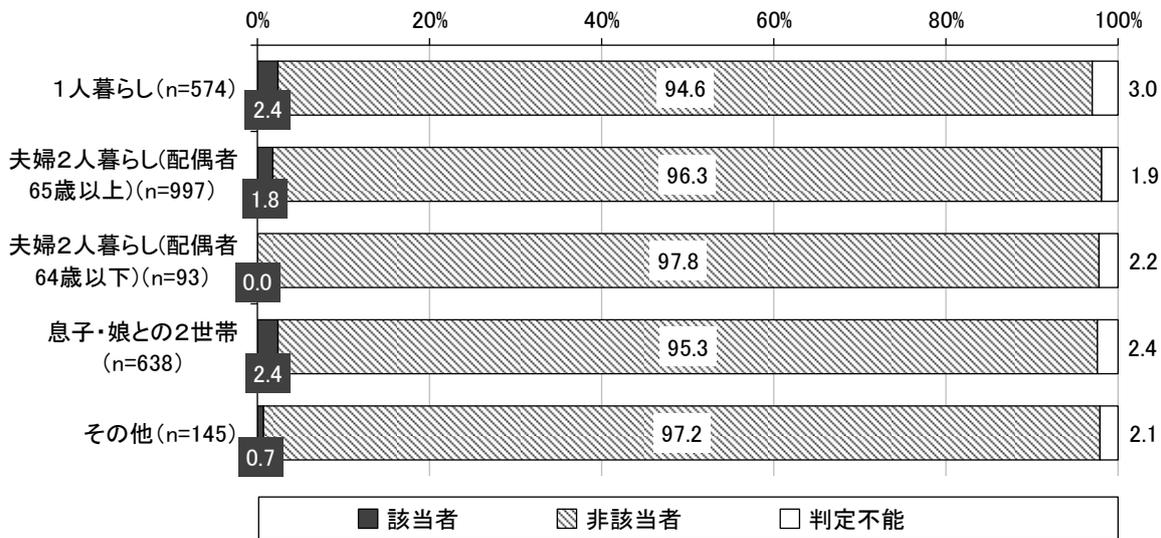
地域別にみると、大きな違いはみられません。

地域別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【家族構成別】〔(3) 低栄養状態〕

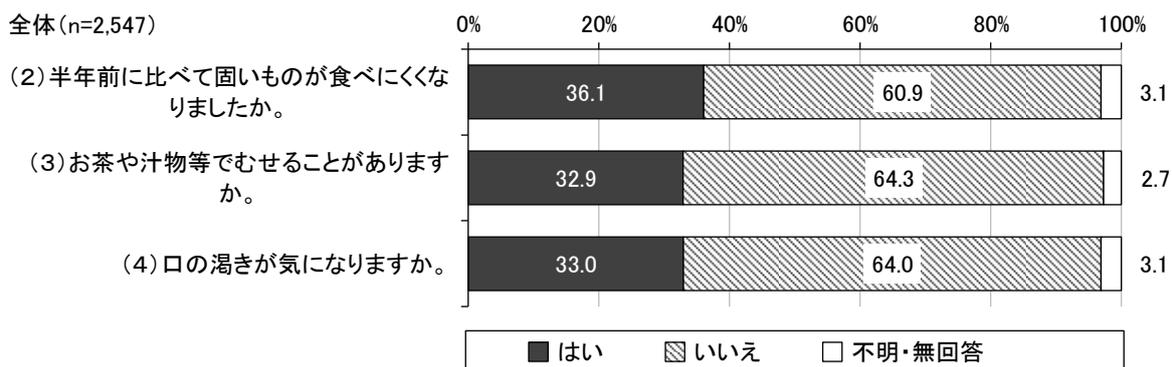
家族構成別にみると、大きな違いはみられません。



(4) 口腔機能の低下

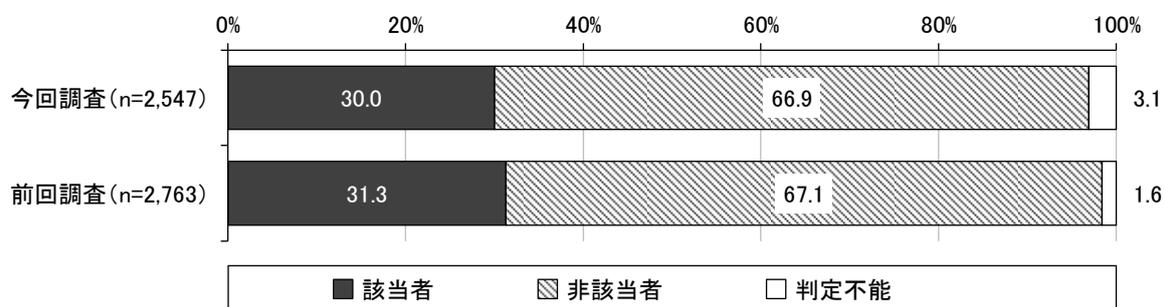
高齢者の口腔機能に関するリスク判定は、以下の設問3問中2問以上が該当した場合に、口腔機能の低下と判定される。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	「はい」
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがあるか	「はい」
問3 (4)	口の渇きが気になるか	「はい」



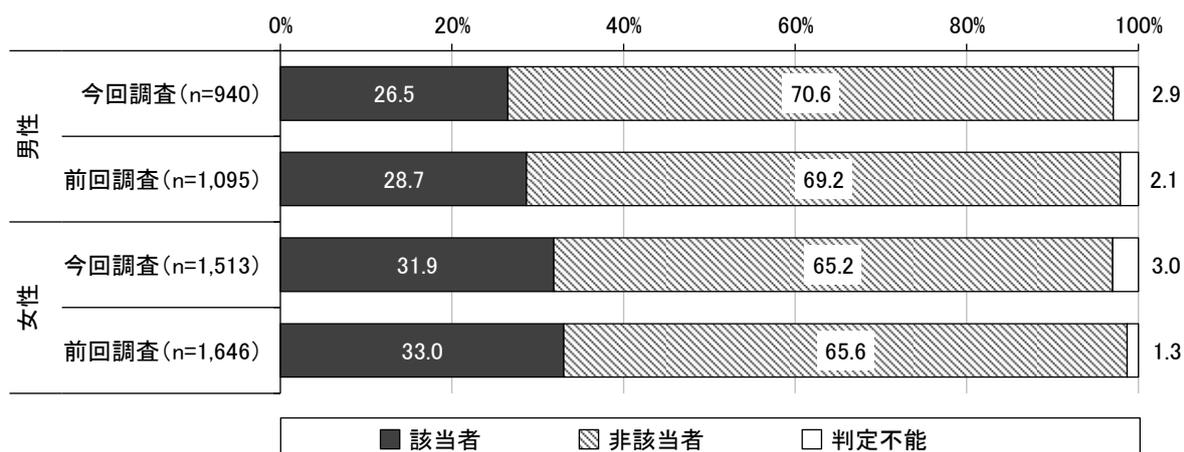
【前回比較】〔(4) 口腔機能の低下〕

今回調査では、「該当者」が30.0%、「非該当者」が66.9%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(4) 口腔機能の低下〕

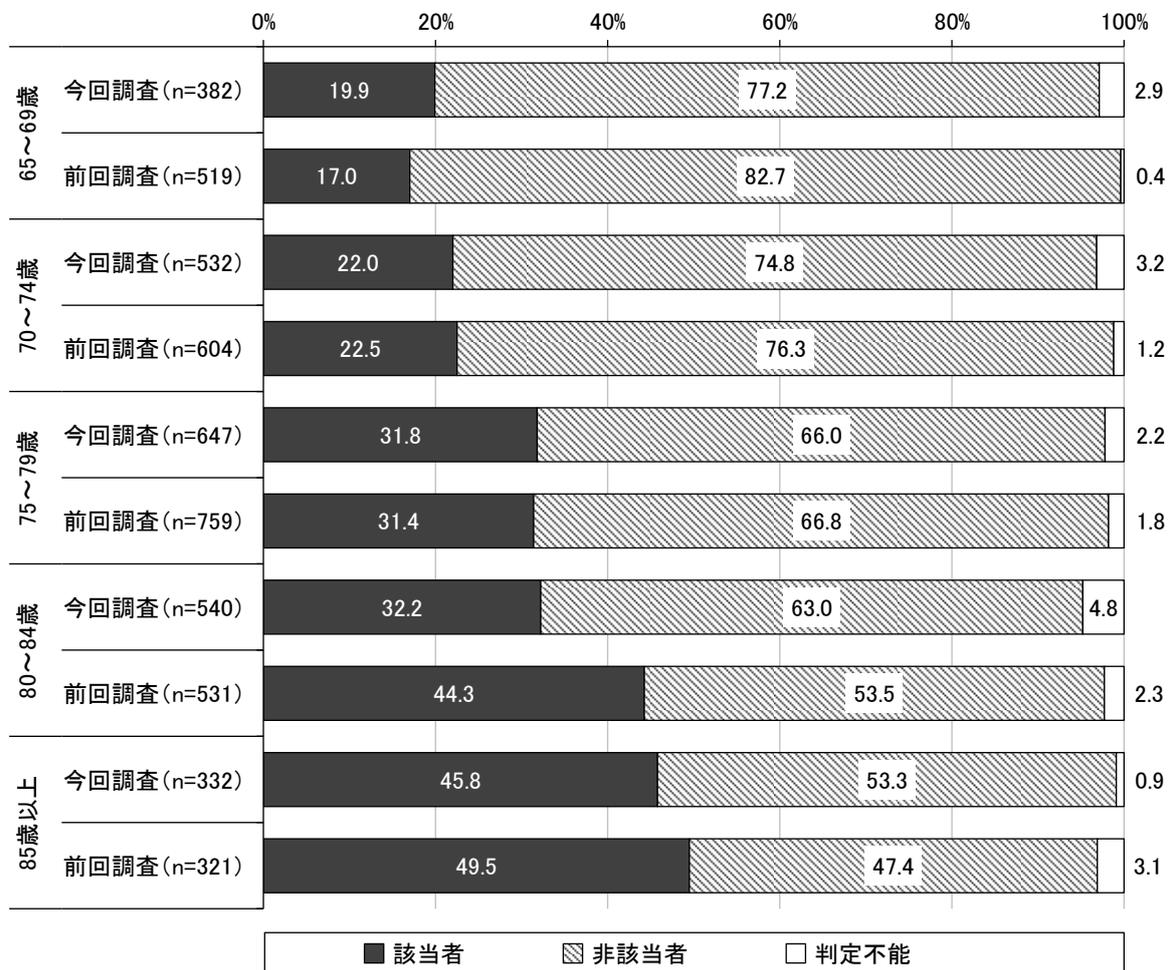
性別にみると、女性は「該当者」が31.9%と男性を5.4ポイント上回っています。
 性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔4〕口腔機能の低下

年齢別にみると、高齢になるほど「該当者」の割合が高くなっており、85歳以上では45.8%となっています。

年齢別に前回調査と比較すると、「該当者」の割合は80～84歳で12.1ポイント減少しています。

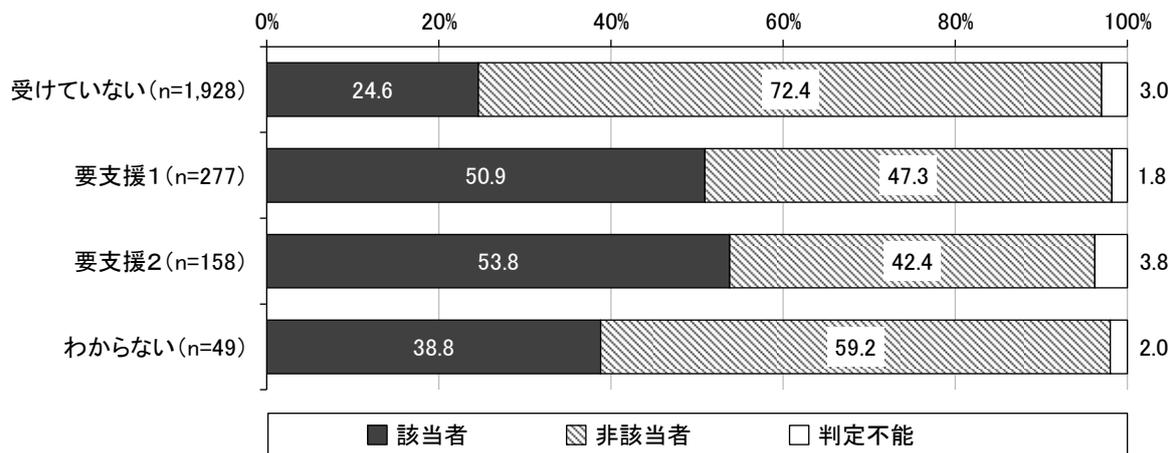


【要支援認定別】〔４〕口腔機能の低下

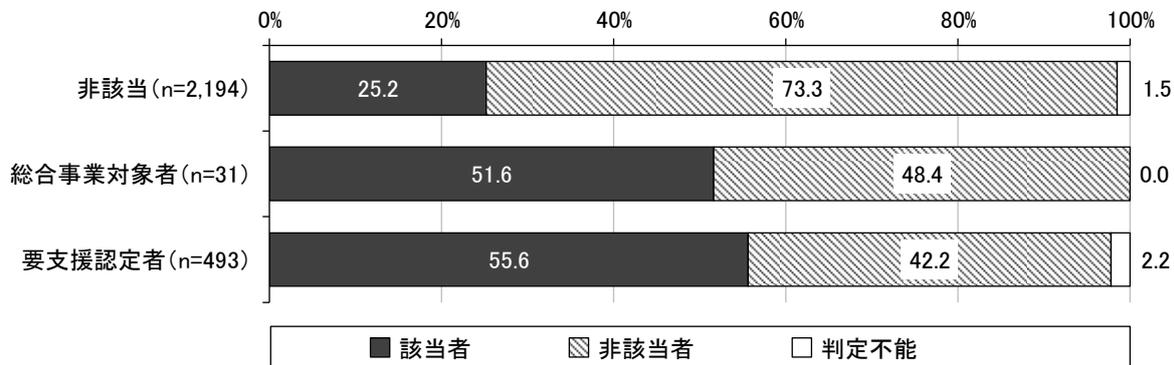
要支援認定別にみると、「該当者」の割合は、要支援１では50.9%、要支援２では53.8%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、「該当者」の割合は、総合事業対象者が51.6%、要支援認定者が55.6%となっています。

・今回調査



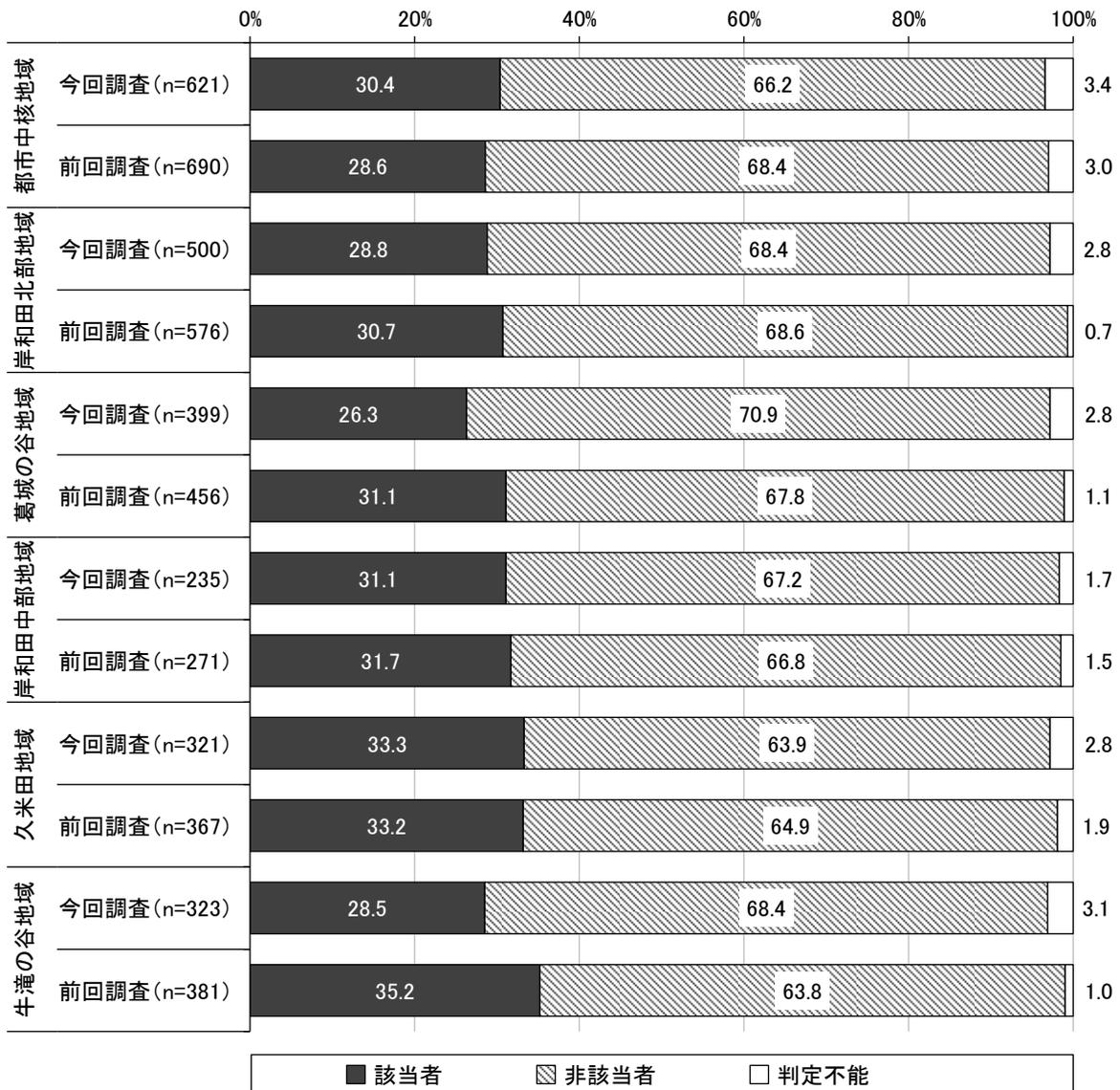
・前回調査



【地域別】〔(4) 口腔機能の低下〕

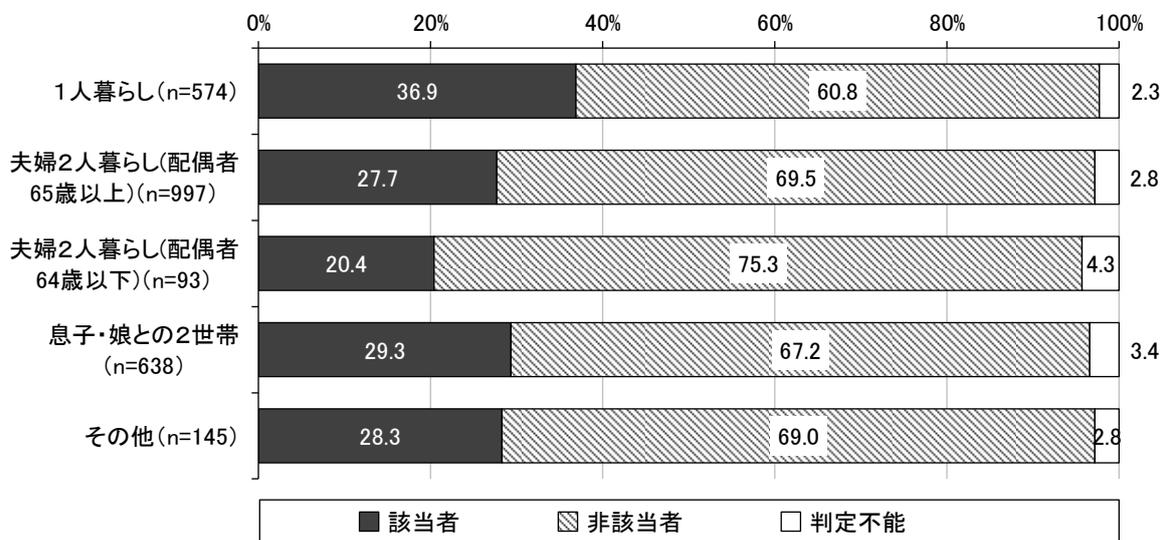
地域別にみると、「該当者」の割合は、久米田地域で33.3%と最も高く、次いで岸和田中部地域で31.1%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、「該当者」の割合は、牛滝の谷地域で6.7ポイント減少しています。



【家族構成別】〔(4) 口腔機能の低下〕

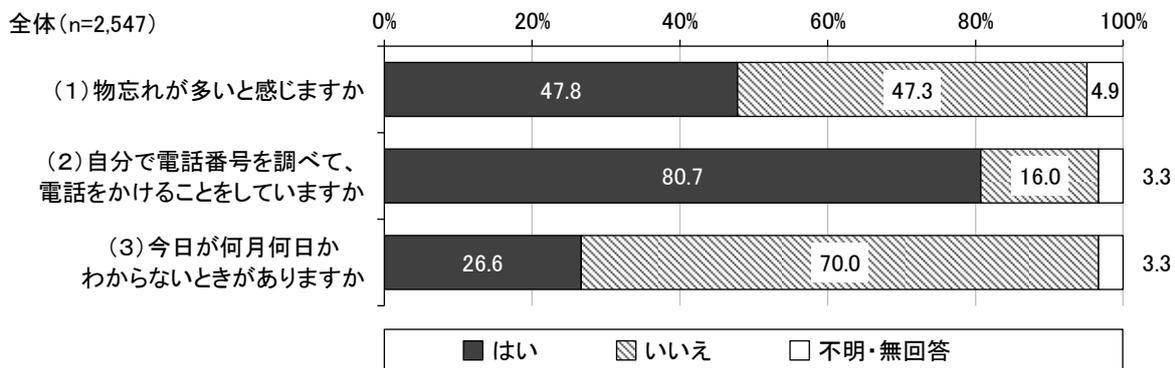
家族構成別にみると、「該当者」の割合は、[1人暮らし]で36.9%と最も高く、次いで[息子・娘との2世帯]で29.3%となっています。



(5) 認知機能の低下

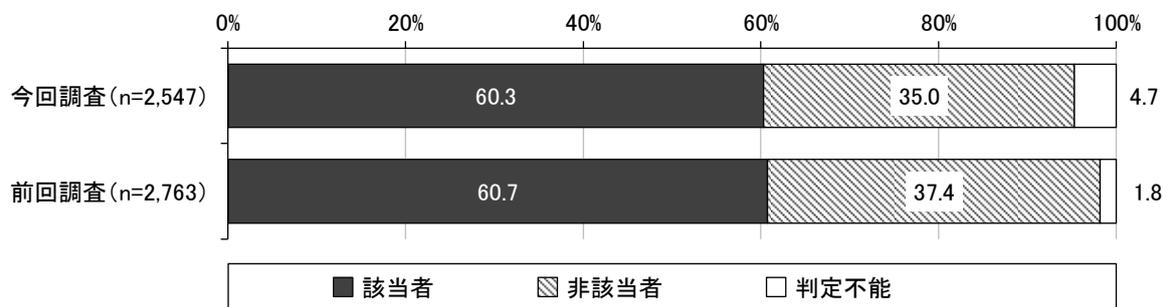
高齢者の認知機能に関するリスク判定は、以下の設問3問中1問以上を該当した場合に、認知機能の低下と判定される。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じるか	「はい」
問4 (2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	「いいえ」
問4 (3)	今日が何月何日かわからない時があるか	「はい」



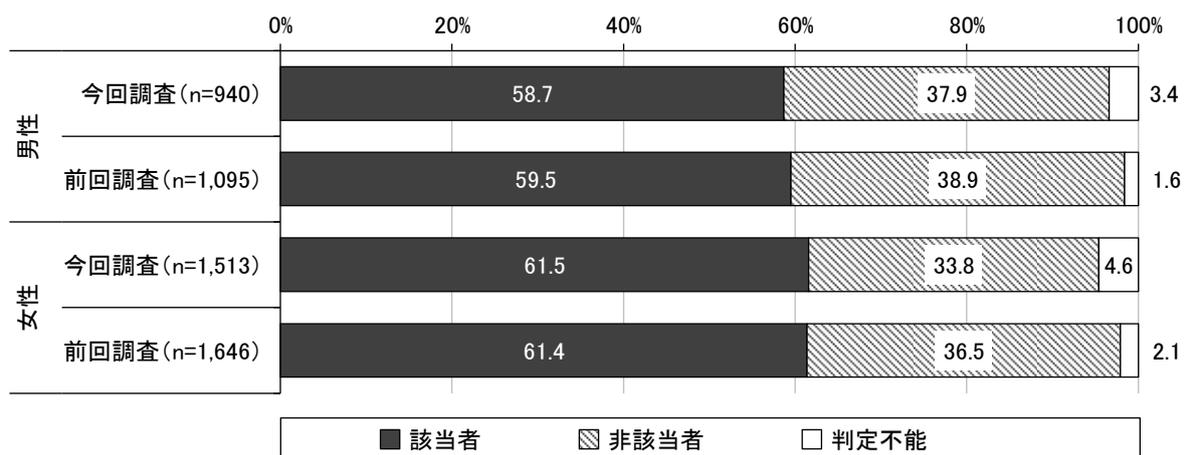
【前回比較】〔(5) 認知機能の低下〕

今回調査では、「該当者」が60.3%、「非該当者」が35.0%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(5) 認知機能の低下〕

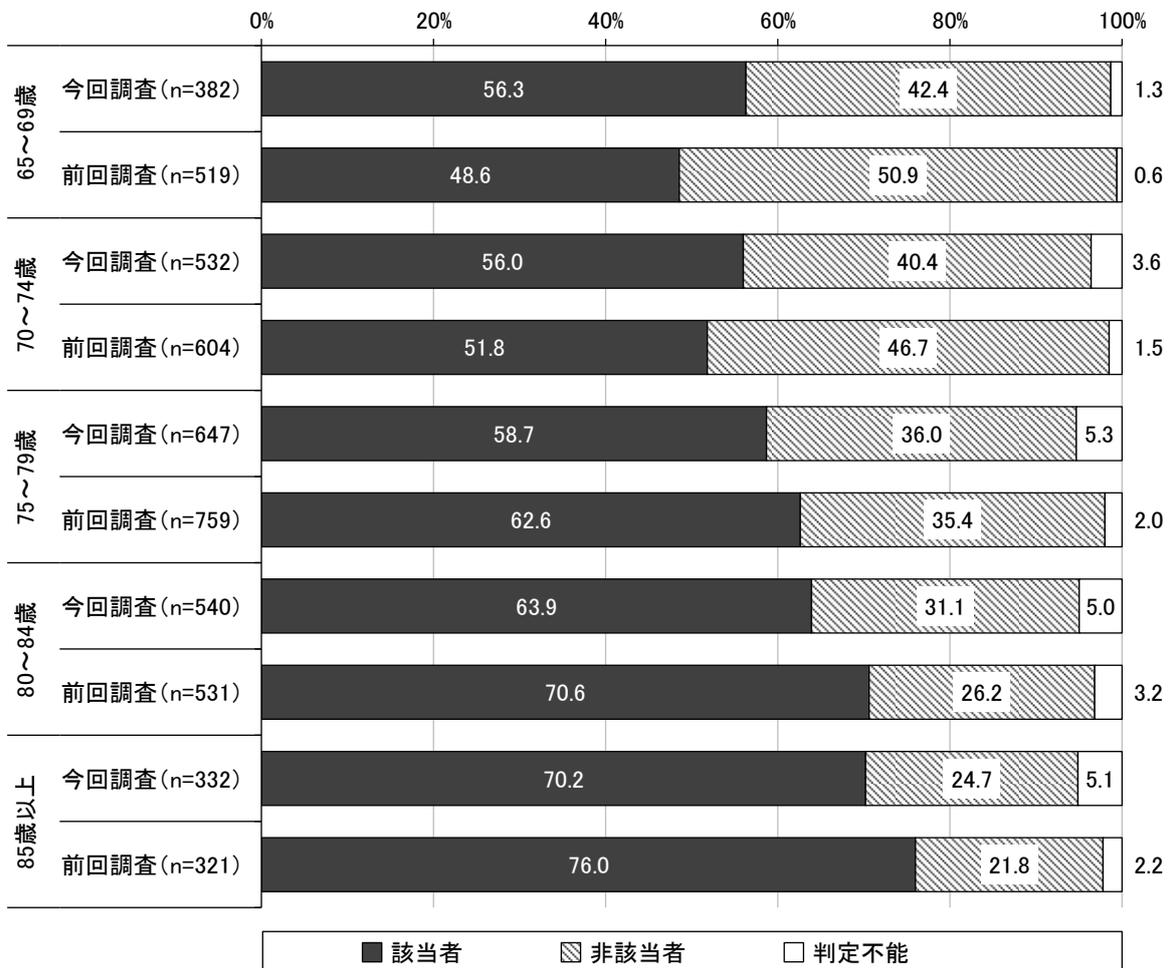
性別にみると、大きな違いはみられません。
 性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔(5) 認知機能の低下〕

年齢別にみると、高齢になるほど「該当者」の割合が高くなっており、85歳以上では70.2%となっています。

年齢別に前回調査と比較すると、「該当者」の割合は65～69歳で7.7ポイント増加し、80～84歳で6.7ポイント減少しています。

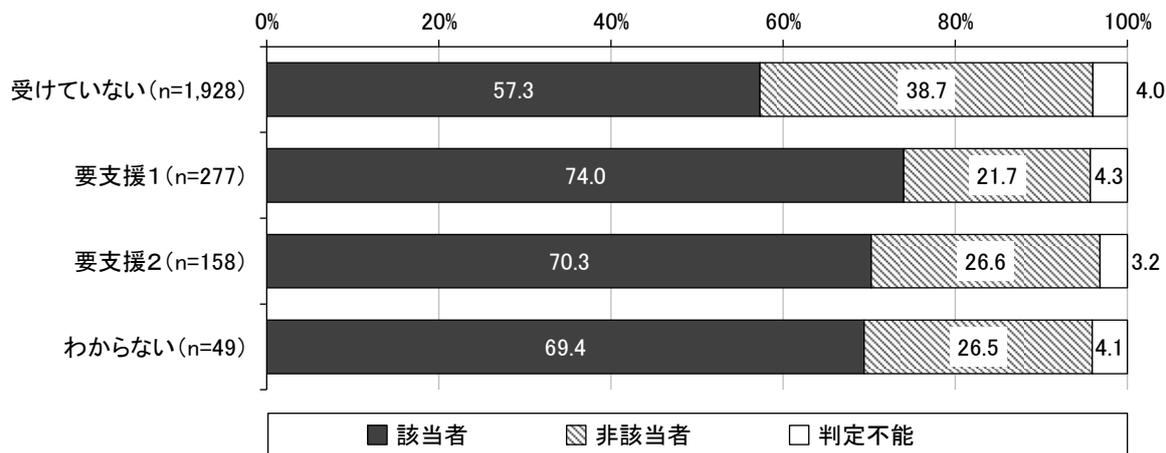


【要支援認定別】〔(5) 認知機能の低下〕

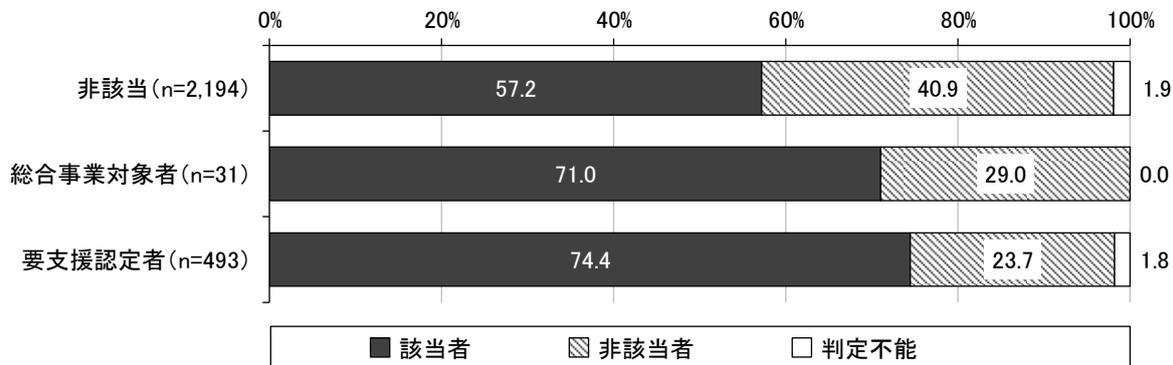
要支援認定別にみると、「該当者」の割合は、要支援1では74.0%、要支援2では70.3%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、「該当者」の割合は、総合事業対象者が71.0%、要支援認定者が74.4%となっています

・今回調査



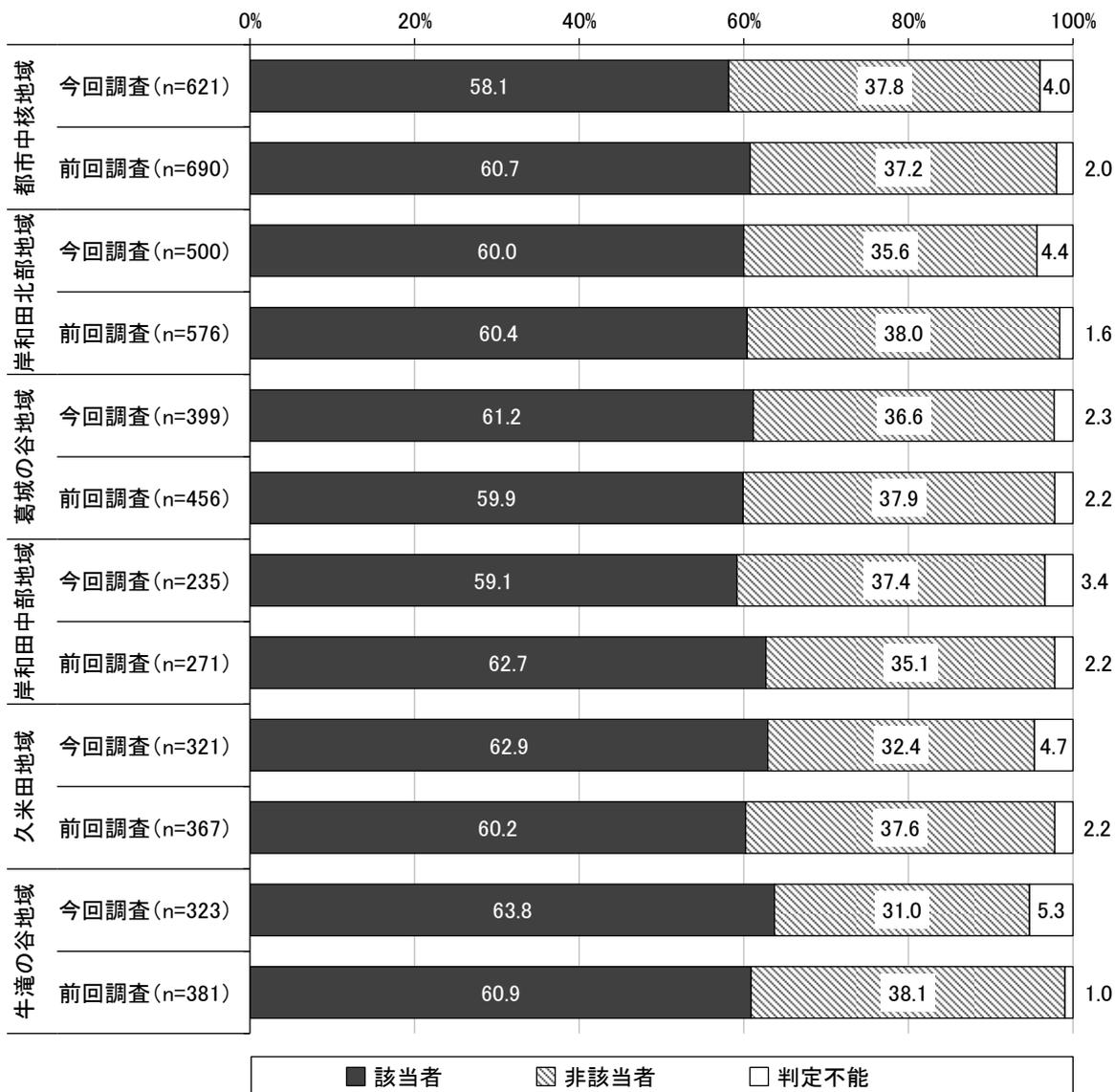
・前回調査



【地域別】〔(5) 認知機能の低下〕

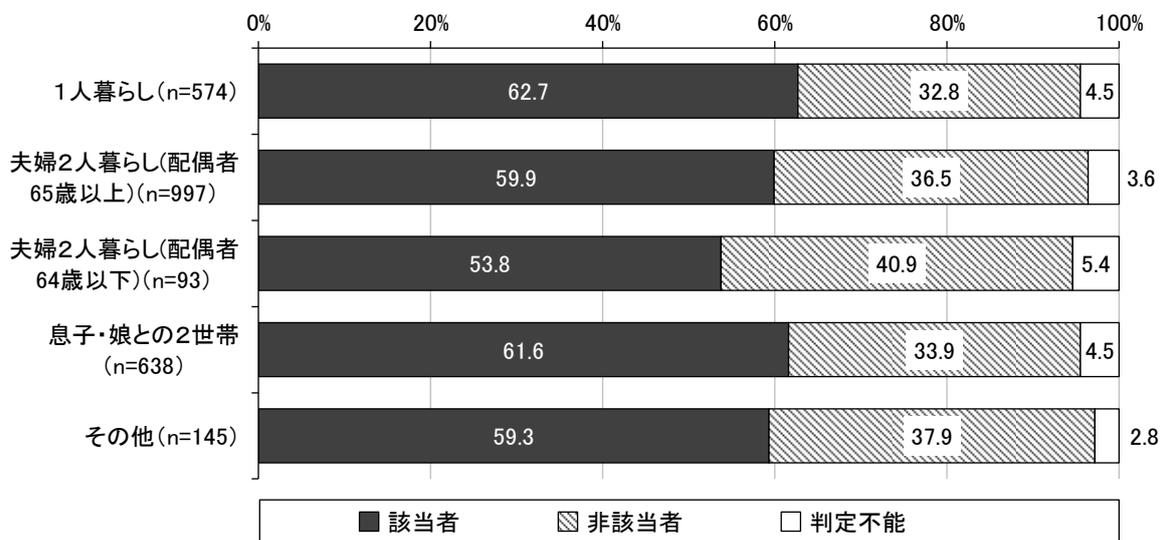
地域別にみると、「該当者」の割合は、牛滝の谷地域で63.8%と最も高く、次いで久米田地域で62.9%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【家族構成別】〔(5) 認知機能の低下〕

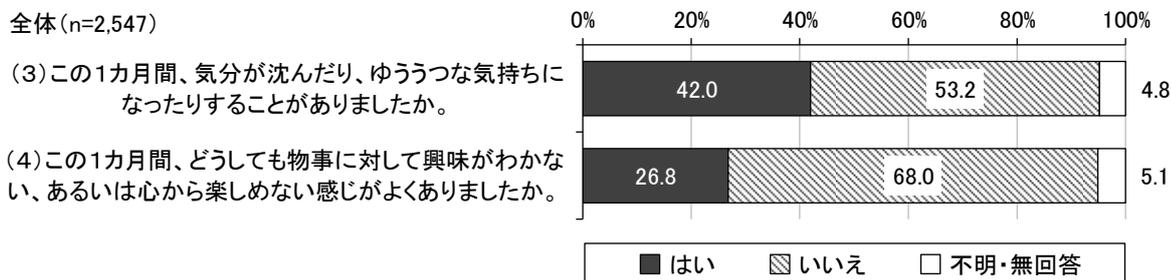
家族構成別にみると、「該当者」の割合は、[1人暮らし]で62.7%と最も高く、次いで[息子・娘との2世帯]で61.6%となっています。



(6) うつ傾向

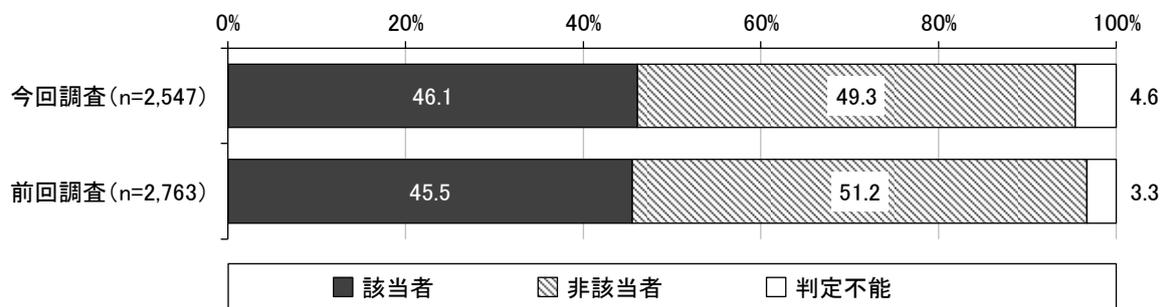
高齢者のうつに関するリスク判定は、以下の設問2問中1問以上を該当した場合に、うつ傾向のリスクありと判定される。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか	「はい」
問7(4)	この1か月間、物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか	「はい」



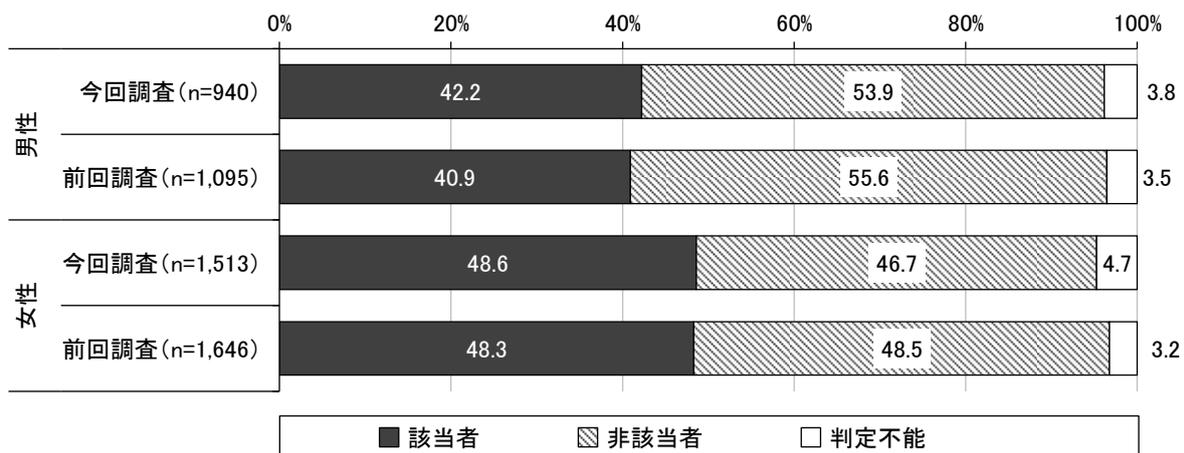
【前回比較】〔(6) うつ傾向〕

今回調査では、「該当者」が46.1%、「非該当者」が49.3%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(6) うつ傾向〕

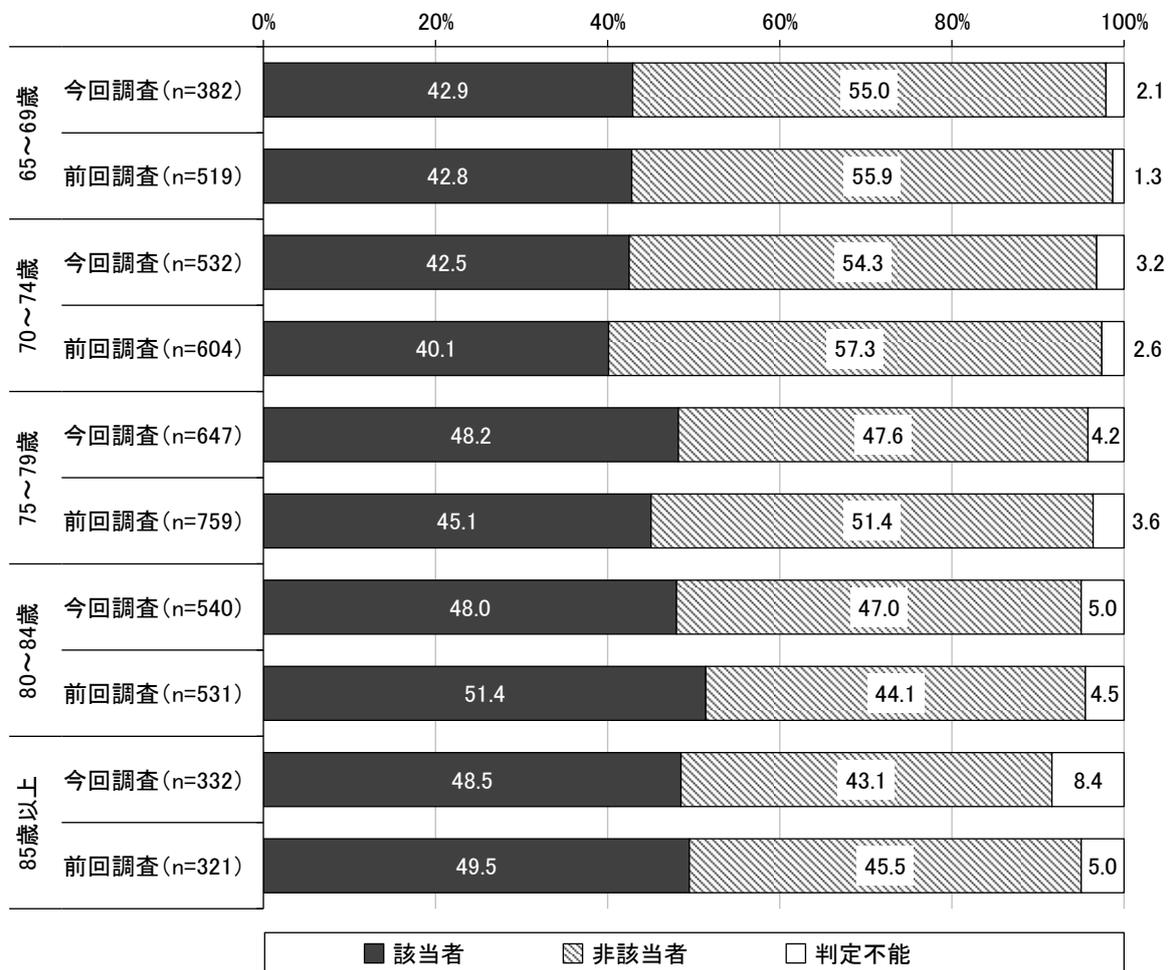
性別にみると、女性は「該当者」が48.6%と男性を6.4ポイント上回っています。
 性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔(6) うつ傾向〕

年齢別にみると、「該当者」の割合は、85歳以上で48.5%と最も高く、次いで75～79歳で48.2%となっています。

年齢別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。

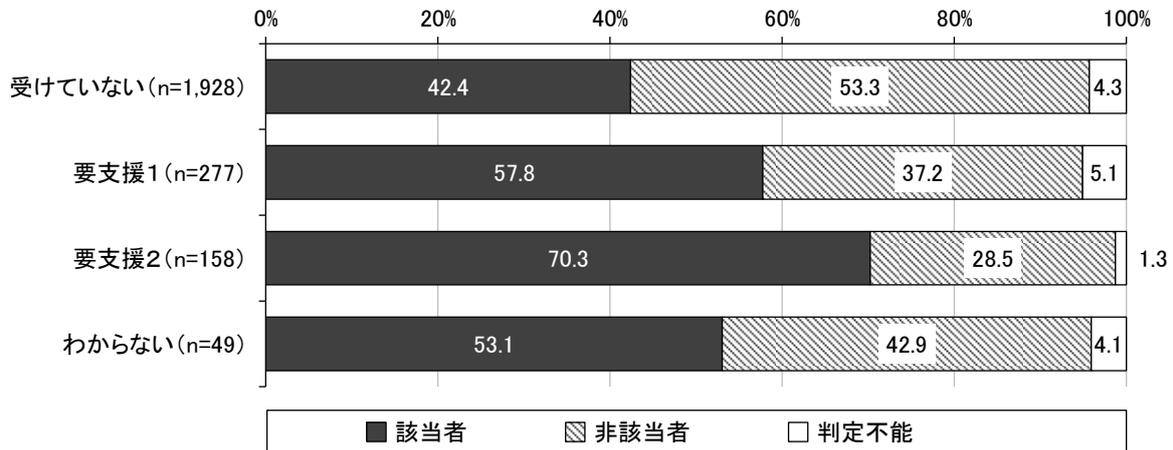


【要支援認定別】〔(6) うつ傾向〕

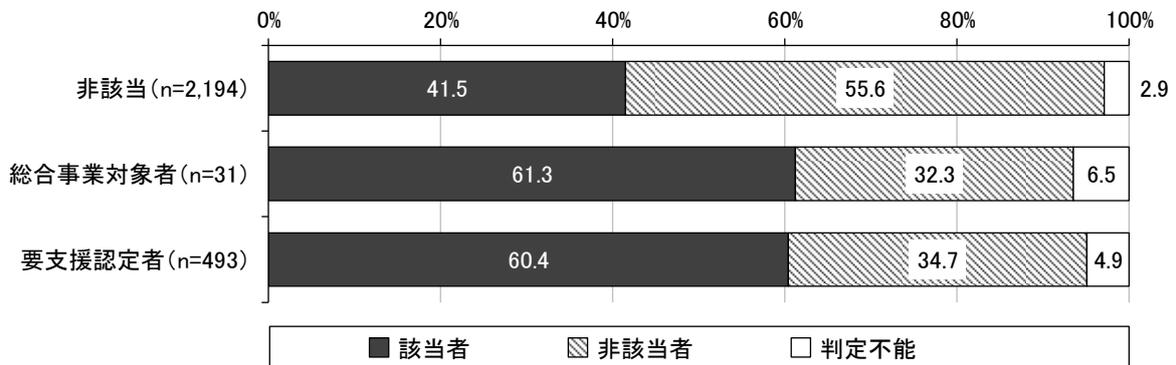
要支援認定別にみると、「該当者」の割合は、要支援1では57.8%、要支援2では70.3%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、「該当者」の割合は、総合事業対象者が61.3%、要支援認定者が60.4%となっています。

・今回調査



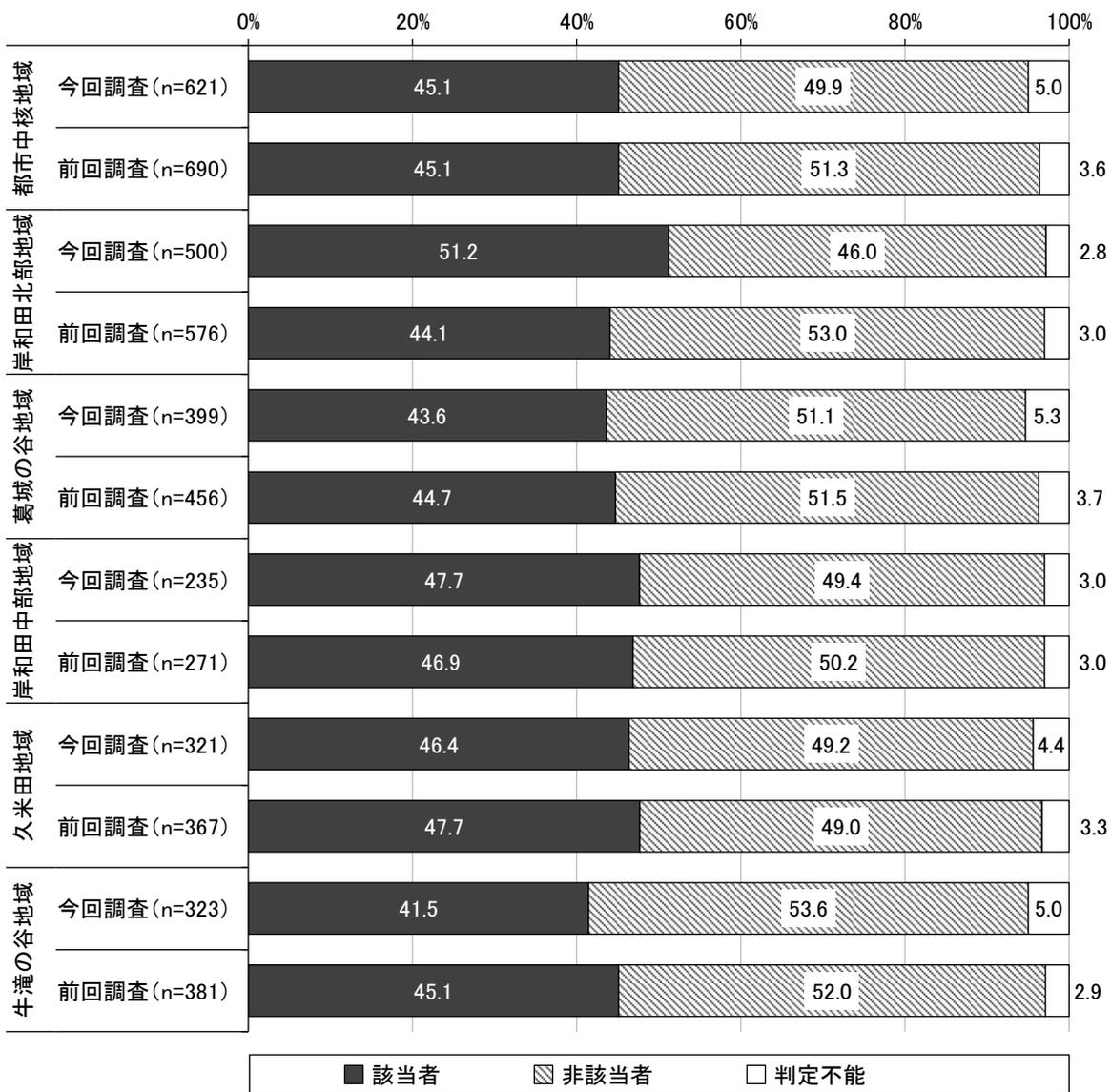
・前回調査



【地域別】〔6〕うつ傾向

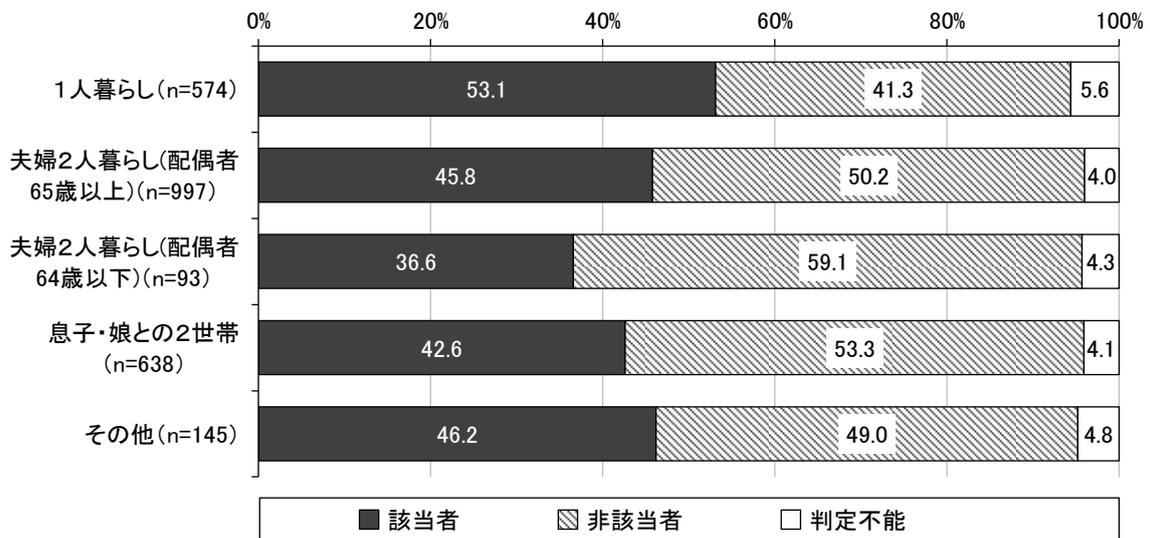
地域別にみると、「該当者」の割合は、岸和田北部地域で 51.2%と最も高く、次いで岸和田中部地域で 47.7%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、「該当者」の割合は、岸和田北部地域で 7.1 ポイント増加しています。



【家族構成別】〔6〕うつ傾向

家族構成別にみると、「該当者」の割合は、[1人暮らし]で53.1%と最も高く、次いで[その他]で46.2%となっています。



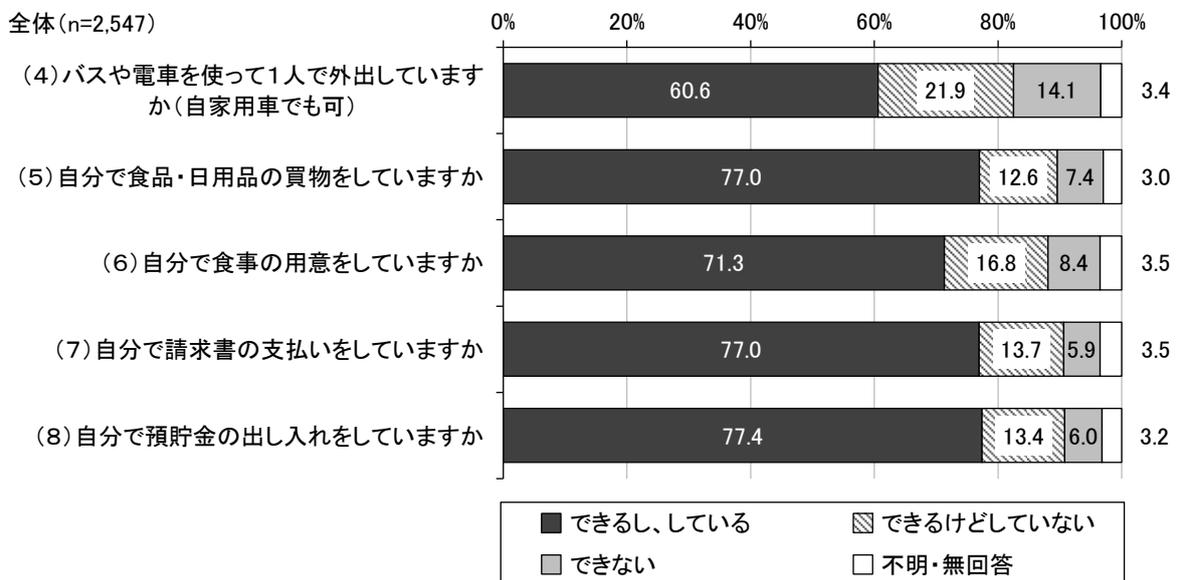
老研式活動能力指標による分析

(1) 手段的自立度

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標から、手段的自立度（IADL）を判定するため、以下の設問5問を5満点とし、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

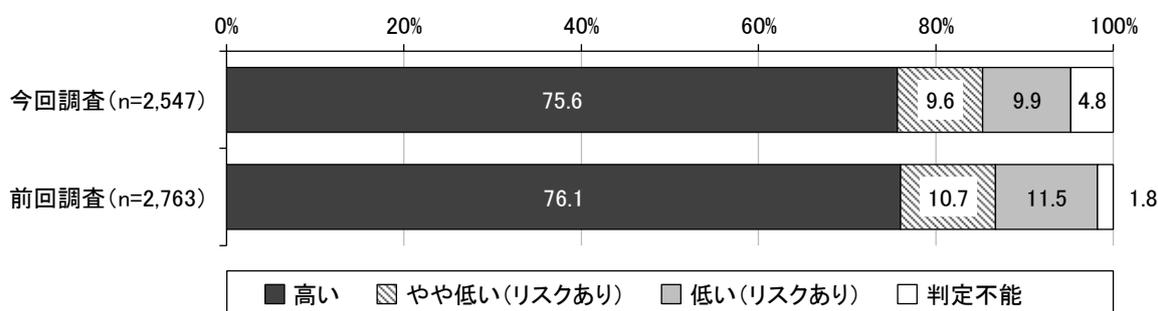
手段的自立度（IADL）のリスク判定は、4点以下の「やや低い」「低い」と該当した場合に、手段的自立度（IADL）の低下と判定されます。

問番号	設問	配点
問4（4）	バスや電車を使って1人で外出しているか（自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（5）	自分で食品・日用品の買物をしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（6）	自分で食事の用意をしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（7）	自分で請求書の支払いをしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（8）	自分で預貯金の出し入れをしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」



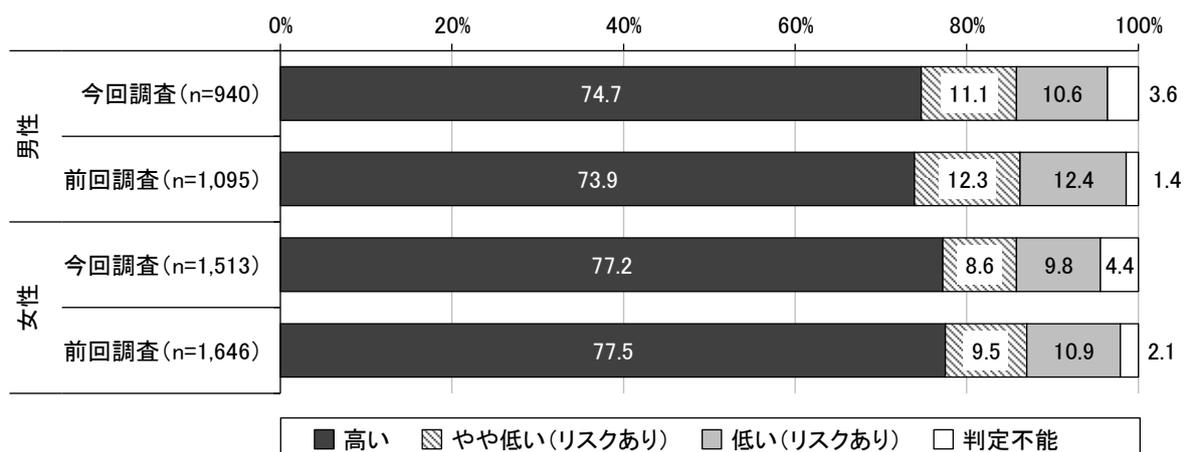
【前回比較】〔(1) 手段的自立度〕

今回調査では、『リスクあり（「やや低い」＋「低い」）』は19.5%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(1) 手段的自立度〕

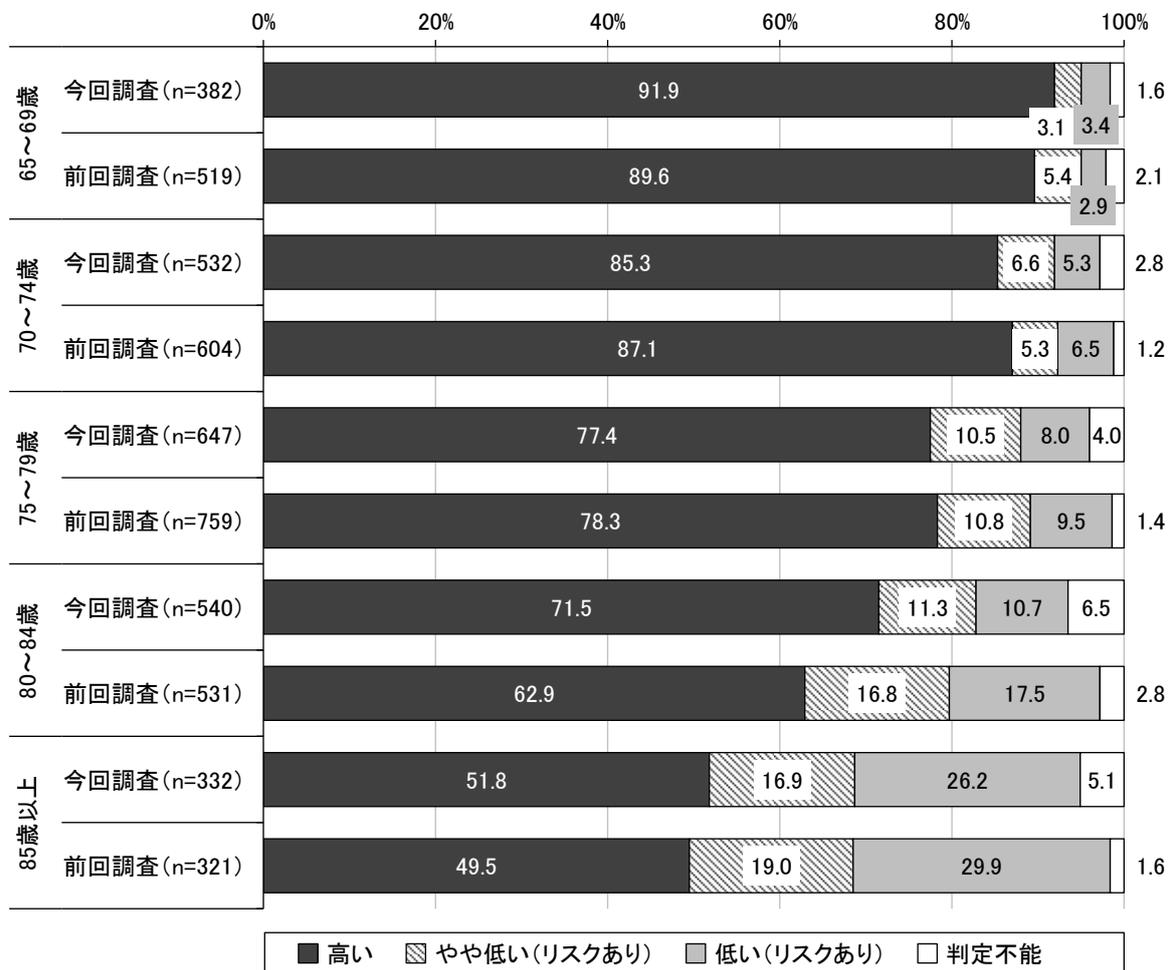
性別にみると、『リスクあり』の割合は男性が21.7%、女性が18.4%となっています。
 性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔(1) 手段的自立度〕

年齢別にみると、高齢になるほど『リスクあり』の割合が高くなっており、85歳以上では43.1%となっています。

年齢別に前回調査と比較すると、『リスクあり』の割合は80～84歳で12.3ポイント減少しています。

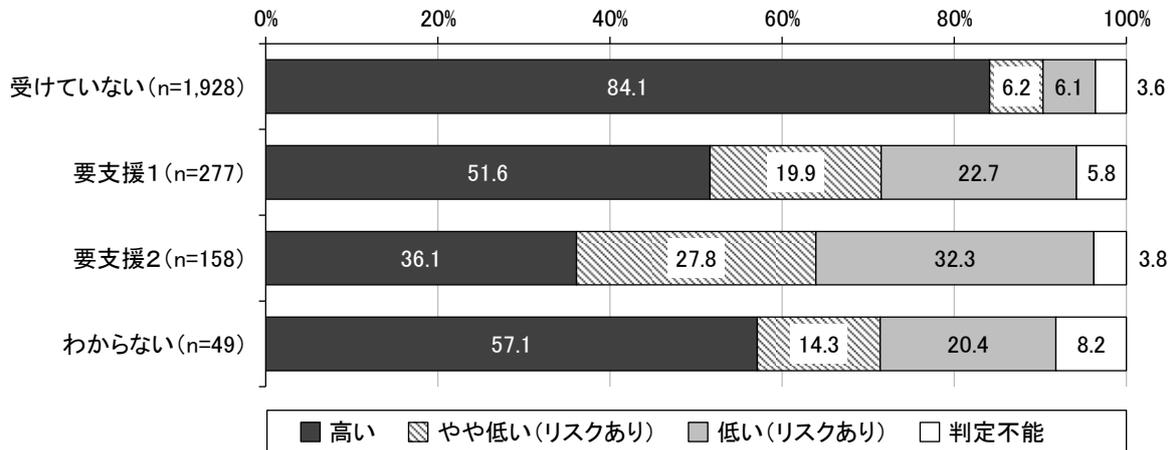


【要支援認定別】〔(1) 手段的自立度〕

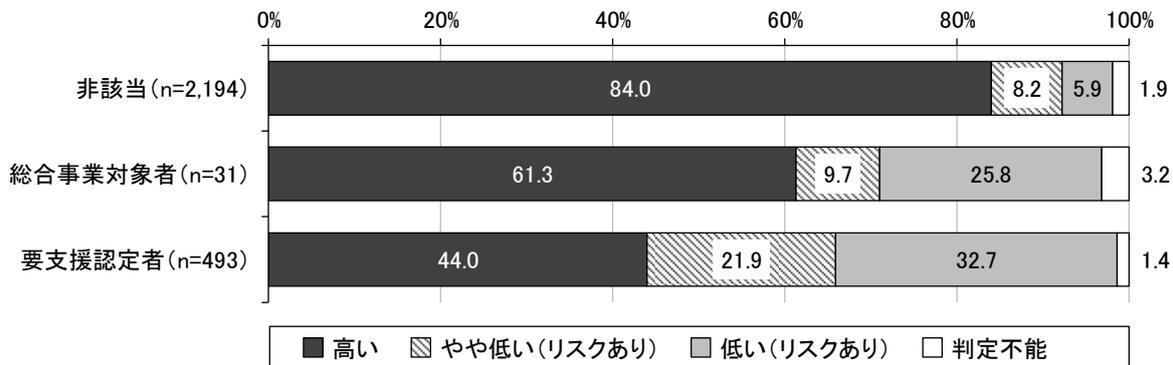
要支援認定別にみると、『リスクあり』の割合は、要支援1では42.6%、要支援2では60.1%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、『リスクあり』の割合は、総合事業対象者が35.5%、要支援認定者が54.6%となっています。

・今回調査



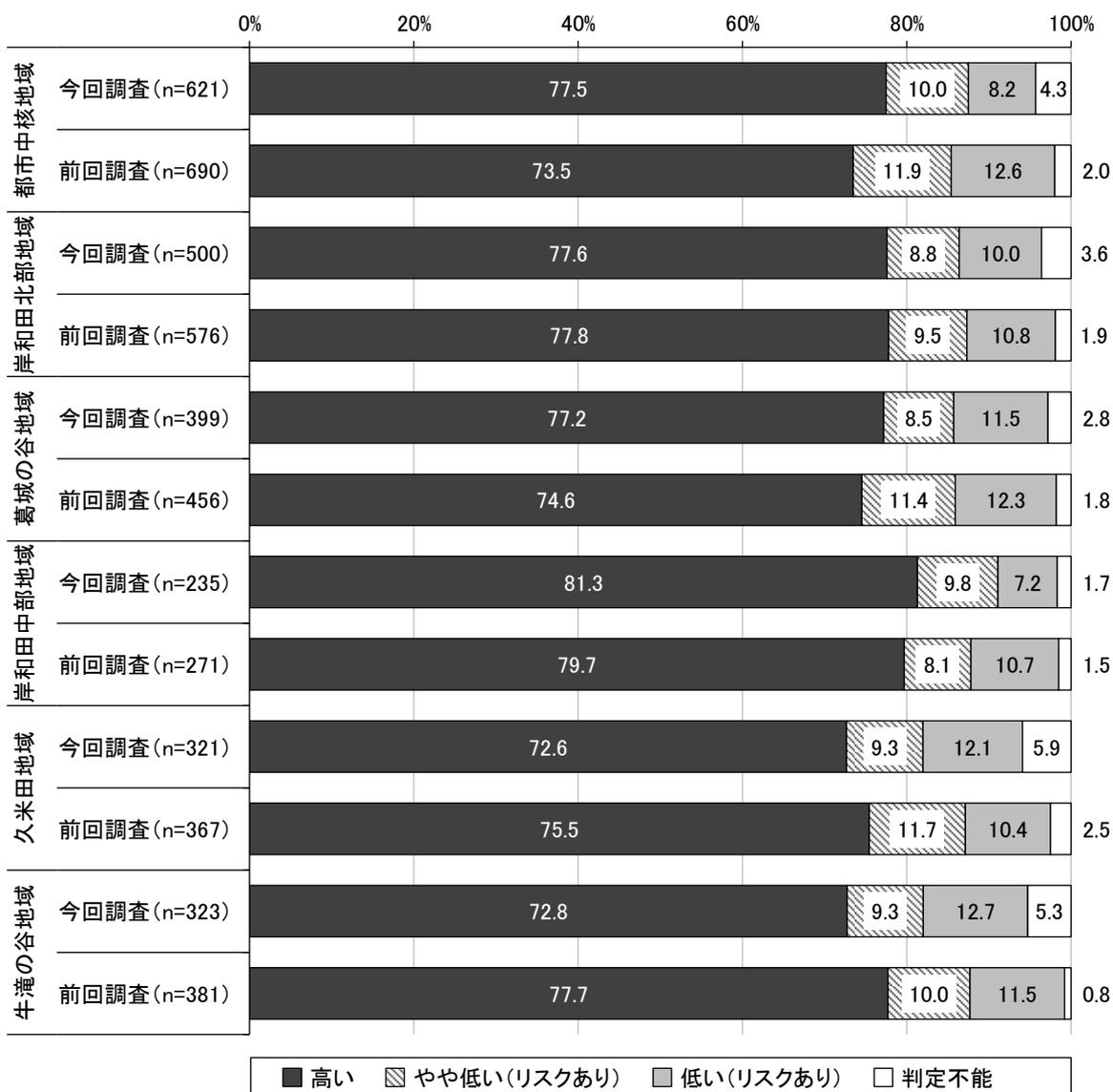
・前回調査



【地域別】〔(1) 手段的自立度〕

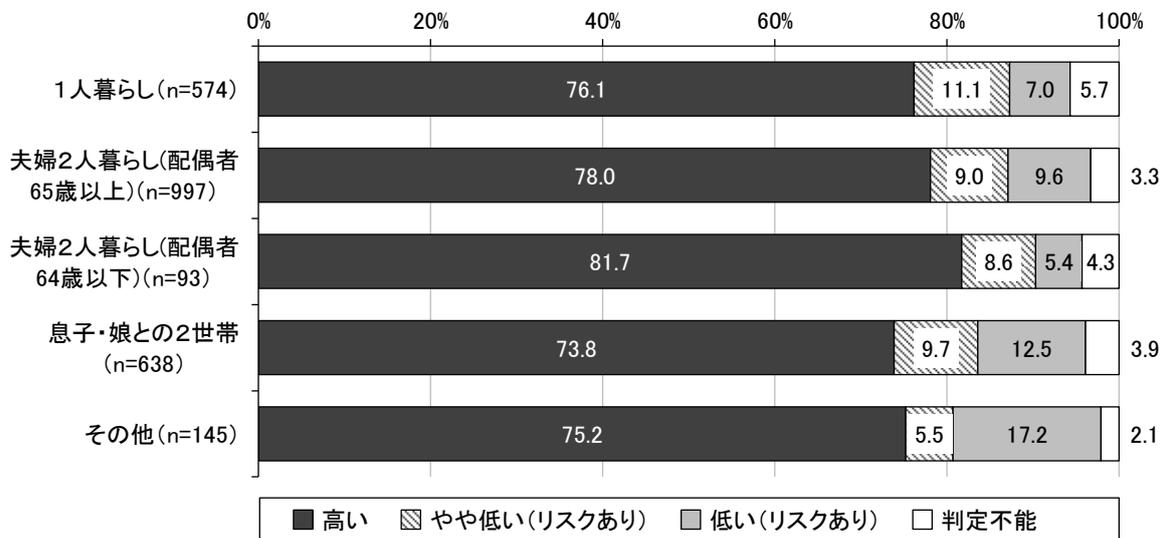
地域別にみると、『リスクあり』の割合は、牛滝の谷地域で 22.0%と最も高く、次いで久米田地域で 21.4%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、『リスクあり』の割合は、都市中核地域で 6.3 ポイント減少しています。



【家族構成別】〔(1) 手段的自立度〕

家族構成別にみると、『リスクあり』の割合は、その他で 22.7%と最も高く、次いで息子・娘との2世帯で 22.2%となっています。

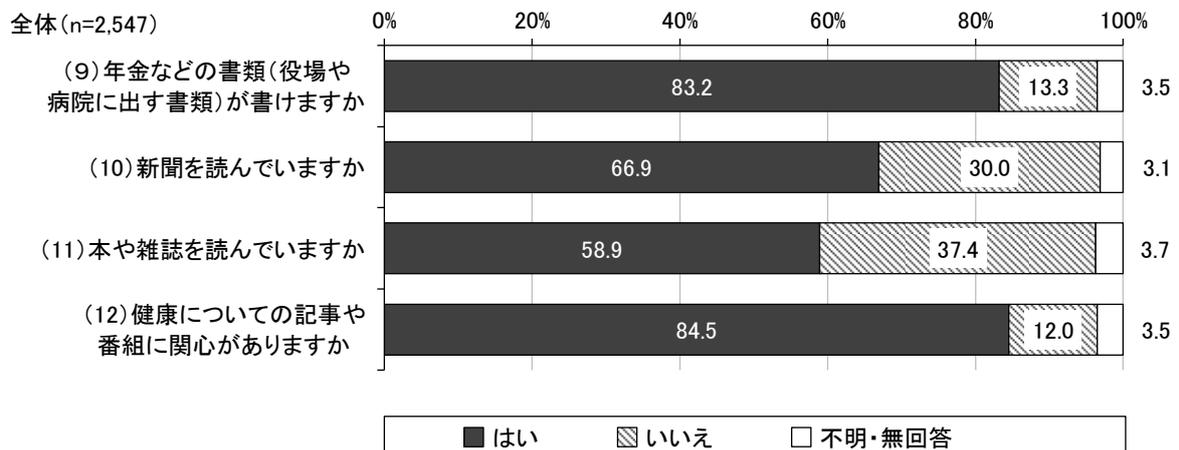


(2) 知的能動性

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標から、知的能動性を判定するため、以下の設問4問を4満点とし、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

知的能動性のリスク判定は、3点以下の「やや低い」「低い」と該当した場合に、知的能動性の低下と判定されます。

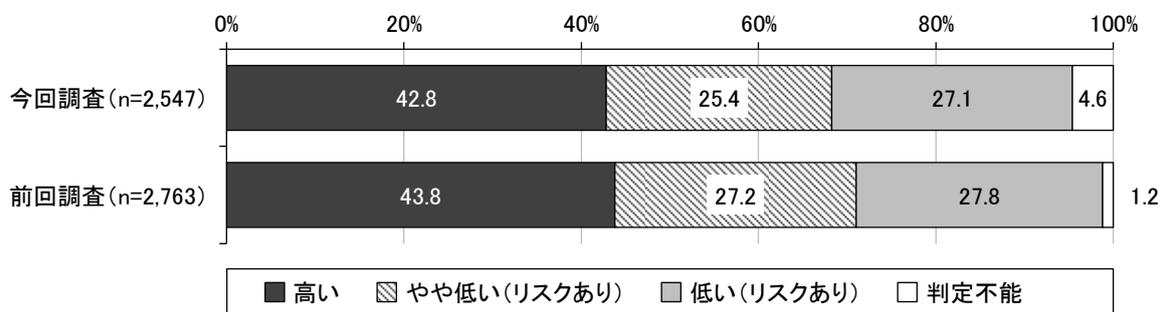
問番号	設問	配点
問4 (9)	年金などの書類(役場や病院に出す書類)が書けるか	「はい」
問4 (10)	新聞を読んでいるか	「はい」
問4 (11)	本や雑誌を読んでいるか	「はい」
問4 (12)	健康についての記事や番組に関心があるか	「はい」



【前回比較】〔(2) 知的能動性〕

今回調査では、『リスクあり』は52.5%となっています。

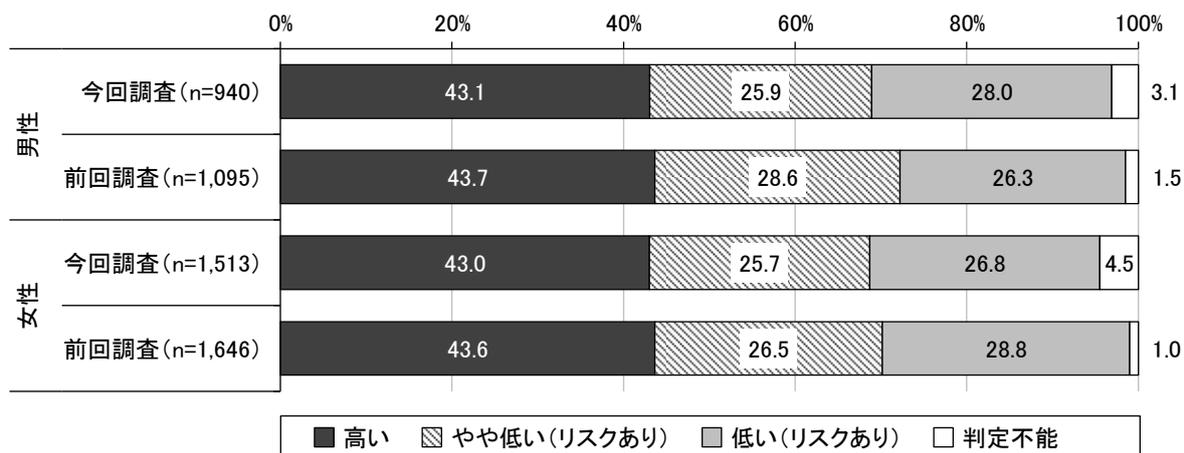
前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【性別】〔(2) 知的能動性〕

性別にみると、『リスクあり』の割合は男性が53.9%、女性が52.5%となっています。

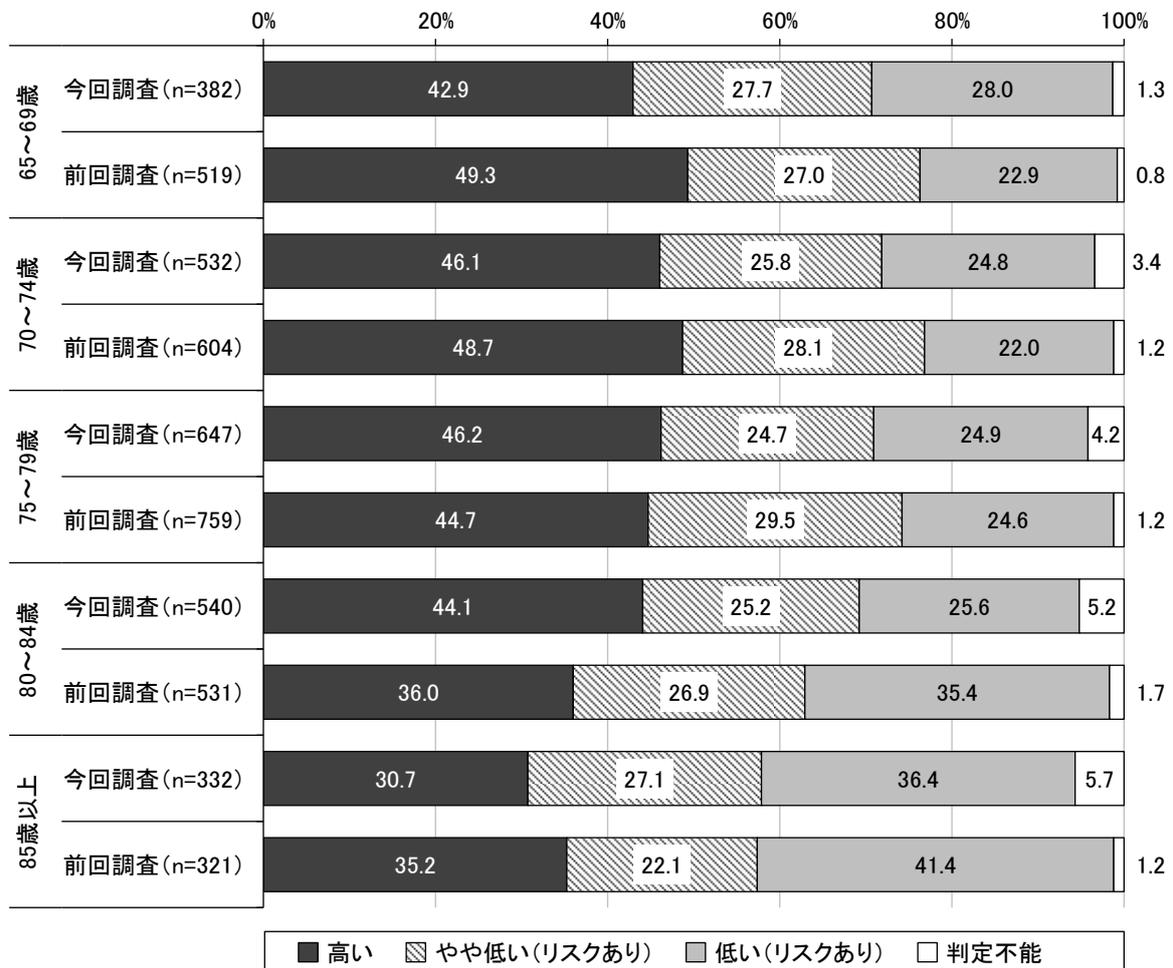
性別に前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。



【年齢別】〔(2) 知的能動性〕

年齢別にみると、65～84歳では「高い」、85歳以上では「低い(リスクあり)」が最も高くなっています。『リスクあり』の割合は、85歳以上で63.5%と他の年齢と比べて高くなっています。

年齢別に前回調査と比較すると、『リスクあり』の割合は65～69歳で5.8ポイント増加し、80～84歳で11.5ポイント減少しています。

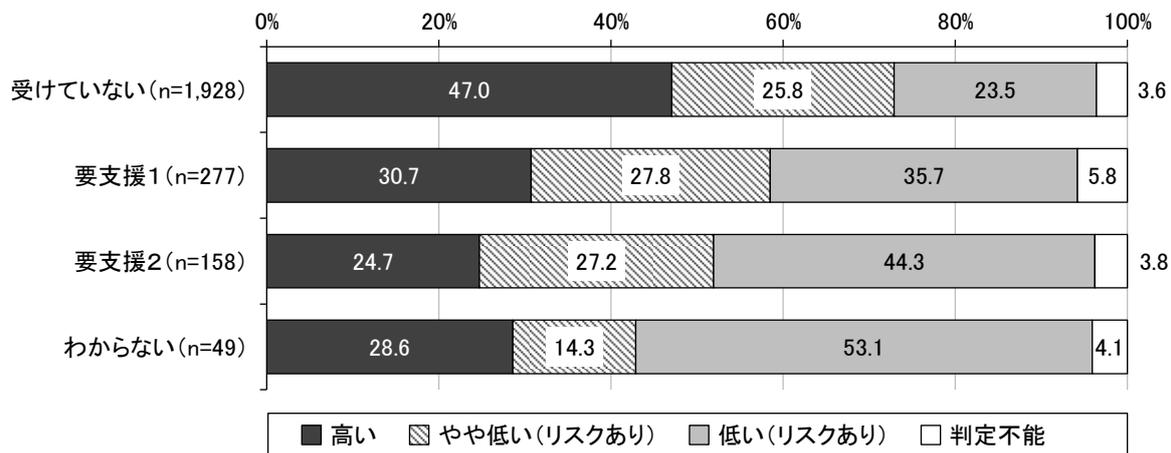


【要支援認定別】〔(2) 知的能動性〕

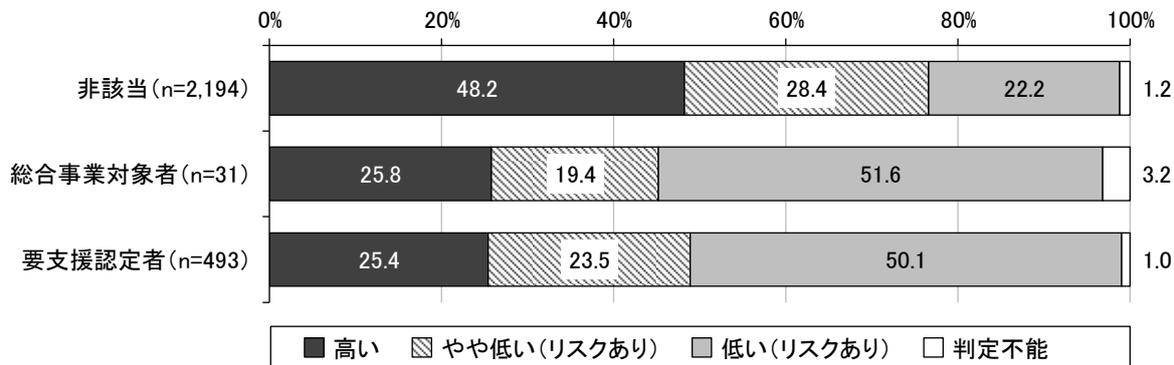
要支援認定別にみると、『リスクあり』の割合は、要支援1では63.5%、要支援2では71.5%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、『リスクあり』の割合は、総合事業対象者が71.0%、要支援認定者が73.6%となっています。

・今回調査



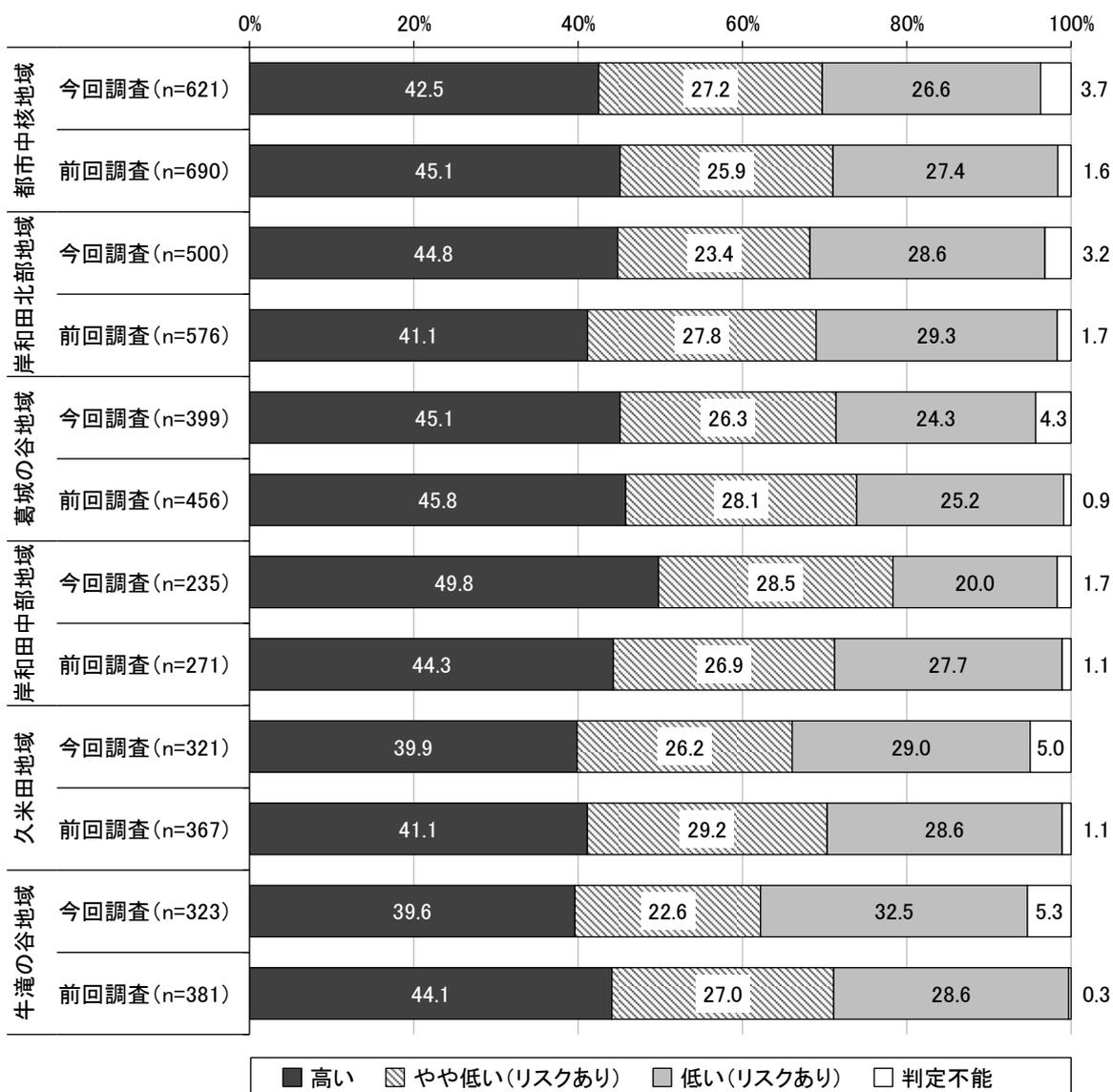
・前回調査



【地域別】〔(2) 知的能動性〕

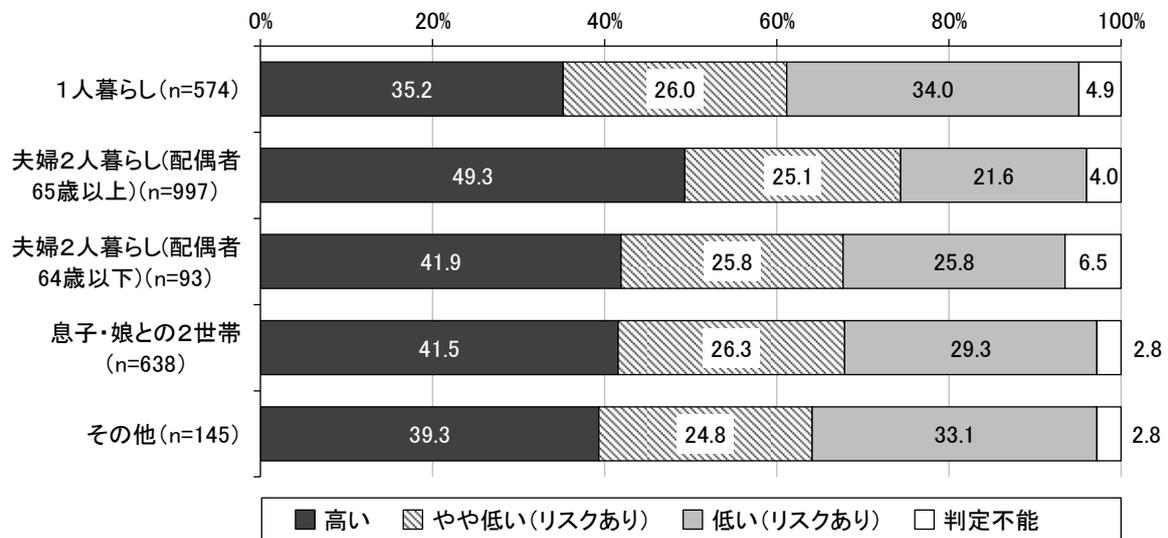
地域別にみると、『リスクあり』の割合は、久米田地域で 55.2%と最も高く、次いで牛滝の谷地域で 55.1%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、『リスクあり』の割合は、岸和田中部地域で 6.1 ポイント、岸和田北部地域で 5.1 ポイント、それぞれ減少しています。



【家族構成別】〔2〕知的能動性

家族構成別にみると、『リスクあり』の割合は、1人暮らしで60.0%と最も高く、次いでその他で57.9%となっています。

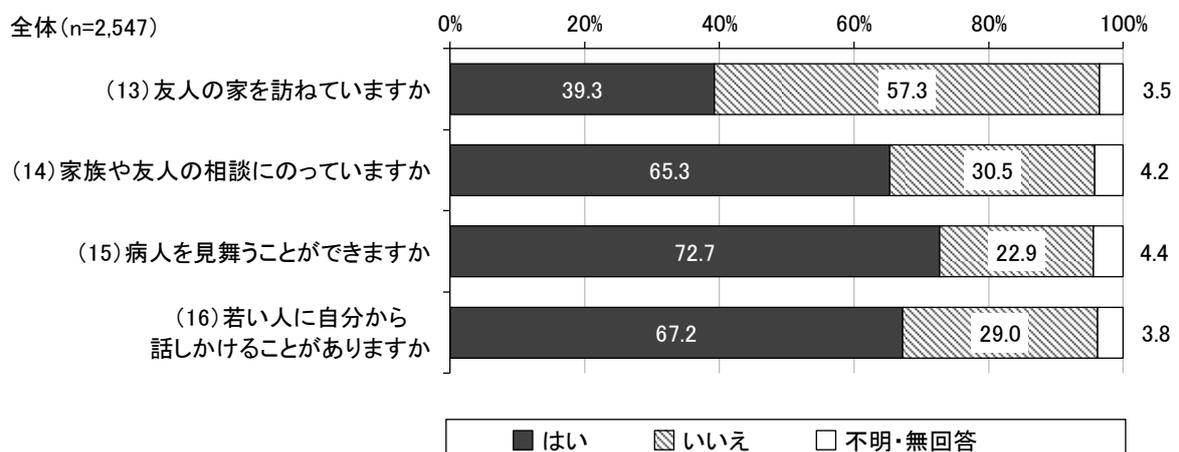


(3) 社会的役割

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標から、社会的役割を判定するため、以下の設問4問を4満点とし、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

社会的役割のリスク判定は、3点以下の「やや低い」「低い」と該当した場合に、社会的役割の低下と判定されます。

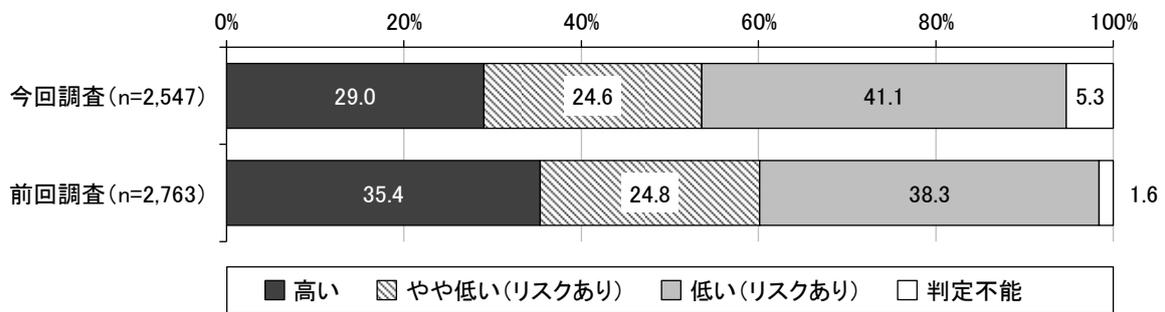
問番号	設問	配点
問4 (13)	友人の家を訪ねているか	「はい」
問4 (14)	家族や友人の相談にのっているか	「はい」
問4 (15)	病院を見舞うことができるか	「はい」
問4 (16)	若い人に自分から話しかけることがあるか	「はい」



【前回比較】〔(3) 社会的役割〕

今回調査では、『リスクあり』は65.7%となっています。

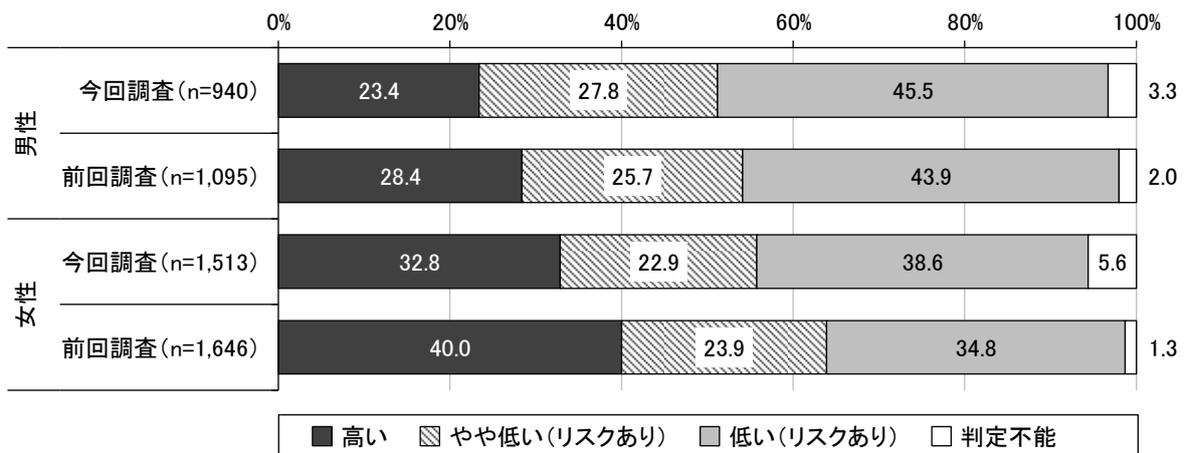
前回調査と比較すると、「高い」が6.4ポイント減少しています。



【性別】〔(3) 社会的役割〕

性別にみると、男性は『リスクあり』が73.3%と女性を11.8ポイント上回っています。

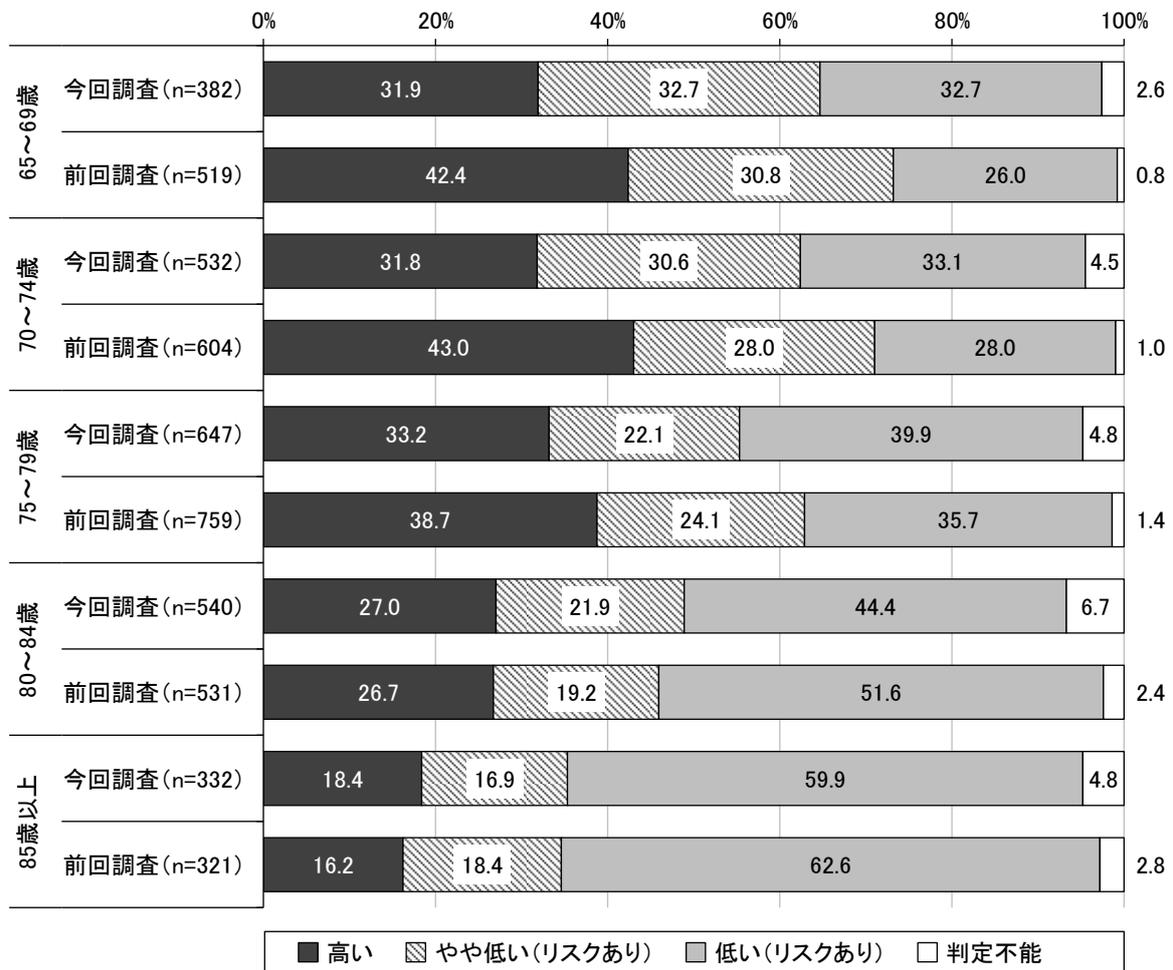
性別に前回調査と比較すると、「高い」の割合は男性で5.0ポイント、女性で7.2ポイント、それぞれ減少しています。



【年齢別】〔3〕社会的役割

年齢別にみると、『リスクあり』の割合は、65～84歳では6割台ですが、85歳以上では76.8%と他の年齢と比べて高くなっています。

年齢別に前回調査と比較すると、『リスクあり』の割合は65～69歳で8.6ポイント、70～74歳で7.7ポイント、それぞれ増加しています。

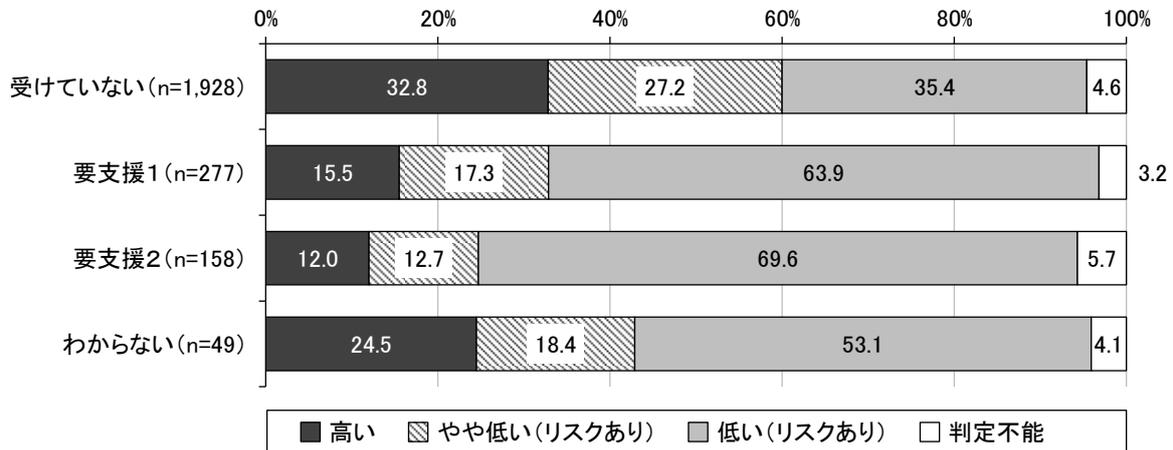


【要支援認定別】〔3〕社会的役割

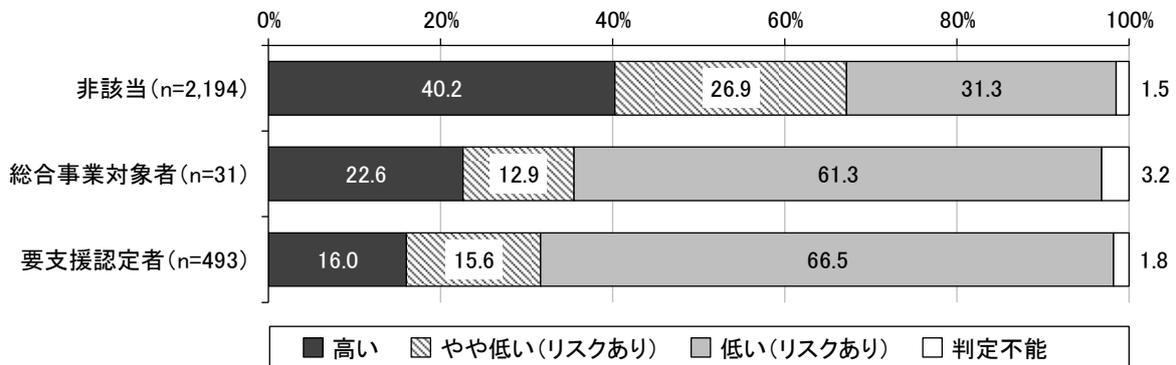
要支援認定別にみると、『リスクあり』の割合は、要支援1では81.2%、要支援2では82.3%となっています。

要支援認定別に前回調査をみると、『リスクあり』の割合は、総合事業対象者が74.2%、要支援認定者が82.1%となっています。

・今回調査



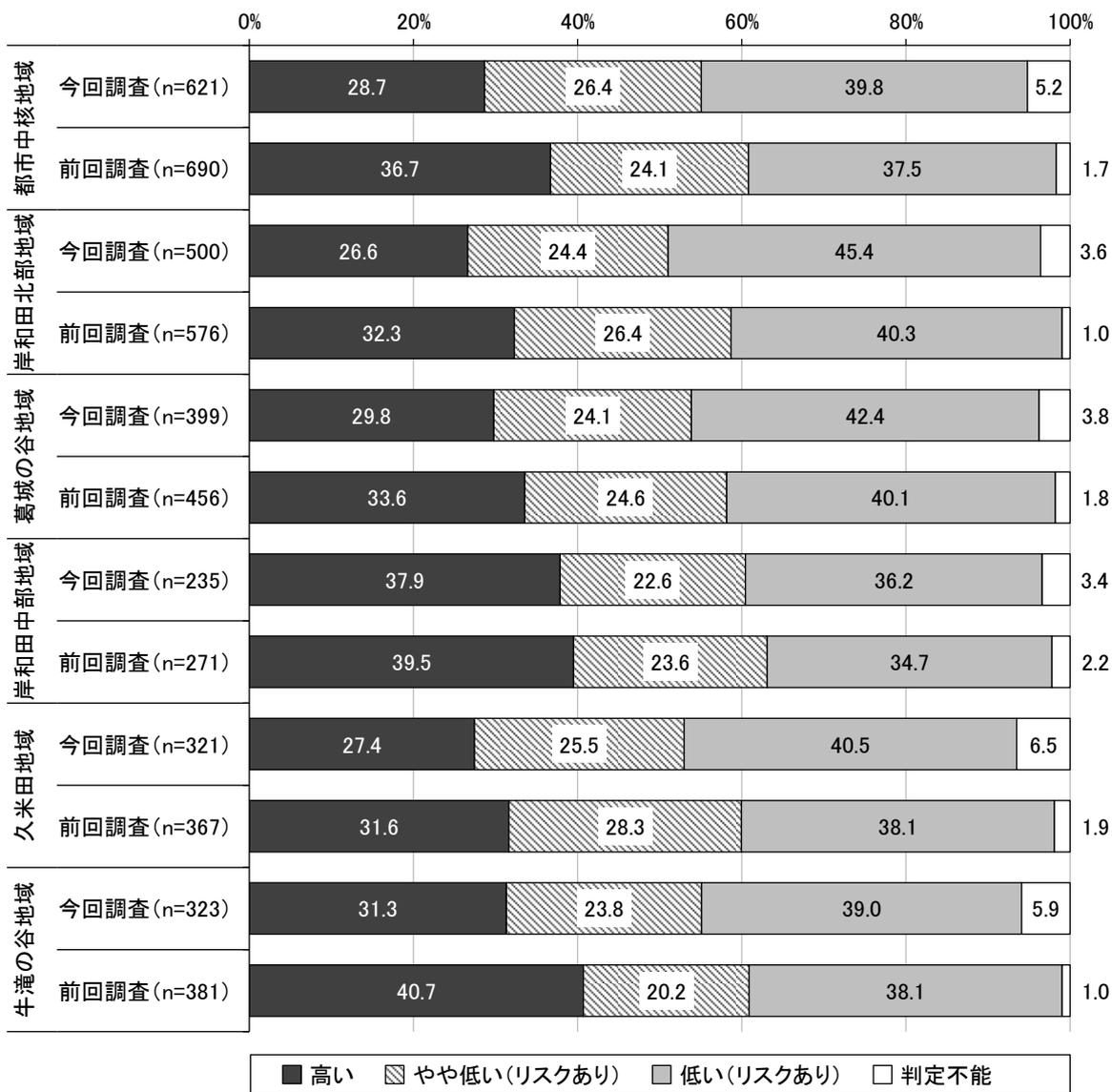
・前回調査



【地域別】〔(3) 社会的役割〕

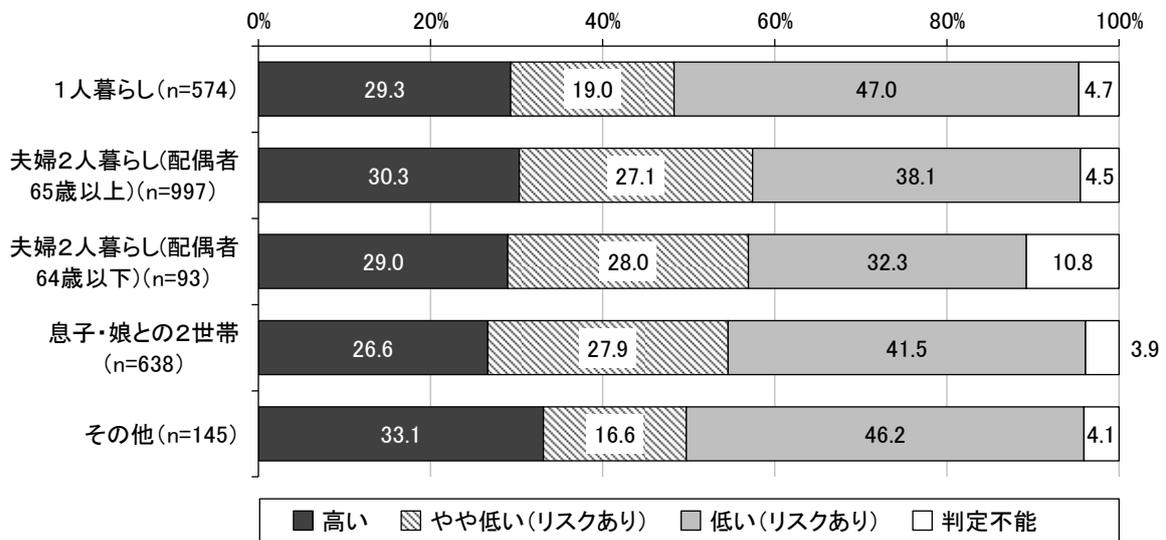
地域別にみると、『リスクあり』の割合は、岸和田北部地域で 69.8%と最も高く、次いで葛城の谷地域で 66.5%となっています。

地域別に前回調査と比較すると、『リスクあり』の割合は大きな違いはみられませんが、「高い」の割合は牛滝の谷地域で 9.4 ポイント、都市中核地域で 8.0 ポイント、それぞれ減少しています。



【家族構成別】〔3〕社会的役割

家族構成別にみると、『リスクあり』の割合は、息子・娘との2世帯で69.4%と最も高く、次いで1人暮らしで66.0%となっています。



Ⅲ アンケート調査票

岸和田市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

日頃より、岸和田市の高齢者福祉及び介護保険行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

岸和田市では、「岸和田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」（計画期間：令和6年度～令和8年度）の策定にあたり、皆様の生活状況について把握するため、岸和田市内にお住まいの高齢者3,300人（65歳以上の方で介護認定を受けておられない方と要支援1、2の方から無作為に抽出した方）に対してアンケート調査を実施します。

調査票にご記入していただいた内容につきましては、統計的な情報処理を行い、必要に応じて皆様の健康状態の改善や介護予防の推進、日常生活の支援など、保健福祉活動に活用させていただく場合がありますが、本調査の目的以外には決して使用いたしません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年1月 岸和田市長 永野 耕平

記入にあたってのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、65歳以上の方で介護認定を受けておられない方と、要支援1、2の方の中から無作為に抽出した方になります。
2. 本調査は、調査票を受け取ったご本人がお答えいただくか、ご家族の方がご本人の意思をご確認のうえ、代わりにお答えください。
3. 回答は、質問にしたがってあてはまる番号に○をつけたり、数値や文章をご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

ご記入いただいたこの調査票は、令和5年1月31日（火）までに同封の返信用封筒によりポストへ投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

※記入方法等についてわかりにくい点などございましたら、お気軽にお問合わせください。

岸和田市役所 介護保険課

電話（直通）072-423-9474

ご回答される方について

○この調査票に記入された方は、どなたですか。(1つに○)

- | | | |
|----------------------------|--|---|
| 1 封筒のあて名のご本人が記入 | | |
| 2 ご家族が記入(封筒のあて名のご本人からみた続柄) | |) |
| 3 その他(| |) |

○あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 答えたくない |
|------|------|----------|

○あなたの年齢をお答えください。

令和5年1月1日現在 () 歳

○あなたの現在の認定状況を教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1 受けていない | 2 要支援1 |
| 3 要支援2 | 4 わからない |
- (令和4年12月1日現在の認定状況を○で囲んでください)

○あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

都市中核地域

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 中央校区 | 2 城内校区 | 3 浜校区 |
| 4 朝陽校区 | 5 東光校区 | 6 大宮校区 |

岸和田北部地域

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 春木校区 | 2 大芝校区 | 3 城北校区 |
| 4 新条校区 | | |

葛城の谷地域

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 旭校区 | 2 太田校区 | 3 天神山校区 |
| 4 修斉校区 | 5 東葛城校区 | |

岸和田中部地域

- | | |
|--------|--------|
| 1 常盤校区 | 2 光明校区 |
|--------|--------|

久米田地域

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 1 八木北校区 | 2 八木校区 | 3 八木南校区 |
|---------|--------|---------|

牛滝の谷地域

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 1 山直北校区 | 2 城東校区 | 3 山直南校区 |
| 4 山滝校区 | | |

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 1人暮らし | 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4 息子・娘との2世帯 |
| 5 その他 () | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1 介護・介助は必要ない ⇒ (3)へ |
| 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

(2)で「2」または「3」を回答した方にお伺いします。

(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 脳卒中・(脳出血・脳梗塞等) | 2 心臓病 |
| 3 がん(悪性新生物) | 4 呼吸器の病気(肺気腫や肺炎等) |
| 5 関節の病気(リウマチ等) | 6 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7 パーキンソン病 | 8 糖尿病 |
| 9 腎疾患(透析) | 10 視覚・聴覚障害 |
| 11 骨折・転倒 | 12 脊椎損傷 |
| 13 高齢による衰弱 | 14 不明 |
| 15 その他 () | |

(2)で「3 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします。

(2)-2 主にどなたからの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 息子 |
| 3 娘 | 4 子の配偶者 |
| 5 孫 | 6 兄弟・姉妹 |
| 7 介護サービスのヘルパー | 8 その他 () |

(3)以降は、全員にお伺いします。

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい | 3 ふつう |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある | |

(4) お住いは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 持家（一戸建て） | 2 持家（集合住宅） |
| 3 公営賃貸住宅 | 4 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6 借家 |
| 7 その他（ | ） |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。(杖や歩行器を使用している場合も含みます)
(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 何度もある | 2 1度ある | 3 ない |
|---------|--------|------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 とても不安である | 2 やや不安である |
| 3 あまり不安でない | 4 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------|
| 1 ほとんど外出しない | 2 週1回 |
| 3 週2～4回 | 4 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 とても減っている | 2 減っている |
| 3 あまり減っていない | 4 減っていない |

(8) 外出を控えていますか。(1つに○)

1 はい	2 いいえ ⇒ (9)へ
------	--------------

(8)で「1 はい」(外出を控えている)と回答した方にお伺いします。

(8)-1 外出を控えている理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 病気	2 障害(脳卒中の後遺症等)	3 足腰などの痛み
4 トイレの心配(失禁等)	5 耳の障害(聞こえの問題等)	6 目の障害
7 外での楽しみがない	8 経済的に出られない	9 交通手段がない
10 その他()		

(9)は全員にお伺いします。

(9)外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 徒歩	2 自転車	3 バイク
4 自動車(自分で運転)	5 自動車(人に乗せてもらう)	6 電車
7 コミュニティバス (ローズバス)	8 路線バス	9 病院や施設のバス
10 車いす	11 電動車いす(カート)	12 歩行器・シルバーカー (手押し車)
13 タクシー	14 その他()	

問3 食べることについて

(1)身長・体重をそれぞれご記入ください。(数字を右詰めで記入)

身長	□□□	cm	体重	□□□	kg
----	-----	----	----	-----	----

(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

(3)お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

(4)口の渇きが気になりますか。(1つに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

(5)歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2 | 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3 | 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4 | 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

全員にお伺いします。

(6) -1 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | はい | 2 | いいえ |
|---|----|---|-----|

(6)で「1」または「3」(入れ歯を利用している)と回答した方にお伺いします。

(6) -2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | はい | 2 | いいえ |
|---|----|---|-----|

(7) 6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | はい | 2 | いいえ |
|---|----|---|-----|

(8) どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|---------|
| 1 | 毎日ある | 2 | 週に何度かある | 3 | 月に何度かある |
| 4 | 年に何度かある | 5 | ほとんどない | | |

問4 毎日の生活について

次の(1)~(18)について、あてはまるものを選んでください。

- | | | | | | |
|---|-----------|---|------------|---|------|
| (1) 物忘れが多いと感じますか(1つに○) | | | | | |
| 1 | はい | 2 | いいえ | | |
| (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(1つに○) | | | | | |
| 1 | はい | 2 | いいえ | | |
| (3) 今日が何月何日かわからないときがありますか(1つに○) | | | | | |
| 1 | はい | 2 | いいえ | | |
| (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(1つに○) | | | | | |
| 1 | できるし、している | 2 | できるけどしていない | 3 | できない |
| (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(1つに○) | | | | | |
| 1 | できるし、している | 2 | できるけどしていない | 3 | できない |

(6) 自分で食事の用意をしていますか (1つに○)		
1	できるし、している	2 できるけどしていない
		3 できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)		
1	できるし、している	2 できるけどしていない
		3 できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)		
1	できるし、している	2 できるけどしていない
		3 できない
(9) 年金などの書類 (役場や病院に出す書類) が書けますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(10) 新聞を読んでいますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(11) 本や雑誌を読んでいますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (1つに○)		
1	はい	2 いいえ
(17) 趣味はありますか (1つに○)		
1	はい	→ (具体的に:)
2	思いつかない	
(18) 生きがいがありますか (1つに○)		
1	はい	→ (具体的に:)
2	思いつかない	

問5 地域での活動について

(1) 以下のようなサークル・グループ活動等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(①～⑧それぞれ1つに○)

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤いきいき百歳体操、リビング、サロンな どの介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1 是非参加したい	2 参加してもよい
3 参加したくない	4 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1 是非協力したい	2 参加してもよい
3 参加したくない	4 既に参加している

問6 たすけあいについて

次の(1)～(8)について、あてはまるものをすべて選んでください。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	
(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を教えてください		
1 自治会・町内会・老人クラブ	2 社会福祉協議会・民生委員	
3 ケアマネジャー	4 医師・歯科医師・看護師	
5 地域包括支援センター・役所	6 その他()	
7 そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(1つに○)		
1 毎日ある	2 週に何度かある	3 月に何度かある
4 年に何度かある	5 ほとんどない	
(7) この1カ月間、何人の友人・知人と会いましたか(1つに○) (同じ人には何度会っても1人としてください)		
1 0人(いない)	2 1～2人	3 3～5人
4 6～9人	5 10人以上	

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

- | | | |
|--------------|--------------|------------------|
| 1 近所・同じ地域の人 | 2 幼なじみ | 3 学生時代の友人 |
| 4 仕事での同僚・元同僚 | 5 趣味や関心が同じ友人 | 6 ボランティア等の活動での友人 |
| 7 その他 () | 8 いない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1 とてもよい | 2 まあよい | 3 あまりよくない | 4 よくない |
|---------|--------|-----------|--------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○で囲んでください)

とても不幸 ←—————→ とても幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1カ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(4) この1カ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(5) お酒は飲みますか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 ほぼ毎日飲む | 2 時々飲む |
| 3 ほとんど飲まない | 4 もともと飲まない |

(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 ほぼ毎日吸っている | 2 時々吸っている |
| 3 吸っていたがやめた | 4 もともと吸っていない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 ない | 2 高血圧 |
| 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 4 心臓病 |
| 5 糖尿病 | 6 高脂血症(脂質異常) |
| 7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9 腎臓・前立腺の病気 | 10 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) |
| 11 外傷(転倒・骨折等) | 12 がん(悪性新生物) |
| 13 血液・免疫の病気 | 14 うつ病 |
| 15 認知症(アルツハイマー病等) | 16 パーキンソン病 |
| 17 目の病気 | 18 耳の病気 |
| 19 その他() | |

問8 認知症について

(1) あなた自身または家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(3) あなたが認知症予防のために日頃から心がけていることはどんなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 規則正しい生活をするようにしている |
| 2 栄養のバランスのとれた食事を摂るようにしている |
| 3 適度な運動を継続している |
| 4 新聞やテレビなどで情報を得るようにしている |
| 5 人との交流を心がけている |
| 6 日記をつけるなど文章を書いたり、簡単な計算問題をしたりしている |
| 7 その他() |
| 8 特にない |

(4) 将来、認知症等により判断能力が不十分になった場合、支援してくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者(夫・妻)	2 息子	3 娘
4 子の配偶者	5 孫	6 兄弟・姉妹
7 その他()	8 そのような人はいない	

(5) 自分自身や家族が認知症になってしまったとき、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 相談窓口や病院、介護サービスなどがすぐわかる情報の提供
2 認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり
3 ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み
4 認知症の方が活動できる場、社会参加ができる機会の提供
5 介護の仕方やコミュニケーション方法などの研修会
6 認知症について住民が正しく理解できる普及活動と情報発信
7 成年後見制度の利用
8 その他()

※成年後見制度…判断能力が不十分な方々の権利や財産を守り、意思決定を支援する仕組みであり、法律面や生活面で保護したり支援したりする制度です。

問9 在宅医療について

(1) かかりつけ医はいますか。(1つに○)

1 いる (病院の医師)	2 いる (診療所、クリニックの医師)	3 いない
-----------------	------------------------	-------

(2) かかりつけ歯科医はいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------

(3) かかりつけの薬局はありますか。(1つに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

(3) で「1 はい」(かかりつけ薬局がある)と回答した方にお伺いします。

(3)-1 かかりつけの薬剤師はいますか。(1つに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

(4) 以降は全員にお伺いします。

(4) あなたが脳卒中の後遺症などで症状の改善がすぐに見込めない状態で医療や介護が必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 自宅(親族・知人の家も含む) | 2 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 3 病院で入院を継続 | 4 その他 () |

(5) あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 自宅(親族・知人の家も含む) | 2 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 3 病院で入院を継続 | 4 ホスピスなどの緩和ケア施設 |
| 5 その他 () | |

※緩和ケア施設…末期がんなどによる痛みを主体とした不快な症状や、不安に苦しむ患者の身体の諸症状を和らげ、平穏な心を取り戻すために援助し、本来の人らしさを発揮して生命を全うすることを目的とする施設。

(6) 老衰や後遺症などで通院が困難になった場合も病院に入院せず、自宅療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|--------|-----------|
| 1 とても思う | 2 やや思う | 3 あまり思わない |
|---------|--------|-----------|

(7) 在宅医療・介護を充実するにあたり、どのような在宅医療・介護体制の整備が最も重要だと思いますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 24時間いつでも診てもらえる体制 |
| 2 定期的に診療・訪問看護が受けられる体制 |
| 3 容態の急変時の体制 |
| 4 緩和ケア及び看取りの体制 |
| 5 家族の介護負担を軽減できる支援体制 |
| 6 家事等の生活支援体制 |
| 7 その他 () |

問 10 高齢者福祉全般について

(1) 新型コロナウイルスの感染が拡大して以降、あなたの生活や心身の状態はどのように変わりましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 健康に気を付けるようになった | 2 友人・知人に会う機会が減った |
| 3 離れて暮らす家族と会う機会が減った | 4 買物などの外出の機会が減った |
| 5 病院に行くことを控えるようになった | 6 健康状態が悪化した |
| 7 暗いニュースによって不安感が増した | 8 収入・支出面で生活が苦しくなった |
| 9 その他 () | |

(2) あなたは、健康を維持するためにしていることや、心がけていることがありますか。(3つまで○)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 定期的なかかりつけ医への受診 | 2 いきいき百歳体操への参加 |
| 3 ウォーキングなどの適度な運動 | 4 家族や友人との会話 |
| 5 生きがいや趣味をもつこと | 6 地域行事への参加 |
| 7 食事の栄養バランス | 8 睡眠を十分にとる |
| 9 ストレスをためないこと | 10 規則正しい生活 |
| 11 歯や入れ歯の手入れ | 12 テレビなどで健康に関する情報を得ること |
| 13 その他 () | |
| 14 特になし | |

(3) あなたに介護が必要になった場合、どこで暮らしたいですか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1 家族に支援してもらいながら自宅で生活したい |
| 2 ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい |
| 3 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所したい |
| 4 その他 () |
| 5 わからない |

(4) 将来的にあなたが、「ちょっとした困りごと」で手助けしてほしいと思われるものはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 2 ちょっとした買物 |
| 3 ごみ出し | 4 電球の交換や高い所の物を取る手助け |
| 5 持家に関すること(雑草除去、片付け) | 6 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い |
| 7 入浴の見守りやちょっとした介助 | 8 通院の送迎や外出の付き添い |
| 9 話し相手や相談相手 | 10 気軽にに行ける自由な居場所の提供 |
| 11 災害時の避難の手助け | 12 急に具合が悪くなったときの手助け |
| 13 その他 () | |
| 14 特に手助けは必要ない | |
| 15 わからない | |

(5) 将来的に運転免許証を自主返納したいと思いませんか。(1つに○)

※「1 はい」と回答した方は()内に数字を記入。

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1 はい ⇒ ()歳になったら返納しようと思う。 ⇒ (5)-1へ | |
| 2 既に返納している、または元々運転免許証を所持していない | |
| 3 いいえ | 4 わからない |

(5)で「1 はい」と回答した方にお伺いします。

(5)-1 運転免許証を返納した場合の交通手段について教えてください。(3つまで○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 電車・路線バス | 2 コミュニティバス(ローズバス) |
| 3 家族の送迎 | 4 友人の送迎 |
| 5 タクシー(民間運営) | 6 その他 () |

(6)以降は全員にお伺いします。

(6) 高齢になっても、不便なく交通機関などを利用して移動するために、特にどのような取り組みが必要だと思いませんか。(3つまで○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 路線バスに加え、主に町内で利用できるコミュニティバスの運行本数を増やす |
| 2 デマンドタクシーなど、地域特性に対応できる交通機関を配置する |
| 3 バリアフリー化等、高齢者に優しい交通環境を整える |
| 4 ガイドヘルパー等の福祉制度による移動支援サービスを利用しやすくする |
| 5 地域のボランティア等による、利用しやすい輸送支援の仕組みをつくる |
| 6 その他 () |

(7) 高齢者にとって住みよいまちをつくるために、どんなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 困ったときに相談できる体制の整備 |
| 2 | 保健医療福祉に関する情報提供 |
| 3 | 在宅福祉サービスの充実 |
| 4 | 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実 |
| 5 | 往診や緊急時対応などの医療体制の充実 |
| 6 | リハビリテーション体制の充実 |
| 7 | 健康づくり事業の充実 |
| 8 | 道路・交通機関・建物などを利用しやすいようにするための整備・改善 |
| 9 | 災害時の支援体制の整備 |
| 10 | 生きがい活動の場づくりの推進 |
| 11 | 隣近所や地域のたすけあい・支え合い活動の推進 |
| 12 | その他 () |

(8) 今、生活するうえで困っていることや、介護及び高齢者福祉全般についてのご意見
やご要望がございましたらご自由にお書きください。

● 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 ●

ご記入済みのアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、

1月31日(火)までに ポストにご投函ください。

(切手は不要です)

岸和田市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
結果報告書

発行：岸和田市役所 介護保険課
TEL：072-423-9474

発行年月：令和5年3月

在宅生活改善調査 集計結果

2023/03/31

大阪府岸和田市

発送事業所数：113件

回収事業所数：98件

回収率：86.7%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。

(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。

(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【在宅生活改善調査】

調査の目的

- ・在宅生活改善調査では、「**過去1年間**」の、①自宅等から居場所を変更した利用者の行先別人数や②自宅等において死亡した利用者の人数、また、現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」の、①人数や②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映していくことを目的としています。

調査の概要

- ・アンケートは、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきます。各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答します。
- ・それぞれのケアマネジャーが判断する、「その方の生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
- ・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

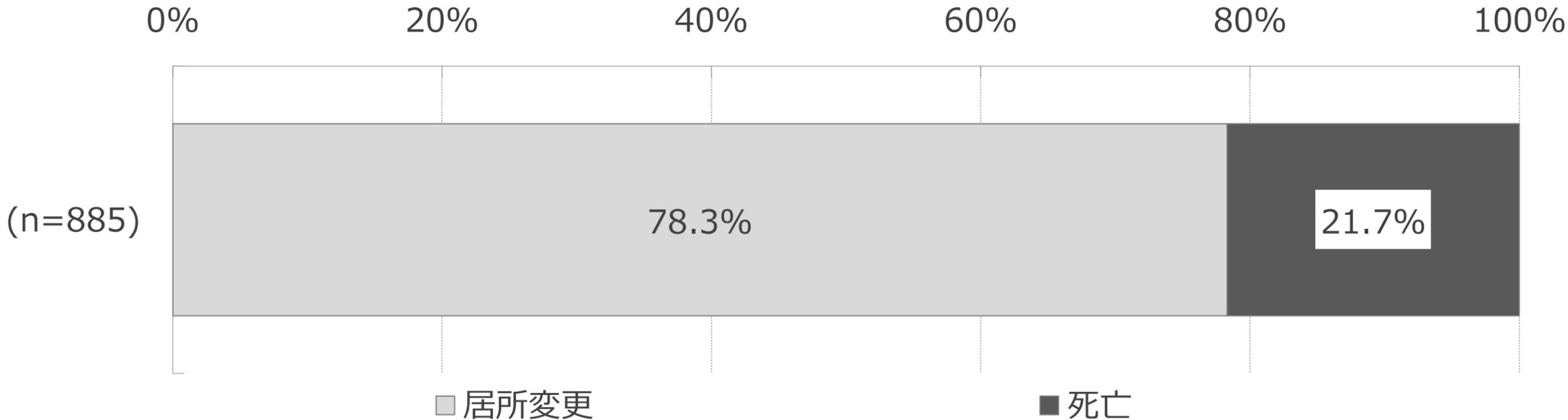
注目すべきポイント

- ・過去1年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人）は、どの程度いるか？
- ・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
- ・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？（サービス提供体制の構築方針の検討）

※ 特に生活の維持が難しくなっている理由や、必要な支援・サービスについては、アンケート調査の結果のみでなく、調査結果をもとに関係者間での議論を通じて検討することが重要です。

過去1年間の実績

過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



岸和田市全体で、過去1年間に
自宅等から居所を変更した利用者数

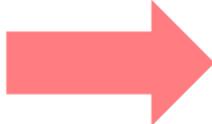


粗推計 **回答実数**

799人

693人

岸和田市全体で、過去1年間に
自宅等で死亡した利用者数



221人

192人

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
(注2) 「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

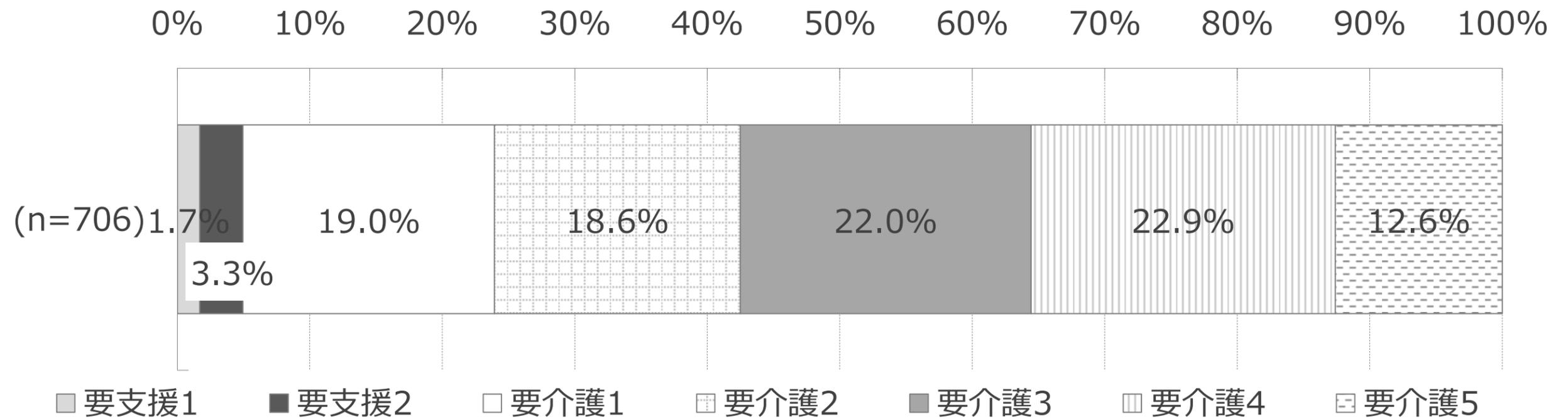
過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	7人 1.0%	9人 1.3%	16人 2.3%
住宅型有料老人ホーム	177人 25.5%	94人 13.6%	271人 39.1%
軽費老人ホーム	9人 1.3%	2人 0.3%	11人 1.6%
サービス付き高齢者向け住宅	112人 16.2%	41人 5.9%	153人 22.1%
グループホーム	6人 0.9%	0人 0.0%	6人 0.9%
特定施設	10人 1.4%	6人 0.9%	16人 2.3%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護老人保健施設	47人 6.8%	6人 0.9%	53人 7.6%
療養型・介護医療院	27人 3.9%	4人 0.6%	31人 4.5%
特別養護老人ホーム	65人 9.4%	5人 0.7%	70人 10.1%
地域密着型特別養護老人ホーム	2人 0.3%	0人 0.0%	2人 0.3%
その他	53人 7.6%	7人 1.0%	60人 8.7%
行先を把握していない			4人 0.6%
合計	515人 74.3%	174人 25.1%	693人 100.0%

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

(注2) 表の上段の数値は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

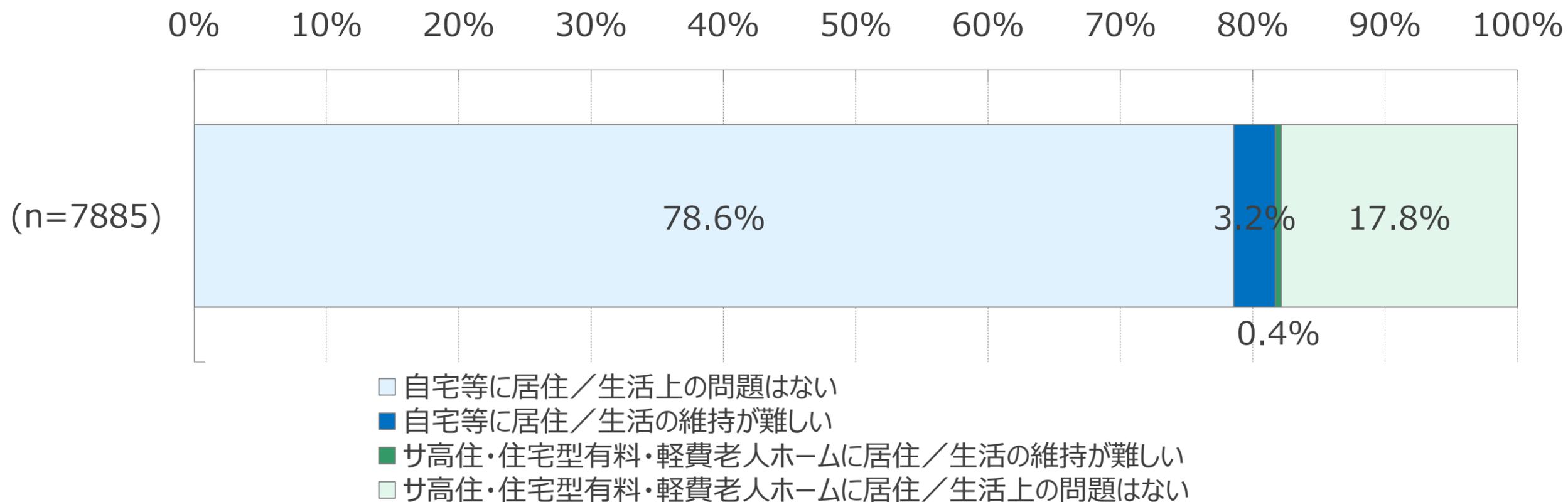
過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



(注) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

現在の利用者の状況

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合

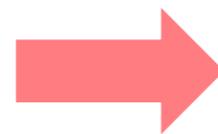


3.6%

粗推計

回答実数

岸和田市全体で、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数



合計

326人
183人
137人

283人
159人
119人

(要介護2以下)

(要介護3以上)

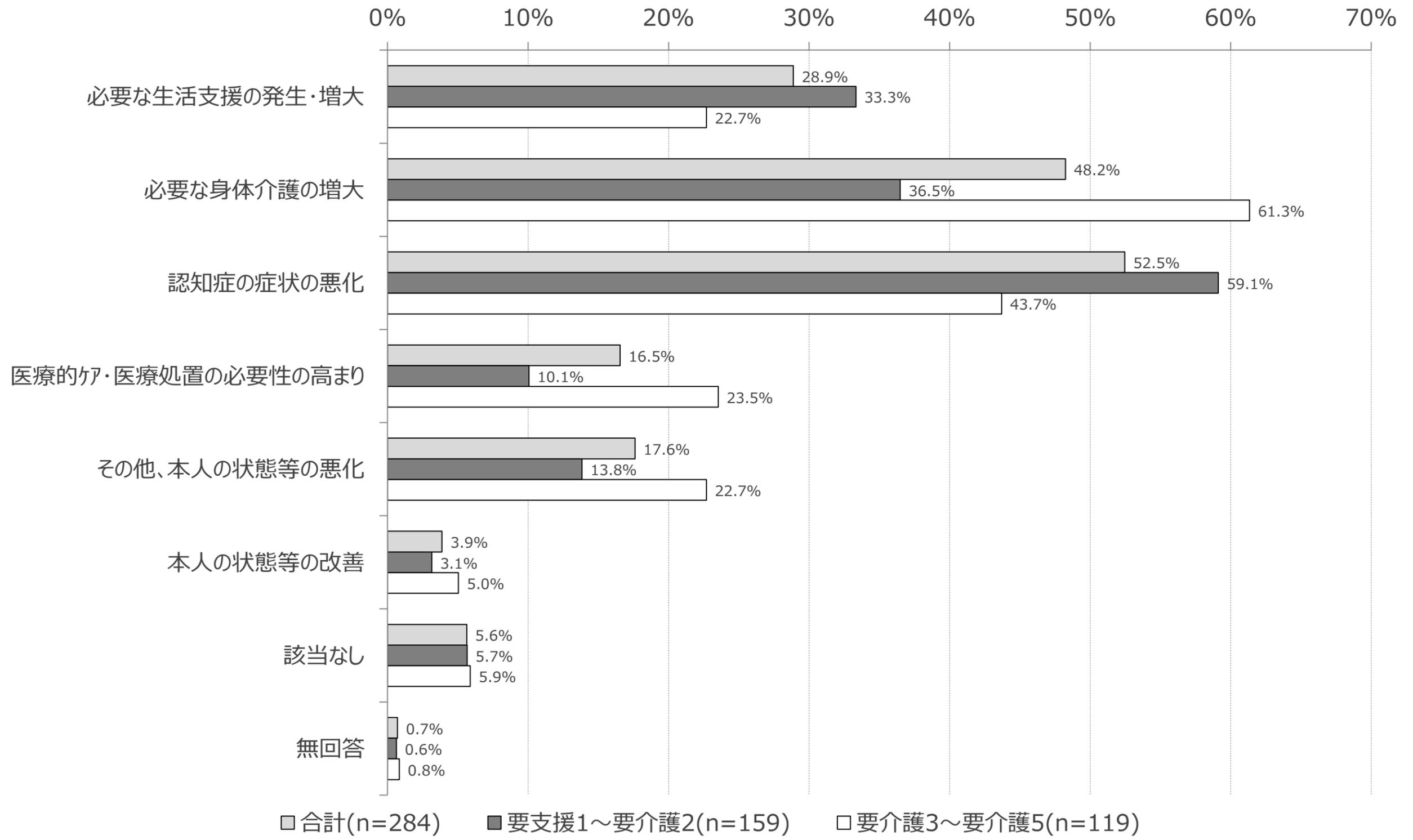
(注) 「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位 (上位10類型)	回答実数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等(持ち家)	自宅等(借家)	サ高住・住宅型有料・軽費	介2以下	介3以上
1	52人	60人	18.3%	★				★			★	
2	39人	45人	13.7%	★					★		★	
3	24人	28人	8.5%		★			★				★
4	21人	24人	7.4%	★					★			★
5	19人	22人	6.7%	★						★		★
6	18人	21人	6.3%		★			★			★	
6	18人	21人	6.3%	★				★				★
8	15人	17人	5.3%				★	★			★	
9	14人	16人	4.9%			★		★				★
10	12人	14人	4.2%				★	★				★
上記以外	52人	59人	18.3%									
合計	284人	327人	100.0%									

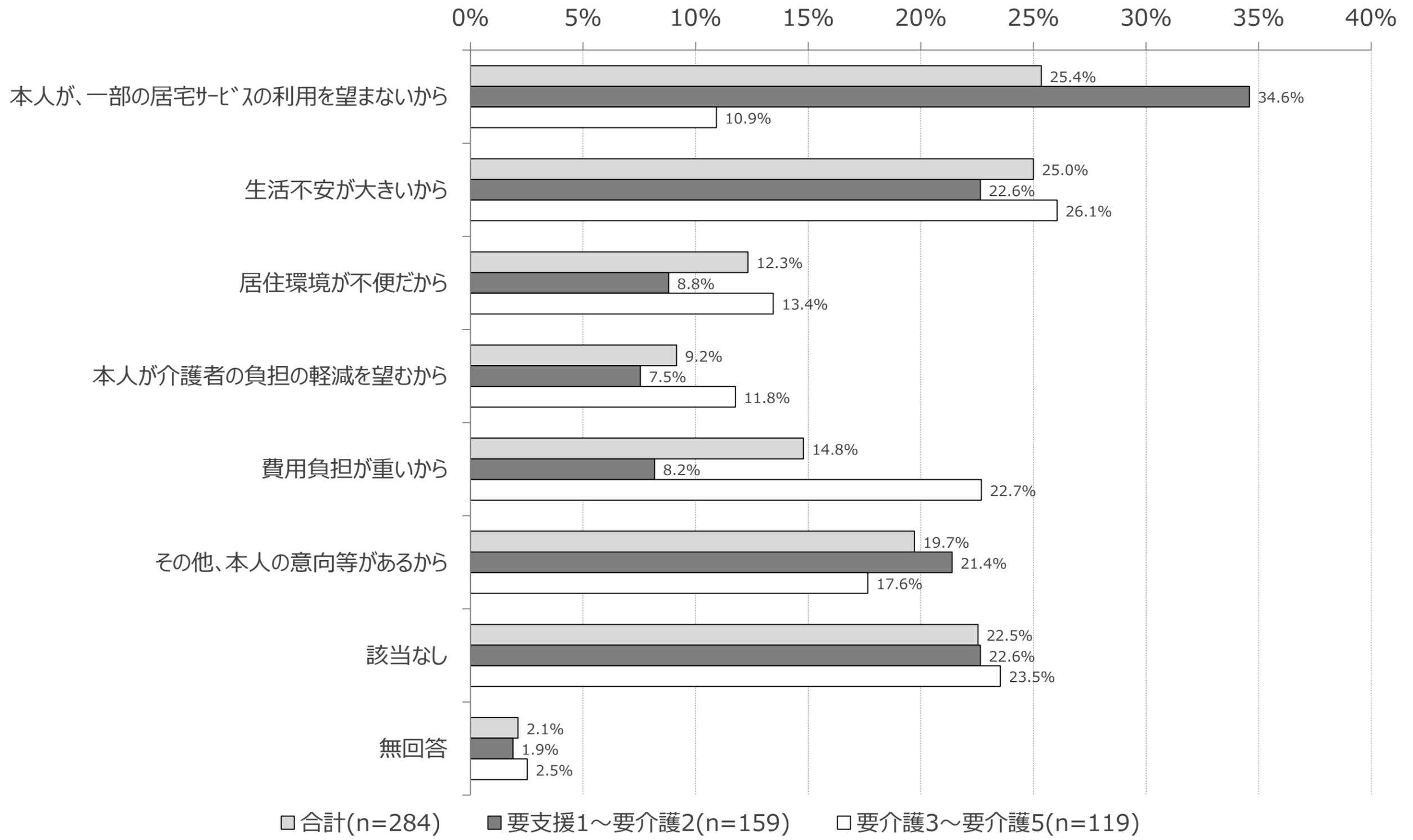
(注) 「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (本人の状態に属する理由、複数回答)



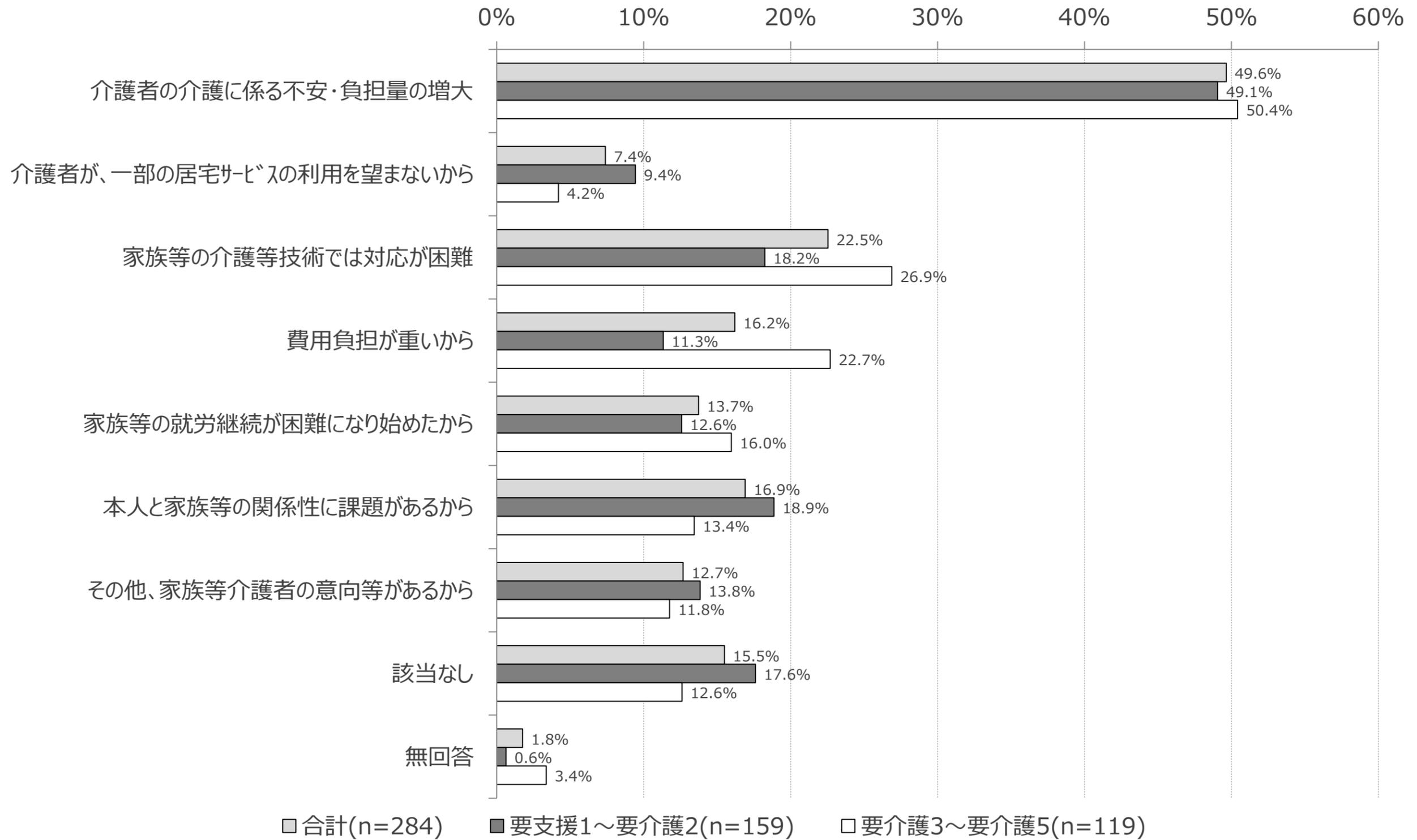
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (本人の意向に属する理由、複数回答)



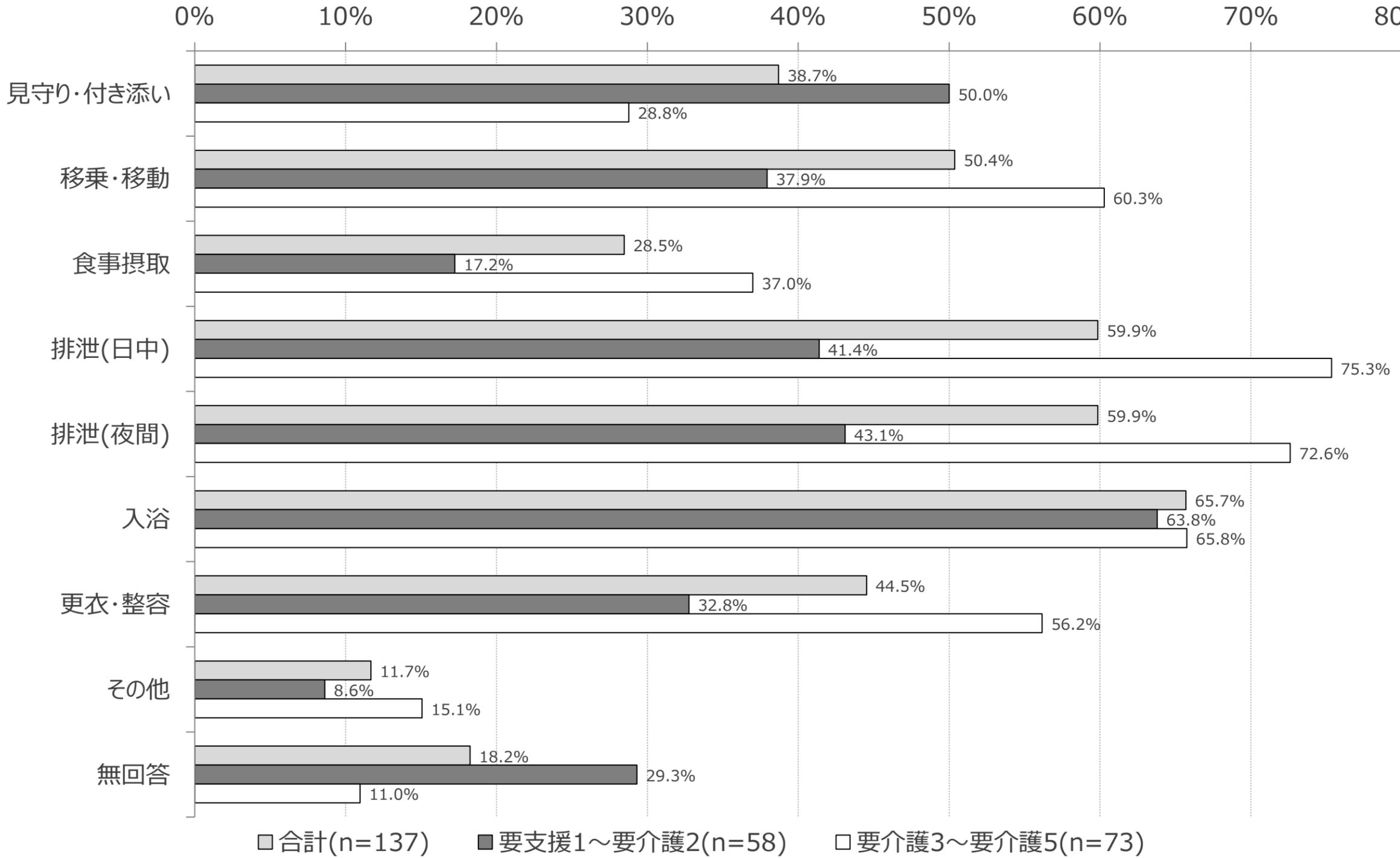
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)



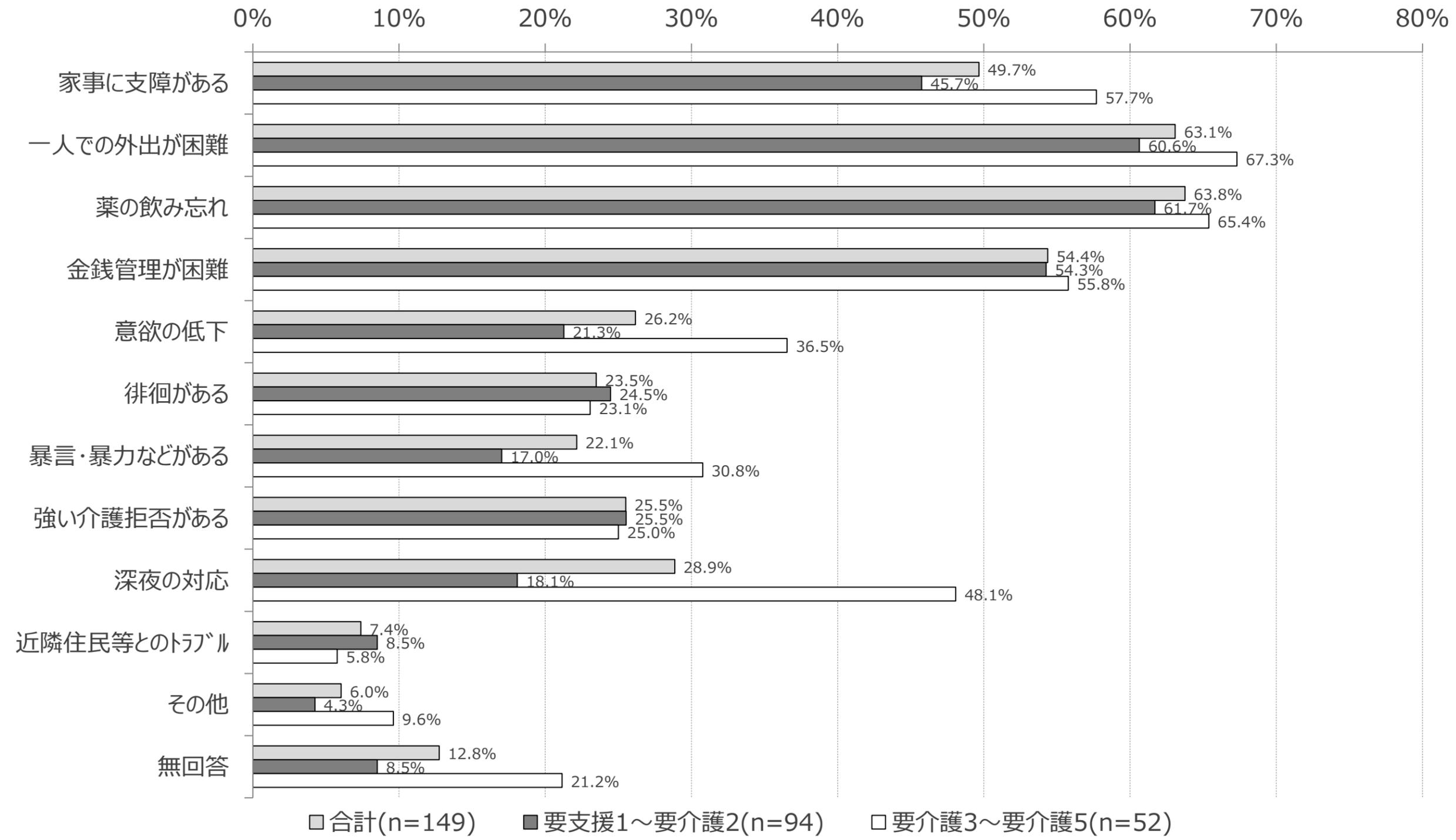
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



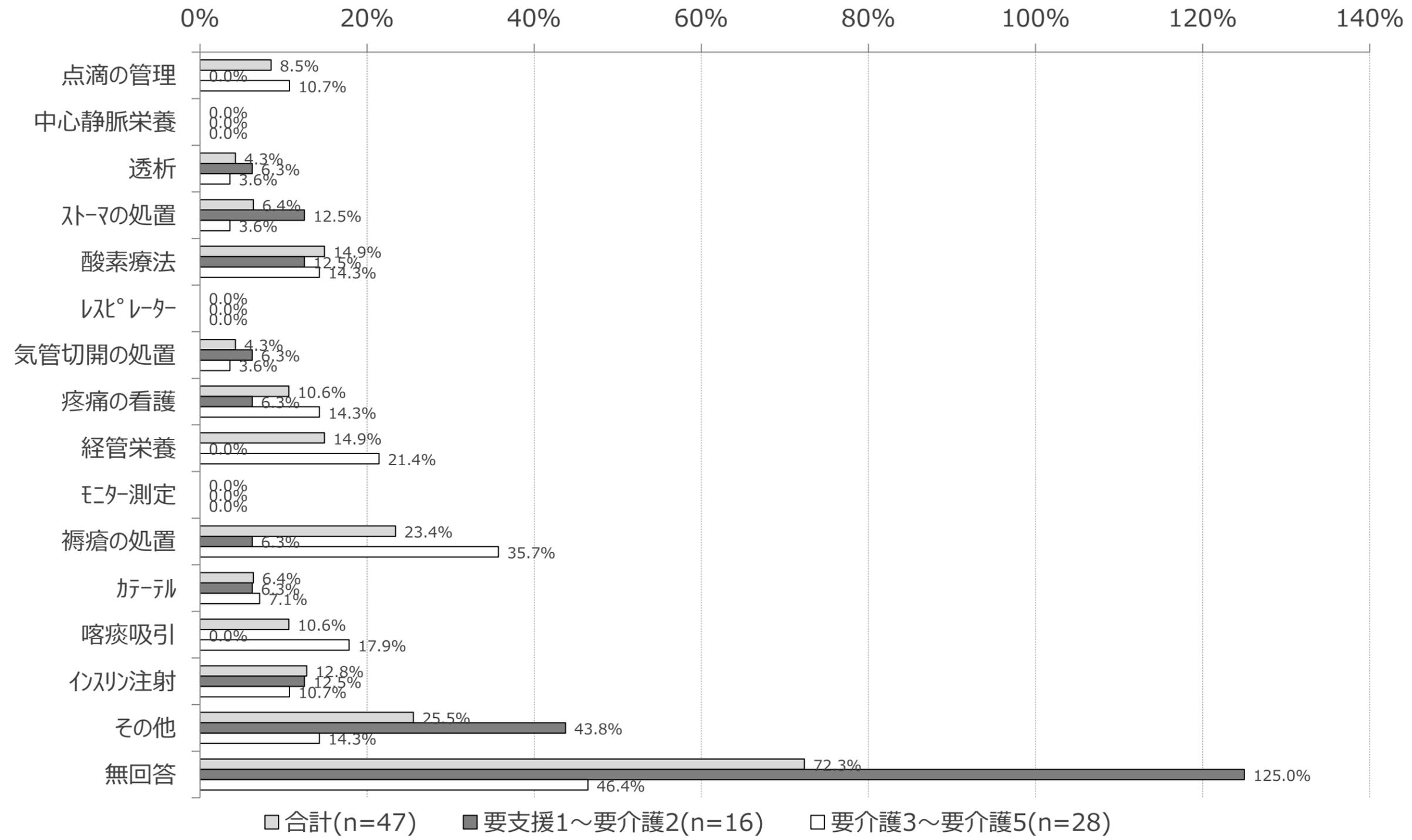
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



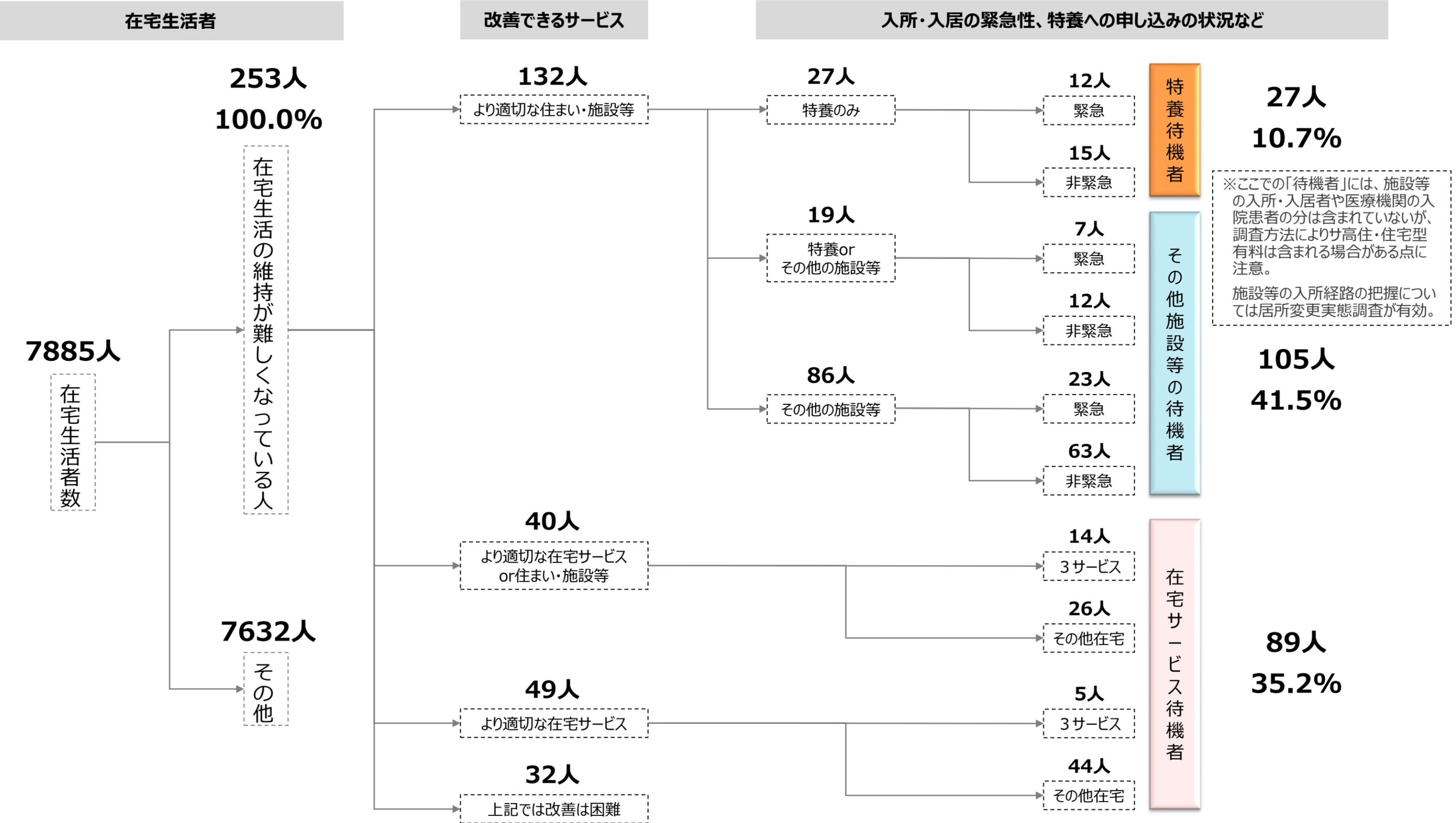
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



※ここでの「待機者」には、施設等の入所・入居者や医療機関の入院患者の分は含まれていないが、調査方法によりサ高住・住宅型有料は含まれる場合がある点に注意。
施設等の入所経路の把握については居所変更実態調査が有効。

(注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。
 (注2) 「生活の維持が難しくなっている人」の合計284人のうち、上記の分類が可能な253人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（%）は、253人を分母として算出したものです。
 (注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。
 (注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の 生活の改善に必要なサービス（複数回答）

生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(105人)		在宅サービス待機者(89人)	
	人数	割合	人数	割合
住まい・施設等	住宅型有料	60人 57.1%	住宅型有料	12人 13.5%
	サ高住	73人 69.5%	サ高住	14人 15.7%
	軽費老人ホーム	10人 9.5%	軽費老人ホーム	3人 3.4%
	グループホーム	31人 29.5%	グループホーム	14人 15.7%
	特定施設	6人 5.7%	特定施設	3人 3.4%
	介護老人保健施設	11人 10.5%	介護老人保健施設	2人 2.2%
	療養型・介護医療院	6人 5.7%	療養型・介護医療院	6人 6.7%
	特別養護老人ホーム	19人 18.1%	特別養護老人ホーム	13人 14.6%
在宅サービス	-		ショートステイ	28人 31.5%
	-		訪問介護、訪問入浴	27人 30.3%
	-		夜間対応型訪問介護	6人 6.7%
	-		訪問看護	15人 16.9%
	-		訪問リハ	9人 10.1%
	-		通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	43人 48.3%
	-		定期巡回サービス	9人 10.1%
	-		小規模多機能	6人 6.7%
	-		看護小規模多機能	5人 5.6%

生活の改善に向けて、代替が可能

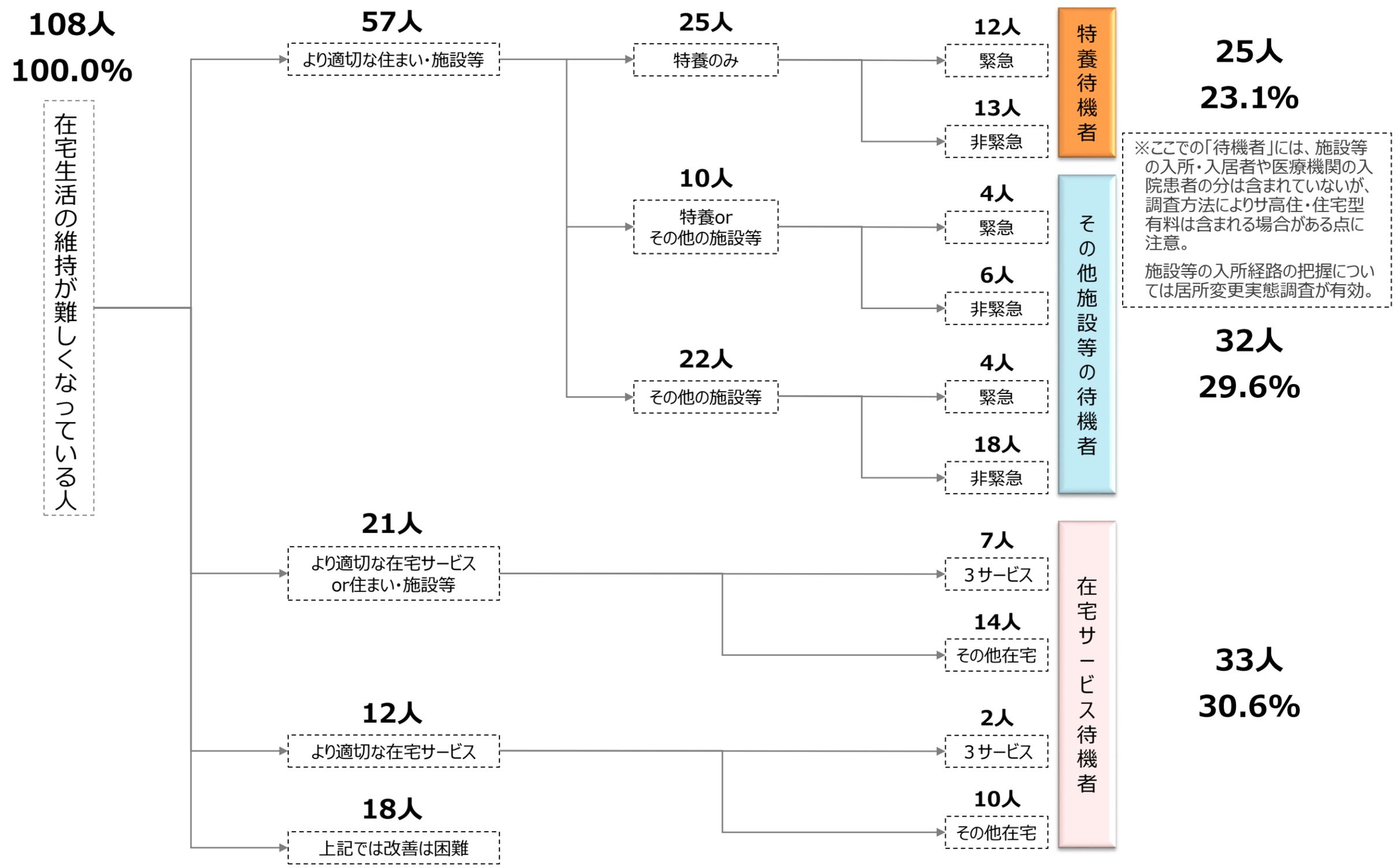


(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者105人、在宅サービス待機者89人を分母として算出したものです。

(注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能としています。

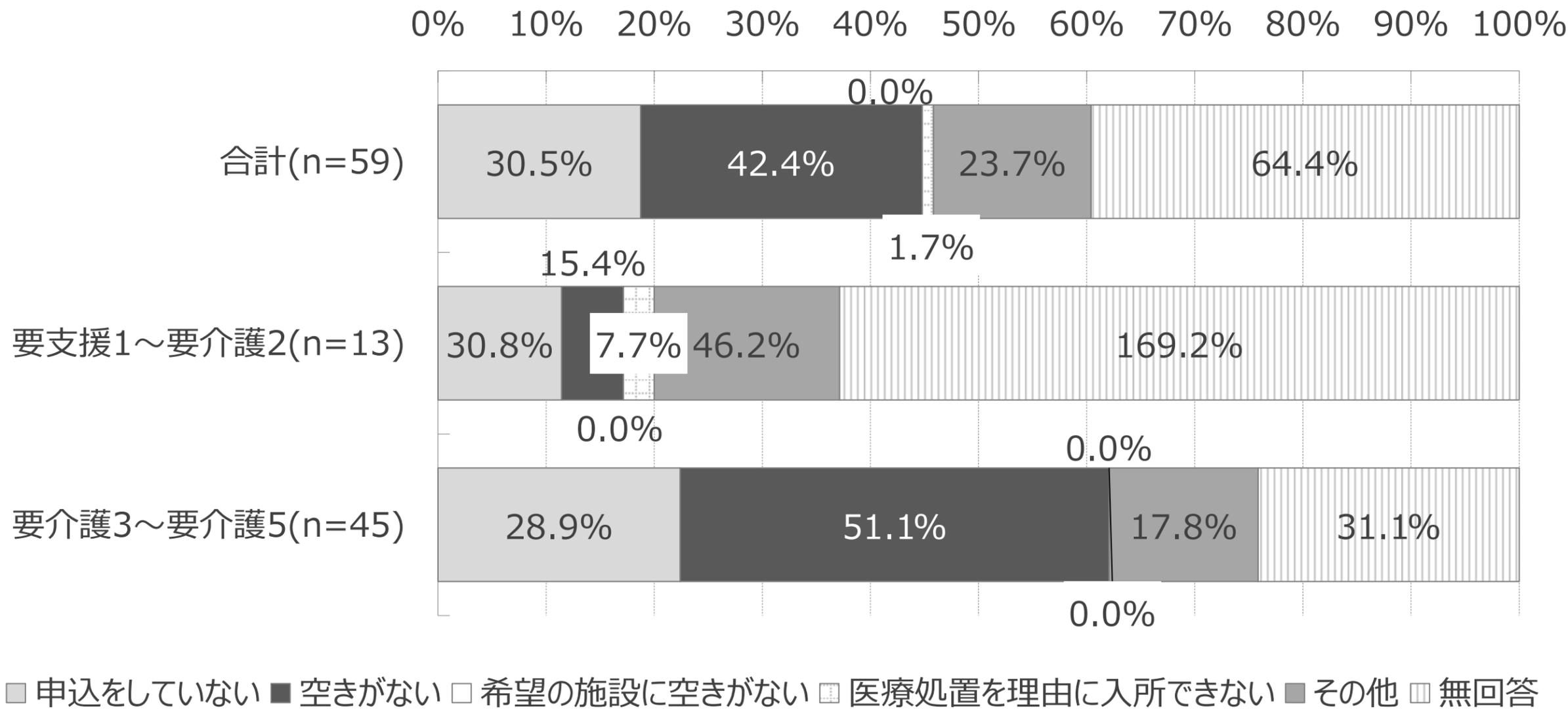
「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更（要介護3以上）

在宅生活者 改善できるサービス 入所・入居の緊急性、特養への申し込みの状況など



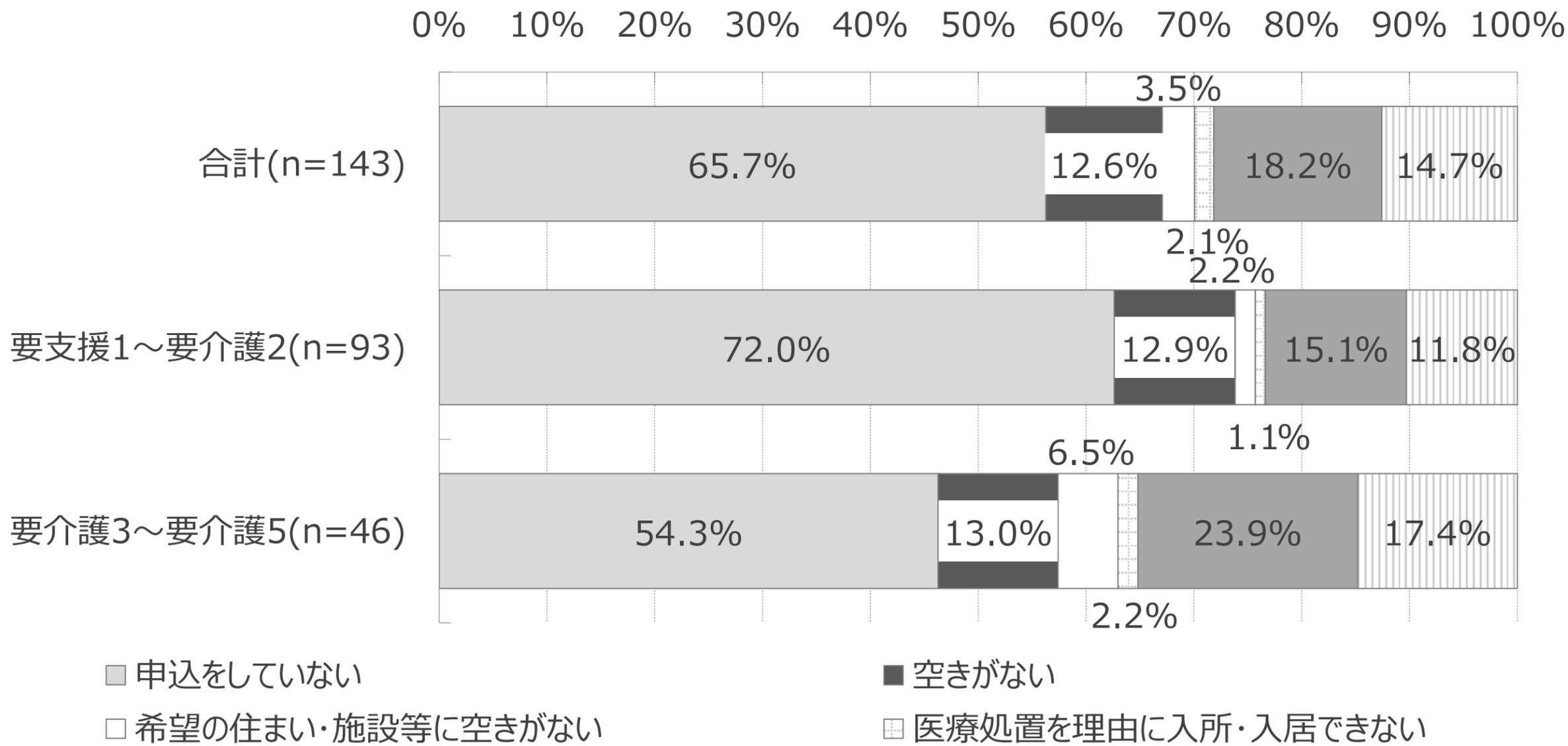
(注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。
 (注2) 「生活の維持が難しくなっている人（要介護3以上）」の合計119人のうち、上記の分類が可能な108人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（%）は、108人を分母として算出したもの（注3）「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。
 (注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

特養に入所できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養を選択した人)



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人)



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

居所変更実態調査 集計結果

2023/03/31

大阪府岸和田市

発送事業所数：89件

回収事業所数：87件

回収率：97.8%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。

(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。

(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【居所変更実態調査】

調査の目的

- ・ 居所変更実態調査では、①過去1年間で施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数や、②その理由等を把握します。
- ・ そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能や、外部サービス資源との連携等を検討し、具体的な取組につなげていくことを目的としています。

調査の概要

- ・ アンケートは、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・ 調査では、各施設・居住系サービスから過去1年間で居所を変更した方の人数と行先、居所変更の理由などを把握しますが、これは、「要介護者が、住み慣れた住まいで暮らし続けることができる」という、地域のビジョンを達成するために、各施設・居住系サービスに「どのような機能が必要か」を検討することが目的となっています。
- ・ 今後は、介護人材の確保が困難となる地域も多い中、地域の施設・居住系サービスで最後まで暮らし続けるために、「量の拡大」ではなく、どのような「機能の強化」が必要かを検討することが重要になるのではないかと、という考えに基づいています。

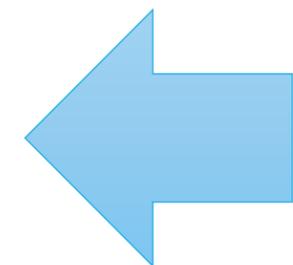
注目すべきポイント

- ・ 過去1年間で居所を変更した人と、死亡した人は、どの程度いるか？（どの程度の方が、最後までその施設等で暮らし続けることができたのか）
- ・ 居所を変更する理由として、多いものは何か？（どのような機能を強化することで、その施設等で暮らし続けることができるようになるのか）
- ・ 各施設・居住系サービスで、各医療処置を受けている人の人数はどの程度か？
（各医療処置への対応が可能な施設・居住系サービスはどこか）

※ 特に居所を変更する理由や、必要な機能等については、アンケート調査の結果のみでなく、調査結果をもとに各施設・居住系サービスへのヒアリング調査などを通じて把握することが重要です。

過去1年間の退居・退所者に占める居所変更・死亡の割合

サービス種別	居所変更	死亡	合計
住宅型有料 (n=32)	187人 56.3%	145人 43.7%	332人 100.0%
軽費 (n=4)	21人 87.5%	3人 12.5%	24人 100.0%
サ高住 (n=26)	72人 37.9%	118人 62.1%	190人 100.0%
GH (n=8)	11人 55.0%	9人 45.0%	20人 100.0%
特定 (n=4)	35人 61.4%	22人 38.6%	57人 100.0%
地密特定 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健 (n=3)	336人 89.1%	41人 10.9%	377人 100.0%
療養型・介護医療院 (n=1)	9人 75.0%	3人 25.0%	12人 100.0%
特養 (n=6)	40人 29.2%	97人 70.8%	137人 100.0%
地密特養 (n=3)	14人 53.8%	12人 46.2%	26人 100.0%
合計 (n=87)	725人 61.7%	450人 38.3%	1175人 100.0%



注目すべきポイント

・看取りまでできているのはどの住まいか？

過去1年間の住宅型有料老人ホームの入居及び退居の流れ

新規入居

359人

【住宅型有料】

32施設
1196室

退居

332人

居所変更

187人(56.3%)

死亡

145人(43.7%)

入居前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	176人 49.0%	82人 22.8%	258人 71.9%
住宅型有料	20人 5.6%	3人 0.8%	23人 6.4%
軽費	3人 0.8%	1人 0.3%	4人 1.1%
サ高住	5人 1.4%	2人 0.6%	7人 1.9%
GH	0人 0.0%	2人 0.6%	2人 0.6%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	6人 1.7%	1人 0.3%	7人 1.9%
療養型・ 介護医療院	15人 4.2%	0人 0.0%	15人 4.2%
特養	3人 0.8%	0人 0.0%	3人 0.8%
地密特養	0人 0.0%	6人 1.7%	6人 1.7%
その他	27人 7.5%	6人 1.7%	33人 9.2%
把握していない			1人 0.3%
合計	255人 71.0%	103人 28.7%	359人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	14人 7.5%	4人 2.1%	18人 9.6%
住宅型有料	15人 8.0%	7人 3.7%	22人 11.8%
軽費	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
サ高住	2人 1.1%	1人 0.5%	3人 1.6%
GH	3人 1.6%	1人 0.5%	4人 2.1%
特定	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	3人 1.6%	0人 0.0%	3人 1.6%
療養型・ 介護医療院	12人 6.4%	9人 4.8%	21人 11.2%
その他の 医療機関	68人 36.4%	0人 0.0%	68人 36.4%
特養	3人 1.6%	0人 0.0%	3人 1.6%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	31人 16.6%	5人 2.7%	36人 19.3%
把握していない			7人 3.7%
合計	153人 81.8%	27人 14.4%	187人 100.0%

過去1年間の軽費老人ホームの入居及び退居の流れ

新規入居

17人

【軽費老人ホーム】

4施設
125室

入居前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	14人 82.4%	0人 0.0%	14人 82.4%
住宅型有料	1人 5.9%	0人 0.0%	1人 5.9%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	1人 5.9%	0人 0.0%	1人 5.9%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	1人 5.9%	0人 0.0%	1人 5.9%
療養型・ 介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	17人 100.0%	0人 0.0%	17人 100.0%

退居

24人

死亡

3人(12.5%)

居所変更

21人(87.5%)

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	2人 9.5%	1人 4.8%	3人 14.3%
住宅型有料	5人 23.8%	0人 0.0%	5人 23.8%
軽費	0人 0.0%	1人 4.8%	1人 4.8%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	1人 4.8%	0人 0.0%	1人 4.8%
特定	1人 4.8%	0人 0.0%	1人 4.8%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
療養型・ 介護医療院	6人 28.6%	0人 0.0%	6人 28.6%
その他の 医療機関	3人 14.3%	0人 0.0%	3人 14.3%
特養	1人 4.8%	0人 0.0%	1人 4.8%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	19人 90.5%	2人 9.5%	21人 100.0%

過去1年間のサービス付き高齢者向け住宅の入居及び退居の流れ

新規入居

243人

【サ高住】

26施設
778戸

退居

190人

居所変更

72人(37.9%)

死亡
118人(62.1%)

入居前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	91人 37.4%	30人 12.3%	121人 49.8%
住宅型有料	5人 2.1%	5人 2.1%	10人 4.1%
軽費	1人 0.4%	0人 0.0%	1人 0.4%
サ高住	5人 2.1%	1人 0.4%	6人 2.5%
GH	0人 0.0%	1人 0.4%	1人 0.4%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	5人 2.1%	2人 0.8%	7人 2.9%
療養型・ 介護医療院	1人 0.4%	4人 1.6%	5人 2.1%
特養	1人 0.4%	1人 0.4%	2人 0.8%
地密特養	0人 0.0%	25人 10.3%	25人 10.3%
その他	40人 16.5%	25人 10.3%	65人 26.7%
把握していない			0人 0.0%
合計	149人 61.3%	94人 38.7%	243人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	6人 8.3%	3人 4.2%	9人 12.5%
住宅型有料	5人 6.9%	1人 1.4%	6人 8.3%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	5人 6.9%	4人 5.6%	9人 12.5%
GH	0人 0.0%	1人 1.4%	1人 1.4%
特定	0人 0.0%	1人 1.4%	1人 1.4%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	1人 1.4%	1人 1.4%
療養型・ 介護医療院	17人 23.6%	0人 0.0%	17人 23.6%
その他の 医療機関	13人 18.1%	2人 2.8%	15人 20.8%
特養	2人 2.8%	1人 1.4%	3人 4.2%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	6人 8.3%	4人 5.6%	10人 13.9%
把握していない			0人 0.0%
合計	54人 75.0%	18人 25.0%	72人 100.0%

過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ

新規入所

19人

【グループホーム】

8施設
定員117人

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	12人 63.2%	0人 0.0%	12人 63.2%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	1人 5.3%	0人 0.0%	1人 5.3%
サ高住	1人 5.3%	0人 0.0%	1人 5.3%
GH	0人 0.0%	1人 5.3%	1人 5.3%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	3人 15.8%	0人 0.0%	3人 15.8%
療養型・ 介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	1人 5.3%	1人 5.3%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	17人 89.5%	2人 10.5%	19人 100.0%

退所

20人

死亡

9人(45.0%)

居所変更

11人(55.0%)

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
療養型・ 介護医療院	8人 72.7%	0人 0.0%	8人 72.7%
その他の 医療機関	2人 18.2%	0人 0.0%	2人 18.2%
特養	1人 9.1%	0人 0.0%	1人 9.1%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	11人 100.0%	0人 0.0%	11人 100.0%

過去1年間の特定施設の入所及び退所の流れ

新規入所

60人

【特定施設】

4施設
定員272人

退所

57人

居所変更

35人(61.4%)

死亡
22人(38.6%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	20人 33.3%	3人 5.0%	23人 38.3%
住宅型有料	2人 3.3%	0人 0.0%	2人 3.3%
軽費	1人 1.7%	0人 0.0%	1人 1.7%
サ高住	1人 1.7%	0人 0.0%	1人 1.7%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	5人 8.3%	2人 3.3%	7人 11.7%
療養型・ 介護医療院	3人 5.0%	2人 3.3%	5人 8.3%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	5人 8.3%	5人 8.3%
その他	9人 15.0%	5人 8.3%	14人 23.3%
把握していない			2人 3.3%
合計	41人 68.3%	17人 28.3%	60人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	3人 8.6%	0人 0.0%	3人 8.6%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	1人 2.9%	0人 0.0%	1人 2.9%
サ高住	3人 8.6%	1人 2.9%	4人 11.4%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	1人 2.9%	1人 2.9%
療養型・ 介護医療院	1人 2.9%	0人 0.0%	1人 2.9%
その他の 医療機関	18人 51.4%	2人 5.7%	20人 57.1%
特養	3人 8.6%	0人 0.0%	3人 8.6%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	1人 2.9%	1人 2.9%	2人 5.7%
把握していない			0人 0.0%
合計	30人 85.7%	5人 14.3%	35人 100.0%

過去1年間の地域密着型特定施設の入所及び退所の流れ

新規入所

0人

【地密特定】

0施設
定員0人

退所

0人

死亡
↓
0人(0.0%)

居所変更

0人(0.0%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
療養型・ 介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
療養型・ 介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他の 医療機関	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%

過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ

新規入所

444人

【老健】

3施設
定員296人

退所

377人

居所変更

336人(89.1%)

死亡
41人(10.9%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	122人 27.5%	64人 14.4%	186人 41.9%
住宅型有料	1人 0.2%	0人 0.0%	1人 0.2%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 0.2%	0人 0.0%	1人 0.2%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	4人 0.9%	0人 0.0%	4人 0.9%
療養型・ 介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	58人 13.1%	58人 13.1%
その他	136人 30.6%	58人 13.1%	194人 43.7%
把握していない			0人 0.0%
合計	264人 59.5%	180人 40.5%	444人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	111人 33.0%	49人 14.6%	160人 47.6%
住宅型有料	12人 3.6%	4人 1.2%	16人 4.8%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	1人 0.3%	0人 0.0%	1人 0.3%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	1人 0.3%	0人 0.0%	1人 0.3%
療養型・ 介護医療院	3人 0.9%	2人 0.6%	5人 1.5%
その他の 医療機関	53人 15.8%	37人 11.0%	90人 26.8%
特養	23人 6.8%	8人 2.4%	31人 9.2%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	24人 7.1%	8人 2.4%	32人 9.5%
把握していない			0人 0.0%
合計	228人 67.9%	108人 32.1%	336人 100.0%

過去1年間の介護療養型医療施設・介護医療院の入所及び退所の流れ

新規入所

10人

【療養型等】

1施設
定員8人

退所

12人

死亡

3人(25.0%)

居所変更

9人(75.0%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
療養型・ 介護医療院	9人 90.0%	1人 10.0%	10人 100.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	9人 90.0%	1人 10.0%	10人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	1人 11.1%	0人 0.0%	1人 11.1%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 11.1%	0人 0.0%	1人 11.1%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
療養型・ 介護医療院	7人 77.8%	0人 0.0%	7人 77.8%
その他の 医療機関	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	9人 100.0%	0人 0.0%	9人 100.0%

過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ

新規入所

160人

【特養】

6施設
定員413人

退所

137人

居所変更

40人(29.2%)

死亡

97人(70.8%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	65人 40.6%	14人 8.8%	79人 49.4%
住宅型有料	4人 2.5%	1人 0.6%	5人 3.1%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	2人 1.3%	0人 0.0%	2人 1.3%
GH	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
特定	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	17人 10.6%	6人 3.8%	23人 14.4%
療養型・ 介護医療院	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
特養	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
地密特養	0人 0.0%	5人 3.1%	5人 3.1%
その他	37人 23.1%	5人 3.1%	42人 26.3%
把握していない			0人 0.0%
合計	129人 80.6%	31人 19.4%	160人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	1人 2.5%	1人 2.5%	2人 5.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	1人 2.5%	1人 2.5%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
療養型・ 介護医療院	3人 7.5%	5人 12.5%	8人 20.0%
その他の 医療機関	24人 60.0%	4人 10.0%	28人 70.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	1人 2.5%	0人 0.0%	1人 2.5%
把握していない			0人 0.0%
合計	29人 72.5%	11人 27.5%	40人 100.0%

過去1年間の地域密着型特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ

新規入所

28人

【地密特養】

3施設
定員87人

退所

26人

居所変更

14人(53.8%)

死亡
12人(46.2%)

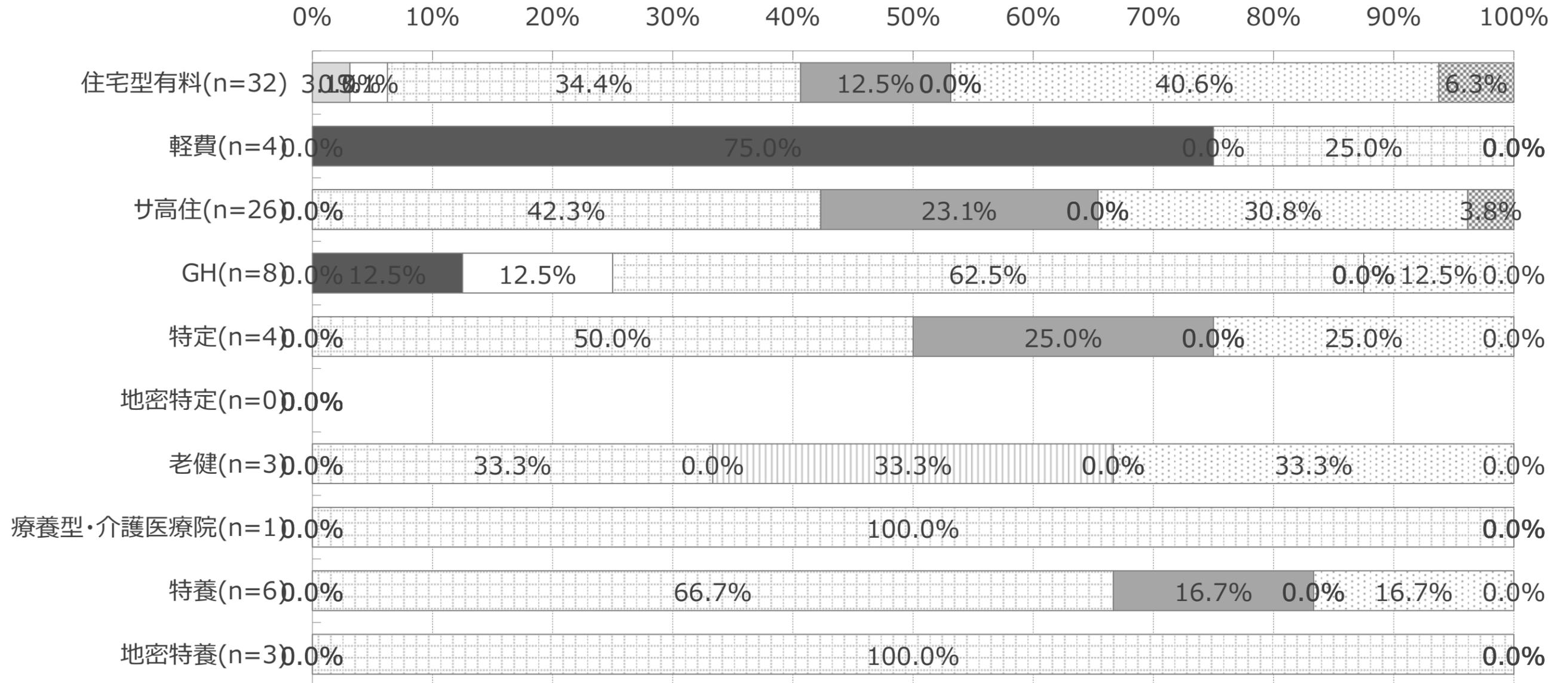
入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	5人 17.9%	1人 3.6%	6人 21.4%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	1人 3.6%	0人 0.0%	1人 3.6%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	2人 7.1%	1人 3.6%	3人 10.7%
療養型・ 介護医療院	11人 39.3%	0人 0.0%	11人 39.3%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	7人 25.0%	0人 0.0%	7人 25.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	26人 92.9%	2人 7.1%	28人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	1人 7.1%	0人 0.0%	1人 7.1%
療養型・ 介護医療院	4人 28.6%	0人 0.0%	4人 28.6%
その他の 医療機関	7人 50.0%	2人 14.3%	9人 64.3%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	12人 85.7%	2人 14.3%	14人 100.0%

居所変更した人の要支援・要介護度

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中	合計
住宅型有料	6人	1人	2人	54人	29人	53人	64人	70人	1人	280人
(n=32)	2.1%	0.4%	0.7%	19.3%	10.4%	18.9%	22.9%	25.0%	0.4%	100.0%
軽費	3人	1人	1人	11人	4人	1人	0人	0人	0人	21人
(n=4)	14.3%	4.8%	4.8%	52.4%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
サ高住	0人	1人	0人	14人	20人	22人	39人	47人	0人	143人
(n=26)	0.0%	0.7%	0.0%	9.8%	14.0%	15.4%	27.3%	32.9%	0.0%	100.0%
GH	0人	0人	0人	0人	5人	4人	6人	2人	0人	17人
(n=8)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	23.5%	35.3%	11.8%	0.0%	100.0%
特定	0人	2人	3人	8人	10人	17人	5人	6人	0人	51人
(n=4)	0.0%	3.9%	5.9%	15.7%	19.6%	33.3%	9.8%	11.8%	0.0%	100.0%
地密特定	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
老健	0人	0人	0人	56人	89人	66人	76人	59人	0人	346人
(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	16.2%	25.7%	19.1%	22.0%	17.1%	0.0%	100.0%
療養型・介護医療院	0人	0人	0人	0人	1人	2人	6人	3人	0人	12人
(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%
特養	0人	0人	0人	0人	0人	14人	39人	39人	0人	92人
(n=6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.2%	42.4%	42.4%	0.0%	100.0%
地密特養	0人	0人	0人	0人	0人	4人	9人	11人	0人	24人
(n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	37.5%	45.8%	0.0%	100.0%
合計	9人	5人	6人	143人	158人	183人	244人	237人	1人	986人
(n=87)	0.9%	0.5%	0.6%	14.5%	16.0%	18.6%	24.7%	24.0%	0.1%	100.0%

居所変更した理由（第1位）



■ 必要な支援の発生・増大

■ 必要な身体介護の発生・増大

□ 認知症の症状の悪化

▨ 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり

■ 上記以外の状態像の悪化

▨ 状態等の改善

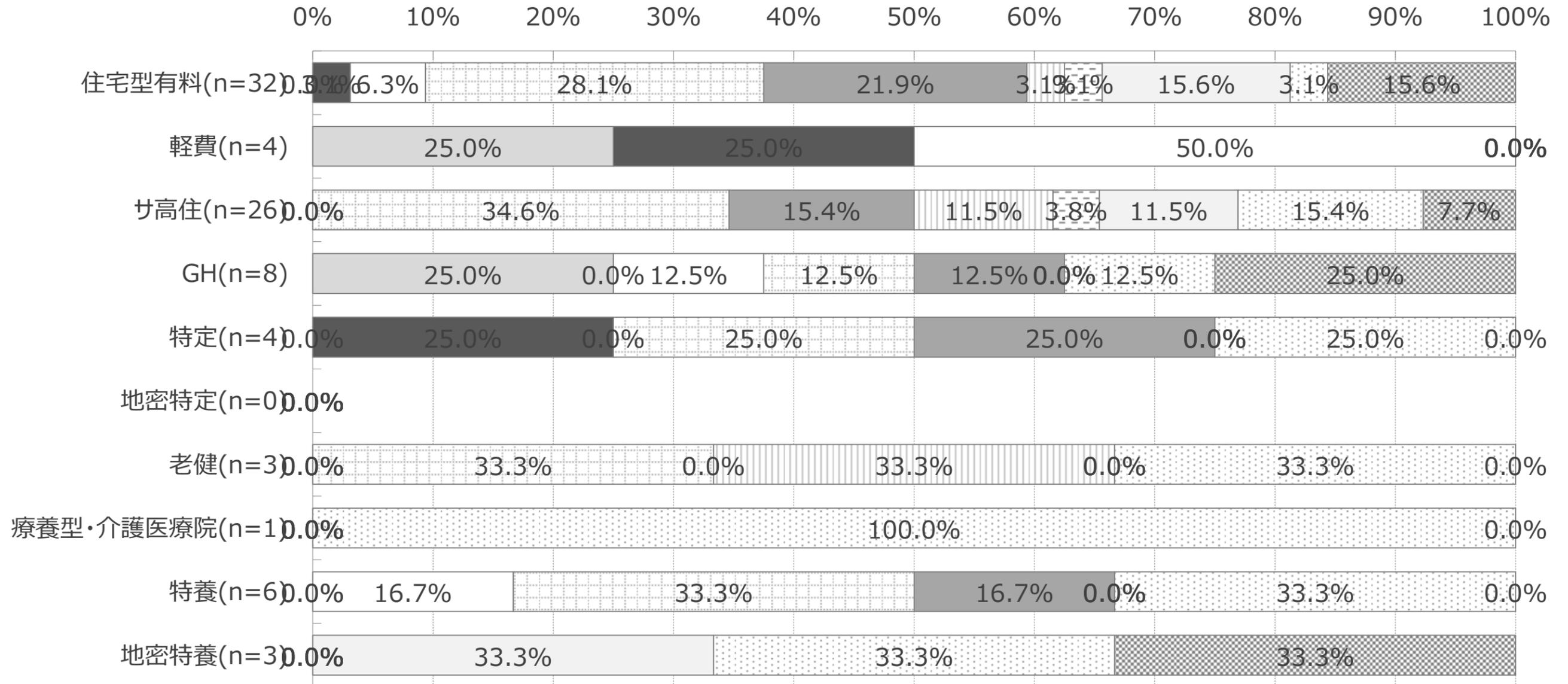
□ 必要な居宅サービスを望まなかったため

□ 費用負担が重くなった

▨ その他

▨ 無回答

居所変更した理由（第2位）



■ 必要な支援の発生・増大

■ 必要な身体介護の発生・増大

□ 認知症の症状の悪化

▨ 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり

■ 上記以外の状態像の悪化

▨ 状態等の改善

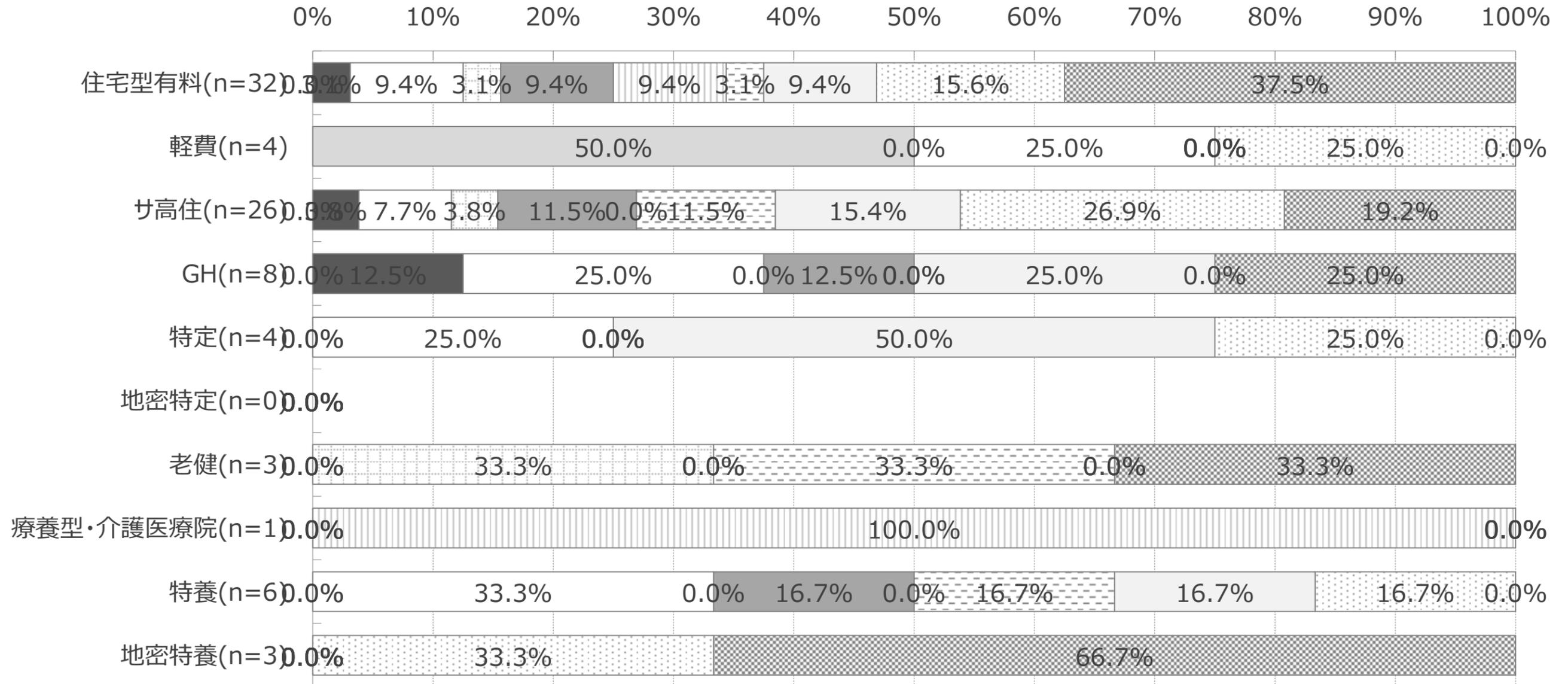
□ 必要な居宅サービスを望まなかったため

□ 費用負担が重くなった

▨ その他

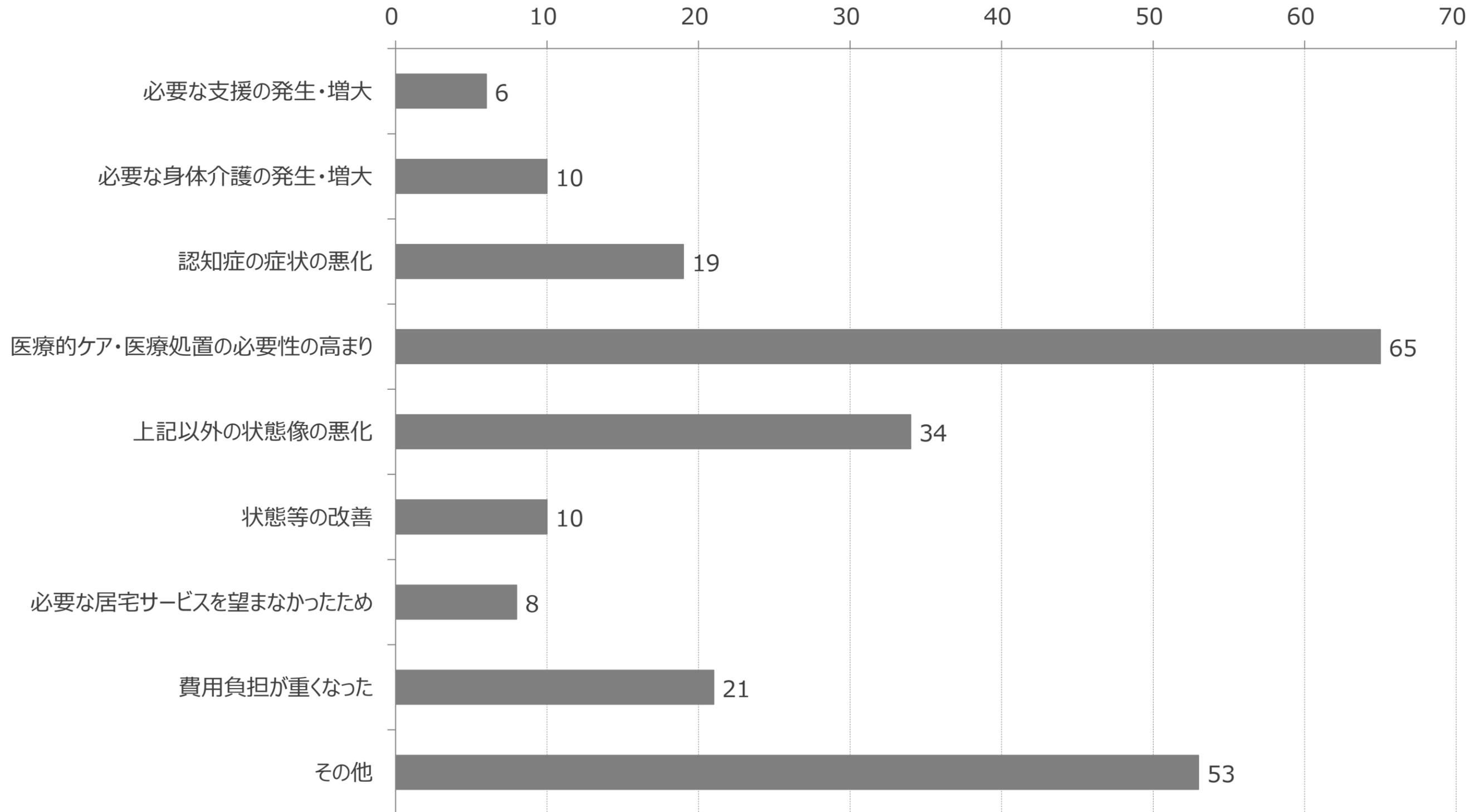
▨ 無回答

居所変更した理由（第3位）



- 必要な支援の発生・増大
- 必要な身体介護の発生・増大
- 認知症の症状の悪化
- ▨ 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり
- 上記以外の状態像の悪化
- ▨ 状態等の改善
- 必要な居宅サービスを望まなかったため
- 費用負担が重くなった
- ▨ その他
- 無回答

居所変更した理由（n=87、順位不問、複数回答）



受けている医療処置別の入所・入居者数

サービス種別	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストマの処置	酸素療法	呼吸器	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射
住宅型有料 (n=32)	9人 1.0%	0人 0.0%	4人 0.4%	11人 1.2%	19人 2.1%	0人 0.0%	3人 0.3%	0人 0.0%	28人 3.0%	1人 0.1%	24人 2.6%	12人 1.3%	29人 3.1%	21人 2.3%
軽費 (n=4)	1人 1.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 3.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 4.0%	0人 0.0%	1人 1.0%	3人 3.0%	1人 1.0%	1人 1.0%
サ高住 (n=26)	8人 1.2%	1人 0.2%	7人 1.1%	7人 1.1%	29人 4.4%	0人 0.0%	3人 0.5%	6人 0.9%	26人 3.9%	0人 0.0%	9人 1.4%	11人 1.7%	25人 3.8%	9人 1.4%
GH (n=8)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定 (n=4)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.4%	5人 2.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	5人 2.0%	3人 1.2%	0人 0.0%	6人 2.4%
地密特定 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健 (n=3)	1人 0.4%	3人 1.1%	0人 0.0%	2人 0.7%	4人 1.5%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.4%	11人 4.1%	0人 0.0%	11人 4.1%	0人 0.0%	13人 4.9%	6人 2.2%
療養型・介護医療院 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 42.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=6)	12人 3.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人 1.5%	8人 2.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	27人 6.8%	0人 0.0%	12人 3.0%	9人 2.3%	26人 6.5%	9人 2.3%
地密特養 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.3%	1人 1.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	5人 6.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
合計 (n=87)	31人 1.1%	4人 0.1%	11人 0.4%	31人 1.1%	67人 2.4%	0人 0.0%	6人 0.2%	7人 0.3%	104人 3.7%	1人 0.0%	63人 2.3%	38人 1.4%	94人 3.4%	52人 1.9%

(注) 割合は各セルの人数を施設等ごとの入居・入所者数で除して算出しています。

＜集計分析結果＞

(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年3月

＜岸和田市＞

目次

1 基本調査項目（A票）	[P. 1]
(1) 世帯類型	[P. 1]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 1]
(3) 主な介護者の本人との関係	[P. 2]
(4) 主な介護者の性別	[P. 2]
(5) 主な介護者の年齢	[P. 3]
(6) 主な介護者が行っている介護	[P. 4]
(7) 介護のための離職の有無	[P. 5]
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況	[P. 6]
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	[P. 7]
(10) 施設等検討の状況	[P. 7]
(11) 本人が抱えている傷病	[P. 8]
(12) 訪問診療の利用の有無	[P. 9]
(13) 介護保険サービスの利用の有無	[P. 9]
(14) 介護保険サービス未利用の理由	[P. 10]
2 主な介護者様用の調査項目（B票）	[P. 11]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 11]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 12]
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	[P. 13]
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 14]
(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 15]
3 要介護認定データ	[P. 16]
(1) 年齢	[P. 16]
(2) 性別	[P. 16]
(3) 二次判定結果（要介護度）	[P. 17]
(4) サービス利用の組み合わせ	[P. 17]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	[P. 18]
(6) 通所系サービスの合計利用回数	[P. 19]
(7) 短期系サービスの合計利用回数	[P. 20]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	[P. 20]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	[P. 21]

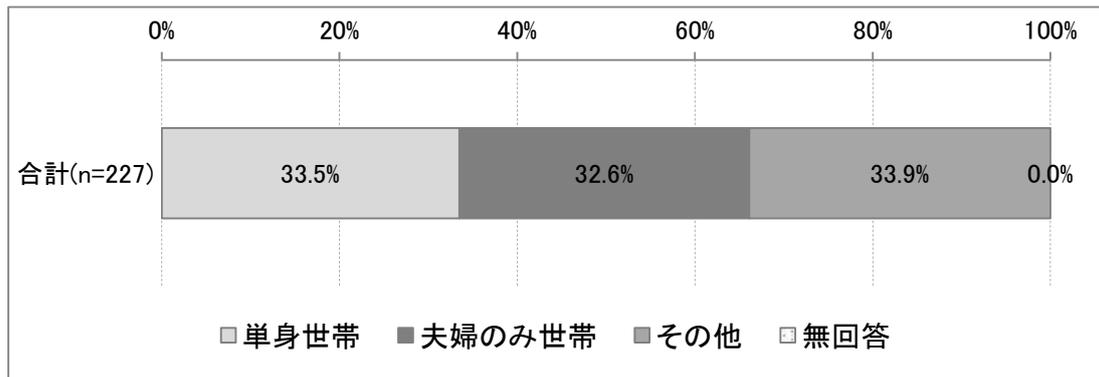
※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

1 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く 33.9%となっている。次いで、「単身世帯（33.5%）」、「夫婦のみ世帯（32.6%）」となっている。

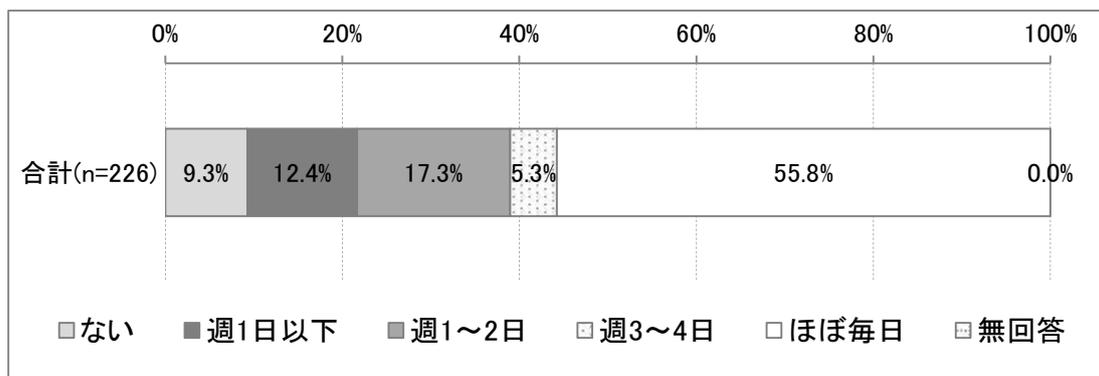
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 55.8%となっている。次いで、「週1～2日（17.3%）」、「週1日以下（12.4%）」となっている。

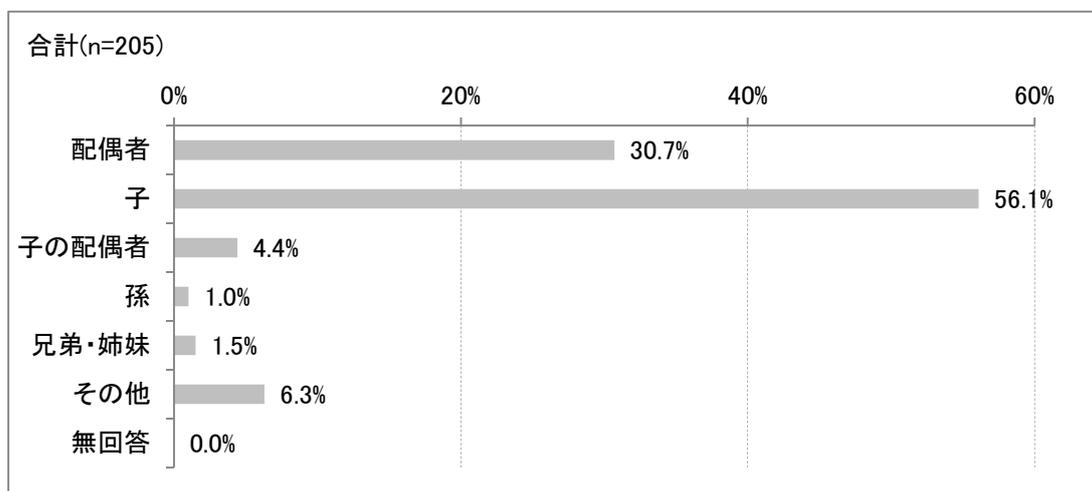
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 56.1%となっている。次いで、「配偶者 (30.7%)」、「その他 (6.3%)」となっている。

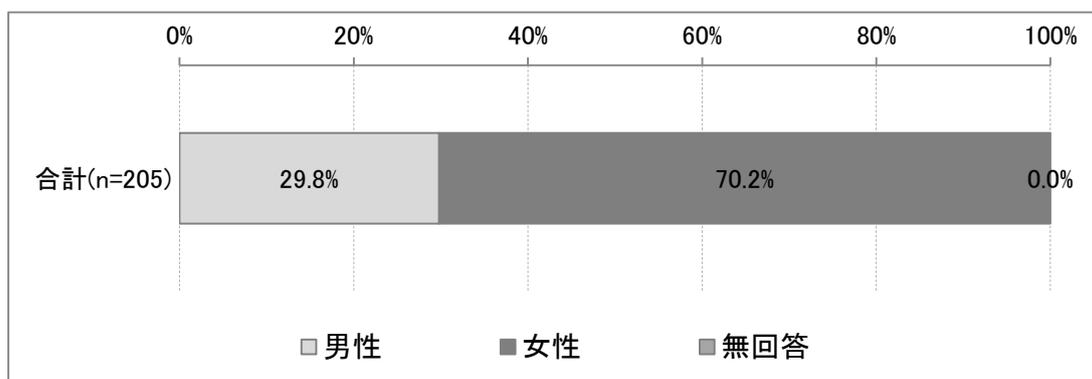
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係 (単数回答)



(4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 70.2%となっている。次いで、「男性 (29.8%)」となっている。

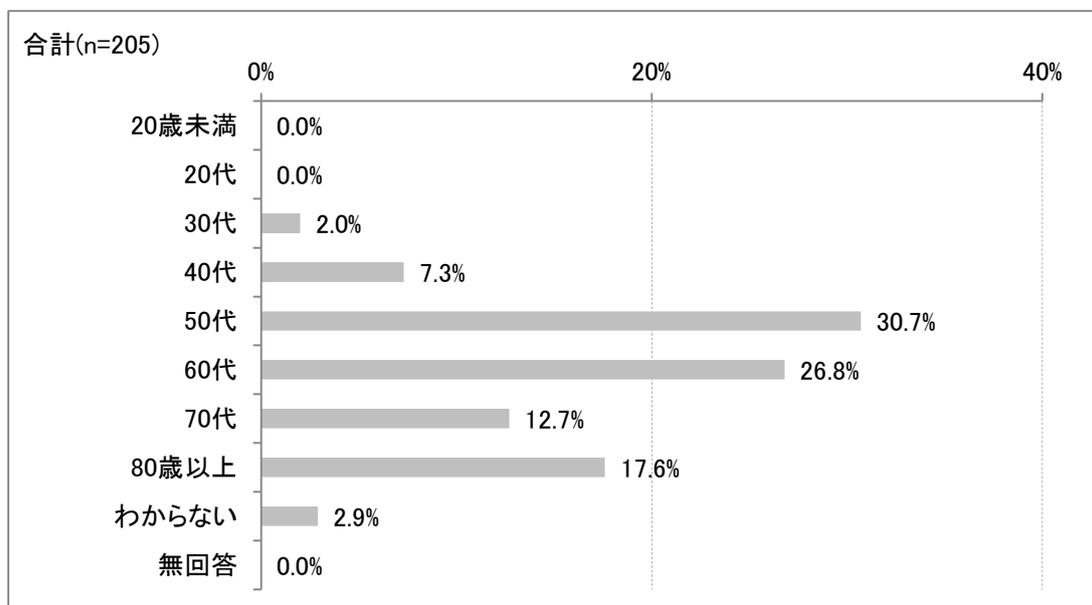
図表 1-4 ★主な介護者の性別 (単数回答)



(5) 主な介護者の年齢

「50代」の割合が最も高く30.7%となっている。次いで、「60代(26.8%)」、「80歳以上(17.6%)」となっている。

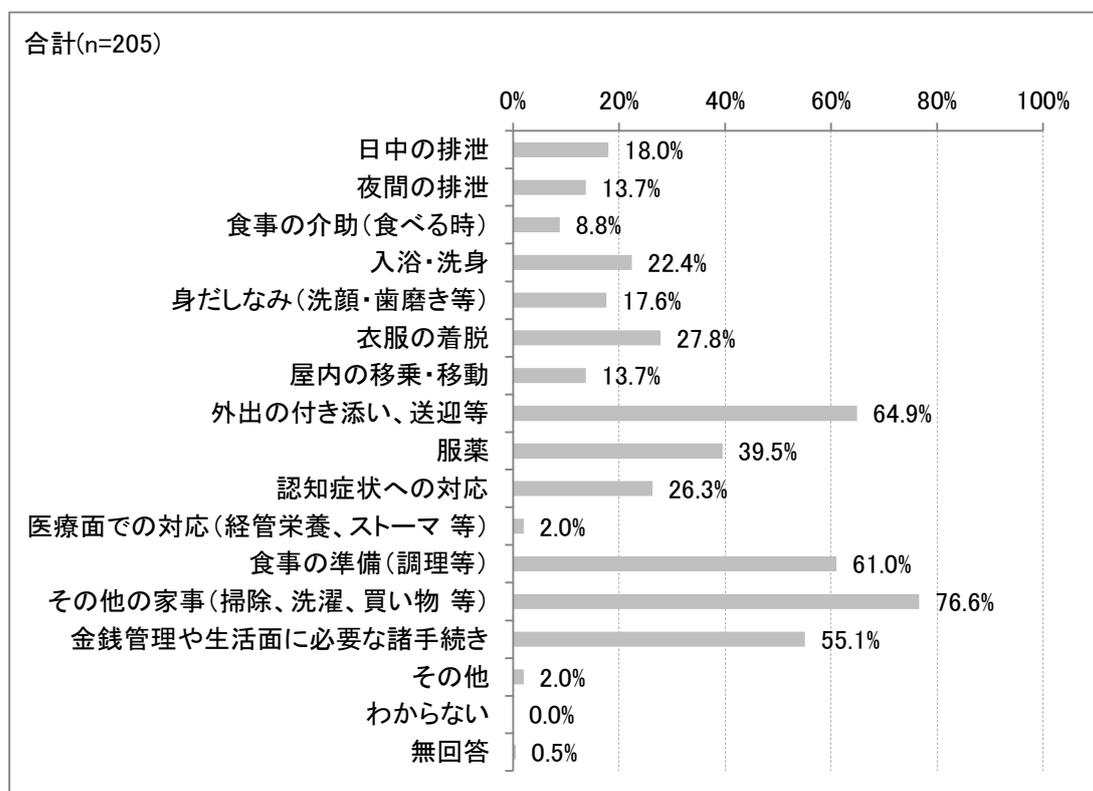
図表 1-5 主な介護者の年齢 (単数回答)



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 76.6%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等（64.9%）」、「食事の準備（調理等）（61.0%）」となっている。

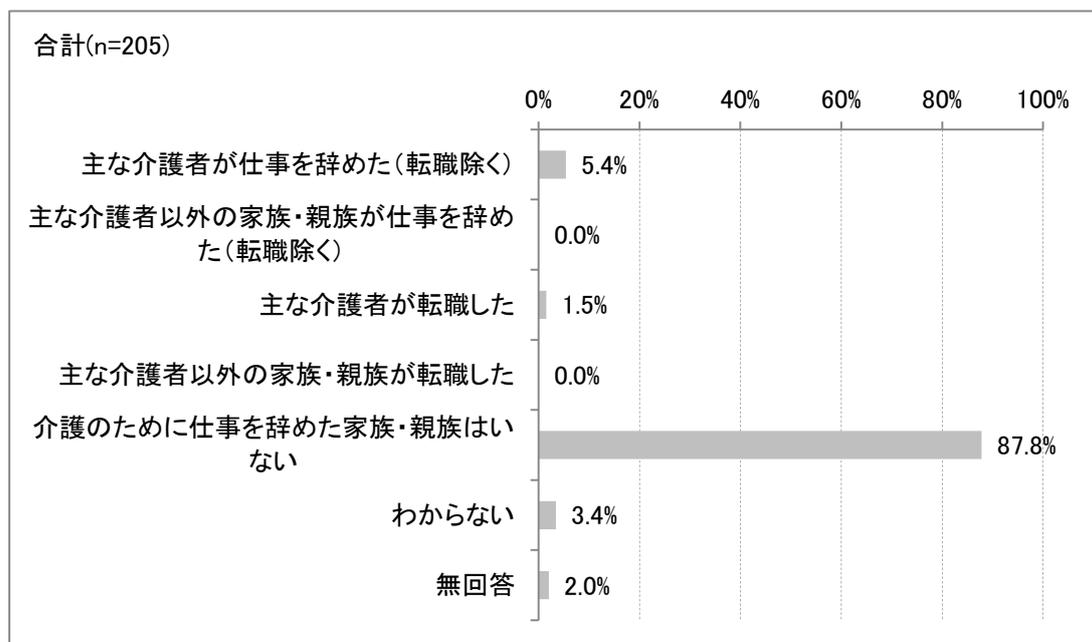
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 87.8%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（5.4%）」、「わからない（3.4%）」となっている。

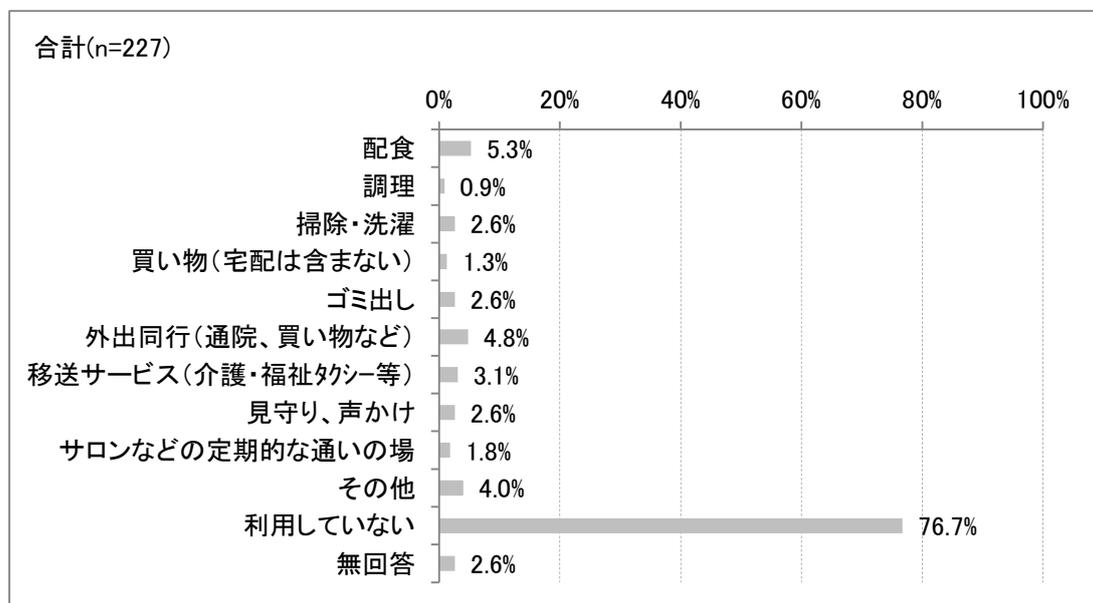
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 76.7%となっている。次いで、「配食（5.3%）」、「外出同行（通院、買い物など）（4.8%）」となっている。

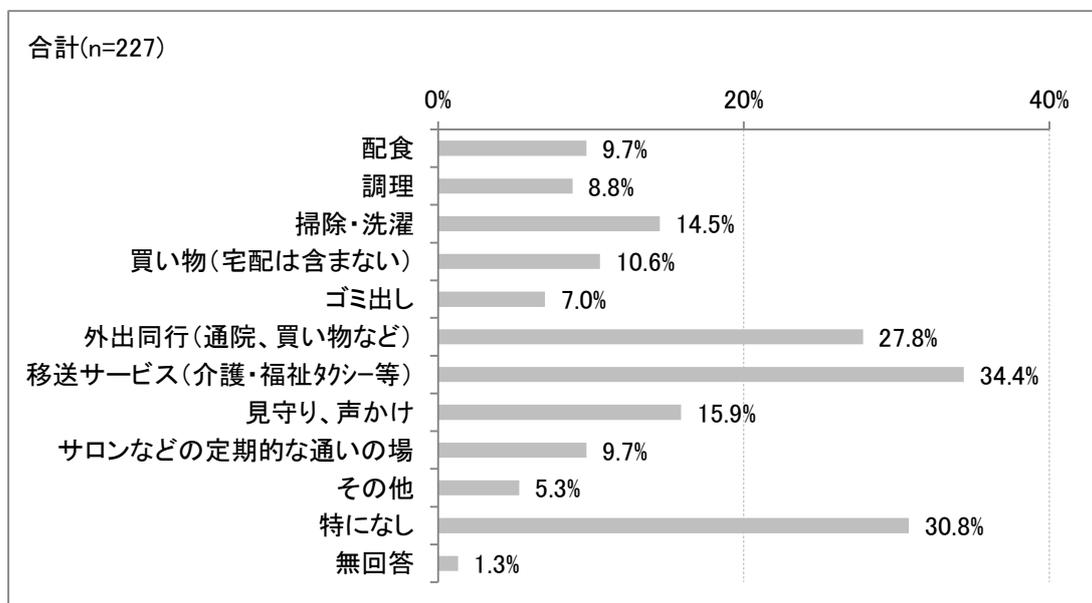
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く 34.4%となっている。次いで、「特になし（30.8）」、「外出同行（通院、買い物など）（27.8%）」となっている。

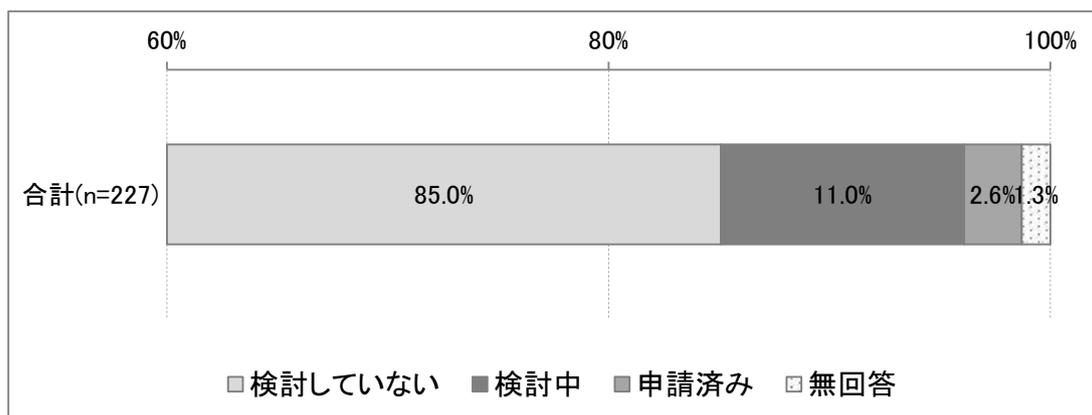
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 85.0%となっている。次いで、「検討中（11.0）」、「申請済み（2.6%）」となっている。

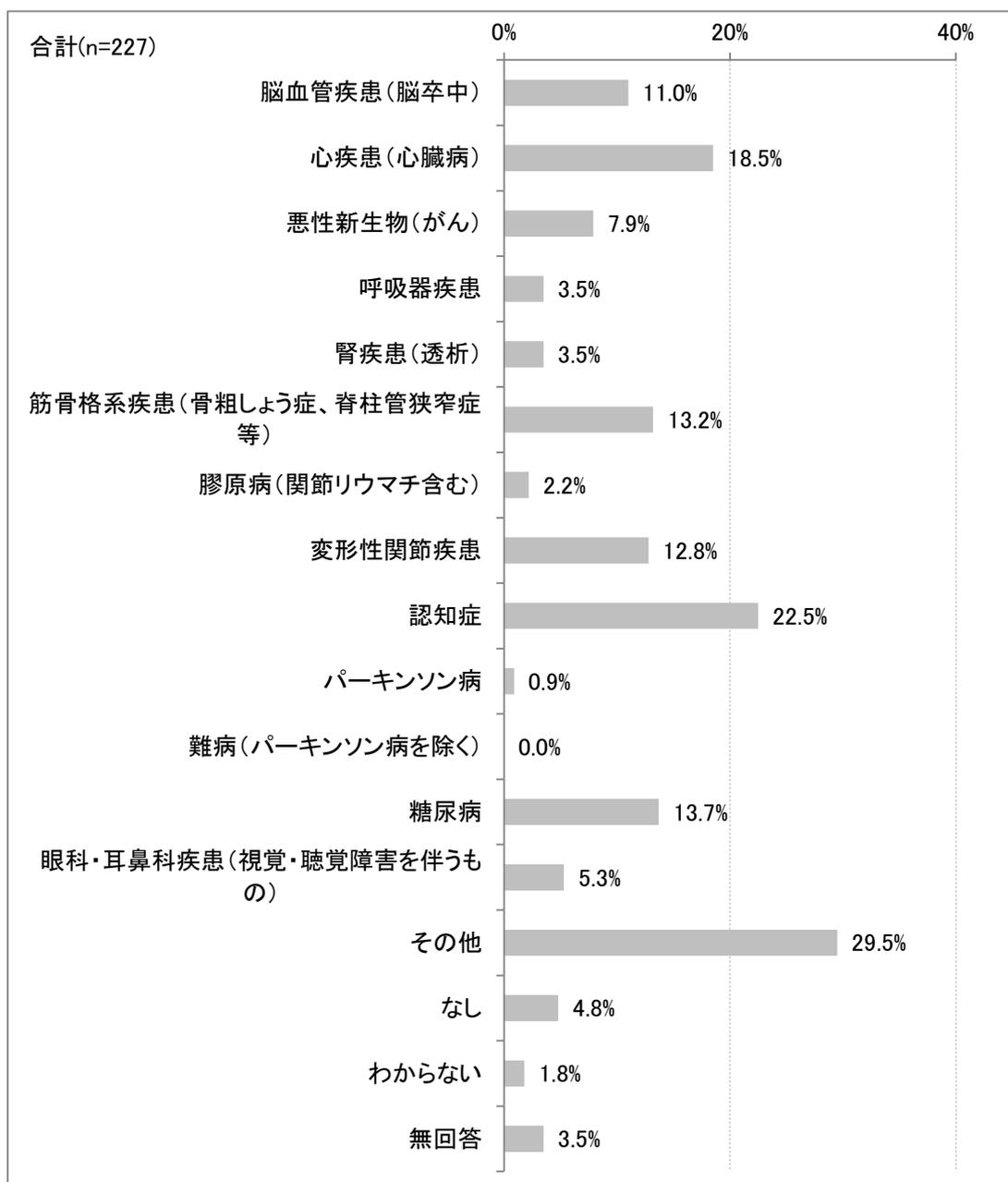
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 本人が抱えている傷病

「その他」の割合が最も高く 29.5%となっている。次いで、「認知症 (22.5%)」、「心疾患 (心臓病) (18.5%)」となっている。

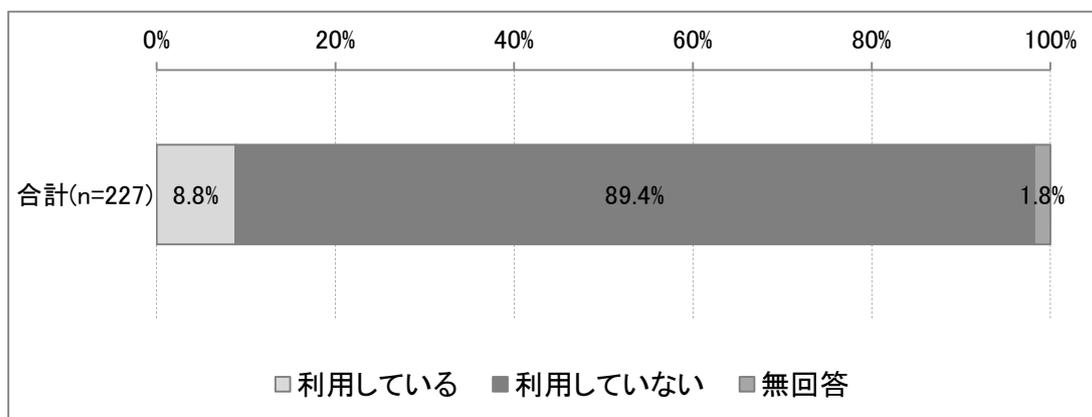
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病 (複数回答)



(12) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 89.4%となっている。次いで、「利用している (8.8%)」となっている。

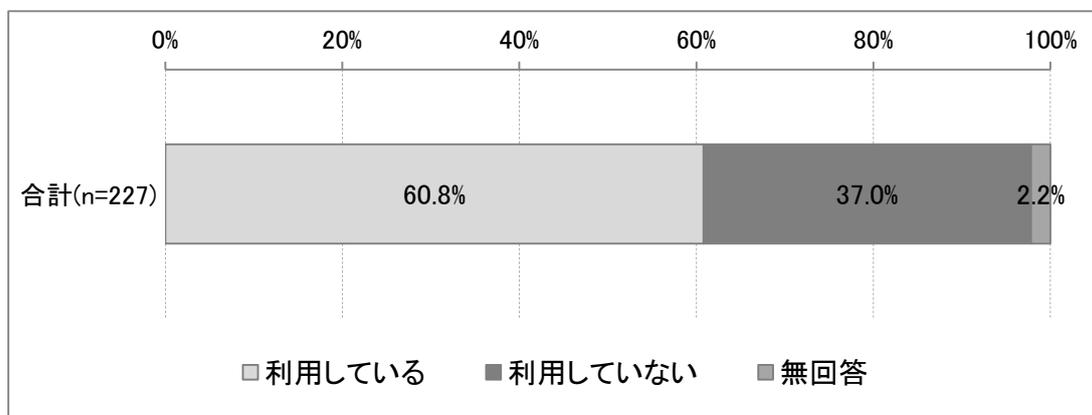
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無 (単数回答)



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 60.8%となっている。次いで、「利用していない (37.0%)」となっている。

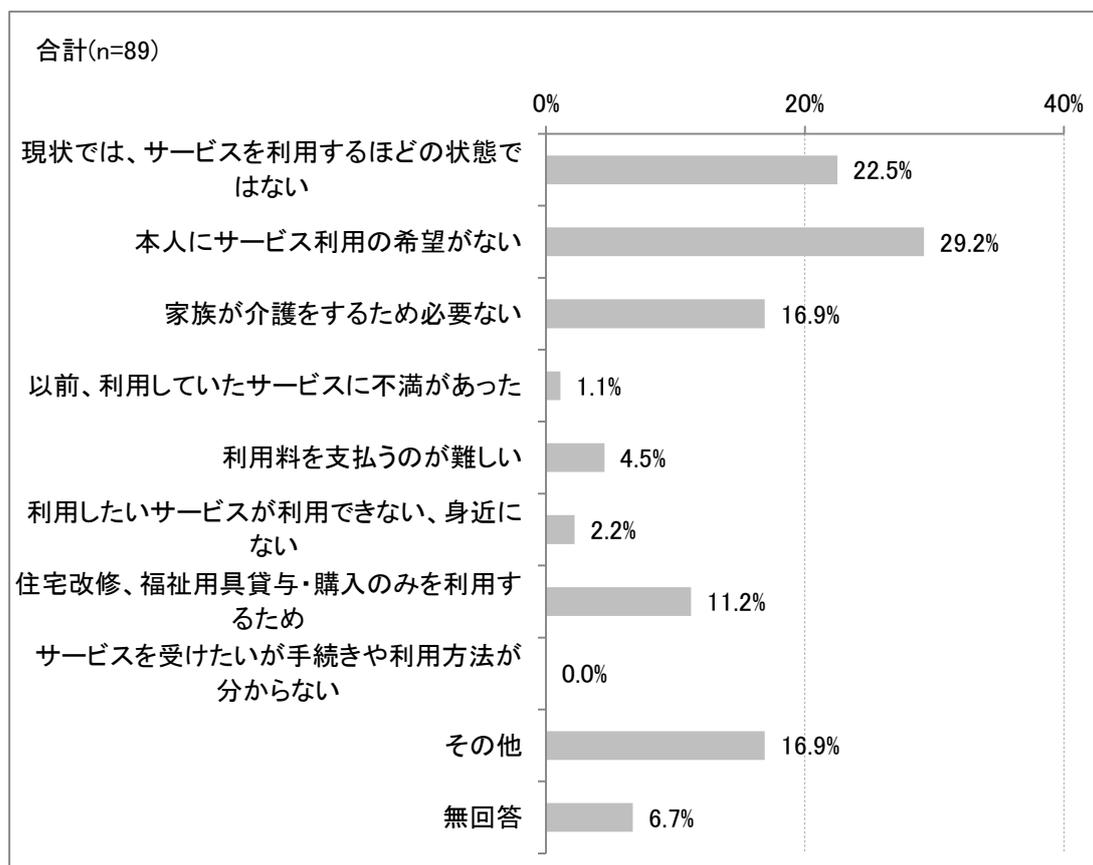
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無 (単数回答)



(14) 介護保険サービス未利用の理由

「本人にサービス利用の希望がない」の割合が最も高く 29.2%となっている。次いで、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (22.5%)」、「家族が介護をするため必要ない (16.9%)」、「その他 (16.9%)」となっている。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由 (複数回答)

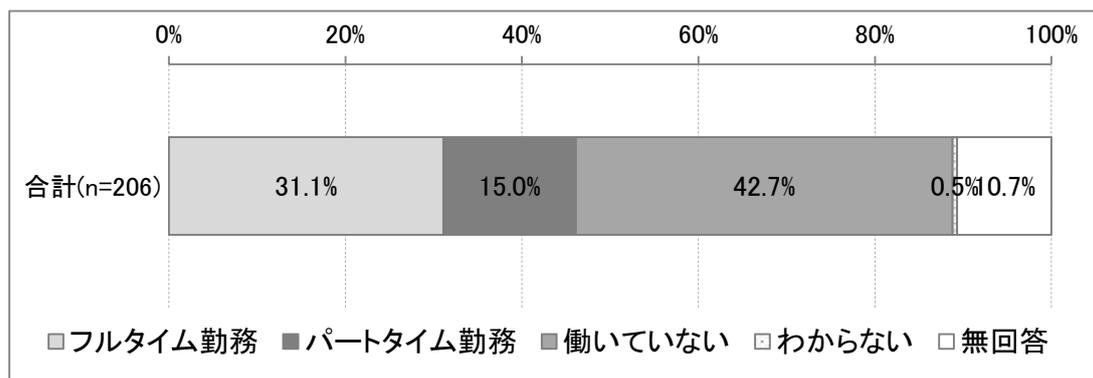


2 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 42.7%となっている。次いで、「フルタイム勤務 (31.1%)」、「パートタイム勤務 (15.0%)」となっている。

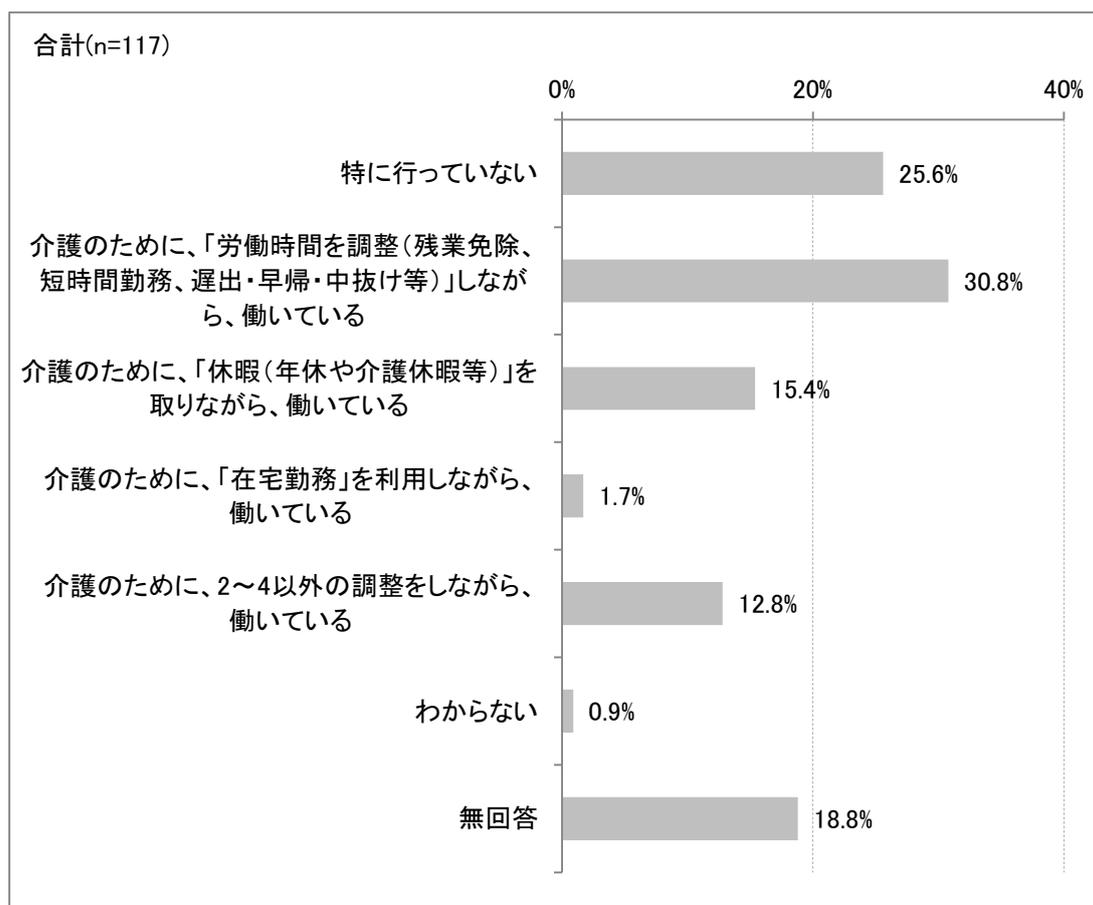
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く 30.8%となっている。次いで、「特に行っていない（25.6%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（15.4%）」となっている。

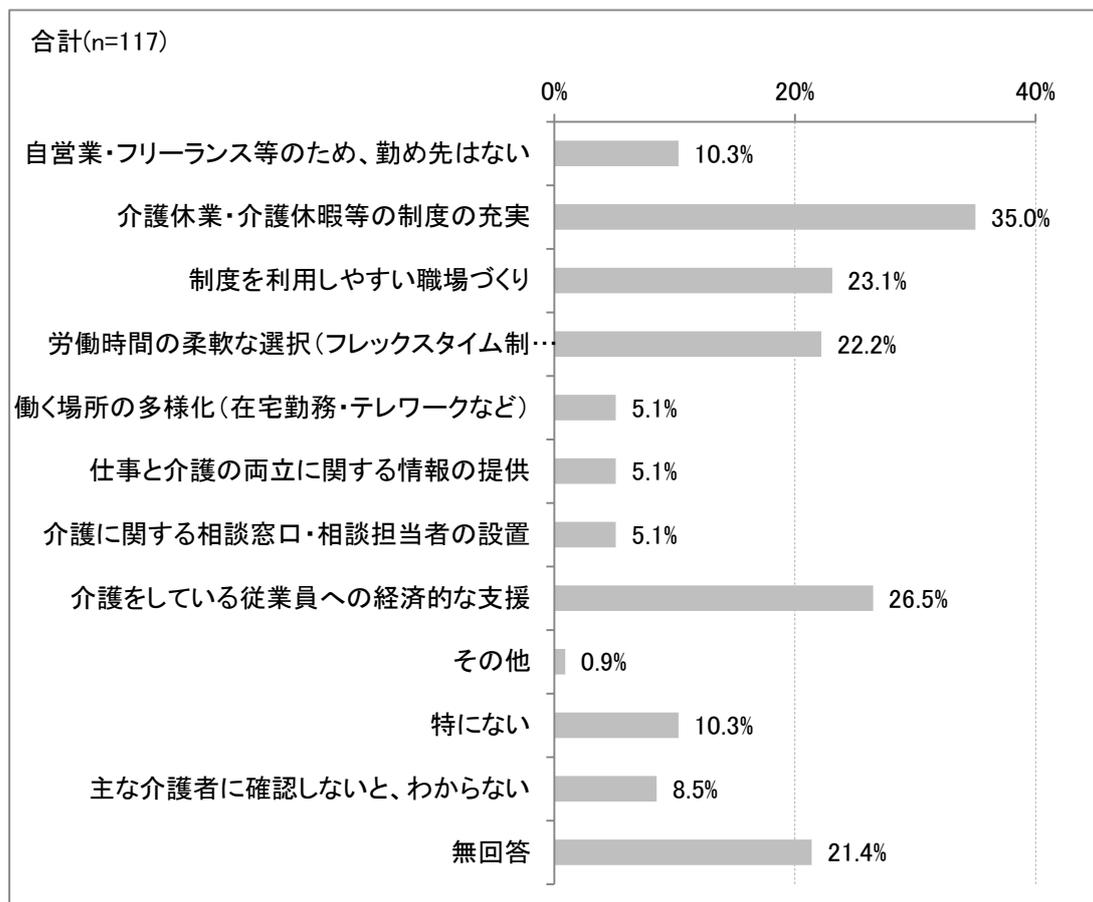
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が最も高く 35.0%となっている。次いで、「介護をしている従業員への経済的な支援 (26.5%)」、「制度を利用しやすい職場づくり (23.1%)」となっている。

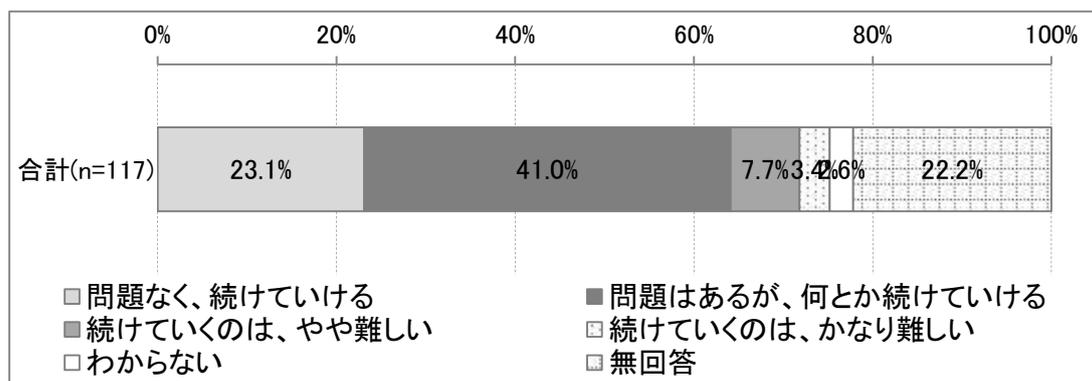
図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 41.0%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (23.1%)」、「続けていくのは、やや難しい (7.7%)」となっている。

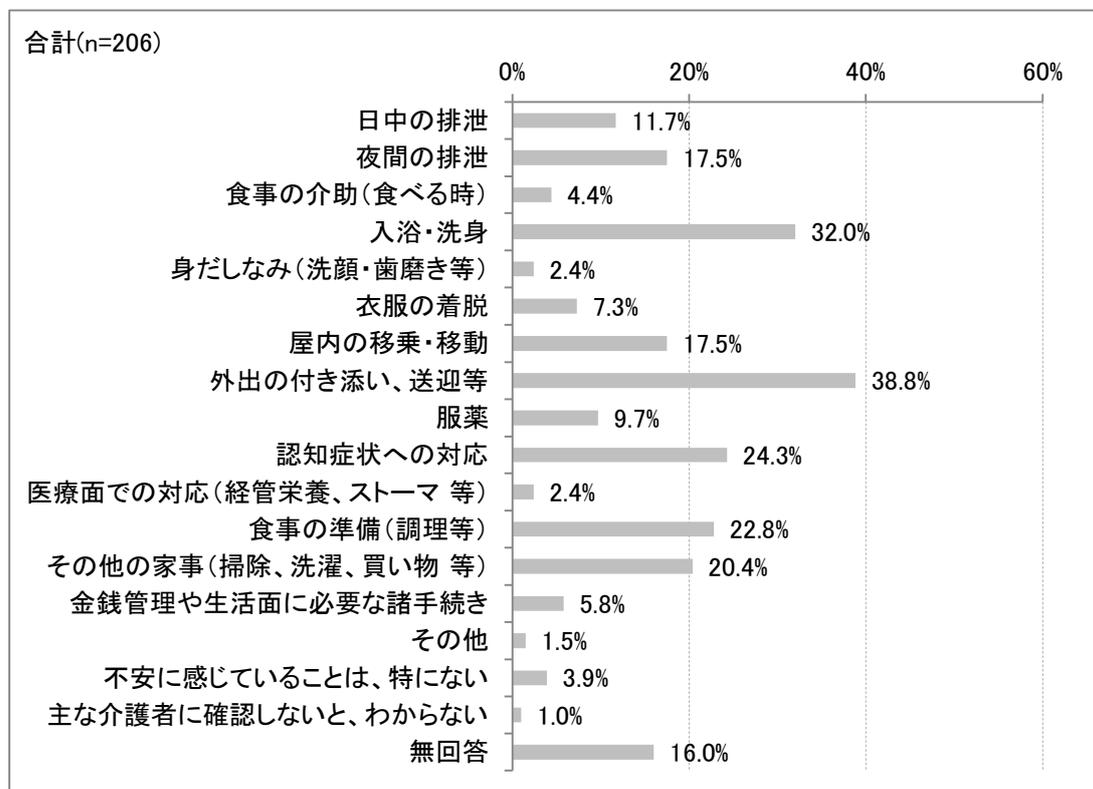
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 38.8%となっている。次いで、「入浴・洗身 (32.0%)」、「認知症状への対応 (24.3%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)

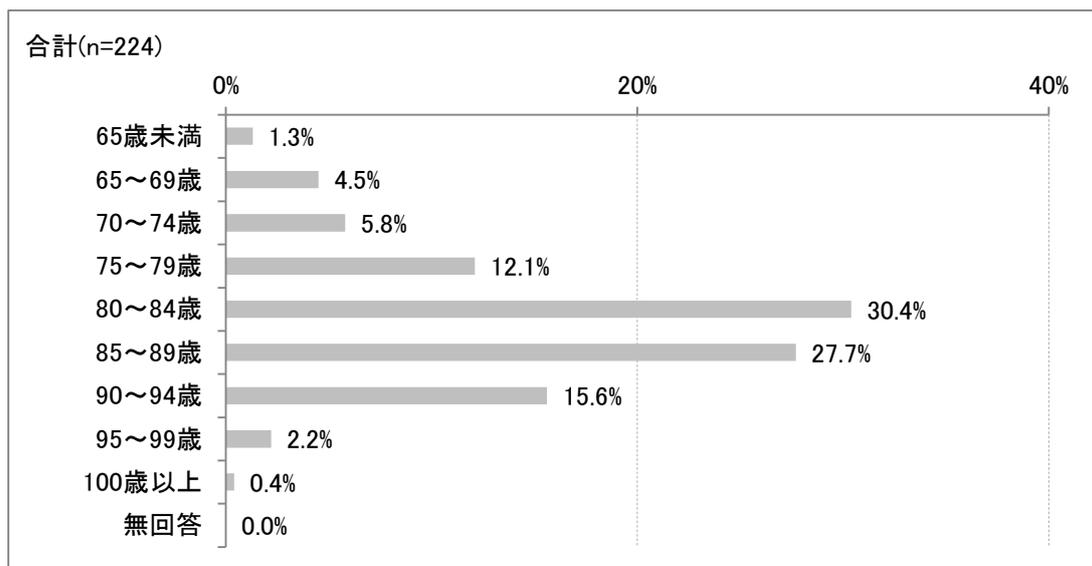


3 要介護認定データ

(1) 年齢

「80～84歳」の割合が最も高く30.4%となっている。次いで、「85～89歳（27.7%）」、「90～94歳（15.6%）」となっている。

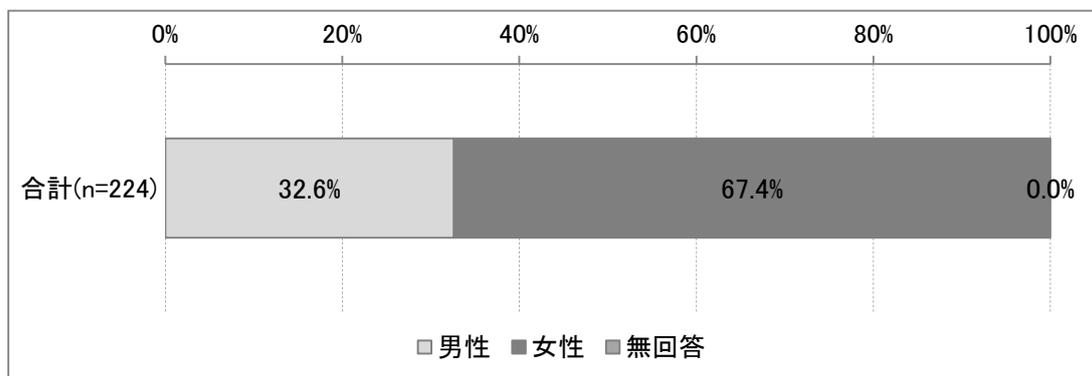
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く67.4%となっている。次いで、「男性（32.6%）」となっている。

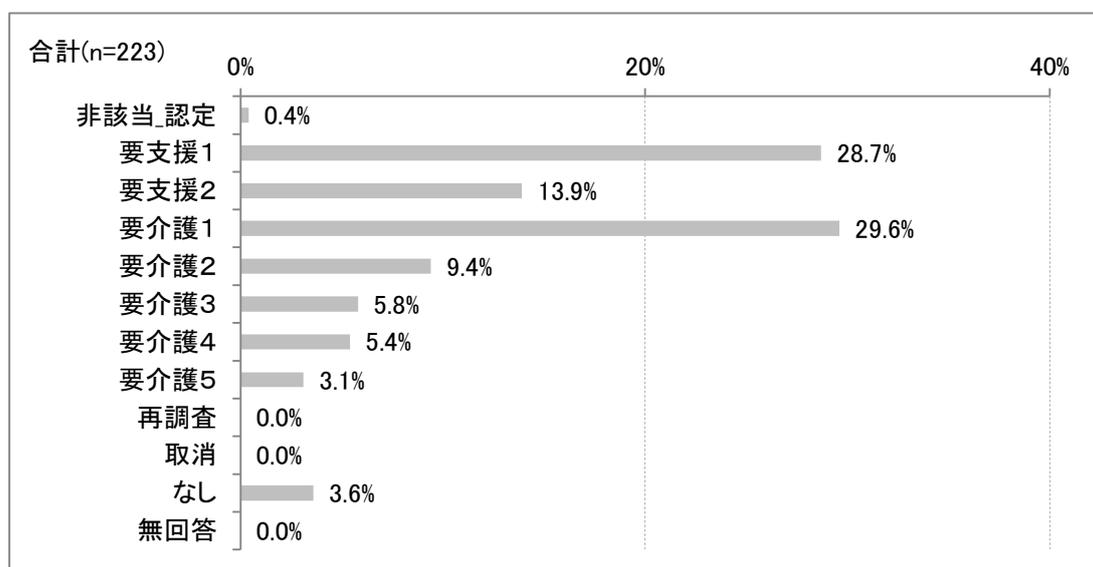
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く29.6%となっている。次いで、「要支援1（28.7%）」、「要支援2（13.9%）」となっている。

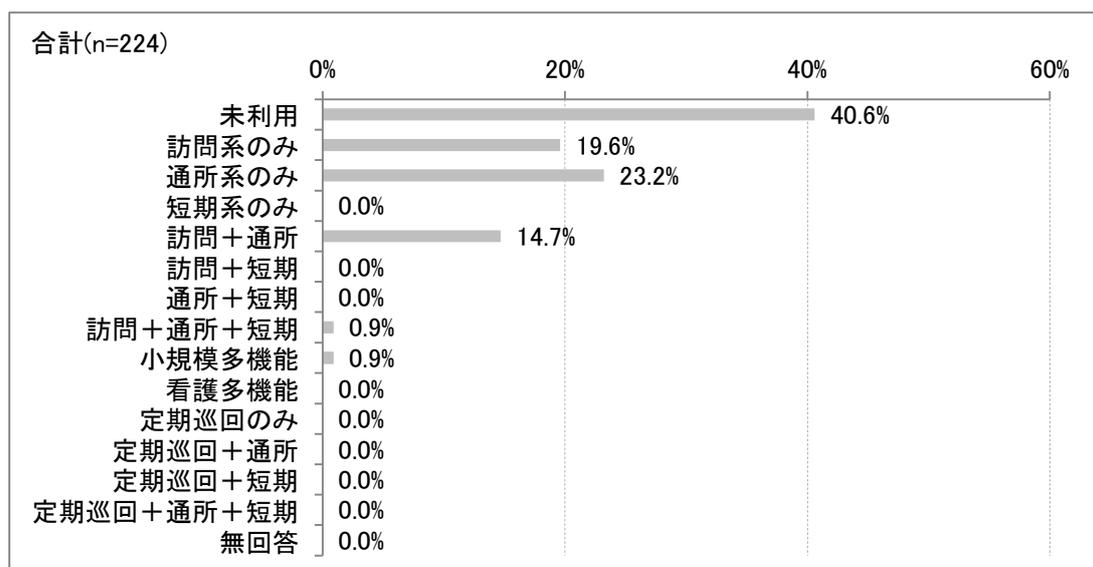
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「未利用」の割合が最も高く40.6%となっている。次いで、「通所系のみ（23.2%）」、「訪問系のみ（19.6%）」となっている。

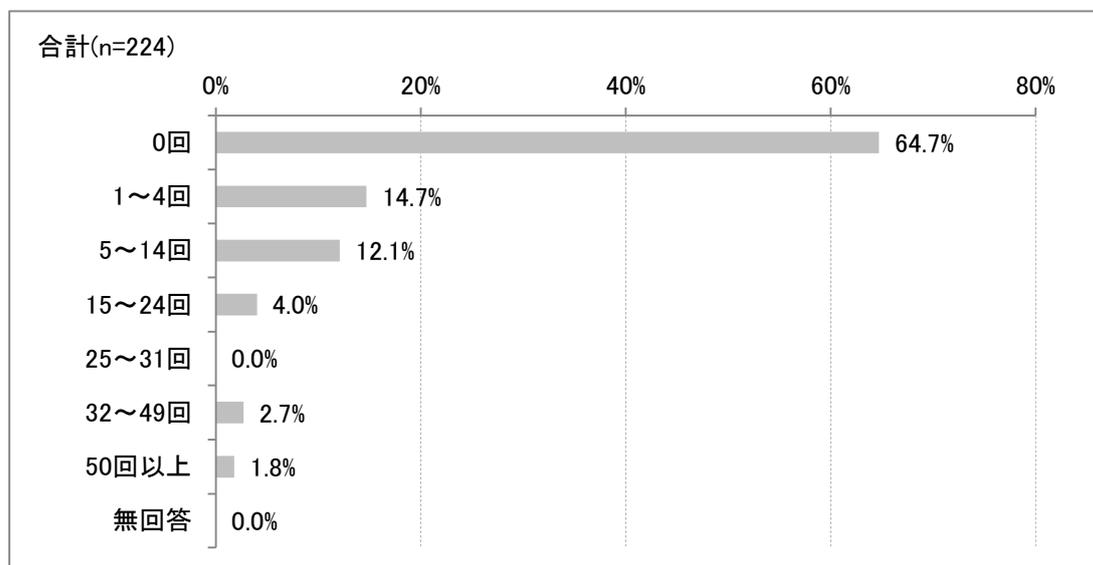
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く64.7%となっている。次いで、「1～4回（14.7%）」、「5～14回（12.1%）」となっている。

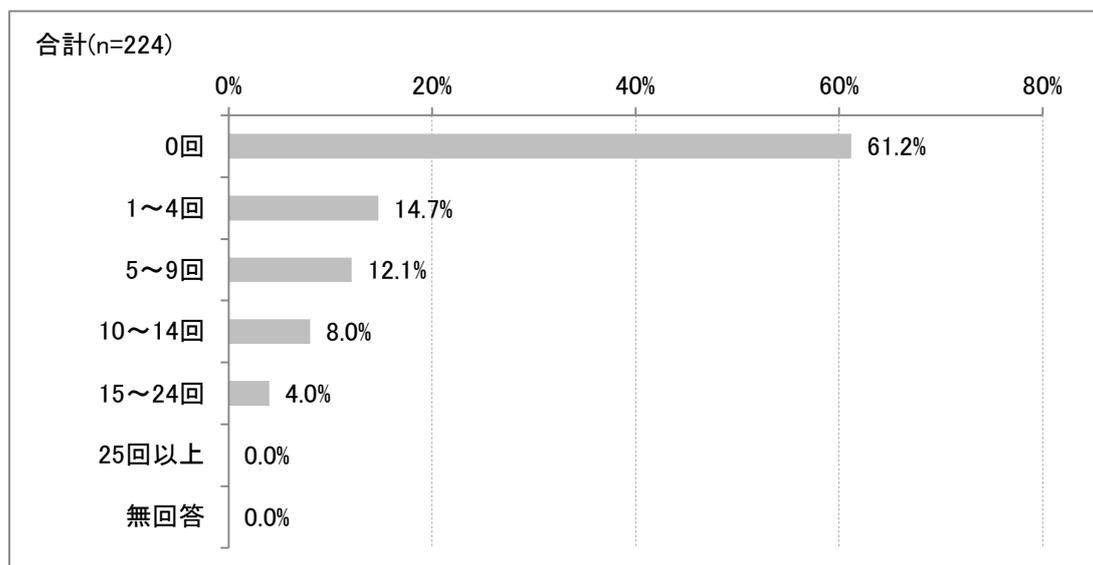
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く61.2%となっている。次いで、「1～4回（14.7%）」、「5～9回（12.1%）」となっている。

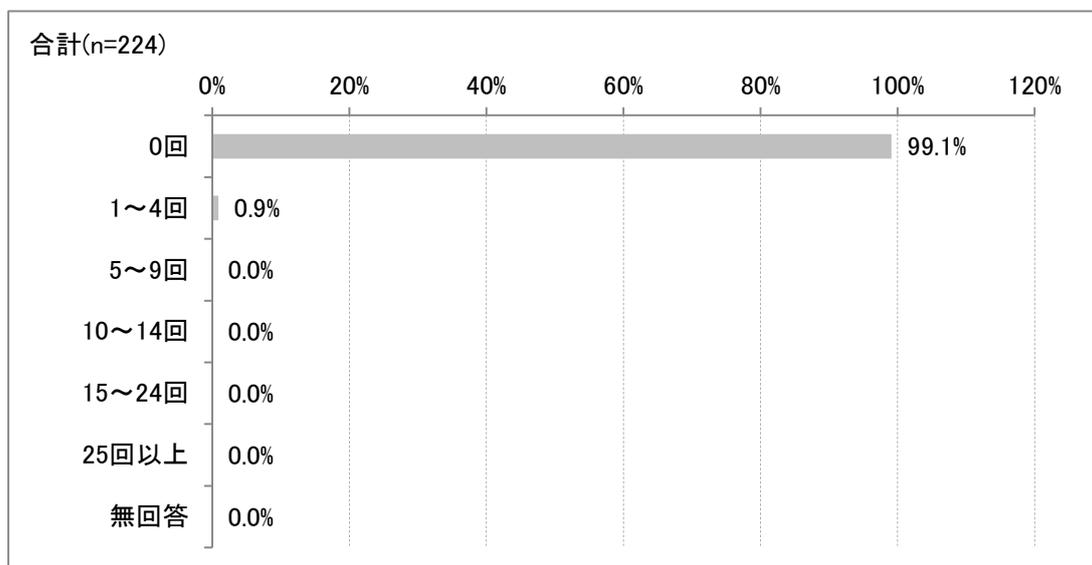
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く99.1%となっている。次いで、「1～4回(0.9%)」、「5～9回(0.0%)」、「10～14回(0.0%)」、「15～24回(0.0%)」、「25回以上(0.0%)」となっている。

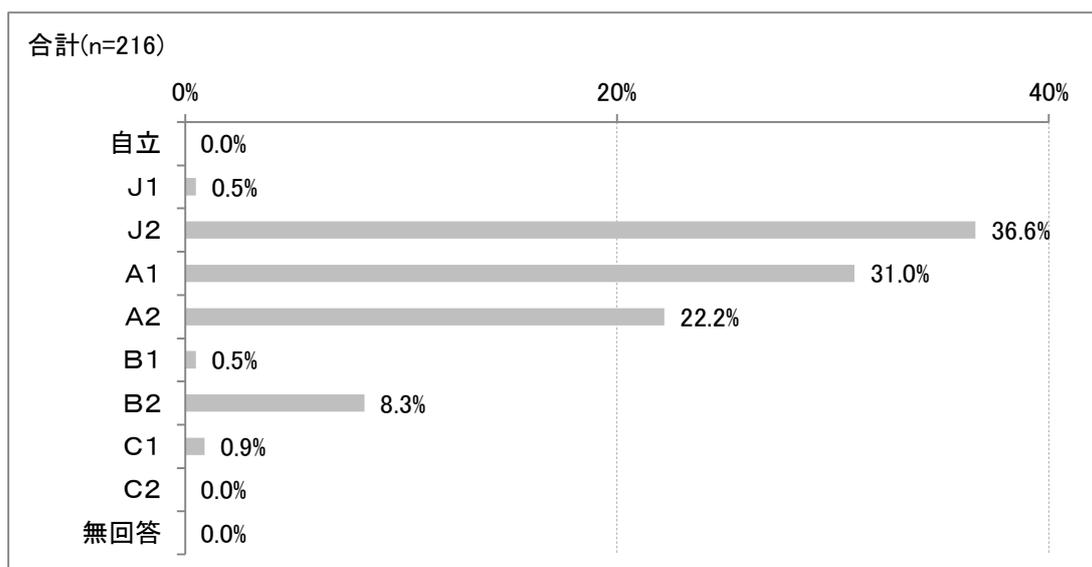
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「J2」の割合が最も高く36.6%となっている。次いで、「A1(31.0%)」、「A2(22.2%)」となっている。

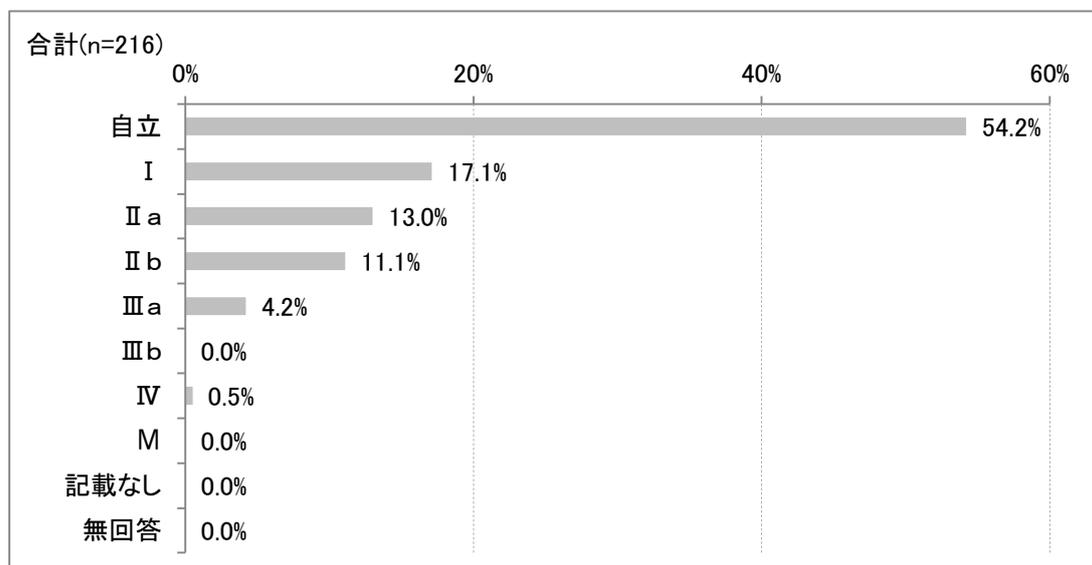
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「自立」の割合が最も高く 54.2%となっている。次いで、「I (17.1%)」、「II a (13.0%)」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



★ : オプション項目

基本調査項目+オプション項目

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号

0	0	0							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. 調査対象者のケアマネジャー
- 5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- 1. ない
- 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
- 3. 週に1～2日ある
- 4. 週に3～4日ある
- 5. ほぼ毎日ある

問8(裏面)へ

問3～問13へ

★ 問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他

★ 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. 男性
- 2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上
- 9. わからない

★ 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

★ 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

★ 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

★ 問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

★ 問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

★ 問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

★ 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他 |

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

被保険者番号

0	0	0							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

岸和田市高齢者福祉計画

第9期介護保険事業計画

計画期間：令和6(2024)年度～令和8(2026年)年度

〈計画骨子〉

令和5年7月時点

目次

第1章	計画の概要	1
1.	計画策定の背景と目的	1
2.	第9期計画の基本指針のポイント（国の基本的な考え方）	2
3.	計画の位置づけ	3
4.	計画の期間	4
5.	計画策定体制と経過	5
6.	計画の進行管理と点検体制	6
第2章	高齢者を取り巻く現状	7
1.	人口構造及び高齢化の状況	7
2.	要支援・要介護認定の状況	13
3.	日常生活圏域の状況	15
第3章	介護保険事業の状況	16
1.	介護給付の状況	16
2.	第8期計画の進捗状況	18
3.	保健福祉サービスの利用状況	22
第4章	計画の理念と基本方針	23
1.	計画の理念 ※第8期計画	23
2.	計画の基本方針 ※第8期計画	24
3.	施策体系	26
第5章	施策展開	27
1.		27
2.		27
3.		27
第6章	介護保険事業の推進	28
1.	第9期計画における施設整備の考え方	28
2.	介護サービス必要量及び供給量の見込み	28
3.	地域支援事業の見込み	28
第7章	保険財政の見込み	29
1.	保険財政	29
2.	費用額・保険料額の算出方法	29
資料編		30
1.	岸和田市介護保険事業運営等協議会委員名簿	30
2.	策定スケジュール	30
3.	アンケート結果	30
4.	用語集	30

第1章 | 計画の概要

1. 計画策定の背景と目的

わが国は、少子高齢化を一つの要因とした人口減少が進んでいることに加え、単身世帯、高齢者のみ世帯が国の予測よりも急速に進み、世帯構造の変化による地域の希薄化、孤独・孤立のリスクの高まりなど、福祉課題が複合化しています。

高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして平成12(2000)年に介護保険制度が創設されてから20年以上が経過し、介護保険制度は高齢者の介護に欠かせないものとして定着しました。令和7(2025)年には、いわゆる団塊の世代が75歳以上を迎えることとなり、要介護認定率や介護給付費が急増する85歳以上人口は令和42(2060)年頃まで増加傾向が続くことが見込まれています。

今後、急激に高齢化が進行する地域もあれば、高齢化がピークを超える地域もあるなど、人口構成の変化や医療・介護ニーズ等の動向が地域ごとに異なります。国では、こうした地域ごとの中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえて介護サービス基盤を整備するとともに、地域の実情に応じて、地域包括ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保、介護現場の生産性の向上を図るための具体的な取組内容や目標を検討することが重要であるとしています。

これらのような国が示す課題、方向性を踏まえ、「岸和田市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」(以下「第8期計画」という。)の取組みを承継しながら、市内で生活するすべての高齢者が、岸和田市(以下、本市という)の地域包括ケアシステムのもと、生きがいを持って安心して暮らし続けられる健康長寿のまちを実現するため、「岸和田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」(以下「第9期計画」という。)を策定するものです。

本市に求められること

- 令和22(2040)年の介護が必要な高齢者の動向を踏まえた介護サービスの基盤整備・充実
- 総合事業や一般介護予防事業、包括的支援事業等を効果的に実施し介護予防・健康づくりを推進し、介護保険事業の運営の適正化を図る
- 認知症高齢者やその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、認知症施策推進大綱等を踏まえて認知症施策を総合的に推進する
- 安定的にサービスが提供できる体制づくりのため、介護人材の確保や介護現場の革新、介護現場の負担軽減を図る

2. 第9期計画の基本指針のポイント（国の基本的な考え方）

（1）介護サービス基盤の計画的な整備

- 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所のあり方も含め検討し、地域の実情に応じて介護サービス基盤を計画的に確保していく必要。
- 医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加を踏まえ、医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、医療・介護の連携強化が重要。
- 中長期的なサービス需要の見込みをサービス提供事業者を含め、地域の関係者と共有し、サービス基盤の整備の在り方を議論することが重要。
- 居宅要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの更なる普及。
- 居宅要介護者の様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、複合的な在宅サービスの整備を推進することが重要。
- 居宅要介護者を支えるための、訪問リハビリテーション等や介護老人保健施設による在宅療養支援の充実。

人口推計や実績に基づくサービス量の見込みを踏まえ、計画的なサービス確保を図るとともに、在宅サービスの充実や在宅医療の充実に向けた医療介護連携の促進が必要となっています。

（2）地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

- 地域包括ケアシステムは地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るものであり、制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、地域住民や多様な主体による介護予防や日常生活支援の取組を促進する観点から、総合事業の充実を推進。
- 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備を図るとともに、重層的支援体制整備事業において属性や世代を問わない包括的な相談支援等を担うことも期待。
- 認知症に関する正しい知識の普及啓発により、認知症への社会の理解を深めることが重要。
- デジタル技術を活用し、介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための医療・介護情報基盤を整備。
- 給付適正化事業の取組の重点化・内容の充実・見える化。

地域共生の観点から、関連分野との連携も含め、地域における共生・支援・予防の取組の充実、デジタル基盤を活用した効果的・効率的な事業の推進が求められています。

(3) 地域包括ケアシステムを支える介護人材及び介護現場の生産性向上

- 介護人材を確保するため、処遇の改善、人材育成への支援、職場環境の改善による離職防止、外国人材の受入環境整備などの取組を総合的に実施。
- 都道府県主導の下で生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的に推進。介護の経営の協働化・大規模化により、人材や資源を有効に活用。
- 介護サービス事業者の財務状況等の見える化を推進。

介護人材の確保に向けた取組を大阪府と連携して推進していくことが求められています。

3. 計画の位置づけ

(1) 制度的位置づけ

本計画は、老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）第 20 条の 8 の規定に基づく「市町村老人福祉計画」と、介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 117 条第 1 項の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」を一体的に策定した計画です。

老人福祉法第 20 条の 8

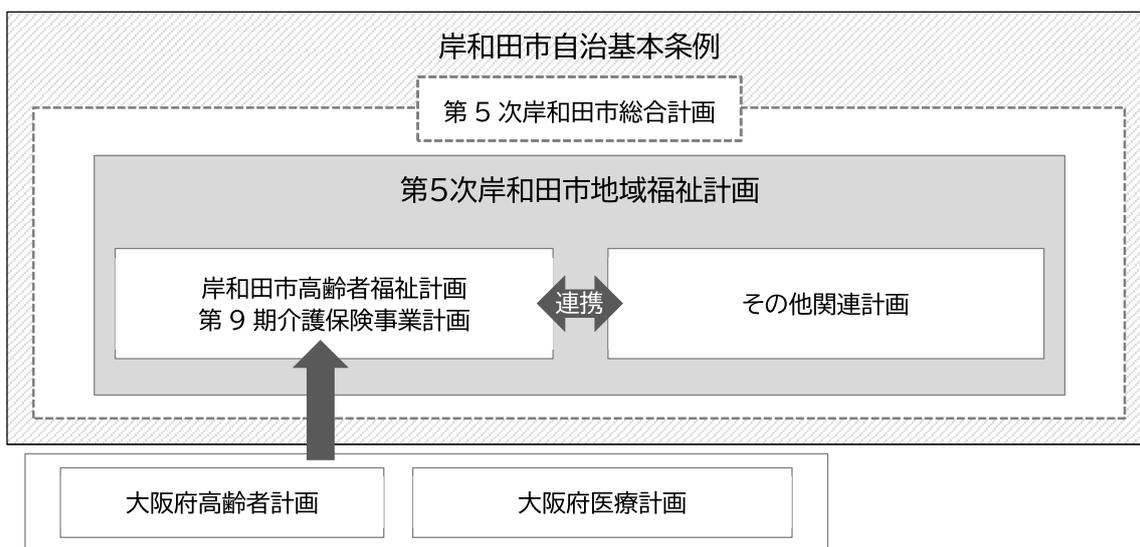
市町村は、老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業（以下「老人福祉事業」という。）の供給体制の確保に関する計画（以下「市町村老人福祉計画」という。）を定めるものとする。

介護保険法第 117 条第 1 項

市町村は、基本指針に即して、3 年を 1 期とする当該市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画（以下「市町村介護保険事業計画」という。）を定めるものとする。

(2) 他計画との関係

本計画は、岸和田市自治基本条例に基づき、最上位計画である「第5次岸和田市総合計画」をはじめ、福祉の上位計画にあたる「第5次岸和田市地域福祉計画」、「岸和田市保健計画ウエルエージングきしわだ2次計画・岸和田市食育推進計画」、さらに「大阪府高齢者計画」や「大阪府医療計画」等の関連計画との整合を図ります。



4. 計画の期間

第9期計画は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度を計画期間とします。

なお、介護保険サービス見込み量及び介護保険料は団塊の世代が後期高齢期を迎える令和7(2025)年度、高齢者人口の中でも85歳以上が急増し、要介護高齢者が増加することに加え、団塊ジュニアが前期高齢期を迎え、生産年齢人口が急減する令和22(2040)年度を見据えた検討を行います。

令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和22年度 (2040)
第8期計画									
			第9期計画(本計画)						
						第10期計画			

▲
 団塊の世代が75歳に

▲
 団塊ジュニアが65歳に

5. 計画策定体制と経過

(1) 高齢者実態調査の実施

第9期計画策定にあたっては、本市の高齢者のニーズをよりの確に把握する手法として、第8期計画 策定時同様、国が実施を推奨する「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」を実施しました。実施概要については下記の通りです。

◆介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・概要

調査期間	令和5年1月11日（水）～1月31日（火）
対象者	岸和田市内在住の65歳以上の方（要介護1～5の認定者を除く）
調査方法	郵送配布し、郵送回収。回収率向上のため礼状兼督促はがきを送付
配布数	3,300件
有効回収数	2,547件
有効回収率	77.1%

◆在宅介護実態調査・概要

調査期間	令和4年11月15日（火）～令和5年3月14日（火）
対象者	在宅で生活している要介護（要支援）認定者で、調査期間内に認定調査を受けた方
調査方法	認定調査員による聞き取り調査
配布数	227件

(2) 任意調査の実施

第9期計画策定にあたっては、サービス利用者で生活維持が難しくなっている利用者や居所を変更した利用者に合わせて、地域に不足する介護サービス等の把握のため、事業所を対象とした調査として、「在宅生活改善調査」、「居所変更実態調査」を実施しました。実施概要については下記の通りです。

◆在宅生活改善調査・概要

調査期間	令和5年1月4日（水）～1月31日（火）
対象者	居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所の介護支援専門員
回収数	98件（回収率：86.7%）

◆居所変更実態調査・概要

調査期間	令和5年1月4日（水）～1月31日（火）
対象者	施設・居住系サービス事業所
回収数	87件（回収率：97.8%）

(3) 庁内連携体制

計画策定にあたっては、保健部・福祉部において協議を重ね、また他の計画等との調和を図るため、必要に応じて関係部署との調整を行いました。

(4) 岸和田市介護保険事業運営等協議会

本計画の策定過程において広く関係者及び市民の意見を聴き、その意見を適切に反映していくため、学識経験者や保健医療関係者、福祉関係者及び公募委員等市民の代表から構成される「岸和田市介護保険事業運営等協議会」において協議を重ね、第8期計画の評価及び第9期計画策定に関する検討を行いました。

(5) パブリックコメント実施概要

令和●(〇〇)年●月●日(●)から令和●(〇〇)年●月●日(●)まで実施。

6. 計画の進行管理と点検体制

第9期計画の策定にあたっては、介護保険の理念である自立支援・重度化防止に向けた取組みを推進するため、地域における共通の目標を設定し関係者間で目標を共有するとともに、その達成に向けた具体的な計画を作成・評価・見直しをすること(PDCAサイクル)が重要となっています。

第9期計画の進行管理については、関係者の意見や市民の意見を十分反映するという観点から、「岸和田市介護保険事業運営等協議会」等の組織において、定期的に計画の運営状況を報告する等、点検体制の推進に努めるとともに、運営状況の情報開示を行います。

また、各年度終了後に、給付実績、苦情処理実績、利用者の相談実績等のデータをもとに次の項目について点検及び評価し、市民や関係団体の意見を反映させていくものとします。

進行管理項目

- 介護等サービス(居宅、施設・居住系サービス)の利用状況
- 介護等サービスの量及び質に関する状況
- サービス提供体制に関する問題点
- 一般施策及び地域支援事業の利用状況
- 地域包括支援センター運営状況
- 地域密着型サービスに関する運営状況 等

第2章 | 高齢者を取り巻く現状

1. 人口構造及び高齢化の状況

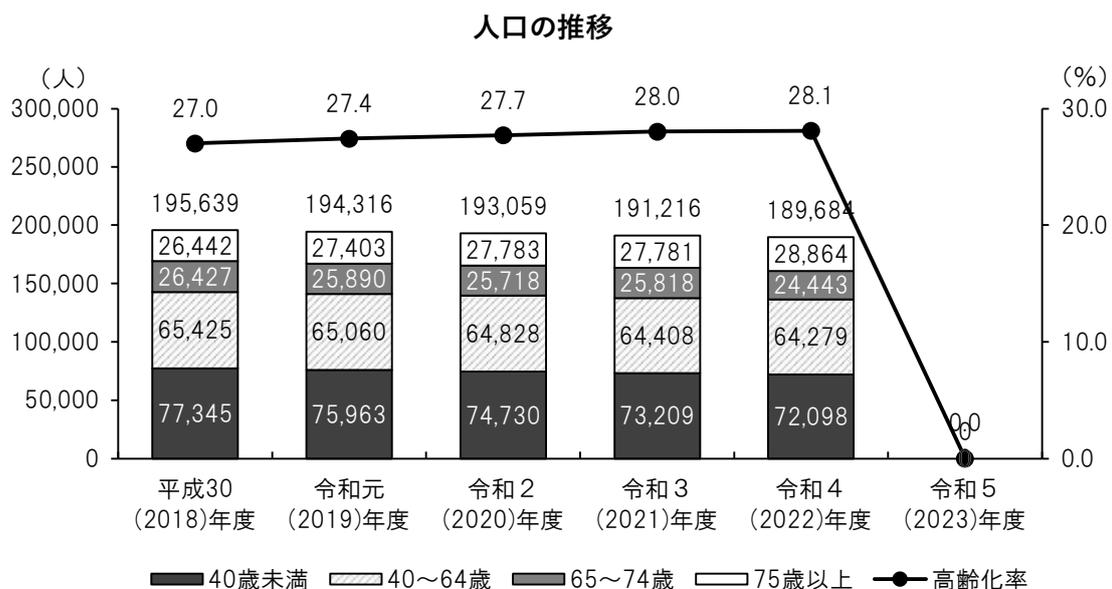
(1) 人口の推移と65歳以上の世帯

本市の総人口は、令和4(2022)年度で189,684人と減少傾向が続いています。

高齢者の内訳をみると、65～74歳の前期高齢者が減少傾向にあります。75歳以上の後期高齢者は年々増加しており、平成30(2018)年度以降、前期高齢者を上回って推移しています。

高齢化率(総人口に占める65歳以上の割合)は、令和4(2022)年度で28.1%となっており、年々上昇傾向しています。 ※令和5年10月1日時点で最新のデータを反映

	第7期計画			第8期計画		
	平成30 (2018)年度	令和元 (2019)年度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度
住民基本台帳	195,639	194,316	193,059	191,216	189,684	
40歳未満	77,345	75,963	74,730	73,209	72,098	
40～64歳	65,425	65,060	64,828	64,408	64,279	
65～74歳	26,427	25,890	25,718	25,818	24,443	
75歳以上	26,442	27,403	27,783	27,781	28,864	
高齢化率	27.0%	27.4%	27.7%	28.0%	28.1%	



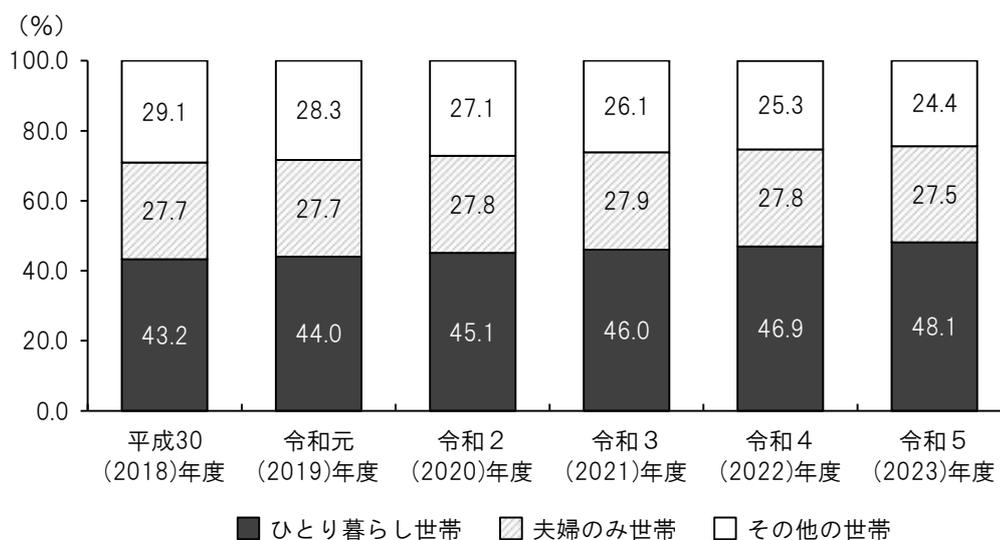
(出典)住民基本台帳 各年度10月1日時点

本市の65歳以上の世帯は、年々増加傾向にあり、令和5(2023)年度で37,047世帯となっています。

世帯の内訳をみると、ひとり暮らし世帯、夫婦のみ世帯が増加しており、老老介護の可能性が高くなっていることに加え、孤独・孤立問題が顕在化する可能性があります。

	第7期計画			第8期計画		
	平成30 (2018)年度	令和元 (2019)年度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度
ひとり暮らし世帯	15,577	16,087	16,602	17,022	17,367	17,826
構成比	43.2%	44.0%	45.1%	46.0%	46.9%	48.1%
夫婦のみ世帯	9,981	10,121	10,229	10,335	10,288	10,192
構成比	27.7%	27.7%	27.8%	27.9%	27.8%	27.5%
その他の世帯	10,476	10,341	9,997	9,658	9,373	9,029
構成比	29.1%	28.3%	27.1%	26.1%	25.3%	24.4%
合計	36,034	36,549	36,828	37,015	37,028	37,047

65歳以上の世帯の割合



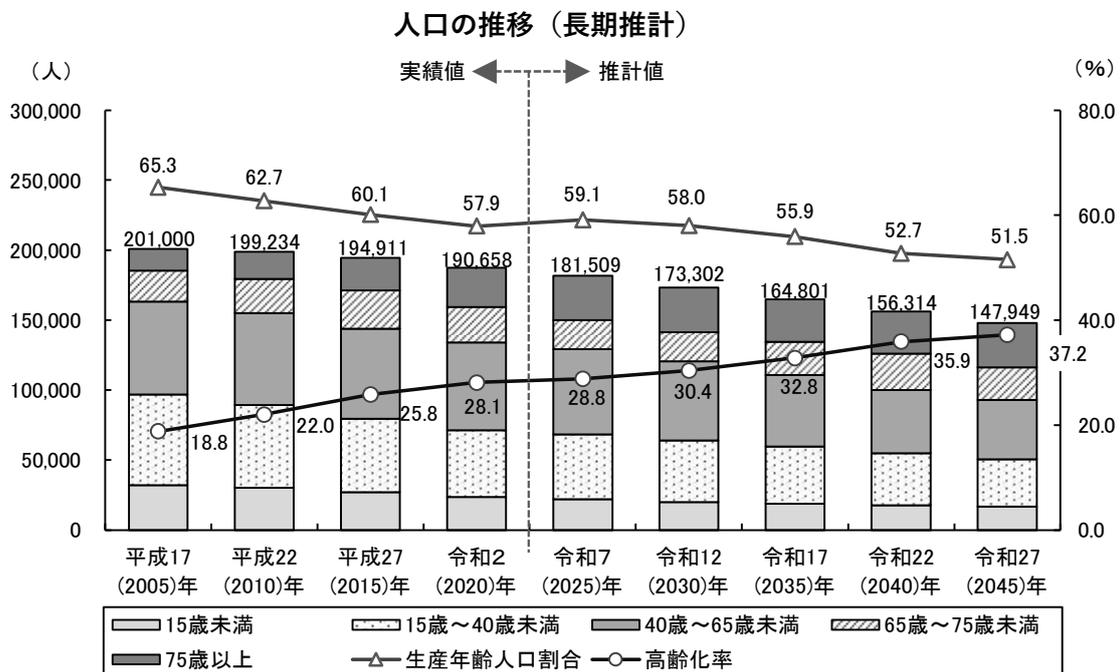
(出典)住民基本台帳 各年度4月1日時点

(2) 人口の推移（長期推計）

長期的な人口の推移をみると、平成 17(2005)年から令和 2 (2020)年までの 15 年間でおよそ 10,000 人減少しています。

65 歳～75 歳未満人口は平成 27(2015)年まで増加し、令和 2 (2020)年から令和 12(2030)年まで減少し、令和 17 年以降は増減を繰り返す見込みとなっています。また、75 歳以上人口は令和 12(2030)年まで増加し、令和 17(2035)年以降は増減を繰り返す見込みとなっています。

令和 27(2045)年時点の本市の総人口は 147,949 人で、そのうち 65 歳以上人口は 54,984 人になる見込みとなっています。また、高齢化率は 37.2%で、全国平均 36.8%、大阪府平均 36.2% より高くなる見込みとなっています。



(出典)平成 17 年～令和 2 年まで:総務省「国勢調査」
 令和 7 年以降:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成 30(2018)年推計)」
 (注意)平成 17 年～令和 2 年まで、人口には年齢不詳を含むため各年齢階層の合計と必ずしも一致しない

	実績値				推計値				
	平成17 (2005)年	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年
人口	201,000	199,234	194,911	190,658	181,509	173,302	164,801	156,314	147,949
15歳未満 (人)	31,917	30,004	26,903	23,665	21,892	20,116	18,680	17,754	16,740
15歳～40歳未満 (人)	64,829	59,193	52,550	47,546	46,422	43,837	40,923	37,029	33,642
40歳～65歳未満 (人)	66,444	65,725	64,508	62,779	60,931	56,704	51,199	45,348	42,583
65歳～75歳未満 (人)	22,103	24,607	27,059	25,356	20,746	20,733	23,666	25,880	23,206
75歳以上 (人)	15,588	19,227	23,298	28,141	31,518	31,912	30,333	30,303	31,778
生産年齢人口 (人)	131,273	124,918	117,058	110,325	107,353	100,541	92,122	82,377	76,225
高齢者人口 (人)	37,691	43,834	50,357	53,497	52,264	52,645	53,999	56,183	54,984
生産年齢人口割合 (%)	65.3	62.7	60.1	57.9	59.1	58.0	55.9	52.7	51.5
高齢化率 (%)	18.8	22.0	25.8	28.1	28.8	30.4	32.8	35.9	37.2
高齢化率(大阪府) (%)	18.5	22.1	25.8	26.7	28.5	29.6	31.6	34.7	36.2
高齢化率(全国) (%)	20.1	22.8	26.3	28.0	30.0	31.2	32.8	35.3	36.8

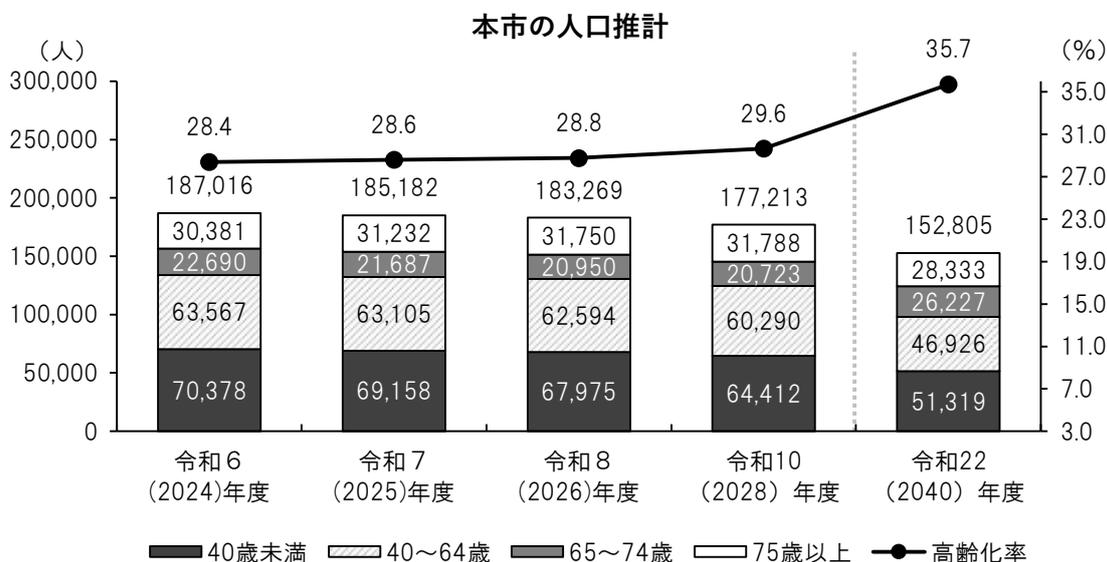
(3) 人口の推計

本市の総人口は、今後も減少傾向が続く見込みとなっています。

高齢者の内訳をみると、65～74歳の前期高齢者は減少し続け、令和6(2024)年度には22,690人、令和7(2025)年度は21,687人になる見込みですが、令和22(2040)年度には再び増加し26,227人になると予想されます。一方、75歳以上の後期高齢者は今後も増加し続け、令和6(2024)年度には30,381人、令和7(2025)年度は31,232人になる見込みです。令和22(2040)年度は28,333人になると予想されます。

高齢化率(総人口に占める65歳以上の割合)は年々高くなり、令和6(2024)年度には28.4%、令和7(2025)年度には28.6%となる見込みです。また、令和22(2040)年度には35.7%になると予想されます。 ※各年4月1日時点で推計、最新のデータを反映予定

	第9期計画			第10期計画	第14期計画
	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和10 (2028)年度	令和22 (2040)年度
総人口	187,016	185,182	183,269	177,213	152,805
40歳未満	70,378	69,158	67,975	64,412	51,319
40～64歳	63,567	63,105	62,594	60,290	46,926
65～74歳	22,690	21,687	20,950	20,723	26,227
75歳以上	30,381	31,232	31,750	31,788	28,333
高齢化率	28.4%	28.6%	28.8%	29.6%	35.7%



(出典)住民基本台帳 各年度4月1日時点で推計

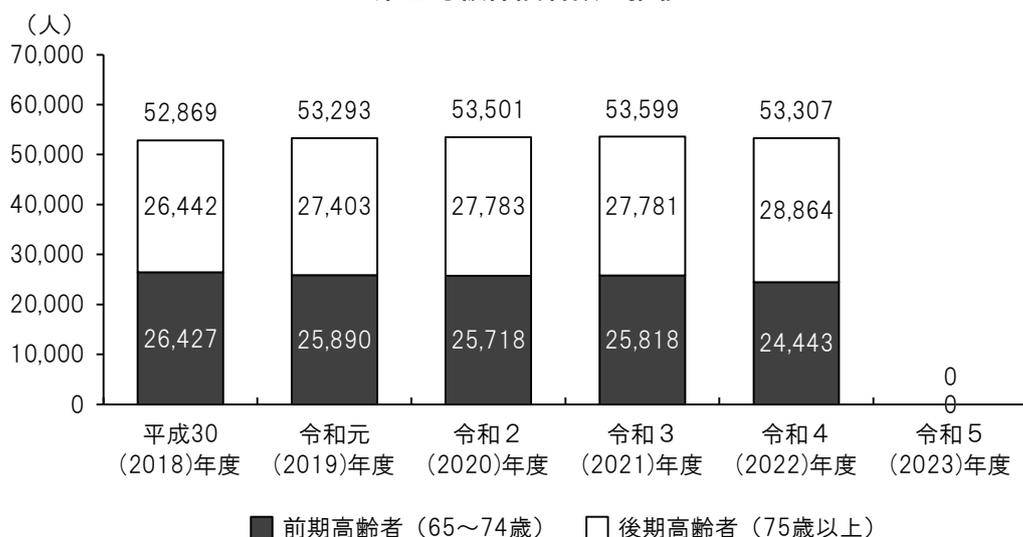
(4) 第1号被保険者数の推移

第1号被保険者数は、令和3(2021)年度で増加しておりましたが、令和4(2022)年度は53,307人(高齢化率28.1%)となっています。

高齢者の内訳をみると、令和4(2022)年度は平成30(2018)年度に比べて前期高齢者は1,984人の減少、後期高齢者は2,422人の増加がみられます。総人口に占める前期高齢者の割合は12.9%、後期高齢者は15.2%と、前期高齢者の占める割合は下降、後期高齢者の割合は引き続き増加しています。 ※令和5年10月1日時点で最新のデータを反映

	第7期計画			第8期計画		
	平成30 (2018)年度	令和元 (2019)年度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度
(A)第1号被保険者数	52,869	53,293	53,501	54,682	53,307	
(a)前期高齢者(65~74歳)	26,427	25,890	25,718	25,818	24,443	
割合 (a)/(A)	50.0%	48.6%	48.1%	47.2%	45.9%	
(b)後期高齢者(75歳以上)	26,442	27,403	27,783	27,781	28,864	
割合 (b)/(B)	50.0%	51.4%	51.9%	51.8%	54.1%	
(B)総人口	195,639	194,316	193,059	191,216	189,684	
総人口に占める第1号被 保険者数の比率(A)/(B) 【高齢化率】	27.0%	27.4%	27.7%	28.0%	28.1%	
前期高齢者(65~74歳)	13.5%	13.3%	13.3%	13.5%	12.9%	
後期高齢者(75歳以上)	13.5%	14.1%	14.4%	14.5%	15.2%	

第1号被保険者数の推移



(出典)住民基本台帳 各年度10月1日時点

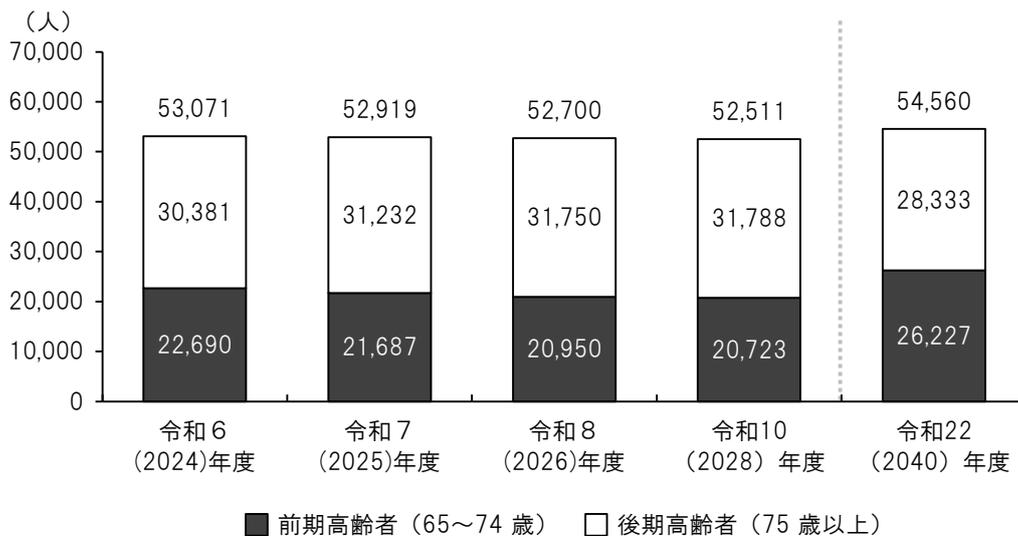
(5) 第1号被保険者数の推計

第1号被保険者数は減少傾向にあり、令和8(2026)年度では52,700人、令和10(2028)年度では52,511人となる見込みですが、令和22(2040)年度には増加し54,560人になると予想されます。

高齢者の内訳をみると、前期高齢者と後期高齢者の差は年々大きくなっており、後期高齢者の割合は令和8(2026)年度で60.2%、令和10(2028)年度で60.5%になると見込まれますが、令和22(2040)年度は51.9%と、前期高齢者との差は小さくなると予想されます。 ※各年4月1日時点で推計、最新のデータを反映予定

	第9期計画			第10期計画	第14期計画
	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和10 (2028)年度	令和22 (2040)年度
(A)第1号被保険者数	53,071	52,919	52,700	52,511	54,560
(a)前期高齢者(65~74歳)	22,690	21,687	20,950	20,723	26,227
割合 (a)/(A)	42.8%	41.0%	39.8%	39.5%	48.1%
(b)後期高齢者(75歳以上)	30,381	31,232	31,750	31,788	28,333
割合 (b)/(B)	57.2%	59.0%	60.2%	60.5%	51.9%
(B)総人口	187,016	185,182	183,269	177,213	152,805
総人口に占める第1号被 保険者数の比率(A)/(B) 【高齢化率】	28.4%	28.6%	28.8%	29.6%	35.7%
前期高齢者(65~74歳)	12.1%	11.7%	11.4%	11.7%	17.2%
前期高齢者(75歳以上)	16.2%	16.9%	17.3%	17.9%	18.5%

第1号被保険者数の推計



(出典)住民基本台帳 各年度4月1日時点の推計

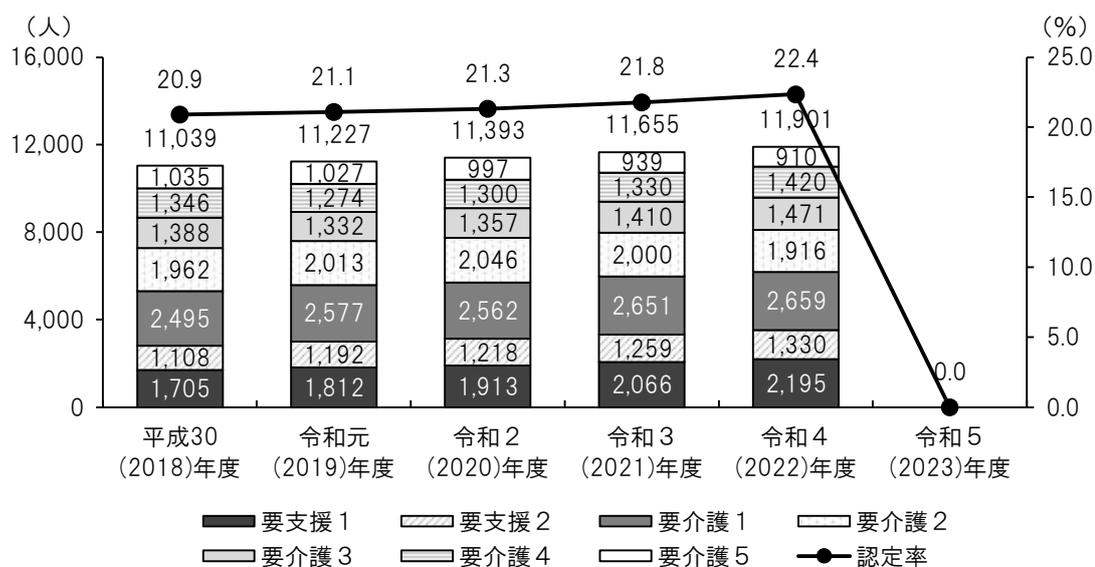
2. 要支援・要介護認定の状況

(1) 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数は、近年では11,000人台前後で推移しており、令和4(2022)年度では11,901人となっています。認定率(第1号被保険者数に占める認定者数の割合)は、年々上昇しており、令和4(2022)年度で22.4%となっています。 ※令和5年10月1日時点で最新のデータを反映

	第7期計画			第8期計画		
	平成30 (2018)年度	令和元 (2019)年度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度
要支援	2,813	3,004	3,131	3,325	3,525	
要支援1	1,705	1,812	1,913	2,066	2,195	
要支援2	1,108	1,192	1,218	1,259	1,330	
要介護	8,226	8,223	8,262	8,330	8,376	
要介護1	2,495	2,577	2,562	2,651	2,659	
要介護2	1,962	2,013	2,046	2,000	1,916	
要介護3	1,388	1,332	1,357	1,410	1,471	
要介護4	1,346	1,274	1,300	1,330	1,420	
要介護5	1,035	1,027	997	939	910	
合計	11,039	11,227	11,393	11,655	11,901	

要支援・要介護認定者数の推移



(出典)厚生労働省 介護保険事業状況報告 月報 9月月報

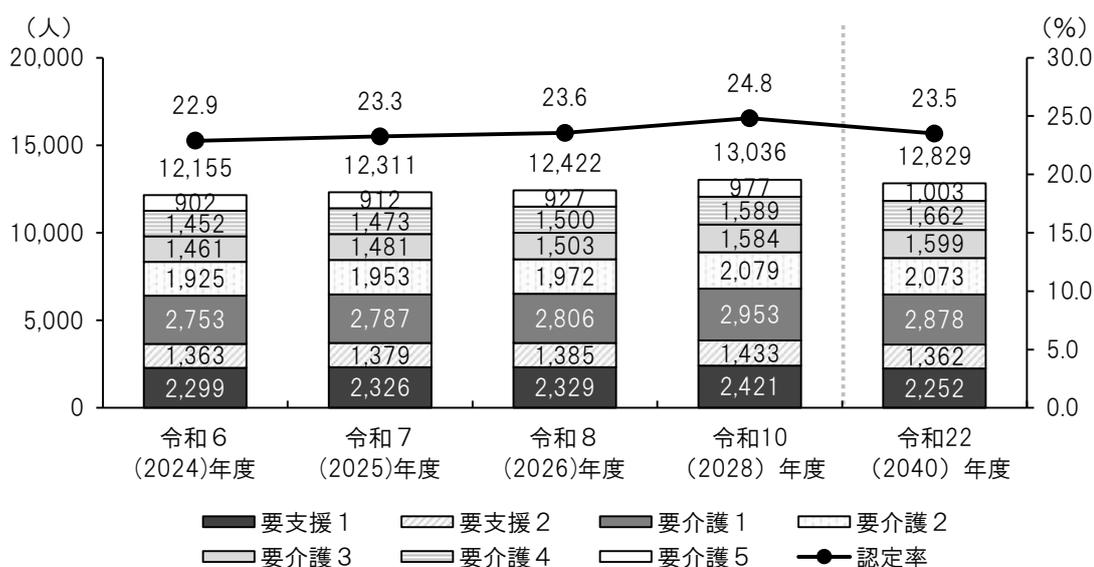
(2) 要支援・要介護認定者数の推計

認定者数は増加傾向にあり、令和8(2026)年度には12,422人、令和10(2028)年度には13,036人、令和22(2040)年度には12,829人となる見込みです。要介護度別にみると、重度者の大きな増加が見込まれています。

認定率についても、今後も上昇傾向がみられ、令和8(2026)年度には23.6%、令和10(2028)年度には24.8%、令和22(2040)年度は23.5%となる見込みです。 ※各年4月1日時点で推計、最新のデータを反映予定

	第9期計画			第10期計画	第14期計画
	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和10 (2028)年度	令和22 (2040)年度
要支援	3,662	3,705	3,714	3,854	3,614
要支援1	2,299	2,326	2,329	2,421	2,252
要支援2	1,363	1,379	1,385	1,433	1,362
要介護	8,493	8,606	8,708	9,182	9,215
要介護1	2,753	2,787	2,806	2,953	2,878
要介護2	1,925	1,953	1,972	2,079	2,073
要介護3	1,461	1,481	1,503	1,584	1,599
要介護4	1,452	1,473	1,500	1,589	1,662
要介護5	902	912	927	977	1,003
合計	12,155	12,311	12,422	13,036	12,829

要支援・要介護認定者数の推移



(出典)厚生労働省 介護保険事業状況報告 をもとに推計

※4月1日時点を基準とした推計のため、今後変更となる可能性がある

3. 日常生活圏域の状況

第3期計画（平成18(2006)年度から平成20(2008)年度）策定の際に、高齢者が住み慣れた地域で継続して生活を続けられるように、地理的条件、人口、交通事情その他社会的条件、介護給付等のサービスを提供する施設の整備状況等を総合的に判断し、以下の6つの日常生活圏域を設定しています。

また、令和5(2023)年4月現在、岸和田市地域包括支援センター社協・いなば荘北部・萬寿園葛城の谷・萬寿園中部・社協久米田・いなば荘牛滝の谷の6箇所が地域の拠点として介護予防事業等の推進を図っています。 ※圏域別の人口も掲載予定

◆日常生活圏域



日常生活圏域	小学校区
1. 都市中核地域	中央校区、城内校区、浜校区、朝陽校区、東光校区、大宮校区
2. 岸和田北部地域	春木校区、大芝校区、城北校区、新条校区
3. 葛城の谷地域	旭校区、太田校区、天神山校区、修斉校区、東葛城校区
4. 岸和田中部地域	常盤校区、光明校区
5. 久米田地域	八木北校区、八木校区、八木南校区
6. 牛滝の谷地域	山直北校区、城東校区、山直南校区、山滝校区

策定スケジュール(予定)

日程	内容
令和4年11月15日(火) ～令和5年3月14日(火)	在宅介護実態調査の実施
令和4年11月25日(金)	〈第2回〉 令和4年度岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会
令和5年1月4日(水) ～1月31日(火)	在宅生活改善調査の実施 居所変更実態調査の実施
令和5年1月11日(水) ～1月31日(火)	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
令和5年7月25日(火)	〈第1回〉 令和5年度岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会 ○各調査報告 ○計画骨子(案)について
令和5年9月28日(木)	〈第2回〉 令和5年度岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会 ○第8期の取組みの現状及び課題 ○介護保険サービス利用状況 ○計画の概要と基本指針
令和5年11月下旬	〈第3回〉 令和5年度岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会 ○高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(素案)について
令和6年1月上旬～2月上旬	パブリックコメントの実施
令和6年2月中旬	〈第4回〉 令和5年度岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会 ○高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(案)について

○地域包括支援センターの事業評価一覧表

※令和5年の全国割合は、12月頃に発表されるため、現時点では「-」で表示しています。

資料2

1 組織・運営体制等																														
(1)組織運営体制																														
市指標		R5	R4	R3	R5	R4	R3	センター指標									R5	R4	R3											
		市			全国			社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国				
Q19	運営協議会での議論を経て、センターの運営方針を策定し、センターへ伝達しているか。	○	○	○	-	70.4%	71.2%	Q11	市が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.8%	94.4%
Q20	年度ごとのセンターの事業計画の策定に当たり、センターと協議を行っているか。	○	○	○	-	76.2%	75.0%	Q11-1	事業計画の策定に当たって、市と協議し、市から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	88.2%	86.7%
Q21	前年度における運営協議会での議論を踏まえ、センターの運営方針、センターへの支援・指導の内容を改善したか。	○	○	○	-	47.8%	48.5%	Q12	市の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	96.4%	95.5%
Q22	市町村とセンターの間の連絡会合を、定期的に開催しているか。	○	○	○	-	87.0%	85.8%	Q13	市が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.4%	92.8%
Q23	センターに対して、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報を提供しているか。	○	○	○	-	96.9%	96.7%	Q14	市から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供をうけているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	97.9%	97.2%
								Q15	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情に応じた重点業務を明らかにしているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	85.8%	84.0%
Q24	センターに対して、介護保険法施行規則に定める原則基準に基づく3職種の配置を義務付けているか。	○	○	○	-	92.1%	92.4%	Q16	市から配置を義務付けられている3職種を配置しているか。	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	-	61.3%	60.8%	
Q25	センターにおいて、3職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)が配置されているか。	×	×	×	-	74.0%	75.0%																							
Q26	センターの3職種(準ずる者含む)一人当たり高齢者数(圏域内の高齢者数/センター人員)の状況が1,500人以下であるか。	×	×	×	-	61.6%	59.9%																							
Q27	センター職員の資質向上の観点から、センター職員を対象とした研修計画を策定し、年度当初までにセンターに示しているか。	○	○	○	-	50.3%	48.5%	Q17	市から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	70.9%	69.3%
								Q18	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修を実施しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	79.9%	77.0%

Q48	消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか。	○	○	×	-	82.5%	82.0%	Q40	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	91.4%	90.9%				
								Q41	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	84.2%	84.0%				
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務																																			
市指標		R5	R4	R3	R5	R4	R3	センター指標			R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3				
		市			全国						社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国						
Q49	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータを把握し、センターに情報提供しているか。	○	○	○	-	82.9%	80.4%	Q42	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータを把握しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	92.7%	92.0%
Q50	センターと協議の上、センターが開催する介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を作成しているか。	○	○	○	-	71.9%	71.6%	Q43	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	72.9%	68.8%
Q51	介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集等を行い、センターに情報提供を行っているか。	○	○	○	-	52.0%	51.7%	Q44	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市からの情報提供や、市による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	87.8%	85.2%
Q52	地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催しているか。	○	○	○	-	55.6%	55.0%																												
Q53	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。	○	○	○	-	80.7%	81.4%	Q45	担当圏域の居宅介護支援員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	82.2%	79.6%	
								Q46	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	75.9%	72.7%	
Q54	センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	○	○	○	-	77.1%	75.4%	Q47	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	80.4%	78.1%	

(4)地域ケア会議																																
市指標		R5	R4	R3	R5	R4	R3	センター指標									R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	
		市			全国												社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝
Q55	地域ケア会議が発揮すべき機能・構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画を策定し、センターに示しているか。	○	○	○	-	69.3%	68.8%	Q48	地域ケア会議が発揮すべき機能・構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市から示されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	84.6%	83.2%	
Q55-1	地域の医療・介護・福祉等の関係者に、策定した地域ケア会議の開催計画を周知しているか。 (Q55で「1」(○)の場合のみ回答する欄です。Q55で「×」の場合は、「×」を選択してください。)	○	×	×	-	57.7%	55.8%																									
Q56	センター主催の地域ケア会議の運営方法や、市町村主催の地域ケア会議との連携に関する方針を策定し、センターに対して周知しているか。	○	○	○	-	69.4%	67.5%	Q49	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	81.6%	78.1%
Q59	センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議に参加しているか。	○	○	○	-	88.9%	89.2%	Q50	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	90.8%	88.3%
Q61	地域ケア会議において多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	○	○	○	-	87.9%	87.2%	Q53	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	80.6%	77.1%
Q62	センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターに示すとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか。	○	○	○	-	79.3%	77.7%	Q54	市から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	88.7%	87.0%	
Q63	地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じているか。	○	○	○	-	79.6%	77.9%	Q55	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	85.0%	82.8%	
Q64	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ実行しているか。	○	○	○	-	69.8%	68.2%	Q56	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	81.8%	79.5%	
Q65	生活援助の訪問回数が多いケアプラン(生活援助中心のケアプラン)の地域ケア会議等での検証について実施体制を確保しているか。	○	○	○	-	61.9%	63.5%																									

Q67	センター主催の地域課題に関して検討する地域ケア会議に参加しているか。	○	○	○	-	75.4%	75.8%	Q51	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	73.0%	69.2%				
Q68	センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握しているか。	○	○	○	-	87.2%	88.0%	Q57	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市に報告しているか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	90.1%	88.3%				
Q69	センター主催及び市町村主催も含めた、地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表しているか。	×	×	×	-	15.6%	14.9%																											
Q70	複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村に提言しているか。	○	×	×	-	49.0%	49.7%																											
(5)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援																																		
市指標		R5	R4	R3	R5	R4	R3	センター指標						R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3			
		市			全国									社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国		
Q71	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターに周知しているか。	○	○	○	-	70.1%	67.4%	Q58	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	81.7%	78.6%
Q72	センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか。	○	○	×	-	84.8%	83.7%	Q59	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	96.2%	95.8%
Q73	利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターに示しているか。	○	○	○	-	37.7%	35.6%	Q60	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法を活用しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	58.5%	55.3%
Q74	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターに明示しているか。	○	○	○	-	66.3%	63.9%	Q61	介護予防マネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市から示されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	85.2%	83.3%	
Q75	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際のセンターの関与について、市町村の方針をセンターに対して明示しているか。	○	○	○	-	66.0%	63.5%	Q62	介護予防マネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.5%	93.8%	
Q76	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握しているか。	○	○	○	-	96.5%	96.4%																											

3 事業間連携(社会保障充実分事業)

市指標		R5	R4	R3	R5	R4	R3	センター指標																							
		市			全国																										
		R5	R4	R3	R5	R4	R3	社協	久米田	中部	葛城	北部	牛滝	全国																	
Q77	医療関係者とセンターの合同の事例検討会の開催または開催支援を行っているか。	○	○	○	-	74.3%	73.9%	Q63	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	78.9%	75.6%	
Q78	医療関係者とセンターの合同の講演会・勉強会等の開催または開催支援を行っているか。	○	○	○	-	81.4%	81.6%	Q64	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	91.0%	87.6%
Q79	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	○	○	-	88.1%	88.1%	Q65	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	84.5%	82.6%	
Q80	認知症初期集中支援チームとセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	○	○	-	92.6%	92.8%	Q66	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	89.0%	88.9%	
Q81	生活支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	○	○	-	92.2%	91.8%	Q67	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	90.9%	89.1%		

令和5年度 岸和田市地域包括支援センター事業計画書

1. 目的

岸和田市地域包括支援センターは、地域の高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域包括ケアシステムの構築にむけて一体的に実施する役割を担う中核的機関として設置する。

2. 基本方針

地域包括支援センターは、岸和田市における、地域包括ケアを有効に機能させるため、公正で中立性の高い事業運営を行う。

地域包括支援センターには、保健師・看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士、生活支援コーディネーター等の専門職を配置し、その知識を生かしながら、情報共有及び相互に連携するとともに、地域における様々な社会資源の活用を図り、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、地域包括ケアの実現を目指す。

また、団塊の世代のすべてが75歳以上となる2025年を間近に迎え、2040年も見据えながら、効果的かつ効率的な支援の取り組みを進める。

地域包括支援センター社協は他の生活圏域の地域包括支援センターと連携・情報交換等を図るに当たり、統括センターとして基幹的役割を担う。

3. 地域包括支援センターの業務について

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

① 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）

介護予防・日常生活支援総合事業のうち、要支援認定者及び総合事業対象者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、置かれているその他の状況に応じて、訪問型サービス、通所型サービス、その他生活支援サービス等適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行うものとする。

また、平成30年度から開始している自立支援型地域ケア会議や短期集中予防サービスの充実を図り、自立支援の促進に取り組む。

○総合事業の制度内容・方針等の地域（市民）への周知

○介護予防ケアマネジメント基本方針に基づくケアプラン作成のため介護支援専門員を支援

○自立支援型地域ケア会議へ出席するほか、事例提供する介護支援専門員の支援

○短期集中予防サービスの推進・協力

② 一般介護予防事業

住民主体の通いの場を充実させ、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域活動組織の育成や自立支援に資する介護予防の取組みを推進する。

新型コロナウイルスが5類移行後も、適切な感染予防に努めながら、継続できる通いの場を検討していく。

また、フレイル状態に着目した疾病予防の取組を行う保健事業との連携により、支援メニューの充実を諮る。

主な活動内容
日常生活支援総合事業の地域住民への周知
自立支援型地域ケア会議の出席
短期集中予防サービスの推進・協力
いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操実施地域への支援 (体力測定、フィードバック、健康や生活に関する情報提供、交流大会)
いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操未実施及び再開地域への支援
フレッシュらいふ教室の開催支援
介護予防会議への出席
高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施への協力

(2) 総合相談支援事業

地域の高齢者の様々な相談を受け入れ、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的な支援を行う。また、事後対応だけでなく、事前の早期発見、早期対応、予防的対応ができるよう各地域での個別見守り訪問活動への同行や各サロン、リビングへ参加することにより、地域の実態把握や民生委員等の地域住民とのネットワークの構築を図る。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、コロナ前の地域福祉活動が実施困難であったが、5類移行後は地域の意向・感染状況を考慮しながら地域住民とともに検討していく。

介護離職防止のための支援として、仕事と介護の両立に不安や悩みをもつ就労者のため、地域への出張相談など相談支援体制の充実・強化を図る。

○地域におけるネットワーク構築

○援助が必要な高齢者等への個別支援と地域課題の把握

○相談体制の充実・強化

主な活動内容
各地域での個別見守り活動への同行や各サロン、リビングへの参加により、実態把握や地域住民とのネットワーク構築を図る。
地域支援専門職ネットワーク会議への参画

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等との連携、在宅と施設の連携など、地域において多職種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況や変化に応じて包括的かつ継続的に支援する。また、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

各圏域により介護支援専門員研修会や事例検討会の開催、地域包括支援センター全体で行う法定外研修や新人向け介護支援専門員研修会を開催する。

- 包括的・継続的なケア体制の構築
- 地域における介護支援専門員のネットワークの活用
- 日常的な個別指導・相談や支援困難事例等への指導・助言

主な活動内容
各圏域による介護支援専門員対象研修会・事例検討会開催
岸和田市地域包括支援センター全体研修会（法定外研修）の開催
新人向け介護支援専門員研修会開催
介護給付費適正化（ケアプランの点検）事業受託
介護支援専門員への情報提供

(4) 権利擁護業務（虐待や消費者被害から高齢者等を守る）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者の権利や財産、尊厳ある暮らしをまもるための相談や情報提供を行う。

そのため、行政、法律家、警察等の専門的な対応を行う関係機関とのネットワークを構築するため、高齢者虐待防止ネットワーク会議への参画や大阪弁護士会と連携した法律相談を実施する。

- 成年後見制度の利用支援及び広報
- 高齢者虐待、困難事例への対応
- 消費者被害防止のための周知・啓発
- 大阪弁護士会と連携した法律相談の実施

主な活動内容
岸和田市高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議への参画
岸和田市高齢者虐待防止ネットワーク実務者会議への参画
大阪弁護士会と連携した法律相談の実施
判断能力を欠く常況にある人への支援（成年後見制度利用促進）

（５）在宅医療・介護連携推進事業

医師会が中心的役割を果たしている多職種（医療、福祉関係者等）による在宅医療介護連携拠点会議に参画し、連携の促進、高齢者の在宅療養生活の支援体制強化のための事業（多職種連携研修や住民啓発セミナー等）実施を図っていく。

主な活動内容
在宅医療介護連携拠点会議への参画
多職種連携研修会の開催（市全体）
住民啓発セミナーの開催（市全体）
各圏域における住民啓発セミナーの開催
各圏域における医療出前講座の開催
暮らしの安心プロジェクトを通じた医療機関との連携

（６）生活支援体制整備事業

多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供ができる体制を整備するために生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置する。

生活支援コーディネーターは担当する地域において多様な主体による多様な取り組みのコーディネート業務を実施することにより、地域における一体的な生活支援サービスの提供体制の整備を推進する。

- 地域診断及び地域資源の開始に関すること
- ネットワークの構築
- ニーズと取り組みのマッチング
- 協議体の招集、統括に関すること（協議体設置後）
- 高齢者の生活支援に関すること

主な活動内容
岸和田市生活援助サービス従事者研修への参画、修了者へのマッチング
いきいき百歳体操支えて隊の発掘、養成
いきいき百歳体操の実施地域の開拓
地域に不足するサービスの創出
社会資源集の作成・地域資源の情報集約

(7) 認知症総合支援事業

国のオレンジプラン、新オレンジプランに基づき、関係機関と連携しながら、認知症への理解を深めるための普及・啓発、認知症の早期診断・早期対応に努め、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを支援する。

- 認知症サポーター養成講座の開催
- 認知症初期集中支援チームとの連携等

主な活動内容
認知症初期集中支援チームとのスムーズな連携による支援体制の構築
認知症支援ネットワーク会議への参画（各法人1名）
認知症サポーター養成講座の企画・開催
認知症カフェとの連携
認知症疾患医療センターとの連携、協議会に参画
徘徊 SOS ネットワーク登録者または警察が保護した高齢者の実態把握

(8) 地域ケア会議等の実施

医療、介護等の専門職や民生委員、町会・自治会、NPO、社会福祉法人、ボランティアなど地域の多様な関係者の協働や、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、介護等が必要な高齢者が住み慣れたところでの生活を地域全体で支援していく環境を作っていくため、開催計画に基づき、個別ケースや地域課題を検討する地域ケア会議を開催する。会議終了後は、議事録を作成し、決定事項を構成員で共有する。その他、市が主催する自立支援型の地域ケア会議へ出席する等、必要な連携・協力をを行う。

地域密着型サービス事業所の新規指定状況一覧(令和5年6月1日現在)

資料4

○地域密着型通所介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
合同会社こねくと	デイサービス愛の実	9名	岸和田市戎町5番5号	岸和田北部地域	令和5年4月1日	令和11年3月31日	

○定期巡回・随時対応型訪問介護看護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
社会福祉法人寺田萬寿会	定期巡回・随時対応訪問ケア萬寿園	※	岸和田市尾生町808番地	岸和田中部地域	令和5年4月1日	令和11年3月31日	

地域密着型サービス事業所の廃止状況一覧(令和5年6月1日現在)

○地域密着型通所介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	廃止日	備考
株式会社フラハ	みらいケア喜多	1名	中井町三丁目19番21号	岸和田北部地域	平成28年4月1日	令和4年11月30日	

地域密着型サービス事業所の指定状況一覧(令和5年6月1日現在)

○定期巡回・随時対応型訪問介護看護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
(株)ケアネット徳洲会	ケアネット徳洲会 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 岸和田	※	磯上町四丁目22番40号	岸和田北部地域	平成25年3月1日	令和7年2月28日	令和5年3月1日付休止中
(社福)寺田萬寿会	定期巡回・随時対応訪問ケア まんじゅ	※	南上町一丁目48番5号	都市中核地域	平成25年4月12日	令和7年4月11日	
(社福)寺田萬寿会	定期巡回・随時対応訪問ケア萬寿園	※	尾生町808番地	岸和田中部地域	令和5年4月1日	令和11年3月31日	

○夜間対応型訪問介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
(社福)寺田萬寿会	夜間対応型訪問介護 ナイトヘルパー萬寿園	※	尾生町808番地	岸和田中部地域	平成19年3月1日	令和7年2月28日	

○認知症対応型通所介護(介護予防認知症対応型通所介護)

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
(社福)寺田萬寿会	特別養護老人ホーム 萬寿園	24名	尾生町808	岸和田中部地域	平成12年4月1日	令和8年3月31日	2単位
(社福)寺田萬寿会	まんじゅ デイサービスセンター	20名	南上町二丁目5番6号	都市中核地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	2単位
(社医)慈薫会	社会医療法人慈薫会認知症対応型通所介護大阪緑ヶ丘	6名	神須屋町662番地の2	葛城の谷地域	平成27年6月1日	令和9年5月31日	2単位

○地域密着型通所介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
社会福祉法人光生会	ピープルデイサービスセンターきしわだ	15名	尾生町2130番地4	岸和田中部地域	平成28年4月1日	令和8年3月31日	
有限会社サン・エー	通所介護サービスひかり	18名	土生滝町530番地	葛城の谷地域	平成28年4月1日	令和9年5月31日	
株式会社グリーマリン	デイサービス グリスマイル2号館	18名	沼町18-1	都市中核地域	平成28年4月1日	令和6年8月31日	
久米田池庵株式会社	元気でレッツゴー久米田池	13名	岡山町527番地の2	牛滝の谷地域	平成28年4月1日	令和7年4月30日	
医療法人大植医院	医療法人大植医院芙蓉メディカルサポート	10名	大町367番地	久米田地域	平成28年4月1日	令和10年2月29日	
株式会社凜花苑	デイサービスセンター凜花苑	10名	下野町一丁目11番23号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和10年10月31日	
株式会社さたき	デイサービスセンター青い鳥	15名	西大路町3-1	久米田地域	平成28年4月1日	令和11年3月31日	
特定非営利活動法人クオリティ・オブ・ライフ	中央デイサービス	18名	藤井町二丁目5番34号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和5年8月31日	

地域密着型サービス事業所の指定状況一覧(令和5年6月1日現在)

○地域密着型通所介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
株式会社ライフパートナー	アムールデイサービス岸和田	15名	池尻町686番地の7	久米田地域	平成28年4月1日	令和5年9月30日	
株式会社アキコーポレーション	樹楽団らんの家東岸和田	15名	土生町62-1	葛城の谷地域	平成28年4月1日	令和5年10月31日	
株式会社ヤマシタ	デイサービスときわ	15名	上松町1丁目7番1号	岸和田中部地域	平成28年4月1日	令和6年6月30日	
大阪みなみ医療福祉生活協同組合	デイサービスひなた	10名	大町四丁目1番地10号	久米田地域	平成28年4月1日	令和6年6月30日	
株式会社そうせい介護支援事業所	そうせいデイ春木	10名	春木本町9番15号	岸和田北部地域	平成28年4月1日	令和6年10月31日	
有限会社妙薫	すいめい介護支援センター	8名	三田町93番地の2	牛滝の谷地域	平成28年4月1日	令和8年11月30日	
株式会社SOSO	デイサービス徒然	13名	摩湯町726番地4	牛滝の谷地域	平成28年4月1日	令和7年2月28日	
合同会社かつみ	デイサービスひとやすみ	10名	田治米町299番地の7	牛滝の谷地域	平成28年4月1日	令和7年3月31日	
株式会社ライフサポート谷脇	デイサービス 花水木 色彩	18名	南上町二丁目24番13号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和7年3月31日	
有限会社グッドライフコミュニティ	いずみの森クラブ	15名	岸城町28番36号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和7年4月30日	
株式会社フラハ	デイサービスセンター蔵	10名	宮前町24番5号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和7年6月30日	
株式会社グリーン介護サービス	デイサービス グリーン	18名	荒木町一丁目8番3号	岸和田北部地域	平成28年4月1日	令和7年9月30日	
ウエルネスネット株式会社	アルケルデイサービス	7名	土生町309番地	葛城の谷地域	平成28年4月1日	令和7年11月30日	
株式会社まほろば	デイサービスセンター春木笑福	10名	春木若松町6番6号	岸和田北部地域	平成28年4月1日	令和8年4月30日	
株式会社結屋	結屋岸和田デイセンター	10名	作才町1181番地	葛城の谷地域	平成28年4月1日	令和8年9月30日	
有限会社結い	デイサービス ゆいの集い	16名	西之内町10番2号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和9年2月28日	
有限会社 マエダケアサービス	ソラーレ	10名	別所町1-19-13	都市中核地域	平成28年4月1日	令和9年4月30日	
ライジングサン株式会社	デイサービス花りぼん	15名	宮前町10-14	都市中核地域	平成28年4月1日	令和9年11月30日	
久米田池庵株式会社	元気でレッツゴー	15名	大北町6番5号	都市中核地域	平成28年8月1日	令和10年7月31日	
株式会社ピア	OKハウス	8名	小松里町2065番地 コマツビル105号	久米田地域	平成28年10月1日	令和10年9月30日	
株式会社ピア	OKハウス友	9名	小松里町2064番地 MKビル101号	久米田地域	平成28年10月1日	令和10年9月30日	

地域密着型サービス事業所の指定状況一覧(令和5年6月1日現在)

○地域密着型通所介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
フォーユー株式会社	東岸和田リハビリステーションまほろば	7名	作才町1165番地	葛城の谷地域	平成29年4月1日	令和11年3月31日	
株式会社ケアステーションさくら	白ゆりデイサービス岸和田	5名	極楽寺町182-9	葛城の谷地域	平成29年4月1日	令和11年3月31日	
アプリコットマネジメント株式会社	デイサービスセンター和み家	18名	畑町三丁目14番11号	葛城の谷地域	平成29年5月1日	令和11年4月30日	
ALLAGI株式会社	デイサービスきたえるーむ岸和田下松	18名	下松町一丁目13-7	岸和田中部地域	平成29年7月1日	令和5年6月30日	
特定非営利活動法人よりあい倶楽部	NPOデイサービス あおぞら	15名	磯上町5丁目19番14号	岸和田北部地域	平成29年8月1日	令和5年7月31日	
株式会社介護NEXT	GENKINEXT岸和田下松	10名	下松町3丁目5-52	岸和田中部地域	平成29年10月1日	令和5年9月30日	
株式会社貴陽	ハツラツ倶楽部 みんなのふるさと	14名	三田町117番地-1	牛滝の谷地域	平成30年3月1日	令和6年2月29日	
社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会	デイサービスセンターほっと久米田	10名	下池田町2丁目1番15号	久米田地域	平成30年8月1日	令和6年7月31日	
特定非営利活動法人福笑	作業所ふくわらい	10名	上野町西27番80号 川口ビル101号室、102号室	都市中核地域	平成31年4月1日	令和7年3月31日	共生型
株式会社ユウリック	デイサービス1(ワン)	10名	宮本町20番3	都市中核地域	平成31年4月1日	令和7年3月31日	
株式会社サニーオーク	デイサービス ティエール・岸和田	13名	荒木町1丁目18番3号	岸和田北部地域	令和2年3月1日	令和8年2月28日	
医療法人利田会	医療法人利田会 デイサービスセンターうらら	15名	尾生町2979番地4	岸和田中部地域	令和2年7月1日	令和8年6月30日	
合同会社FEED	デイサービス ゆうび	10名	岡山町80-3	牛滝の谷地域	令和2年10月1日	令和8年9月30日	
有限会社文左エ門商店	ボシブル岸和田	14名	土生町2丁目30-39	葛城の谷地域	令和3年5月1日	令和9年4月30日	
有限会社エスオニオン	いきいきフィット	10名	岡山町35-2 トニワンハイツ岡山102	牛滝の谷地域	令和元年10月1日	令和7年9月30日	
株式会社UKITOA	寄合い 正家	10名	尾生町852番地の2	岸和田中部地域	令和元年7月1日	令和7年6月30日	
株式会社グリーマリン	デイサービス グリースマイル1号館	14名	加守町二丁目6番2号	都市中核地域	令和元年9月1日	令和7年8月31日	
合同会社あすなろ	デイサービスセンター あすなろ	18名	畑町四丁目3番1号	葛城の谷地域	令和3年12月1日	令和9年11月30日	
株式会社山下社中	デイサービスいろは	10名	春木本町13番8号	岸和田北部地域	令和4年9月1日	令和10年8月31日	
合同会社こねくと	デイサービス愛の実	9名	岸和田市戎町5番5号	岸和田北部地域	令和5年4月1日	令和11年3月31日	

地域密着型サービス事業所の指定状況一覧(令和5年6月1日現在)

○小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
(有)マエダケアサービス	マエダケアフラット	12名	別所町一丁目19-13	都市中核地域	平成19年4月1日	令和7年3月31日	(通所6名宿泊2名)
(社福)寺田萬寿会	居宅介護 まんじゅ	25名	南上町一丁目48-5	都市中核地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	(通所15名宿泊5名)
(株)生活支援センター・ひまわり	介護多機能型施設 つばらつばら	18名	大町448番地の5	久米田地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	(通所12名宿泊6名)
(株)そよかぜ	さくらの苑 内畑	25名	内畑町541番地 石谷マンション	牛滝の谷地域	平成20年1月1日	令和7年12月31日	(通所15名宿泊5名)
株式会社ヘリアントス	KumeLab(クメラボ)	25名	荒木町2-19-4	岸和田北部地域	令和3年5月1日	令和9年4月30日	(通所15名宿泊6名)

○認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
(社福)高陽会	グループホーム風の里	18名	中井町三丁目2番27号	岸和田北部地域	平成19年5月1日	令和7年4月30日	
(社福)寺田萬寿会	グループホームまんじゅ	18名	南上町二丁目5番6号	都市中核地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	
(社福)嘉舟会	グループホームいなば	9名	稲葉町1066番地	牛滝の谷地域	平成20年4月1日	令和8年3月31日	
(社医)慈薫会	グループホーム大阪緑ヶ丘	18名	神須屋町662番地の2	葛城の谷地域	平成20年6月1日	令和8年5月31日	
(医)徳洲会	医療法人徳洲会 グループホーム三田	9名	三田町134番地	牛滝の谷地域	平成20年6月1日	令和8年5月31日	
(有)清寿会	グループホーム正寿苑	18名	稲葉町2552番地の2	牛滝の谷地域	平成20年9月1日	令和8年8月31日	
(医)利田会	グループホームやすらぎ	9名	尾生町2980番地の1	岸和田中部地域	平成21年5月1日	令和9年4月30日	
(株)ライフパートナー	グループホーム アムール岸和田	18名	池尻町686番地の7	久米田地域	平成23年3月1日	令和11年2月28日	

○地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
(社福)和秀会	岸和田北特別養護老人ホーム	29名	磯上町三丁目3番13号	岸和田北部地域	平成26年4月1日	令和8年3月31日	
(社福)和成会	社会福祉法人和成会ひまわりの郷	29名	小松里町938-2	久米田地域	平成26年4月1日	令和8年3月31日	
(社福)レーベンダンク	特別養護老人ホーム 岸和田天神山荘	29名	流木町337-7	葛城の谷地域	平成27年2月1日	令和9年1月31日	

地域密着型サービス事業所の指定状況一覧(令和5年6月1日現在)

○介護予防支援

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日
(社福)岸和田市社会福祉協議会	岸和田市地域包括支援センター社協	※	野田町1丁目5番5号	都市中核(浜、城内を除く)	平成18年4月1日	令和6年3月31日
(社福)寺田萬寿会	岸和田市地域包括支援センター萬寿園中部	※	尾生町808番地	岸和田中部地域、都市中核(浜、城内)	平成20年6月1日	令和8年5月31日
(社福)嘉舟会	岸和田市地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷	※	稲葉町1066番地	牛滝の谷地域	平成20年6月1日	令和8年5月31日
(社福)嘉舟会	岸和田市地域包括支援センターいなば荘北部	※	荒木町2-21-59	岸和田北部地域	平成25年10月1日	令和7年9月30日
(社福)寺田萬寿会	岸和田市地域包括支援センター萬寿園葛城の谷	※	土生町二丁目30番12号 泉洋ビル3F 302号	葛城の谷地域	平成25年10月1日	令和7年9月30日
(社福)岸和田市社会福祉協議会	岸和田市地域包括支援センター社協久米田	※	下池田町2丁目1番15号	久米田地域	平成25年10月1日	令和7年9月30日